MITSUBISHI

三菱ブルーレイディスクレコーダー

形名

DVR-BZ450
DVR-BZ350
DVR-BZ250
DVR-B5W

取扱説明書

ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになったあとは、「保証書」と共に大切に保管し、必要なときにお読みください。
特に、安全上のご注意は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
「保証書」は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、お買上げの販売店からお受け取りください。

AVCHD

取扱説明書を読んでもどうしても使いかたがわからないときや、故障かな?と思ったときは

三菱電機お客さま相談センターへ p.184

BZ450 /350 / 250 / B5W

この取扱説明書(本書)について

知りたいことを探すときは

こんなときは		本書で探すときは	
やりたいことから探すとき 録画、再生など、機能別に探すとき	➡	もくじ	p.3
ボタンや端子から探すとき	➡	各部のはたらき	p.7
機能名、キーワードから探すとき	➡	さくいん	p.205
用語の意味を知りたいとき	➡	用語説明	p.202
困ったとき 故障かな?と思ったとき	➡	故障かな?と思ったときは 「困ったときは」早見表	p.192 裏表紙

- 本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 本書では、内蔵HDDのことを「本体」または「本体(HDD)」と表現している場合があります。
- 「本機」とは「お使いのレコーダー」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
- 画面の背景や放送などの映像や絵は、はめ込み画像です。

● マークの意味

気を付けて	本機を使う際に、気を付けていただきたい情報です	ちょっとメモ	本機を使う際の、ちょっとした情報です

● 本機で使えるメディアのマーク

	マーク	メディアの説明(くわしくは、p.54)
HDD	本体	本機に内蔵のハードディスク(HDD)
BD	BD-RE	BD-RE・・・・・・・・・・・・・ BD-REディスク(ブルーレイディスク™)
	BD-R	BD-R・・・・・・・・・・・・・・ BD-Rディスク(ブルーレイディスク™)
	BDビデオ	BDビデオ・・・・・・・・・・・ 市販のBDソフトなど
DVD	-RW	DVD-RW ・・・・・・・・・・・ DVD-RWディスク全般
	-RW(AVCREC)	DVD-RW(AVCREC)・・ AVCREC™方式でフォーマットされたDVD-RWディスク
	-RW(VR)	DVD-RW(VR) ・・・・・・ VR方式でフォーマットされたDVD-RWディスク
	-RW(Video)	DVD-RW(Video)・・・・ Video方式でフォーマットされたDVD-RWディスク ※
	-R	DVD-R ・・・・・・・・・・・・・ DVD-Rディスク全般
	-R(AVCREC)	DVD-R(AVCREC)・・・・ AVCREC™方式でフォーマットされたDVD-Rディスク
	-R(VR)	DVD-R(VR) ・・・・・・・・ VR方式でフォーマットされたDVD-Rディスク
	-R(Video)	DVD-R(Video)・・・・・・ Video方式でフォーマットされたDVD-Rディスク ※
	DVDビデオ	DVDビデオ・・・・・・・・・・ 市販のDVDソフトなど
	RAM	DVD-RAM・・・・・・・・・・ 他のBD/DVDレコーダーのVR方式で記録されたDVD-RAMディスク
CD	音楽用CD	音楽用CD・・・・・・・・・・・ 音楽用CD、音楽用CD形式でフォーマットされてファイナライズ済みのCD-RW/CD-R
静止画(JPEG)	CD(JPEG)	静止画が記録されたCD-RW/CD-R・・・・・・・・・・・・デジタルカメラで撮影されたJPEG形式の写真など
	SD(JPEG)	静止画が記録されたSDカード・・・・・・・・・・・・・・・・・ デジタルカメラで撮影されたJPEG形式の写真など
	USB(JPEG)	静止画が記録されたUSB機器・・・・・・・・・・・・・・・・・ デジタルカメラで撮影されたJPEG形式の写真など
動画(AVCHD)	DISC(AVCHD)	ハイビジョン画質の動画が記録されたディスク ・・・ デジタルビデオカメラで撮影されたAVCHDの動画
	SD(AVCHD)	ハイビジョン画質の動画が記録されたSDカード・・・デジタルビデオカメラで撮影されたAVCHDの動画
	USB(AVCHD)	ハイビジョン画質の動画が記録されたUSB機器・・・デジタルビデオカメラで撮影されたAVCHDの動画

※ 本書では、ファイナライズ p.119 されたDVD-RW(Video)/DVD-R(Video)は、DVDビデオ として扱います。

- AVCREC、VR、Video方式とは、●●▶ p.60

取扱説明書を読んでもどうしても使いかたがわからないときや、故障かな?と思ったときは

●●▶ 三菱電機お客さま相談センターへ p.184

各部 / 準備(接続) / 準備(設定) / テレビ放送 / メディア / 録る / 見る / 編集消去 / 取り込む残す / 便利機能 / 安全注意 / 仕様 / 困ったとき

●● ▶ 次ページへつづく

今すぐ録る・予約する（録画）

見る（再生）

消去·編集する

残す·取り込む（ダビング）

便利な機能

次ページへつづく

便利な機能（つづき）

安全上のご注意

仕様・付属品

困ったときは

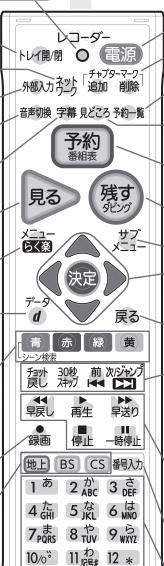
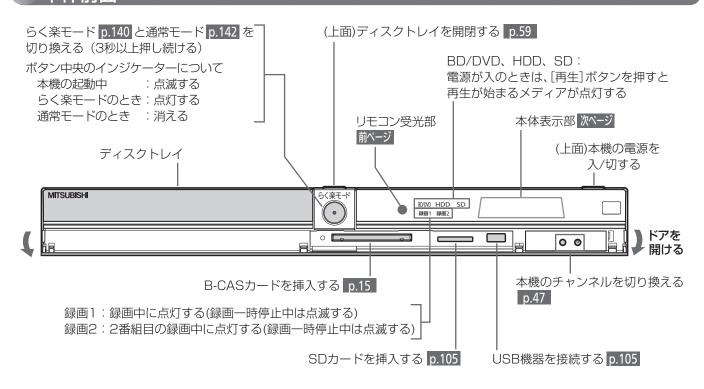
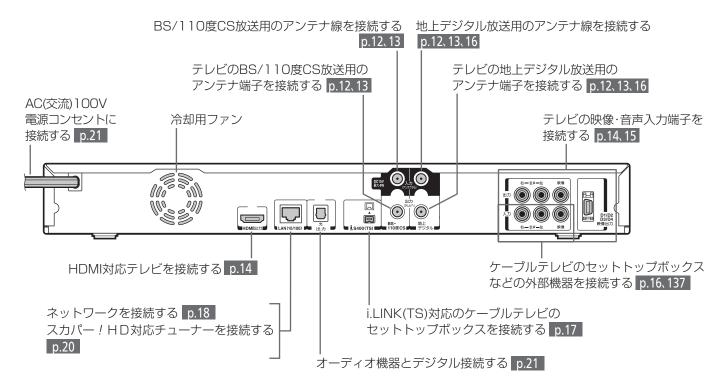
各部のはたらき

リモコン

乾電池の入れかたは ••▶ p.23

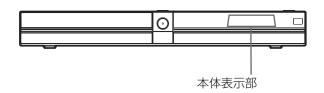
本機のリモコンには、レコーダー操作面とテレビ操作面の両面があり、ボタンを押す面を上にしたほうだけが操作できます。
本機(レコーダー)の操作をするときは、レコーダー操作面を上にして操作してください。

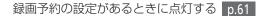
テレビの操作(テレビ操作面)をするときは ••▶ p.37
リモコンのボタンを押したときの報知音を入/切するときは ••▶ p.149

- ディスクトレイを開閉する p.59
- 「ネットワーク」のサービスを選ぶ p.170
- 外部入力に切り換える p.87
- 視聴中や再生中の音声を切り換える p.53、104
- 視聴中や再生中の字幕の言語や表示の有無を表示する p.53、104
- 本体(HDD)、ディスクの録画一覧画面を表示する p.93、96、97
- らく楽メニューまたは通常メニューを表示する p.141、143
- デジタル放送に連動したデータ放送を表示する p.51
- 番組表などを表示中に、いろいろな機能の操作をする
  再生中に、シーン検索をする p.102
  DVR-B5Wのみ
  再生中に、スマート再生をする p.175
- 録画、オフタイマー録画をする p.72、73
- 本機の放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)を切り換える p.47
- 本機のチャンネルを切り換える p.47
- ディスク残量(停止中)や、録画中、再生中、視聴中の情報を表示する p.10
  リモコンのボタンを操作したときの報知音を入/切する p.149

- 本機の電源を入/切する
- チャプターマークの追加や削除をする p.111
- 時刻指定予約をする p.78
  予約一覧画面を表示する p.82、85
- 見どころ再生の録画一覧画面を表示する p.95
- 番組表を表示する p.49、74、76
- 手間なしダビングをする p.126
  らく楽ダビングをする p.128
  ダビング一覧からダビングする p.130
- サブメニューを表示する p.145
- 各種設定画面やメニューなどの操作をする
  (ボタンの絵のほかに、[▲、▼、◀、▶]で説明しているところがあります)
- 各種設定画面などで1つ前の画面に戻る
- チョット戻し、30秒スキップをする p.101
  コマ送り、コマ戻しをする p.101
  次の場面までとばす(ジャンプする)、スキップをする p.93、101
- 再生をする p.93、96、97
  早見再生をする p.101
  早送り、早戻しをする p.101
  スロー、逆スロー再生をする p.101
  一時停止をする p.72、101
  停止をする p.73、93、96、97
- 3桁のチャンネル番号を選局する p.47
- チャンネルの番号を選ぶ p.47
  番号や文字を入力する p.114、149
- テレビの音量を調整する p.37
  (ボタンを押しても、報知音は鳴りません)

本体前面

本体後面（本機にはテレビ接続用の電源コンセントは付いていません）

- 本機内部の放熱をよくするために、本機後面の冷却用ファンと壁やテレビ台などの周辺物との間は、5cm以上空けてください。

ちょっとメモ

- 本体後面の冷却用ファンは、本機の電源が入のときは常時回ります。

本体表示部の表示

DUB：ダビング中に点灯する p.126、129、135

⬇D：次のときに点灯する
- 番組表の番組データを取得中 p.48
- 本機の更新情報をダウンロード更新中 p.43
- 瞬間電源オン状態 p.152 で本機がすぐに起動できるよう待機状態になっているとき
- 録画モード変換予定番組 p.62、66、68～70、113 の自動変換中

録画予約の設定があるときに点灯する p.61

i.LINK(TS)対応機器接続時(認識状態のとき)に点灯する

USB機器接続時に点灯する

BD/DVD/CDディスク挿入時に点灯する

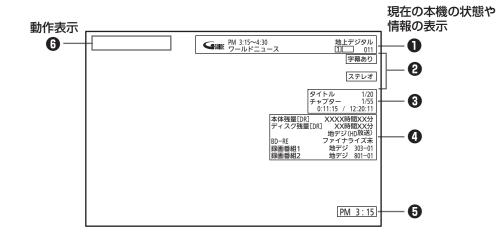
SDカード挿入時に点灯する

再生中に点灯する(再生一時停止中は点滅する)

現在時刻、カウンター、オフタイマー録画の録画時間
- 電源が切のときは、現在時刻を表示します。（AM：午前、PM：午後）
  - 時刻が未設定の場合は、"－：－－"を表示します。
- 電源が入のときは、テレビ画面に映している映像によって、表示が切り換わります。
  - 本機で選局中のテレビ/外部入力の映像を映しているとき･･･チャンネル/外部入力を表示します。
  - 録画中、再生中の映像を映しているとき･･･カウンター(時間：分：秒)を表示します。
  - オフタイマー録画中の映像を映しているとき･･･録画が終了するまでの時間を表示します。

本機の動作、など

表示	内容
HELLO	本機の起動中
BYE	電源が切れるとき
OPEN	ディスクトレイが開くとき
CLOSE	ディスクトレイが閉まるとき
LOADING	ディスク読み込み中
STOP	録画停止処理中
R-1 R-2	本体とリモコンのリモコンモードが異なるとき R1･･･本体：〈リモコン1〉 リモコン：〈リモコン2〉 R2･･･本体：〈リモコン2〉 リモコン：〈リモコン1〉
WAIT	電源コンセントに電源コードをつないだとき 停電から復帰したとき ●表示が消えるまで、本機の操作はできません。
DL	「ネットワーク」からダウンロード中 (電源切のときのみ表示)

チャンネル/外部入力

表示	内容
DIG 011	地上デジタル放送のチャンネル (例：011チャンネル)
BS 101	BSデジタル放送のチャンネル (例：BS101チャンネル)
CS1 055	110度CSデジタル放送のチャンネル (例：CS1 055チャンネル)
L1	外部入力（L1入力）
TSin	外部入力（i.LINK(TS)入力）
LAN	「ネットワーク」を利用中

ちょっとメモ

- 本体表示部の"⬇D"表示中は動作音が大きくなることがありますが、故障ではありません。

画面表示

現在の本機の状態や情報の表示（❶〜❺）

リモコンの 画面表示 操作音 入/切（長押し） を押すたびに、次のように表示されます。

すべて（❶〜❺）→ ❸❹ のみ → ❸ のみ → 表示なし

- ❶❷❺は、続けてボタンを押さない場合、数秒で消えます。
- ❸は、再生中にだけ表示されます。
- 該当しない項目は表示されません。また、他機で録画されたディスクでは、正しく表示されないことがあります。

**❶ 番組の開始時刻と終了時刻、番組名、放送の種類、チャンネル番号、外部入力、など
再生中のメディア、番組名、など**

❷ 字幕の有無、音声の種類

❸ 番組のタイトルの現在番号/総数、チャプターの現在番号/総数、再生経過時間/総再生時間（時間：分：秒）

- 時間やチャプター数などの数字は、とびとびに表示されることがあります。
  また、本体表示部と画面のカウンターが一致しないことがあります。

❹ 動作状態、残量時間、いろいろな情報

- 再生中、録画中、停止中によって、表示される情報が変わります。

❺ 現在時刻

- **残量時間はおよその時間です。目安としてお使いください。**
  現在本機で選ばれている録画モードの残量時間が表示されます。
- チャンネルや音声・字幕などを切り換えたときや、動作状態が切り換わったときは、自動的に該当する項目の画面表示が数秒間表示されます。

主な動作表示（❻）

表示	内容
起動中	本機の起動中
⏏、⏏	ディスクトレイ開、閉
●	録画開始
❚❚（赤）	録画一時停止
■	停止
□	つづき再生の停止（リジューム停止）
▶	再生
❚❚（白）	再生一時停止
▶▶🔉	早見再生（音声付き早送り）
▶▶、◀◀	早送り、早戻し
❙▶、◀❙	スロー、逆スロー再生
▶▶❙、❙◀◀	正方向、逆方向のスキップ
HDD➡◎	ダビング（例：本体（HDD）→ディスクのとき）

気を付けて

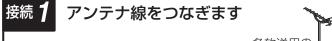
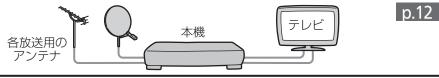
- “⃠”が表示されるときは、現在その操作を行うことができません。

ちょっとメモ

- p.152 “セットアップ”画面の“省電力/表示設定”－“動作状態表示”で画面に動作表示を表示するかどうかを選ぶことができます。

準備(接続)の進めかた

重要

- **地上デジタル放送を受信するUHFアンテナの向き(放送電波の中継基地)が異なる、電波が弱い、デジタル放送対応のアンテナを使っていないなどによって、地上デジタル放送の全部または一部が受信できない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。**
  または、「総務省 地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター(地デジコールセンター)」にご相談ください。p.45
- **アンテナの設置や工事、ケーブルの加工には、知識･技術･経験が必要です。お買上げの販売店に依頼されることをおすすめします。また、デジタル放送対応のBS･CS/U･V分波器(市販)やU･V分配器(市販)が別途必要となることがあります。**
  費用については、お買上げの販売店にご相談ください。
- **ご自分で準備をされる場合は、知識･技術･経験をお持ちの方が下の作業流れ図に従って行ってください。**

接続を始める前に、付属品がそろっているかお確かめください

- リモコン　1台
- マンガン単4乾電池(R03)　2本
- B-CASカード　1枚（台紙に貼り付けてあります）
- アンテナケーブル　1本

接続 1 アンテナ線をつなぎます

p.12

接続 2 映像･音声のコードをつなぎます

p.14

本機には映像、音声のケーブル・コードは付属しておりません。
テレビの接続端子に合わせて、お買上げの販売店でご購入ください。

接続 3 B-CAS(ビーキャス)カードを入れます

デジタル放送を受信するために

p.15

(必要に応じて) **接続 4** 放送をケーブルテレビ(CATV)で受信しているときは
ケーブルテレビのホームターミナル/セットトップボックスをつなぎます p.16

(必要に応じて) **接続 5** ブロードバンドを利用するときは
ネットワークにつなぎます p.18

(必要に応じて) **接続 6** 「スカパー！ＨＤ録画」をするときは
スカパー！ＨＤ対応チューナーをつなぎます p.20

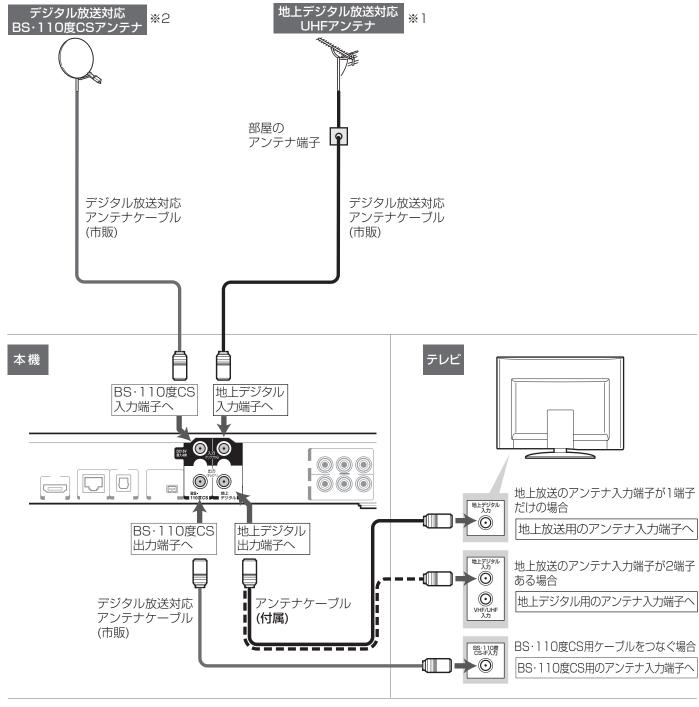
(必要に応じて) **接続 7** オーディオ機器でデジタル放送の音声を楽しみたいときは
デジタル音声入力対応のオーディオ機器をつなぎます p.21

接続 8 電源コードをつなぎます

すべての接続が終わったら

p.21

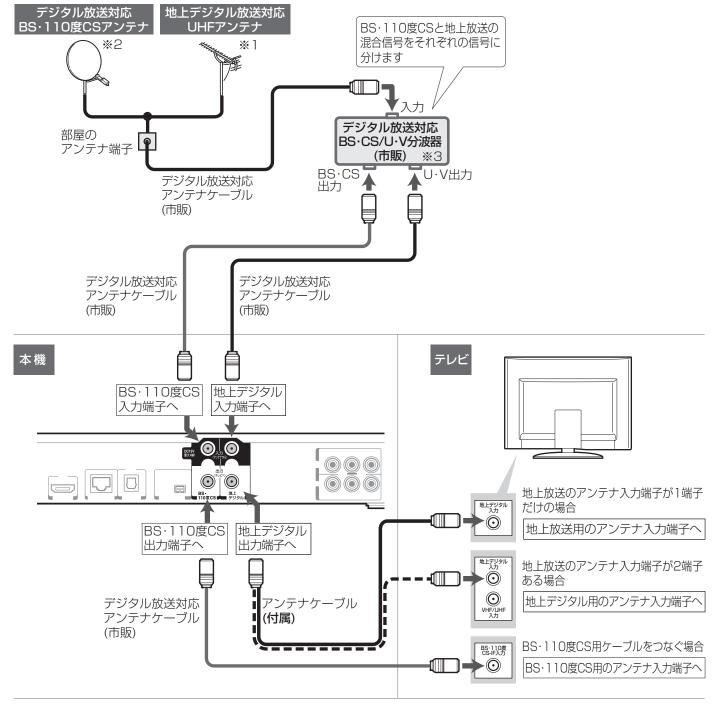
これで準備(接続)は終わりです。 引き続き、準備(基本設定) p.22 を行ってください。

接続1 アンテナ線をつなぐ

ご自宅のアンテナの状況に応じて、アンテナー本機ーテレビ間でアンテナ線をつないでください。

ケーブルテレビ(CATV)で受信している場合は

p.16「ケーブルテレビ(CATV)で受信しているときは」をごらんになり、接続してください。

- デジタル放送用のアンテナやケーブル、プラグは、デジタル放送対応のものをお使いください。
  アンテナ線の加工が必要な場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
- 受信する放送の種類によっては、BS･CS/U･V分波器(市販品)が必要です。
- BS･110度CSデジタル放送を受信しない場合は、BS･CS関連のケーブルやBS･CS/U･V分波器の接続は不要です。
- 本機で受信できる地上放送は、地上デジタル放送だけです。(地上アナログ放送は受信できません。)

地上デジタル放送とBS･110度CSデジタル放送のアンテナ線が、別々に部屋まで来ている場合

- **電源コードは、すべての接続が終わったあとでつなぎます。**

※1　地上デジタル放送の放送局によって放送を受信するUHFアンテナの向き（放送電波の中継基地）が異なる場合や、VHFアンテナだけで受信している場合は、別途地上デジタル放送対応のUHFアンテナを設置してください。アンテナの設置状況が原因で地上デジタル放送の全部または一部が受信できない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。（または、「総務省 地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター（地デジコールセンター）」にご相談ください。p.45）

※2　BS・110度CSアンテナは、方向や角度がわずかでもずれると放送が映りません。調整のしかたは、アンテナの取扱説明書をごらんください。

※3　分波器（市販）には、ケーブル一体型のものもあります。お買い求めになるときにどのタイプの分波器を選べば良いかわからないときは、お買上げの販売店にご相談ください。

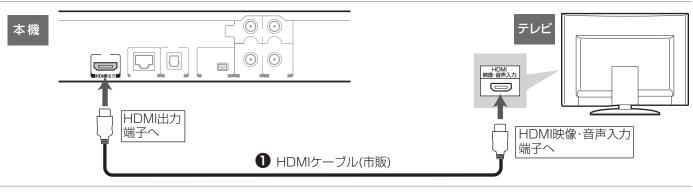
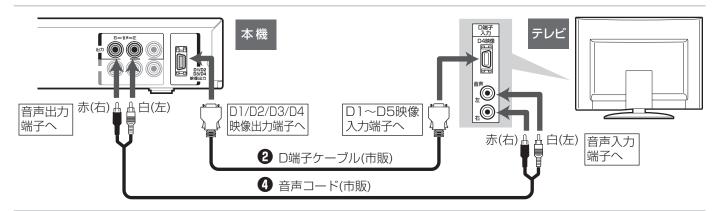
マンションなどで、地上デジタルとBS・110度CSデジタル放送のアンテナ線が、1つになって部屋まで来ている場合

● 電源コードは、すべての接続が終わったあとでつなぎます。

接続2 映像・音声のコードをつなぐ

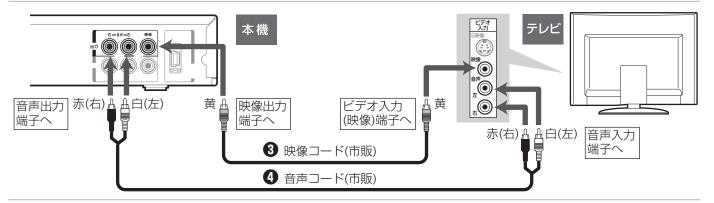
本機には映像、音声のケーブル・コードは付属しておりません。
テレビの接続端子に合わせて、お買上げの販売店でご購入ください。

高画質 ↑ 従来の画質

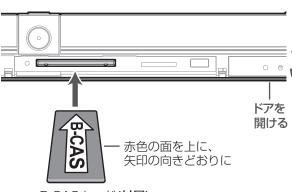
- **HDMI入力端子付きテレビとつなぐとき ……… ❶ だけをつなぎます。**
  映像・音声信号をケーブル1本でつなぐことができ、高画質・高音質な再生が楽しめます。
  また、ハイビジョン対応テレビと接続すると、デジタル放送のHD放送をハイビジョン画質で楽しむことができます。
  REALINK 当社製のREALINK(リアリンク)対応テレビと接続すると、REALINK機能が使えます。p.166
- **D映像入力端子付きテレビとつなぐとき ……… ❷ と ❹ をつなぎます。**
- **映像、音声コードだけでつなぐとき ………… ❸ と ❹ をつなぎます。**

HDMI入力端子付きテレビとつなぐとき

- **電源コードは、すべての接続が終わったあとでつなぎます。**

D映像入力端子付きテレビとつなぐとき

- **電源コードは、すべての接続が終わったあとでつなぎます。**

- HDMIケーブルは、HDMI規格に準拠したHDMIロゴのあるHigh Speed HDMI™ケーブル(市販)をご使用ください。
- HDMIケーブルは、コネクター部の大きさや形状によって接続できないことがあります。
- 本機のHDMI出力端子は、DVI入力端子付きディスプレイモニターやDVI−HDMIケーブルには対応していません。
  HDMI入力端子付きディスプレイモニターの場合は、HDMI規格に準拠していれば利用できます。
- 本機とテレビをD端子ケーブルで接続したときは、
  - 準備完了後、テレビのD映像端子に合わせてp.152、153“セットアップ”画面の“接続テレビ設定”－“HDMI/D端子優先設定”、“D端子解像度設定”の設定を変更してください。
  - BDビデオ、DVD-RW(AVCREC)/-R(AVCREC)、ディスク→本体(HDD)へダビングしたコンテンツを再生するときは、“接続テレビ設定”－“D端子解像度設定”が“D1”になります。
  - 映像コードはつながないでください。両方つなぐと、テレビによっては映像が乱れることがあります。
- 本機とテレビを直接つながず、ビデオやセレクターなどを経由してつなぐと、コピーガードにより正常な画像にならないことがあります。

映像・音声コードでつなぐとき

● 電源コードは、すべての接続が終わったあとでつなぎます。

接続3 B-CAS(ビーキャス)カードを入れる

本機でデジタル放送を見るためには、B-CASカード(付属)が必要です。
現在はデジタル放送をごらんにならない場合でも、紛失防止のためにB-CASカードを入れておくことをおすすめします。

B-CASカードの入れかた

● **B-CASカードの抜き差しは、必ず本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いて行ってください。**

B-CASカード**(付属)**
(台紙に貼り付けてあります)

● **電源コードは、すべての接続が終わったあとでつなぎます。**

気を付けて

- 本機を使用中は、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- 本機専用のB-CASカード以外のものを入れないでください。故障や破損の原因になります。

ちょっとメモ

- B-CASカードに個人情報が書き込まれることはありません。
- B-CASカードをテストするときは p.41

1 B-CASカードの絵柄表示面を確認して挿入口方向に合わせ、奥まで(止まるまで)まっすぐ差し込む

- 裏向きや逆方向に入れないでください。入れる方向を間違うと、B-CASカードは機能しません。

B-CASカードを抜く必要があるときは

カードをゆっくり引き抜いてください。
- B-CASカードにはIC(集積回路)が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

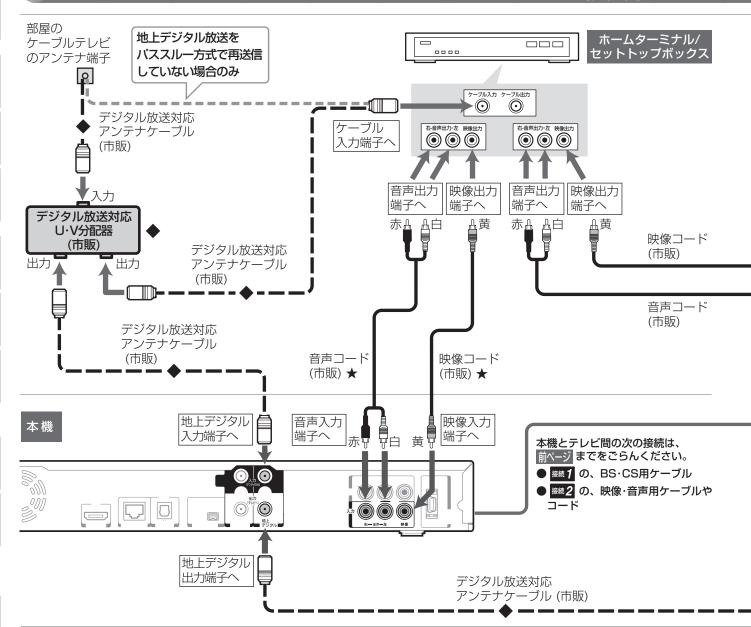
B-CASカードの取り扱いについて

- 付属のB-CASカードの台紙に記載されている文面をよくお読みください。
- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- IC(集積回路)部には、手を触れないでください。
- 分解・加工をしないでください。

B-CASカードについてのお問い合わせ

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
カスタマーセンター
TEL：0570-000-250
(IP電話からの場合は　045-680-2868)
受付時間：10：00 ～ 20：00（年中無休）
http://www.b-cas.co.jp/　(2011年4月現在)

接続4 ケーブルテレビ(CATV)で受信しているときは

放送をケーブルテレビ(CATV)で受信していますか？

いいえ ここの接続は不要です。次の接続へ。

ケーブルテレビ(CATV)の放送はサービスの行われている地域でのみ受信でき、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。

- **ケーブルテレビ会社によって仕様や接続方法、受信できる放送が異なりますので、くわしくはケーブルテレビ会社にご相談ください。**
- コピーガードやスクランブルのかかった有料番組を視聴・録画するためには、ケーブルテレビ会社専用のホームターミナルやセットトップボックスが必要です。接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

ケーブルテレビのホームターミナル/セットトップボックスとの接続例

- **電源コードは、すべての接続が終わったあとでつなぎます。**

- 本機にケーブルテレビの(CATV)のホームターミナル/セットトップボックスや外部チューナーなどを接続して、L1入力でコピー制限のある番組を録画する場合は、著作権保護の規定により、DVD-RW(AVCREC)/-R(AVCREC)にダビングすることはできません。この場合は、BD-RE/-RまたはCPRM対応のDVD-RW(VR)/-R(VR)にダビングすることをおすすめします。

- **地上デジタル放送を受信するときは（地上アナログ放送は、本機では受信できません）**
  ご契約のケーブルテレビ会社がパススルー方式に対応している場合は、ケーブルテレビ会社専用のホームターミナルやセットトップボックスを経由せずに、本機で地上デジタル放送が直接受信できます。この場合は、番組表も利用できます。（パススルー方式は、ケーブルテレビ会社が地上デジタル放送を再送信する伝送方法です。）
- **BS・110度CSデジタル放送を受信するときは**
  BS・110度CSアンテナを本機に接続して本機で受信するか、ケーブルテレビ会社専用のホームターミナル/セットトップボックスを経由して受信します。

◆印の接続は、ケーブルテレビで地上デジタル放送をパススルー方式で再送信している場合にだけ接続してください。

ビデオ入力(映像)端子へ

黄

白

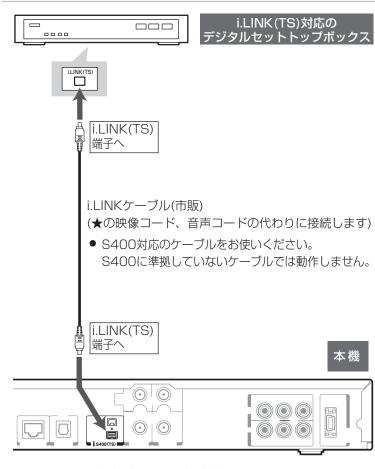
赤

音声入力端子へ

テレビ

地上デジタル放送用のアンテナ入力端子へ

地上放送のアンテナ入力端子が1端子だけの場合

地上放送のアンテナ入力端子が2端子ある場合

i.LINK(TS)端子で接続するときは

セットトップボックスがi.LINK(TS)に対応している場合は、セットトップボックスと本機を映像コード・音声コード(左記の★印)で接続する代わりにi.LINKケーブルで接続すると、ケーブルテレビ側で受信している番組を予約して、本機で録画予約することができます。(本体にのみ録画できます。)

- ハイビジョン画質でそのまま録画できます。

これ以外の接続は、左の接続例をごらんください。

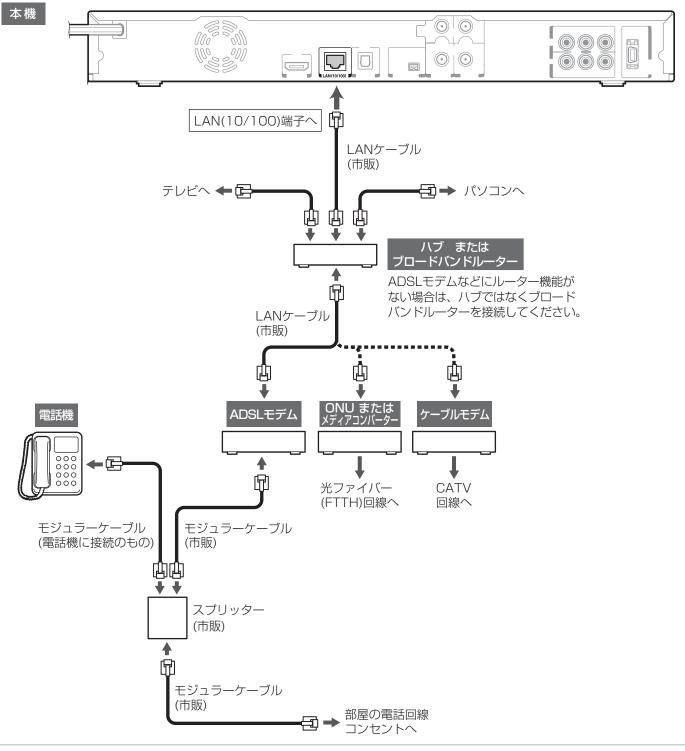
● **電源コードは、すべての接続が終わったあとでつなぎます。**

気を付けて

- 地上/BS/110度CSデジタル放送をケーブルテレビのホームターミナルやセットトップボックス経由で録画したときは、HD放送でも標準画質で録画されます。(i.LINKケーブルで接続しているときは、ハイビジョン画質で録画できます。)
- 本機のi.LINK(TS)端子に接続できる機器は、ケーブルテレビのセットトップボックス1台だけです。

接続5 ネットワークにつなぐときは

デジタル放送のデータ放送との双方向通信やネットワークなどを、ブロードバンド回線経由で利用しますか？

はい

いいえ ここの接続は不要です。次の接続へ。

ブロードバンド環境をお持ちの場合は、本機のLAN 端子を使用することにより、一層充実したデータ放送サービスを楽しんだり、ネットワークを利用したりすることができます。

サービスの詳細は、各放送局にお尋ねください。

ネットワークの接続例

● 電源コードは、すべての接続が終わったあとでつなぎます。

ネットワーク接続時の注意事項

すでにブロードバンド環境をお持ちの場合は

- 次のことをご確認ください。
  - 回線業者やプロバイダーとの契約
  - 必要な機器の準備
  - ADSLモデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定
- 回線の種類や回線業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。
  ADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブの取扱説明書も合わせてごらんください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。
  パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- 必ず電気通信事業法に基づく認定品ルーター等に接続してください。
- ADSL回線をご利用の場合は
  - ブリッジ型ADSLモデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター(市販)が必要です。
  - USB接続のADSLモデムなどをお使いの場合は、ADSL事業者にご相談ください。
  - プロバイダーや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
  - ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL事業者やプロバイダーにお問い合わせください。
  - ADSLの接続については専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。
- CATV(ケーブルテレビ)回線をご利用の場合は
  - 接続方法などご不明な点については、ケーブルテレビ会社へお問い合わせください。
- FTTH(光ファイバー)回線をご利用の場合は
  - 接続方法などご不明な点については、プロバイダーや回線業者へお問い合わせください。

ブロードバンド環境をお持ちでない場合は

- プロバイダーおよび回線業者と別途ご契約(有料)する必要があります。
  くわしくは、プロバイダーまたは回線業者にお問い合わせください。

気を付けて

- 本機をLAN接続したときは、p.32でLAN端子を接続したときの設定が必要です。
- LANケーブルは、10BASE-T/100BASE-TXタイプのものをご使用ください。
- LANケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があり、モデムやルーターなどの種類によって使用するものが異なります。くわしくは、モデムやルーターの取扱説明書をごらんください。

ちょっとメモ

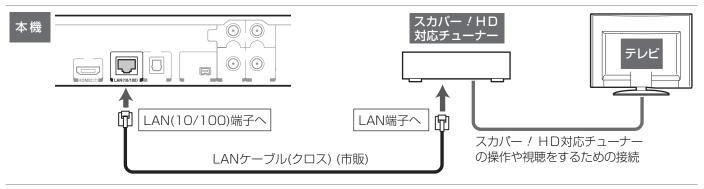
- LAN接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LANケーブルとアンテナケーブルを離してみてください。
- ブロードバンドルーターなどの設定で本機のMACアドレスが必要な場合は、“ネットワーク設定 2/2”画面で確認できます。p.33
- パソコンや外出先などから本機を遠隔操作することはできません。

接続6 スカパー！HD対応チューナーをつなぐときは

スカパー！HD対応チューナーをつないで、「スカパー！HD録画」をしますか？

本機は、「スカパー！HD録画」に対応しています。

はい

いいえ ここの接続は不要です。次の接続へ。

本機で「スカパー！HD録画」をするためには、スカパー！HD対応チューナーとLAN接続する必要があります。
スカパー！HD対応チューナーの設定方法については、スカパー！HD対応チューナーの取扱説明書をごらんください。

スカパー！HD対応チューナーとの接続例

本機からは、スカパー！HD対応チューナーの操作や視聴はできません。
チューナーの操作や視聴をするために、チューナーとテレビの接続も行ってください。（接続のしかたは、チューナーまたはテレビの取扱説明書をごらんください。）

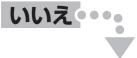
直接接続する場合

● **電源コードは、すべての接続が終わったあとでつなぎます。**

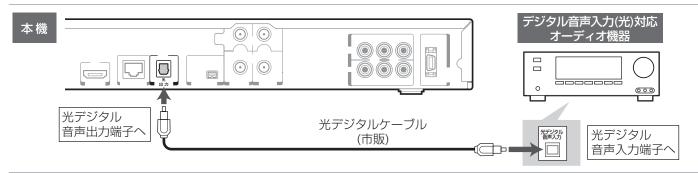
ブロードバンドルーター経由で接続する場合

● **電源コードは、すべての接続が終わったあとでつなぎます。**

気を付けて

- 接続後は、本機のネットワーク設定p.32と、スカパー！HD対応チューナーのネットワーク設定を行ってください。
- 本機とデジタル放送用アンテナとの接続も行ってください。本機は録画予約に必要な時刻設定をデジタル放送から取得しています。
- LANケーブルは、カテゴリー5以上のものをご使用ください。また、LANケーブルの種類（ストレートケーブルとクロスケーブル）を間違って接続しないよう、お気を付けください。
- PPV（ペイ・パー・ビュー）の番組を録画する場合は、スカパー！HD対応チューナー側で電話回線の接続などが必要です。くわしくは、スカパー！HD対応チューナーの取扱説明書をごらんください。

接続7 オーディオ機器をつなぐときは

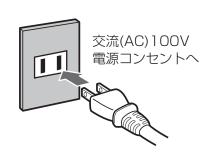
デジタル音声入力対応のオーディオ機器をつなぎますか？

はい

いいえ ここの接続は不要です。次の接続へ。

デジタル音声入力対応のオーディオ機器と接続すると、デジタル放送のマルチチャンネル音声などを楽しむことができます。

デジタル音声入力(光)ケーブル(市販)で接続するとき

● 電源コードは、すべての接続が終わったあとでつなぎます。

「本機」－「HDMI対応アンプ」－「テレビ」をHDMIケーブル(市販)で接続すると
PCM7.1ch対応のアンプと接続すると、BDビデオの7.1ch音声を楽しむことができます。また、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HDの各音声をデコードできるアンプと接続すると、それぞれの音声を楽しむことができます。
この接続をした場合、テレビから音声が出ないことがありますので、アンプに接続したスピーカーなどから出力してください。くわしくは、AVアンプやテレビの取扱説明書をごらんください。

HDMIケーブルは、HDMIロゴのあるHigh Speed HDMI™ケーブル (市販) をお使いください。

気を付けて

● **本機とデジタル音声入力対応のオーディオ機器やHDMI対応アンプなどを接続したときは、準備完了後、接続機器に合わせて p.154 “セットアップ”画面の“音声出力設定”の設定を変更してください。**
正しく設定しないと、音声にノイズが発生したり音が出なくなることがあります。

接続8 電源コードをつなぐ

すべての接続が終わったら、電源コードをつなぐ

電源プラグを交流(AC)100Vの電源コンセントに差し込むと、本機が通電状態になり、本体表示部に “WAIT” が表示されます。
“WAIT” の表示中は、本機の操作はできません。
表示が消えると、本機の操作ができるようになります。

これで、準備(接続)は終わりです。引き続き、準備(基本設定)を行ってください。

気を付けて

● **本機の電源コードを電源コンセントから抜くと、テレビの映りが悪くなったり映らなくなったりすることがあります。その場合は、本機の電源コードを常に電源コンセントに差し込んで(通電状態にして)おいてください。**

各部 / 準備(接続) / 準備(設定) / テレビ放送 / メディア / 録る / 見る / 編集消去 / 取り込む残す / 便利機能 / 安全注意 / 仕様 / 困ったとき

準備(基本設定)の進めかた

重要

- **チャンネルの設定などは、知識・技術・経験が必要です。お買上げの販売店に依頼されることをおすすめします。**
  費用については、お買上げの販売店にご相談ください。
- **ご自分で準備をされる場合は、知識・技術・経験をお持ちの方が下の作業流れ図に従って行ってください。**

設定 1 **リモコンに乾電池を入れます** p.23

▼

設定 2 **らくらく設定をします** p.24

地域設定、地上デジタル放送のチャンネルの自動設定、BS・110度CSアンテナの設定を行います。

▼

(必要に応じて) **設定 3** 地上デジタル放送で映りが悪いチャンネルがあるときは
BS・110度CSアンテナの向きを調整する必要があるときは
デジタル放送のアンテナの設定を変更します p.28

▼

(必要に応じて) **設定 4** **デジタル放送のチャンネルの設定を変更します** p.30

▼

(必要に応じて) **設定 5** LAN端子を接続しているときは、**ネットワークの設定をします** p.32

▼

(必要に応じて) **設定 6** 地上デジタル放送のチャンネル設定を行わなかったときのみ、**時計を設定します** p.35

▼

(必要に応じて) **設定 7** 当社ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーを2台以上お使いのときは、
本機のリモコンモードを設定します p.36

▼

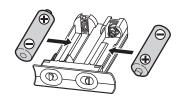
(必要に応じて) **設定 8** 本機のリモコンでテレビの操作ができるようにするときは、**テレビメーカーの設定をします** p.37

▼

これで準備(基本設定)は終わりです。

ちょっとメモ

- 引っ越しなどで、らくらく設定をやり直すときは ••▶ p.27
- 地上デジタル放送のチャンネルの設定をやり直すときは ••▶ p.30
- 番組表(Gガイド)の設定をするときは ••▶ p.38
- 受信しない放送を操作できないようにするときは ••▶ p.41
- 天気予報などお住まいの地域の情報が、データ放送で正しく受信できないときは（地域設定の変更） ••▶ p.41
- デジタル放送がうまく受信できないときなど、B-CASカードの動作を確認したいときは ••▶ p.41
- ダウンロード設定の変更を行うときは ••▶ p.42

設定1 リモコンに乾電池を入れる

乾電池の入れかた

1 テレビ操作面を上面にして、リモコン底面の電池ボックスを取り外す

2 （－）側を先に入れたあと、（＋）側を入れる

単4のマンガン乾電池（R03）2本をお使いください。

3 電池ボックスを取り付ける

カチッと音がするまで、確実に押し込んでください。

吊りひも（ストラップ）を取り付けるときは

吊りひもを取り付ける場合は、リモコン底面の吊りひも取り付け部に吊りひもを通してご使用ください。

- ひもは、太さ1mm程度の丈夫なものをご使用ください。

⚠警告

乾電池および乾電池の入ったリモコンは、直射日光の当たるところや熱器具、直火のそばなど温度が上がるところに置かない。

気を付けて

- **乾電池が完全に入らない状態で使うと、乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。**
- **新・旧の乾電池や種類の違う乾電池（マンガン、アルカリ）を混ぜて使用しないでください。**
  乾電池の液もれ・発熱・破裂により、火災・けが・周囲の汚損の原因となることがあります。
- 乾電池の寿命は、通常の使用で約6カ月です。
  リモコンの使用距離が短くなってきたときや、一部のボタンを押しても動作しなくなってきたときは、乾電池が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- オキシライド乾電池、エボルタ乾電池などは、リモコン誤動作の原因となりますので使用しないでください。
- 不要となった乾電池は、不燃物ごみとして処理するか、お住まいの地域の条例に従って処理してください。
- 本機のリモコンで本機を操作する場合、リモコンからの信号は送信部Ⓐから水平方向に、Ⓑから下方向に同時に送信されます。
  このため、Ⓑは下向きになっています。

  送信部に力が加わると故障の原因になりますので、送信部を直接指などで押さないようにしてください。
  - 本機のリモコンでテレビを操作する場合は、リモコンからの信号は送信部Ⓐからのみ送信され、Ⓑからは送信されません。
- リモコンの上に重いものを乗せたり、踏みつけたりすると外傷には至らない場合でも、内部の基板が割れるなどの故障の原因となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。

- リモコンを振ったり動かしたりすると内部で音がしますが、故障ではありません。

各部 準備（接続） 準備（設定） テレビ放送 メディア 録る 見る 編集消去 残す取り込む 便利機能 安全注意 仕様 困ったとき

設定2 らくらく設定をする

接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、テレビ画面にらくらく設定画面が表示されます。画面の案内やガイドに従って、次の順で設定してください。
1. らくらく設定画面を表示させる
2. 地域設定をする
3. 地上デジタル放送のチャンネルを設定する
4. BS･110度CSアンテナの設定をする
5. 高速起動の設定をする
6. REALINK(リアリンク)の設定をする
7. らくらく設定を終了する

前の画面に戻るときは
戻る を押す

通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

らくらく設定をする

1. らくらく設定画面を表示させる

1-1
- **テレビの電源を入れる**
- **テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える**

1-2 本機の電源を入れる

- らくらく設定の開始画面が表示されます。
- らくらく設定の開始画面が表示されないときは、次のことを確認してください。
  - アンテナー本機ーテレビをつないでいますか。
  - コードをつなぎ間違えたり、抜けたり抜けかかったりしていませんか。
  - テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換えていますか。

1-3 “開始”が選ばれているので、そのまま決定する

らくらく設定をしないときは
[◀、▶]で“設定しない”を選んで決定したあと、注意事項を確認して 決定 を押すと、らくらく設定が終了します。
らくらく設定をしない場合は、必ず時計を合わせてください。p.35
(時計を合わせないと、録画予約ができません。)

1-4 確認画面の表示内容を確認し、準備が済んでいれば決定する

付属の「かんたん準備ガイド」で、必要な接続などをご確認ください。
準備がお済みでない場合は、一旦電源を切り、準備を終えた後、再度電源を入れてください。

以下の準備はお済みですか？
・アンテナ線の接続
・B-CASカードの挿入

よろしければ、決定ボタンを押してください。

- 地域設定画面が表示されます。

アンテナ線の接続が済んでいない場合は
いったん本機の電源を切り、電源コードを抜いてください。そのあと、アンテナ線を接続してください。p.12

“B-CASテストを行います”という画面が表示されるときは
B-CASカードが正しく挿入されていません。
p.15でB-CASカードの挿入を確認し、決定 を押してください。
“OK”が表示されたときは、決定 を押して次の手順に進んでください。
“NG”が表示されたときは、デジタル放送を視聴･録画できません。
“いいえ”を選んで決定し、次の手順に進んでください。

次は、●●▶ 手順 2-1 へ

気を付けて
- らくらく設定は、必ずアンテナが接続された状態で放送のある時間帯に行ってください。チャンネルがとばされるように設定されて、選べなくなります。
- らくらく設定中は、電源コードを抜いたり電源を切らないでください。
- 転居でお住まいの地域が変わったときなど、らくらく設定をやり直したいときは ●●▶ p.27

2. 地域設定をする

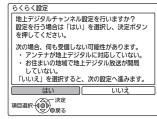
2-1 お住まいの地域の郵便番号を入力し、決定する

入力を間違えたときは、黄 を押します。

2-2 お住まいの都道府県を確認し、決定する

変更したいときは
[◀、▶]で都道府県を選んで決定します。

- 伊豆、小笠原諸島地域は、“東京都島部”を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は、“鹿児島県島部”を選びます。

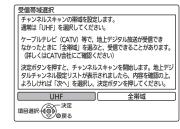
2-3 お住まいの地域の市外局番を入力し、決定する

- 地上デジタル放送のチャンネル設定画面が表示されます。

入力を間違えたときは、黄 を押します。

次は、●●▶ 手順 3-1 へ

3. 地上デジタル放送のチャンネルを設定する

3-1 “はい”が選ばれているので、そのまま決定する

地上デジタル放送のチャンネルを設定しない場合は
[◀、▶]で“いいえ”を選び、決定します。
（そのあとは ●●▶ 手順 4-1 へ）

3-2 お住まいの地域を選び、決定する

3-3 “UHF”または“全帯域”を選び、決定する

UHF ‥‥通常はこちらを選んでください。
全帯域‥‥ケーブルテレビ（CATV）をお使いの場合で、地上デジタル放送がパススルー方式で再送信されているとき。

- チャンネルスキャンが始まり、お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルが自動的に設定されます。
  設定が終わると、画面に一覧が表示されます。（設定が終わるまで、10分程度かかることがあります。）

●●▶ 次ページへつづく

- 手順 3-1 で“いいえ”を選んで設定しなかった場合は、らくらく設定終了後、必ず時計を合わせてください。p.35
  （時計を合わせないと、録画予約ができません。）

らくらく設定をする（つづき）

3-4 設定内容を確認したあと、
“次へ”が選ばれているので、そのまま決定する

地上デジタルチャンネル設定

Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKEテレ東京	テレビ
3	----	----	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ
6	061	TBS	テレビ
7	071	テレビ東京	テレビ
8	081	フジテレビジョン	テレビ
9	091	東京MXテレビ	テレビ
10	----	----	
11	----	----	
12	121	放送大学	テレビ

修正確認
修正する　次へ
項目選択　決定

● 衛星アンテナ（BS・110度CSアンテナ）の設定画面が表示されます。

“UHF”を選んで設定すると、一覧の“CH”や“チャンネル名”が“－－－－”になって、設定ができないチャンネルがあるときは

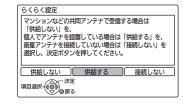
1 決定 を押して、次の手順 4-1 の画面を表示する

2 戻る を押して、手順 3-1 の画面に戻す

3 もう一度、手順 3-1 ～ 3-4 を行う
手順 3-3 のときに“全帯域”を選んでください。

地上デジタル放送のチャンネルを修正したいときは
らくらく設定終了後に修正してください。p.31

次は、手順 4-1 へ

4. BS・110度CSアンテナの設定をする

4-1 決定 を押す

らくらく設定
衛星アンテナの電源を設定します。
次の画面でアンテナの接続状況を確認しますので、画面の指示に従って、アンテナの電源を設定してください。
決定ボタンを押してください。
次へ
戻る

4-2 BS・110度CSアンテナの種類を選び、決定する

供給しない
- 他の機器（テレビなど）からBS・110度CSアンテナへ電源を供給しているとき。
- マンションなどで共同受信しているとき。
- ケーブルテレビ（CATV）で受信しているとき。

“受信設定”（衛星）画面の“アンテナ電源”が“切”に設定され、本機からBS・110度CSアンテナへ電源を供給しません。この場合、他の機器からBS・110度CSアンテナへ電源が供給されていないとき（他の機器が通電状態になっていないなど）は、本機でBS・110度CSデジタル放送を視聴・録画することはできません。

供給する
- 本機とBS・110度CSアンテナを直接つなぎ、他の機器（テレビなど）からBS・110度CSアンテナへ電源を供給していないとき。

“受信設定”（衛星）画面の“アンテナ電源”が“入”に設定され、本機からBS・110度CSアンテナへ電源を供給します。

接続しない
- BS・110度CSアンテナを接続していないとき。

設定をしません。（そのあとは ●●▶ 手順 5-1 へ）

4-3 確認画面で正しく設定されたことを確認したあと、
決定 を押す

正しく設定されていないときは
［◀、▶］で“再設定”を選び、決定すると手順 4-2 の画面に戻りますので、もう一度設定してください。

再設定をしても正しく設定できない場合は、“次へ”を選んで決定し、次の手順に進んでください。

次は、手順 5-1 へ

5. 高速起動の設定をする

高速起動については ●●▶ p.152

5-1 高速起動するかどうかを選び、決定する

設定する
- 起動時間を高速化したいとき。

※ i.LINK（TS）入力から録画・録画予約するとき。
※ スカパー！HD対応チューナーから「スカパー！HD録画」するとき。
　※：必ず“設定する”に設定してください。

高速起動が「入」になり、電源が切の状態から起動して（本機の電源が入になって）から本機が使用可能になるまでの時間を高速化します。

設定しない
起動時間を高速化しないとき。

高速起動が「切」になります。

次は、●●▶ 手順 6-1 へ

6. REALINK（リアリンク）の設定をする

REALINK（リアリンク）機能については ••▶ p.166

6-1 REALINK（リアリンク）機能を有効にするかどうかを選び、決定する

らくらく設定

リンク制御の設定を行います。設定すると
・テレビのリモコンで、本機の主な操作（再生など）をすることができます。
・本機の主な操作をするとき、テレビに自動で本機の画面を表示し、入力切換の手間を省きます。
（テレビ側もリンク使用可能な設定にしてください。）
リンク制御をお使いになりますか？
お使いになる場合は「設定する」を選んで、決定ボタンを押してください。
お使いにならない場合は「設定しない」を選んで、決定ボタンを押してください。

設定する　設定しない

項目選択 決定 戻る

設定する ······ REALINK機能を有効にする（使用する）とき。
設定しない ···· REALINK機能を無効にする（使用しない）とき。

次は、手順 7-1 へ

7. らくらく設定を終了する

7-1 確認事項を確認し、 を押す

7-2 決定 を押して、終了する

らくらく設定（終了）
らくらく設定はこれで終わります。
決定ボタンを押してください。
終了

これで、らくらく設定は終わりです。

● 追加のメッセージが表示されるときは、メッセージに従って必要な接続や設定を行ってください。

引っ越しなどで、らくらく設定をやり直すときは

1
● **本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる**
● **テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える**
● **本機がらく楽モード（本体前面の らく楽モード が点灯）になっているときは、通常モードに切り換える**
ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。

2 “らくらく設定”画面を表示する

1 停止中に、通常メニュー画面を表示する

2 “設定・管理”を選び、決定する
⬇
“放送関連の設定”を選び、決定する

（繰り返し）

3 “らくらく設定”で、そのまま決定する

3 p.24 からの手順 1-4 ～ 7-2 を行い、らくらく設定をする

● **手順 3-1 のときに、設定変更確認画面が表示されます。**

地上デジタルチャンネル設定を変更しますか？
変更する場合は「はい」を選択して決定ボタンを押してください。
「いいえ」を選択すると、変更せずに次の設定を行います。
はい　いいえ

［◀、▶］で“はい”を選んで 決定 を押し、次の手順に進んでください。

設定後、必要に応じて各種設定を変更してください。

ちょっとメモ
● 手順 4-3 で再設定をしても正しく設定できない場合は、アンテナの向きや受信環境に問題があると考えられますので、お買上げの販売店にご相談ください。

● 手順 5-1 で高速起動を“設定する”（高速起動「入」状態）にすると、内部の制御部が通電状態になるため、“設定しない”（高速起動「切」状態）のときと比較して待機時消費電力が増えます。

設定3 デジタル放送のアンテナの調整をするときは

地上デジタル放送で映りが悪いチャンネルはありますか？
BS・110度CSデジタルアンテナの向きを調整する必要がありますか？
(本機にBS・110度CSアンテナを直接つないでいる場合のみ)

いいえ ●●● ここの設定は不要です。次の設定へ。

地上デジタル放送の“受信設定”画面の“アッテネーター”（受信の強弱)の切り換えの設定を変更すると、状況が改善されることがあります。

BS・110度CSデジタル放送の“受信設定”画面でアンテナレベルを確認しながら、アンテナの向きを調整することができます。
(マンションなどの共用アンテナやケーブルテレビ(CATV)をご利用の場合は、この調整は不要です。)

☞ 前の画面に戻るときは
戻る を押す

☞ 通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

“受信設定”画面を表示する

1
- 本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える
- 本機がらく楽モード(本体前面の らく楽モード が点灯)になっているときは、通常モードに切り換える

ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。

2
【地上デジタル放送の調整をするときのみ】
地上デジタル放送の映りが悪いチャンネルを選局する

3 “受信設定”画面を表示する

1 停止中に、通常メニュー画面を表示する

メニュー
らく楽

2 “設定・管理”を選び、決定する
⬇
“放送関連の設定”を選び、決定する
⬇
“放送設置”を選び、決定する

(繰り返し)

メニュー	設定・管理	放送関連の設定
録る(番組表・予約)	セットアップ	らくらく設定
見る(再生)	放送関連の設定	放送設置
残す(ダビング)	メディア管理(初期化)	制限項目設定
取り込む(ダビング)		選局対象
設定・管理		ダウンロード設定
お知らせ		

- “放送設置 1/2”画面が表示されます。

3 “受信設定”を選び、決定する

放送設置 1/2
受信対象設定
チャンネル設定
番組表設定
地域設定
受信設定
B-CASカードテスト ーー
項目選択 決定 戻る

- “受信設定”画面が表示されます。

次は、●●▶ 次ページへ

使いかたに困ったときやおかしいな？と思ったときは ➡「故障かな？と思ったときは」、「こんなメッセージが表示されたときは」

地上デジタル放送の映りが悪いチャンネルを映りやすくするときは

1 前ページで“受信設定”画面を表示したあと、

“地上デジタル”が選ばれているので、そのまま決定する

受信設定
地上デジタル
衛星
項目選択 決定 戻る

2 “アッテネーター”の設定を“入”に変更する

1 “アッテネーター”を選ぶ

2 “入”を選ぶ

受信設定
アッテネーター 入 切
物理チャンネル選択 24CH
アンテナレベル
受信状況 ○○放送 受信中
受信レベル 現在 26 最大 30
項目選択 設定変更 戻る

- 受信の強弱が変更されます。（“入”にすると弱くなり、状況が改善されることがあります。）
- 地上デジタル放送はUHF放送の電波を使って送信されています。物理チャンネルとは、地上デジタル放送を実際に受信しているUHF放送のチャンネル（13～62CH）のことです。

地上デジタル放送用のアンテナレベルについて
この画面でアンテナレベルを確認しながら、UHFアンテナの向きを調整することができます。
この場合、アンテナレベルは「22」以上が目安です。

3 調整が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

BS･110度CSアンテナのアンテナレベルを表示するときは

1 前ページで“受信設定”画面を表示したあと、

“衛星”を選び、決定する

2 “アンテナ電源”が“切”になっているときは、“入”に変更する

- 本機からBS･110度CSアンテナへ電源を供給します。
- “アンテナ出力”は、テレビをつないでいるときは“入”にしておいてください。“切”にすると、本機の電源切時にテレビなどでBS・110度CS放送が受信できなくなります。
- “トランスポンダ選択”、“衛星周波数”は放送局からの案内がない限り変更しないでください。変更すると、視聴できなくなることがあります。

3 “現在”の数値が“最大”の数値に近づくように、アンテナの向きを調整する

- アンテナレベルは「22」以上が目安です。

4 調整が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

気を付けて

- **“アンテナ電源”の設定を“入”にしたときは、本機の電源コードを常に電源コンセントに差し込んで（通電状態にして）おいてください。**
- BS･110度CSアンテナのアンテナ線がショートすると、“アンテナ電源”の設定が自動的に“切”に切り換わることがあります。アンテナやアンテナ線を確認したあと、“アンテナ電源”の設定を“入”に切り換えてください。
- アンテナやアンテナ線の設置や工事、修理などについては、お買上げの販売店にご相談ください。

ちょっとメモ

- アンテナレベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質（信号と雑音の比率）を表しています。
数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。
また、地上デジタル放送では放送局や環境によって大きく変わることがあります。
- 1台のBS･110度CSアンテナを複数の機器で共用しているときは、アンテナ（ケーブル）を最初に接続している機器からBSアンテナ電源を供給してください。

設定4 デジタル放送のチャンネル設定を変更するときは

地上デジタル放送のチャンネル設定を変更する必要がありますか？

- 引っ越しなどで、地上デジタル放送の受信地域が変わったとき。……………▸ 初期スキャン
- 地上デジタル放送の電波状況が変わったとき。……………………………………▸ 再スキャン
- 地上デジタル放送のチャンネル割り当てを使いやすく変更したいとき。……▸ マニュアル

BS･110度CSデジタル放送のチャンネル設定を変更する必要がありますか？

- BS･110度CSデジタル放送のチャンネル割り当てを使いやすく変更したいとき、など。

はい

いいえ ●●● ここの設定は不要です。次の設定へ。

“チャンネル設定”画面で、デジタル放送のチャンネル設定を自動または手動で変更することができます。

☞ 前の画面に戻るときは
戻る を押す

☞ 通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

“チャンネル設定”画面を表示する

1

- **本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる**
- **テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える**
- **本機がらく楽モード(本体前面の らく楽モード が点灯)になっているときは、通常モードに切り換える**

ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。

2 **“チャンネル設定”画面を表示する**

1 **停止中に、通常メニュー画面を表示する**

メニュー らく楽

2 **“設定・管理”を選び、決定する**
⬇
“放送関連の設定”を選び、決定する
⬇
“放送設置”を選び、決定する

（繰り返し）

- “放送設置 1/2”画面が表示されます。

3 **“チャンネル設定”を選び、決定する**

- “チャンネル設定”画面が表示されます。

3 **設定を変更したい放送を選び、決定する**

“地上デジタル”を選んだとき
“設定方法選択”画面が表示されます。次は、●● 次ページへ

“BS”、“CS1”、“CS2”を選んだとき
チャンネル設定の一覧画面が表示されます。次は、●● 次ページへ

使いかたに困ったときやおかしいな？と思ったときは ➡「故障かな？と思ったときは」、「こんなメッセージが表示されたときは」

地上デジタル放送のチャンネル設定を全部やり直すときは（初期スキャン）

1 前ページで“設定方法選択”画面を表示したあと、
“初期スキャン”が選ばれているので、そのまま決定する

設定方法選択
設定を行う前に、地上波アンテナが接続されているか確認してください。次の場合、何も受信しない可能性があります。
・アンテナが地上デジタルに対応していない
・お住まいの地域で地上デジタル放送が開局していない
初期スキャン　再スキャン　マニュアル
項目選択　決定　戻る

2 **p.25の手順 3-2、3-3 を行い、チャンネルを自動設定する**

- チャンネルスキャンが始まり、お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルが自動的に設定されます。
  設定が終わると、画面に一覧が表示されます。（設定が終わるまで、10分程度かかることがあります。）

3 **設定内容を確認する**

4 **設定が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す**

地上デジタル放送の電波状況が変わったときに受信できる放送局を追加するときは（再スキャン）

1 前ページで“設定方法選択”画面を表示したあと、
“再スキャン”を選び、決定する

初期スキャン　再スキャン　マニュアル
項目選択　決定　戻る

- チャンネルスキャンが始まり、新たに受信できた放送局が自動的に追加されます。
  設定が終わると、画面に一覧が表示されます。（設定が終わるまで、10分程度かかることがあります。）

2 **設定内容を確認する**

3 **設定が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す**

地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送のチャンネル設定を手動修正するときは（マニュアル）

地上デジタル放送の場合は･････････････ 手順 1 ～ 3
BS・110度CSデジタル放送の場合は･･･手順 2、3
を行います。

1 **地上デジタル放送の場合のみ**
前ページで“設定方法選択”画面を表示したあと、
“マニュアル”を選び、決定する

初期スキャン　再スキャン　マニュアル
項目選択　決定　戻る

- 地上デジタル放送のチャンネル設定の一覧画面が表示されます。

2 **チャンネルを修正する**

1 **修正したいPoを選び、決定する**

- 選んだPoの“Po番号設定”画面が表示されます。

地上デジタルチャンネル設定

Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKEテレ東京	テレビ
3	-----	-----	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ
6	061	TBS	テレビ
7	071	テレビ東京	テレビ
8	081	フジテレビジョン	テレビ
9	091	東京MXテレビ	テレビ
10	-----	-----	
11	-----	-----	
12	121	放送大学	テレビ

青　赤　緑 入換　黄
項目選択　決定　戻る（終了）

Po（チャンネルポジション）
･･･選局するときの番号です。変更できません。
1～12は、選局するときに 1あ ～ 12＊ で直接選局することができる番号です。

2 **CHのチャンネル番号を修正する**

Po番号設定　1
CH　011
チャンネル名　NHK総合・東京
種類　テレビ
設定変更　戻る

CH（表示チャンネル）
･･･チャンネルを選局すると、画面や本体表示部に表示される番号です。
“－－－－”または“－－－”のチャンネルは未設定です。

3 **修正が終わったら、戻る を押す**

チャンネルの順番を入れ換えたいときは

1. 手順 1 のときに 緑 を押す
2. ［▲、▼］で入れ換えをしたいPoを選び、決定する
3. ［▲、▼］で入れ換え先のPoを選び、決定する
4. 入れ換えが終わったら、戻る を押す

3 **修正が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す**

設定5 ネットワークの設定をするときは

本機にLANケーブルを接続していますか？

はい

いいえ ●●● ここの設定は不要です。次の設定へ。

データ放送の双方向通信やネットワークなどをブロードバンド経由で利用したり、「スカパー！HD録画」をすることができます。
- プロバイダーとの契約時に提供された資料や接続する機器の取扱説明書を参考に、設定してください。
- スカパー！HD対応チューナーのネットワーク設定は、スカパー！HD対応チューナーの取扱説明書をごらんください。

前の画面に戻るときは
戻る を押す

通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

- **LAN端子に接続したあとや、“ネットワーク設定”、“ブラウザ設定”の各設定を変更したあとは、必ず接続テストを行ってください。**

“ネットワーク設定”画面、“ブラウザ設定”画面を表示する

1
- **本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる**
- **テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える**
- **本機がらく楽モード（本体前面の らく楽モード が点灯）になっているときは、通常モードに切り換える**
  ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。

2 “ネットワーク設定”画面または“ブラウザ設定”画面を表示する

1 停止中に、通常メニュー画面を表示する

メニュー らく楽

メニュー
- 録る（番組表・予約）
- 見る（再生）
- 残す（ダビング）
- 取り込む（ダビング）
- 設定・管理
- お知らせ

設定・管理
- セットアップ
- 放送関連の設定
- メディア管理（初期化）

放送関連の設定
- らくらく設定
- 放送設置
- 制限項目設定
- 選局対象
- ダウンロード設定

2 “設定・管理”を選び、決定する
⬇
“放送関連の設定”を選び、決定する
⬇
“放送設置”を選び、決定する（“放送設置 1/2”画面が表示されます）

（繰り返し）

3 “放送設置 2/2”画面を表示する

放送設置 2/2
- ネットワーク設定
- ブラウザ設定

項目選択 決定 戻る

4 【“ネットワーク設定”画面を表示するときは】
“ネットワーク設定”を選び、決定する

放送設置 2/2
- ネットワーク設定
- ブラウザ設定

項目選択 決定

- “ネットワーク設定 1/2”画面が表示されます。

ネットワーク設定 1/2

接続テスト	--
IPアドレス自動取得	する しない
IPアドレス	--.--.--.--
サブネットマスク	--.--.--.--
ゲートウェイアドレス	--.--.--.--
DNS-IP自動取得	する しない
プライマリDNS	--.--.--.--
セカンダリDNS	--.--.--.--

- このあと、[▲、▼]を押していくと、“ネットワーク設定 2/2”画面が表示されます。

ネットワーク設定 2/2

接続速度自動設定	入 切
接続速度設定	--
MACアドレス	00-00-00-00-00-00

次は、●● 次ページへ

【“ブラウザ設定”画面を表示するときは】
“ブラウザ設定”を選び、決定する

放送設置 2/2
- ネットワーク設定
- ブラウザ設定

項目選択 決定

- “ブラウザ設定”画面が表示されます。

ブラウザ設定

標準に戻す	
プロキシアドレス	
プロキシポート番号	0
ホームアドレス	http://portal.actvila.tv/

次は、●● p.34へ

ネットワークの接続状態を確認するときは（接続テスト）

1 前ページで“ネットワーク設定 1/2”画面を表示したあと、
“接続テスト”が選ばれているので、そのまま決定する

- 接続テストが始まります。（終わるまで、最大で約3分かかります。）

2 **接続テスト終了後に“OK”が表示されたら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す**

接続テスト終了後、“NG”が表示されたときは
戻る を押してメッセージを消し、接続を確認したあと、必要な設定を行ってください。

IPアドレスを取得するときは

通常は、“IPアドレス自動取得”を“する”に設定してお使いください。

1 前ページで“ネットワーク設定 1/2”画面を表示したあと、
“IPアドレス自動取得”を選び、“する”を選ぶ

手動で設定する必要があるときは
ルーターにDHCPサーバー機能がない場合や、ルーターのDHCPサーバー機能を使わないときは、次の設定を行ってください。

1. 上の手順 1 で“しない”を選ぶ
2. ［▲、▼］で“IPアドレス”に移動し、決定する
3. 1あ～10/0 で数値を入力し、決定 を押す
   - “IPアドレス”はパソコンと違った数値で、“サブネットマスク”と“ゲートウェイアドレス”はパソコンと同じ数値で設定してください。
   - 入力を間違えたときは、黄 を押します。
4. ［◀、▶］で確認画面の“はい”を選び、決定する
5. 手順 2. ～ 4. を繰り返し、“サブネットマスク”、“ゲートウェイアドレス”を設定する

2 **必要なすべての設定の変更が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す**

DNSのIPアドレスを取得するときは

通常は、“DNS-IP自動取得”を“する”に設定してお使いください。

1 前ページで“ネットワーク設定 1/2”画面を表示したあと、
“DNS-IP自動取得”を選び、“する”を選ぶ

手動で設定する必要があるときは
プライマリDNS、セカンダリDNSを手動で設定する必要がある場合のみ、次の設定を行ってください。

1. 上の手順 1 で“しない”を選ぶ
2. ［▲、▼］で“プライマリDNS”に移動し、決定する
3. 1あ～10/0 で数値を入力し、決定 を押す
   - “プライマリDNS”はパソコンの優先DNSサーバーと同じ数値を、“セカンダリDNS”はパソコンの代替DNSサーバーと同じ数値を設定してください。
   - 入力を間違えたときは、黄 を押します。
4. ［◀、▶］で確認画面の“はい”を選び、決定する
5. 手順 2. ～ 4. を繰り返し、“セカンダリDNS”を設定する

2 **必要なすべての設定の変更が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す**

接続速度を手動で設定するときは

通常は、“接続速度自動設定”を“入”に設定してお使いください。IPアドレス設定、DNS-IPアドレス設定のあと、接続テストを行ってNGが表示されたときは、次の設定を行ってください。

1 前ページで“ネットワーク設定 2/2”画面を表示したあと、
“接続速度自動設定”を選び、“切”を選ぶ

2 設定内容を確認したあと、
“接続速度設定”に移動し、速度を設定する

- 速度は、“10BASE半二重”、“10BASE全二重”、“100BASE半二重”、“100BASE全二重”から選ぶことができます。接続するネットワークの環境に合わせて選んでください。

3 **必要なすべての設定の変更が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す**

本機のMACアドレスを確認したいときは？

“ネットワーク設定 2/2”画面で確認することができます。

各部 / 準備（接続） / 準備（設定） / テレビ放送 / メディア / 録る / 見る / 編集消去 / 取り込む残す / 便利機能 / 安全注意 / 仕様 / 困ったとき

設定5 ネットワークの設定をするときは（つづき）

プロキシサーバーを設定するときは

本機をブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときは、次の設定を行ってください。
デジタル放送では、ブロードバンドを利用して番組以外のいろいろな情報（情報コンテンツ）を配信するサービスが一部開始されており、これらのサービスを利用する際に情報コンテンツを正しく表示させるための設定です。

1 p.32 で“ブラウザ設定”画面を表示したあと、プロキシアドレスを設定する

1 “プロキシアドレス”を選び、決定する

- “プロキシアドレス設定”画面が表示されます。

2 プロキシアドレスの文字（英字または数字）を入力する

- 文字の種類（英数、数字）を切り換えるときは、緑 で切り換え、決定 で決定します。
- 英字を入力するときは、“英数”のときに 2 かABC ～ 9 らWXYZ で入力し、決定 を押して決定します。
- 数字を入力するときは、“数字”のときに 1 あ ～ 10/0 で数値を入力します。
- 同じボタンで続けて入力するときは、[▶]を押してカーソルを1文字右へ移動します。
- 記号は、“英数”のときに 1 あ または 10/0 で入力します。（1 あ と 10/0 で入力できる記号が異なります。）
  “#”、“*”は、“数字”のときに 11 わ記号#、12 * を押します。
- カーソルを左右に移動するときは、[◀、▶]を押します。
- 入力中の文字を消去するときは、黄 を押します。

3 プロキシアドレスの入力が終わったら、決定 を押して決定する

- 確認画面が表示されます。

4 確認画面で“はい”を選び、決定する

- “ブラウザ設定”画面に戻ります。

2 プロキシポート番号を設定する

1 “プロキシポート番号”を選び、決定する

- “プロキシポート番号設定”画面が表示されます。

2 プロキシポート番号を入力し、決定する

1 あ ～ 10/0 ➡

- 確認画面が表示されます。
- 入力を間違えたときは、黄 を押します。

3 確認画面で“はい”を選び、決定する

- “ブラウザ設定”画面に戻ります。

3 設定が終わったら、通常画面に戻す

戻る （何回か押す）

工場出荷時の設定に戻すときは

1 p.32 で“ブラウザ設定”画面を表示したあと、“標準に戻す”で、そのまま決定する

2 確認画面で“はい”を選び、決定する

3 設定が終わったら、戻る を押し、通常画面に戻す

気を付けて

- 接続速度の設定を変更すると、機器によってはネットワークに接続できなくなることがあります。
- プロキシサーバーを設定すると、ネットワークの動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。設定する際には、プロバイダーに確認してください。

ちょっとメモ

- プロキシアドレスとは？
  ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを送る中継サーバーのアドレスです。
  プロバイダーから指定されるアドレスを入力します。（例：proxy_server.ne.jp）
- プロキシポート番号とは？
  プロキシアドレスと共に、プロバイダーから指定される番号です。（例：8000）

時計を合わせるときは

時計を合わせる必要がありますか？

本機のチャンネルでデジタル放送を受信できる状態のときは、時刻が自動で設定･修正されますので、ここの設定は不要です。

本機でデジタル放送を受信しないで「スカパー！ HD録画」だけ行う場合は、時刻が自動で設定･修正されませんので、時計を設定してください。

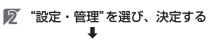
はい

いいえ ここの設定は不要です。次の設定へ。

“時刻設定”画面で設定します。

前の画面に戻るときは
戻る を押す

通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

時計を合わせるときは

1
- **本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる**
- **テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える**
- **本機がらく楽モード(本体前面の が点灯)になっているときは、通常モードに切り換える**

  ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。

2 “セットアップ”画面を表示する

1 停止中に、通常メニュー画面を表示する

メニュー らく楽

2 “設定・管理”を選び、決定する

↓

“セットアップ”で、そのまま決定する

メニュー	設定・管理
録る(番組表･予約)	セットアップ
見る(再生)	放送関連の設定
残す(ダビング)	メディア管理(初期化)
取り込む(ダビング)	
設定･管理	
お知らせ	

3 “時刻設定”を選び、決定する

- “時刻設定”画面が表示されます。

4 時計を合わせる

 (移動) (設定)

日時を設定します

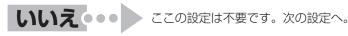
2011 年 3 月 18 日(金) PM 3: 15

選択・入力できたら、決定 を押してください。

- 午前は“AM”に、午後は“PM”に合わせます。
- 昼の12時は“PM0:00”に、夜の12時は“AM0:00”に合わせます。

5 時計を確定する

6 設定が終わったら、戻る を押し、通常画面に戻す

- 録画予約の設定があるときに時計を変更すると、正しく録画できないことがあります。

設定7 当社BD/DVDレコーダー 2台を別々に操作するときは

当社BD/DVDレコーダーを2台以上使いますか？

はい

いいえ ここの設定は不要です。次の設定へ。

本体とリモコンにそれぞれリモコンモードを設定することによって、本機のリモコンを操作するときに2台のレコーダーが同時に動かないようにすることができます。（工場出荷時の設定は、本体、リモコンとも「リモコン1」になっています。）

- 本機以外の当社レコーダーでリモコンモードを設定するときは、その機器の取扱説明書をお読みください。

リモコンモードを変更するときは（本体、リモコン）

先に本体のリモコンモードを変更したあと、リモコンのリモコンモードを本体に合わせて変更してください。

1 前ページの手順 1 、2 を行って、"セットアップ"画面を表示する

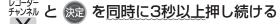
2 本体のリモコンモードを変更する

1 "リモコン設定"を選び、決定する

⬇

2 リモコンモードを選び、決定する

（繰り返し）

- リモコンで本機が操作できなくなります。

3 リモコンのリモコンモードを、本体に合わせる

【「リモコン1」にするとき】 レコーダーチャンネル ∧ と 決定 を同時に3秒以上押し続ける

【「リモコン2」にするとき】 レコーダーチャンネル ∨ と 決定 を同時に3秒以上押し続ける

- リモコンで本機が操作できるようになります。

4 変更が終わったら、 **を何回か押し、通常画面に戻す**

前の画面に戻るときは 戻る を押す

通常画面に戻るときは 戻る を何回か押す

お子様などが誤ってリモコンのボタンを押しても、本機が動作しないようにするときは

リモコンのリモコンモードを本体と異なる方のモードに変更します。（本体のモードは変更しません。）

再びリモコンで操作できるようにするときは、リモコンのリモコンモードを本体と同じモードに変更します。

気を付けて

- 本機のリモコンで、当社の他のBD/DVDレコーダー（DJ-R1000を除く）を操作することもできます。
  ただし、一部の機能の操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンで、DVDプレーヤーやビデオの操作をすることはできません。

ちょっとメモ

- 本体とリモコンのリモコンモードが異なる場合は、本機の電源が入のときにリモコンの操作をすると、本体表示部に次の表示が数秒間表示されます。
  R−1‥‥ 本体が「リモコン1」で リモコンが「リモコン2」のとき
  R−2‥‥ 本体が「リモコン2」で リモコンが「リモコン1」のとき

設定8 本機のリモコンでテレビを操作できるようにするときは

本機のリモコンでテレビを操作できるようにしますか？

はい

いいえ ●●● ここの設定は不要です。次の設定へ。

本機のリモコンに、テレビメーカーの設定をします。（工場出荷時の設定は、「三菱1」になっています。）

テレビ操作面

インジケーター ※

テレビ操作用ボタン

音量は、レコーダー操作面の[テレビ音量＋、−]ボタンで操作することもできます。

テレビメーカー設定ボタン

※ ボタンを押したとき、インジケーターが点灯します。
インジケーターが点灯しない場合は、リモコンから信号が送信されていませんので、操作面(ボタンを押す面)を上にして、もう一度操作してください。
テレビの操作をするときは、リモコンのボタンを押しても本体の報知音は鳴りません。

テレビメーカーの設定のしかた

下表の国内メーカーを設定することができます。

1 リモコンの「テレビ」操作面を上面にする

2 リモコンをテレビのリモコン受光部に向ける

3 テレビメーカー設定ボタンと数字ボタンを、同時に3秒以上押し続ける

メーカー	テレビメーカー設定ボタン	数字ボタン（複数ある場合はいずれか）
三菱	[三菱]	[1]、[2]、または [3]
三洋	[その他]	[4] または [5]
シャープ	[シャープ]	[1]、[2]、または [3]
ソニー	[ソニー]	[1]
東芝	[東芝]	[1]、[2]、または [3]
パイオニア	[その他]	[3]
パナソニック(松下)	[パナソニック]	[1]、[2]、または [3]
ピクセラ	[その他]	[1]
ビクター	[その他]	[2]
日立	[日立]	[1]
DXアンテナ	[DXアンテナ]	[1] または [2]

- テレビの電源が入／切できれば、設定は終わりです。

メーカー指定用の数字ボタンが複数あるときは
いずれかのボタンで指定しても電源が入/切できないときや、電源が入/切ができても一部の機能が操作できない場合は、他の数字ボタンで指定してみてください。

テレビを操作するときは

1 リモコンの「テレビ」操作面を上面にする

2 リモコンをテレビのリモコン受光部に向ける

3 テレビを操作する

- [オートターン]、[リンク操作]の各ボタンは、当社テレビ専用ボタンです。
テレビにその機能が搭載されているかどうかについては、テレビの取扱説明書をごらんください。

- テレビによっては、本機のリモコンではメーカー設定や操作ができないことがあります。（当社の14C-R1は操作できません。）
また、テレビメーカーの設定ができても、一部の機能が操作できないことがあります。

番組表(Gガイド)の設定をするときは

番組データの受信時刻を確認したり、“番組表設定”画面の設定内容を確認・変更することができます。

☞ 前の画面に戻るときは
戻る を押す

☞ 通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

“番組表設定”画面を表示する

1
- **本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる**
- **テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える**
- **本機がらく楽モード(本体前面の が点灯)になっているときは、通常モードに切り換える**
  ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。

2 **“番組表設定”画面を表示する**

1 **停止中に、通常メニュー画面を表示する**

2 **“設定・管理”を選び、決定する**
⬇
“放送関連の設定”を選び、決定する
⬇
“放送設置”を選び、決定する

 (繰り返し)

- “放送設置 1/2”画面が表示されます。

3 **“番組表設定”を選び、決定する**

- “番組表設定”画面が表示されます。

次は、●● ▶ 次ページへ

気を付けて

- 次のようなときは、番組データを受信できず、番組表が空欄になるか前回の内容が残ります。
  - 本機の電源が入のとき。
  - 停電したときや電源コードを抜いたとき。
- 受信状態が良くないときは、番組データを受信できないことがあります。
- 次のようなときは番組データを新たに受信するまでは番組表が利用できなくなります。
  - チャンネル設定をやり直したとき。
  - 約1週間以上本機の電源コードを抜いて使用していなかったとき。

Gガイド地域設定を確認・変更するときは

1 前ページで“番組表設定”画面を表示したあと、
“Gガイド地域設定”がお住まいの地域に設定されているか確認する

2 正しく設定されていない場合は、設定を変更する

- “Gガイド地域設定”は、らくらく設定を行うと自動的に設定されます。
- 設定を変更すると番組情報が表示されなくなることがあります。表示されなくなった場合は、らくらく設定を最初からやり直してください。p.27

3 確認が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

番組データの受信時刻を確認するときは

1 前ページで“番組表設定”画面を表示したあと、
“Gガイド受信確認”を選び、決定する

番組表設定
Gガイド地域設定を変更すると番組情報が消えることがあります。その場合は、らくらく設定を行ってください。
Gガイド地域設定　東京23区
Gガイド受信確認
地デジ難視対策衛星放送　入　切
項目選択　決定　戻る

- “番組データ受信テスト中”が表示され、テスト終了後に次回の受信スケジュールが表示されます。（表示されるまで、最大で約6分かかります。）

受信スケジュールは、放送ごとに異なります。

2 確認が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

地デジ難視対策衛星放送を利用するときは

地デジ難視対策衛星放送とは、電波状態が悪いために地上デジタル放送が受信できない地域への受信対策として、暫定的に衛星放送を利用して行われる放送です。
一般の地域では利用できません。
放送の内容や利用できる地域、お申し込み方法などについては、社団法人デジタル放送推進協会のホームページをごらんください。

1 前ページで“番組表設定”画面を表示したあと、
“地デジ難視対策衛星放送”を選ぶ

番組表設定
Gガイド地域設定を変更すると番組情報が消えることがあります。その場合は、らくらく設定を行ってください。
Gガイド地域設定　東京23区
Gガイド受信確認
地デジ難視対策衛星放送　入　切
項目選択　設定変更　戻る

2 利用する場合は、“入”を選ぶ

3 変更が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

受信対象設定の変更/地域設定の変更/B-CASカードのテストを行うときは

● 受信しない放送を操作できないようにするときは

●●▶ "放送設置" 画面 → "受信対象設定" 画面で、受信しない放送の設定を変更してください。

● 天気予報などお住まいの地域の情報が、データ放送で正しく受信できないときは

●●▶ "放送設置" 画面 → "地域設定" 画面で、地域設定を変更してください。

● デジタル放送がうまく受信できないときなど、B-CASカードの動作を確認したいときは

●●▶ "放送設置" 画面で、B-CASカードのテストを行ってください。

"放送設置"画面を表示する

1

● 本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる

● テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

● 本機がらく楽モード(本体前面の らく楽モード が点灯)になっているときは、通常モードに切り換える

ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。

2 "放送設置 1/2"画面を表示する

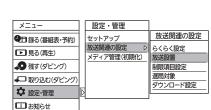
1 停止中に、通常メニュー画面を表示する

メニュー らく楽

2 "設定・管理"を選び、決定する

⬇

"放送関連の設定"を選び、決定する

⬇

"放送設置"を選び、決定する

（繰り返し）

● "放送設置 1/2" 画面が表示されます。

次は、●●▶ 次ページへ

前の画面に戻るときは

戻る を押す

通常画面に戻るときは

戻る を何回か押す

使いかたに困ったときやおかしいな？と思ったときは ➡「故障かな？と思ったときは」、「こんなメッセージが表示されたときは」

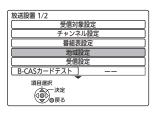
受信しない放送を操作できないようにするときは（受信対象設定）

1 前ページで“放送設置 1/2”画面を表示したあと、
“受信対象設定”で、そのまま決定する

放送設置 1/2
受信対象設定
チャンネル設定
番組表設定
地域設定
受信設定
B-CASカードテスト ——
項目選択 決定 戻る

- “受信対象設定”画面が表示されます。

2 受信しない放送を選び、設定を“使わない”に変更する

受信対象設定
BS 使う 使わない
CS 使う 使わない
項目選択 設定変更 戻る

再び受信できるように設定を戻すときは
“使う”を選びます。

3 変更が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

データ放送が正しく受信できない場合に地域設定を変更するときは（地域設定）

1 前ページで“放送設置 1/2”画面を表示したあと、
“地域設定”を選び、決定する

- “地域設定”画面が表示されます。

2 “県域設定”で、お住まいの都道府県を選ぶ

- 伊豆、小笠原諸島地域は、“東京都島部”を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は、“鹿児島県島部”を選びます。

3 “郵便番号”に移動し、決定する

- 郵便番号入力画面が表示されます。

4 お住まいの地域の郵便番号を入力し、決定する

1 あ ～ 10/0 ➡ 決定

- 確認画面が表示されます。

入力を間違えたときは、黄 を押します。

5 確認画面で“はい”を選び、決定する

6 変更が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

地域設定を工場出荷時の設定に戻すときは

1. “地域設定”画面を表示したあと、[▲、▼]で“地域設定削除”を選び、決定 を押す
2. 確認画面が表示されたら、[◀、▶]で“はい”を選び、決定 を押す

B-CASカードの動作を確認するときは（B-CASカードテスト）

1 前ページで“放送設置 1/2”画面を表示したあと、
“B-CASカードテスト”を選び、決定する

- B-CASカードのテストが始まります。

2 テスト終了後に“OK”が表示されたら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

テスト後、“NG”が表示されたときは

1. 本機の電源を切り、電源コードを抜く
2. B-CASカードを入れ直す p.15

各部
準備（接続）
準備（設定）
テレビ放送
メディア
録る
見る
消去編集
取り込む残す
便利機能
安全注意
仕様
困ったとき

ダウンロード設定の変更を行うときは

各部
準備（接続）
準備（設定）
テレビ放送
メディア
録る
見る
編集消去
取り込む残す
便利機能
安全注意
仕様
困ったとき

本機の更新情報のダウンロード更新を自動で行わないように設定したいときは、“ダウンロード設定”画面でダウンロードの設定を変更してください。

- 通常は、自動更新されることをおすすめします。（工場出荷時は自動更新されるように設定されています。）

☞ 前の画面に戻るときは
戻る を押す

☞ 通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

本機の更新情報のダウンロード更新を自動で行わないように設定するときは（ダウンロード予約）

1

- **本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる**
- **テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える**
- **本機がらく楽モード（本体前面の らく楽モード が点灯）になっているときは、通常モードに切り換える**
  ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。

2 “ダウンロード”画面を表示する

1 停止中に、通常メニュー画面を表示する

メニュー らく楽

2 “設定・管理”を選び、決定する

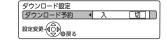
⬇

“放送関連の設定”を選び、決定する

⬇

“ダウンロード設定”を選び、決定する

メニュー
録る（番組表・予約）
見る（再生）
残す（ダビング）
取り込む（ダビング）
設定・管理
お知らせ

設定・管理
セットアップ
放送関連の設定
メディア管理（初期化）

放送関連の設定
らくらく設定
放送設置
制限項目設定
選局対象
ダウンロード設定

- “ダウンロード設定”画面が表示されます。

3 更新を自動で行わない場合は、“ダウンロード予約”で“切”を選ぶ

☞ **更新を自動で行う設定に戻すときは**
“入”を選びます。

4 変更が終わったら、戻る を押し、通常画面に戻す

設定を“切”にしたときは、更新情報が届くと放送メールでお知らせします。
ダウンロード更新情報が届いたときは、“ダウンロード予約”を“入”にしてダウンロード更新を行ってください。
ダウンロード更新後、それ以降の更新を自動で行いたくない場合は、再び“切”に設定してください。

気を付けて

- **ダウンロード更新中（本体表示部に“⬇D”が表示中）は、本機の電源コードを抜かないでください。故障の原因となります。**
- **ダウンロード更新中は、本機の操作はできません。**
- ダウンロード更新中に予約の録画が始まったときは、ダウンロードは中止されます。
- 次のような場合には、自動でダウンロード更新する設定になっていても、実行されません。
  - 電源コードが抜かれているとき。
  - 悪天候などのために受信状態が悪いとき。
  - 本機の電源が入のとき。

ダウンロード更新(オンエアーダウンロード)は、いつ行われるの？

自動で更新する場合は、本機の電源が切のときに、デジタル放送電波を使って本機の追加機能や機能向上などの情報がダウンロードされ、自動的に本機の制御プログラムが最新のものに書き換えられます。

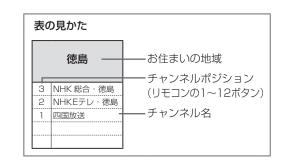
● **通常は、自動更新されることをおすすめします。**
（工場出荷時は自動更新するように設定されています。）

● **情報取得のために、本機を使用しないときは電源を切にしておくことをおすすめします。**

ダウンロード更新中の本体表示部

● **ダウンロード更新を自動で行わない設定にしている場合でも、ダウンロード更新情報が届いたときは必ずダウンロード更新を行ってください。**

- ダウンロード後は、本書と本機で画面や文言が一致しなくなることがあります。
- ケーブルテレビ(CATV)の場合でもダウンロード更新は行われます。同様にお使いください。
- ダウンロード更新が行われた場合は、放送メールp.147が発行されます。

メモ

地上デジタル放送のチャンネル設定一覧（地域名を用いた設定）

- らくらく設定 p.24 で選択された地域の放送局とチャンネルポジション（リモコンの 1あ～12＊）の組み合わせは、下表のようになります。（2011年9月現在）
  他の地域の放送を受信されたときは、下表のようにならない場合があります。
- 割り当てられた放送が実際に開始される時期は、地域によって異なります。また、放送の開始時は、地上アナログ放送との混信を避けるために、非常に小さな出力で放送されるので、受信エリアが限定されます。

お住まいの地域	北海道（札幌）	北海道（函館）	北海道（旭川）	北海道（帯広）	北海道（釧路）	北海道（北見）	北海道（室蘭）
チャンネル名	3 NHK 総合・札幌	3 NHK 総合・函館	3 NHK 総合・旭川	3 NHK 総合・帯広	3 NHK 総合・釧路	3 NHK 総合・北見	3 NHK 総合・室蘭
	2 NHKEテレ・札幌	2 NHKEテレ・函館	2 NHKEテレ・旭川	2 NHKEテレ・帯広	2 NHKEテレ・釧路	2 NHKEテレ・北見	2 NHKEテレ・室蘭
	1 HBC 札幌	1 HBC 函館	1 HBC 旭川	1 HBC 帯広	1 HBC 釧路	1 HBC 北見	1 HBC 室蘭
	5 STV 札幌	5 STV 函館	5 STV 旭川	5 STV 帯広	5 STV 釧路	5 STV 北見	5 STV 室蘭
	6 HTB 札幌	6 HTB 函館	6 HTB 旭川	6 HTB 帯広	6 HTB 釧路	6 HTB 北見	6 HTB 室蘭
	8 UHB 札幌	8 UHB 函館	8 UHB 旭川	8 UHB 帯広	8 UHB 釧路	8 UHB 北見	8 UHB 室蘭
	7 TVH 札幌	7 TVH 函館	7 TVH 旭川	7 TVH 帯広	7 TVH 釧路	7 TVH 北見	7 TVH 室蘭

お住まいの地域	宮城	秋田	山形	岩手	福島	青森	東京
チャンネル名	3 NHK 総合・仙台	1 NHK 総合・秋田	1 NHK 総合・山形	1 NHK 総合・盛岡	1 NHK 総合・福島	3 NHK 総合・青森	1 NHK 総合・東京
	2 NHKEテレ・仙台	2 NHKEテレ・秋田	2 NHKEテレ・山形	2 NHKEテレ・盛岡	2 NHKEテレ・福島	2 NHKEテレ・青森	2 NHKEテレ・東京
	1 TBC テレビ	4 ABS 秋田放送	4 YBC 山形放送	6 IBC テレビ	8 福島テレビ	1 RAB 青森放送	4 日本テレビ
	8 仙台放送	8 AKT 秋田テレビ	5 YTS 山形テレビ	4 テレビ岩手	4 福島中央テレビ	6 ATV 青森テレビ	6 TBS
	4 ミヤギテレビ	5 AAB 秋田朝日放送	6 テレビユー山形	8 めんこいテレビ	5 KFB 福島放送	5 青森朝日放送	8 フジテレビジョン
	5 KHB 東日本放送		8 さくらんぼテレビ	5 岩手朝日テレビ	6 テレビユー福島		5 テレビ朝日
							7 テレビ東京
							9 TOKYO MX
							12 放送大学

お住まいの地域	神奈川	群馬	茨城	千葉	栃木	埼玉	長野
チャンネル名	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・水戸	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・長野
	2 NHKEテレ・東京	2 NHKEテレ・東京	2 NHKEテレ・東京	2 NHKEテレ・東京	2 NHKEテレ・東京	2 NHKEテレ・東京	2 NHKEテレ・長野
	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 テレビ信州
	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	5 abn
	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	6 SBC 信越放送
	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	8 NBS 長野放送
	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	
	3 tvk	3 群馬テレビ	12 放送大学	3 チバテレビ	3 とちぎテレビ	3 テレ玉	
	12 放送大学	12 放送大学		12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学	

お住まいの地域	新潟	山梨	大阪	京都	兵庫	和歌山	奈良
チャンネル名	1 NHK 総合・新潟	1 NHK 総合・甲府	1 NHK 総合・大阪	1 NHK 総合・京都	1 NHK 総合・神戸	1 NHK 総合・和歌山	1 NHK 総合・奈良
	2 NHKEテレ・新潟	2 NHKEテレ・甲府	2 NHKEテレ・大阪	2 NHKEテレ・大阪	2 NHKEテレ・大阪	2 NHKEテレ・大阪	2 NHKEテレ・大阪
	6 BSN	4 YBS 山梨放送	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送
	8 NST	6 UTY	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ
	4 TeNY テレビ新潟		8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
	5 新潟テレビ 21		10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ
			7 テレビ大阪	5 KBS 京都	3 サンテレビ	5 テレビ和歌山	9 奈良テレビ

お住まいの地域	滋賀	広島	岡山	香川	島根	鳥取	山口
チャンネル名	1 NHK 総合・大津	1 NHK 総合・広島	1 NHK 総合・岡山	1 NHK 総合・高松	3 NHK 総合・松江	3 NHK 総合・鳥取	1 NHK 総合・山口
	2 NHKEテレ・大阪	2 NHKEテレ・広島	2 NHKEテレ・岡山	2 NHKEテレ・高松	2 NHKEテレ・松江	2 NHKEテレ・鳥取	2 NHKEテレ・山口
	4 MBS 毎日放送	3 RCC テレビ	4 RNC 西日本テレビ	4 RNC 西日本テレビ	8 山陰中央テレビ	8 山陰中央テレビ	4 KRY 山口放送
	6 ABC テレビ	4 広島テレビ	5 KSB 瀬戸内海放送	5 KSB 瀬戸内海放送	6 BSS テレビ	6 BSS テレビ	3 TYS テレビ山口
	8 関西テレビ	5 広島ホームテレビ	6 RSK テレビ	6 RSK テレビ	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ	5 YAB 山口朝日
	10 読売テレビ	8 TSS	7 テレビせとうち	7 テレビせとうち			
	3 BBC びわ湖放送		8 OHK テレビ	8 OHK テレビ			

地上デジタルテレビ放送の受信に関する相談・お問い合わせは総務省まで

総務省 地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター（地デジコールセンター）

TEL 0570 (07) 0101

お住まいの地域	愛知		三重		岐阜		石川		静岡		福井		富山	
チャンネル名	3	NHK 総合・名古屋	3	NHK 総合・津	3	NHK 総合・岐阜	1	NHK 総合・金沢	1	NHK 総合・静岡	1	NHK 総合・福井	3	NHK 総合・富山
	2	NHKEテレ・名古屋	2	NHKEテレ・名古屋	2	NHKEテレ・名古屋	2	NHKEテレ・金沢	2	NHKEテレ・静岡	2	NHKEテレ・福井	2	NHKEテレ・富山
	1	東海テレビ	1	東海テレビ	1	東海テレビ	4	テレビ金沢	6	SBS	7	FBC テレビ	1	KNB 北日本放送
	5	CBC	5	CBC	5	CBC	5	北陸朝日放送	8	テレビ静岡	8	福井テレビ	8	BBT 富山テレビ
	6	メ~テレ	6	メ~テレ	6	メ~テレ	6	MRO	4	だいいちテレビ			6	チューリップテレビ
	4	中京テレビ	4	中京テレビ	4	中京テレビ	8	石川テレビ	5	静岡朝日テレビ				
	10	テレビ愛知	7	三重テレビ	8	岐阜テレビ								

お住まいの地域	愛媛		徳島		高知		福岡		熊本		長崎		鹿児島	
チャンネル名	1	NHK 総合・松山	3	NHK 総合・徳島	1	NHK 総合・高知	3	NHK 総合・福岡	1	NHK 総合・熊本	1	NHK 総合・長崎	3	NHK 総合・鹿児島
	2	NHKEテレ・松山	2	NHKEテレ・徳島	2	NHKEテレ・高知	3	NHK 総合・北九州	2	NHKEテレ・熊本	2	NHKEテレ・長崎	2	NHKEテレ・鹿児島
	4	南海放送	1	四国放送	4	高知放送	2	NHKEテレ・福岡	3	RKK 熊本放送	3	NBC 長崎放送	1	MBC 南日本放送
	5	愛媛朝日			6	テレビ高知	2	NHKEテレ・北九州	8	TKU テレビ熊本	8	KTN テレビ長崎	8	KTS 鹿児島テレビ
	6	あいテレビ			8	さんさんテレビ	1	KBC 九州朝日放送	4	KKT くまもと県民	5	NCC 長崎文化放送	5	KKB 鹿児島放送
	8	テレビ愛媛					4	RKB 毎日放送	5	KAB 熊本朝日放送	4	NIB 長崎国際テレビ	4	KYT 鹿児島讀賣 TV
							5	FBS 福岡放送						
							7	TVQ 九州放送						
							8	TNC テレビ西日本						

お住まいの地域	宮崎		大分		佐賀		沖縄	
チャンネル名	1	NHK 総合・宮崎	1	NHK 総合・大分	1	NHK 総合・佐賀	1	NHK 総合・那覇
	2	NHKEテレ・宮崎	2	NHKEテレ・大分	2	NHKEテレ・佐賀	2	NHKEテレ・那覇
	6	MRT 宮崎放送	3	OBS 大分放送	3	STS サガテレビ	3	RBC テレビ
	3	UMK テレビ宮崎	4	TOS テレビ大分			5	QAB 琉球朝日放送
			5	OAB 大分朝日放送			8	沖縄テレビ（OTV）

- この表の放送局名と画面に表示される放送局名は、一致しない場合があります。

本機で受信できる放送について

本機で受信できる放送

地上デジタル放送 BSデジタル放送 110度CSデジタル放送	従来の地上アナログ放送よりも高画質･高音質で放送されます。 デジタル放送には、次の3種類があります。 **テレビ放送** 通常のテレビ放送です。 **データ放送** ニュースや天気予報など、静止画や文字によっていろいろな情報やサービスが利用できます。 **ラジオ放送** 音楽など音声を主とした放送です。 （データ放送・ラジオ放送）本機では録画できません。（視聴はできます。） ● 本機では、ワンセグ放送（携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送）の受信はできません。 **デジタル放送には、次のような特徴があります。** • 番組表（Gガイド）･････ 番組表のデータを表示させて、選局や録画予約ができます。 • HD/SD放送 ･････････ ハイビジョン画質のHD放送と標準画質のSD放送があります。 • マルチ番組･･･････････ 番組によっては複数の番組（マルチビュー）、映像、音声、データなどを含んでおり、選んで視聴することができます。 • 字幕放送･････････････ 映画などの番組では、字幕が放送されます。 • 双方向サービス･･･････ クイズ番組に参加したり、アンケートに答えたりすることができます。

本機で受信できない放送

地上アナログ放送	従来の地上波放送（VHF/UHF放送）です。 ● **本機では受信（視聴）できません。** 地上デジタル放送で視聴（視聴）･録画するか、ケーブルテレビ（CATV）から受信（視聴）･録画してください。 ケーブルテレビのサービス形態や受信方法については、ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

リモコンの1～12ボタンに設定されているチャンネルについて（2011年4月現在）

地上デジタル放送

らくらく設定など、地上デジタル放送のチャンネル設定で設定された放送局とチャンネルで設定されます。p.44

BSデジタル放送

ボタン	チャンネル	放送局名
1	101	NHK BS1
2	102	
3	103	BSプレミアム
4	141	BS日テレ
5	151	BS朝日
6	161	BS-TBS
7	171	BSジャパン
8	181	BSフジ
9	191	WOWOW
10/0	200	スター・チャンネル
11	211	BS11 デジタル
12	222	TwellV

CS1（110度CSデジタル放送）

ボタン	チャンネル	放送局名
1	001	放送休止中
2	---	
3	---	
4	---	
5	055	ショップチャンネル
6	---	
7	---	
8	---	
9	---	
10/0	---	
11	---	
12	---	

CS2（110度CSデジタル放送）

ボタン	チャンネル	放送局名
1	100	e2プロモ
2	110	ワンテンポータル
3	123	
4	147	
5	---	
6	160	C-TBSウェルカム
7	177	
8	258	
9	194	放送休止中
10/0	101	
11	290	SKY STAGE
12	238	スター・クラシック

視聴するために契約が必要な放送局については、契約していない場合、選局しても映りません。

チャンネルの設定を変更するときは p.30

チャンネルを選局して見る

1
- ● 本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
- ● テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

2 見たい放送を選ぶ

地上 ……地上デジタル放送を見るとき。

BS ……BSデジタル放送を見るとき。

CS ……110度CSデジタル放送を見るとき。
押すたびに、CS1 ↔ CS2 が切り換わります。

3 チャンネルを選ぶ

順送り/逆送りで選ぶときは

レコーダー チャンネル ∧ ∨

リモコンの1～12ボタンに設定されているチャンネルを選ぶときは

1 あ　2 か ABC　3 さ DEF
4 た GHI　5 な JKL　6 は MNO
7 ま PQRS　8 や TUV　9 ら WXYZ
10/0 ゛　11 わ 記号#　12 ＊

デジタル放送の3桁のチャンネルを選ぶときは

番号入力
1 あ　2 か ABC　3 さ DEF
4 た GHI　5 な JKL　6 は MNO
7 ま PQRS　8 や TUV　9 ら WXYZ
10/0 ゛

例： 102チャンネルを選ぶときは
番号入力 → 1 あ → 10/0 ゛ → 2 か ABC を押す

☞ 暗証番号の入力画面が表示されたときは ••▶ p.149

地上デジタル放送の枝番について

地上デジタル放送で隣接地域の放送を受信できる場合、複数の放送で1つの3桁チャンネル番号が重複することがあります。この場合は、4桁目に枝番を追加して区別するようになっています。（例：011-0、011-1、011-2）
本機では、枝番がある3桁チャンネル番号を入力したとき、p.53 “枝番選局” 画面で “主選局” に設定されている放送局が選局されます。（設定を変更することもできます。）

気を付けて

- 録画中のチャンネルや入力の切り換えについては ••▶ p.67
- i.LINK(TS)入力視聴中にデジタル放送の録画予約が始まると、デジタル放送に切り換わります。
- 再生中は、放送やチャンネルの切り換えはできません。

番組表(Gガイド)について

番組表を表示して、p.74､76の録画予約(簡単予約・詳細予約)をしたり、見たい番組を選ぶことができます。
番組表は、最大8日分まで表示できます。

番組表(Gガイド)の見かた

(例) 1画面の表示チャンネル数が、5チャンネル表示のとき

- 番組表から録画予約した番組には“予”が表示されます。(毎週/毎日録画の番組の場合は、1回目の予約にだけ表示)
- 番組情報のジャンル情報によって、代表的な4つのジャンル(映画、スポーツ、音楽、ドラマ)の番組は色分け表示されます。
- 番組表の表示対象は、次の中から選べます。次ページ
  設定チャンネル(チャンネル設定で設定されているPo1 ～ 36チャンネルだけ)、テレビ、ラジオ、データ、すべて
- 番組表を表示中に 黄 を押すと、選んでいる番組のくわしい情報(番組内容)を見ることができます。p.52

番組表の表示について

- **お買上げ後、すぐには番組表を表示できません。**
  らくらく設定(チャンネル設定)を済ませていないと、番組データが受信できないため、番組表を表示できません。
- **それぞれのデジタル放送を受信できる環境であれば、各放送局から送信される番組表を表示できます。**

- 現在視聴中の放送の番組表が表示されます。
- 地上デジタル放送は、放送局ごとに番組情報を送信します。受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、その放送局の欄を選択し(青色にする)、決定 を押してください。
- BS・110度CS放送は、どの放送局を選局してもすべての放送局の番組情報を表示します。
- 番組表を表示中に、サブメニューの“番組データ取得”から取得して表示することもできます。
- 番組表の内容が表示されるまで、しばらく時間がかかることがあります。

- **ケーブルテレビ(CATV)は、放送や伝送方式により、本機で番組表を受信できないことがあります。**
  ご利用のケーブルテレビ会社にご相談ください。

番組データの受信(取得)について

- **Gガイドによる番組内容情報や番組検索のための番組データは、番組データの受信時刻に本機の電源が切のときに受信(取得)できます。**
  電源コードは抜かずに、通電状態にしておいてください。

- 番組データ受信中は、本体表示部に“⬇D”と表示されます。
- 番組データの受信時刻は放送の種類ごとに異なります。
  受信開始時刻を確認したいときは ••▶ p.39
- ダウンロード更新(オンエアーダウンロード)と番組データの受信が重なったときは、ダウンロード更新が優先されます。

ちょっとメモ

- 放送局側の都合により、実際の放送の内容が変更され、番組表の内容と異なることがあります。
- 番組データ受信中は、冷却用ファンなどが回るなど動作音が大きくなりますが、故障ではありません。
- 本機は、番組表の表示機能にGガイドを採用しています。なお、当社はGガイドを利用した番組表のサービス内容については、関与しておりません。

番組表(Gガイド)から選んで見る(視聴)

番組表(Gガイド)から選んで見る

- 本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

2 番組表を表示する

3 現在放送中で視聴したい番組を選ぶ

☞ **別の放送の番組表を見るときは**

地上 BS CS を押すと、その放送の番組表に切り換わります。

☞ **別の日の番組表を見るときは**

青 を押して“日付選択”画面を表示し、[▲、▼]で日付を選んで 決定 を押します。

4 番組内容画面を表示し、“今すぐ見る”を選び、決定する

- その番組の画面に変わります。
- “今すぐ見る”は、現在放送中の番組の場合にだけ表示されます。

☞ 前の画面に戻るときは

戻る を押す

☞ 通常画面に戻るときは

戻る を何回か押す

☞ 暗証番号の入力画面が表示されたときは ••▶ p.149

番組表の表示内容を変更するときは

1 番組表を表示中に、サブメニュー画面を表示する

サブメニュー

2 設定を変更したい項目を選び、設定を変更する

サブメニュー	
番組表の検索	
録画モード	DR
放送切換	地上D
表示チャンネル数	5チャンネル表示
表示対象	すべて
視聴制限一時解除	
番組データ取得	

項目選択 設定変更 戻る

放送切換··············番組表に表示される放送
表示チャンネル数······番組表の1画面に表示されるチャンネル数
表示対象··············番組表に表示される対象

3 変更が終わったら、戻る を押す

選択した放送局の番組情報を取得するときは

1 サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する

2 [▲、▼]で“番組データ取得”を選び、決定 を押す

- 番組表の内容が表示されるまで、しばらく時間がかかることがあります。

ちょっとメモ

- 番組表は、p.140 らく楽メニューの“予約する”－“番組表”から、または p.142 通常メニューの“録る”－“番組表”から表示することもできます。
- 別の日の番組表は、p.140 らく楽メニューの“予約する”－“日付選択”から“日付選択”画面を表示して選択することもできます。

番組表から見たい番組を検索する

ジャンル、キーワード、人名、トピックスから検索するときは

1 番組表を表示中に、番組表の検索画面を表示する

1 サブメニュー画面を表示する

サブメニュー

2 “番組表の検索”が選ばれているので、そのまま決定する

決定

サブメニュー	
番組表の検索	
録画モード	DR
放送切換	地上D
表示チャンネル数	5チャンネル表示
表示対象	すべて
視聴制限一時解除	
番組データ取得	

項目選択 設定変更 戻る

2 検索方法を選び、決定する

フリーワード検索
ジャンル検索
キーワード検索
人名検索
トピックス

3 項目を選び、決定する

- この操作を繰り返し、検索したい項目を絞り込みます。
- 絞り込みが終わると、受信できるすべての放送の検索結果が表示されます。

4 検索結果が表示されたら、見たい番組を選び、決定する

- 番組内容画面が表示されます。

特定の放送の検索結果だけを見るときは

地上 BS CS を押します。

- **すべての放送の検索結果に戻すときは**
  1. サブメニュー でサブメニュー画面を表示する
  2. [▲、▼]で“放送種別”を選ぶ
  3. [◀、▶]で“全放送”を選ぶ
  4. 戻る を押す

検索結果が2ページ以上あるときは

緑(前ページ)、黄(次ページ)を押します。

別の日の検索結果を見るときは

青(前日の番組)、赤(翌日の番組)を押します。

5 “今すぐ見る”を選び、決定する

- その番組の画面に変わります。
- “今すぐ見る”は、現在放送中の番組の場合にだけ表示されます。

フリーワードを入力して検索するときは

1 左の手順 2 のときに、“フリーワード検索”を選び、決定する

2 フリーワードを登録する

1 緑 を押す

2 “フリーワード”で、そのまま 決定 を押す

3 文字を入力する(p.115の下欄を参照)

4 文字の入力が終わったら、決定 を押す

5 [◀、▶]で“登録”を選び、決定 を押す

- 複数のフリーワードを登録する場合は、手順 1 ～ 5 を繰り返します。(最大5件まで)

登録したフリーワードを変更するときは

1. [▲、▼]でフリーワードを選び、決定 を押す
2. [▲、▼]で“フリーワード編集”を選び、決定 を押す
3. 上の手順 3 ～ 5 を行い、登録する

登録したフリーワードを削除するときは

1. [▲、▼]でフリーワードを選び、黄 を押す
2. [◀、▶]で“はい”を選び、決定 を押す

検索する放送の種類を変更するときは

赤 を押したあと、[▲、▼、◀、▶]で検索したい放送を“入”にし、決定 または 戻る を押します。

3 青 を押す

- 検索結果が表示されます。
- 複数のフリーワードを登録している場合は、1つでも条件を満たす番組を検索します。

4 検索結果が表示されたら、左の手順 4、5 を行う

ちょっとメモ

- 検索結果は、各放送の番組データの受信状況によって異なりますので、キーワードなどが一致していても検索できない場合があります。
- フリーワード検索で英数の文字入力をした場合、半角文字で登録されますが、検索は全角文字と半角文字を区別せずに行います。
- フリーワード検索の検索条件は、“フリーワード”以外に“ジャンル”、“出演者”で検索することもできます。
- フリーワード検索で複数の検索条件を登録して検索した場合は、1つでも条件を満たす番組を検索します。
- “ジャンル検索”、“人名検索”で検索した場合とフリーワード検索の“ジャンル”、“出演者”で検索した場合では、検索結果が異なることがあります。
- 番組の検索は、p.140 らく楽メニューの“予約する”－“番組検索”から番組の検索画面を表示して操作することもできます。

データ放送を見る

テレビ放送に連動したデータ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の案内に従っていろいろな情報やサービスを利用できます。

- 本機では、データ放送を録画することはできません。録画が始まると、データ放送の画面が消えます。

1 データ放送のある番組を視聴中に、
テレビ放送に連動しているデータ放送を表示する

データ d

- 情報が多い場合は、表示されるまで時間がかかることがあります。

2 **画面の案内に従って、操作する**

（青、赤、緑、黄、1 あ～12 ＊ などで操作する場合もあります。）

- 操作方法は番組や内容によって異なります。

文字を入力するときは ••▶ p.115 の下欄を参照

3 **データ放送を見終わったら、テレビ放送に戻す**

データ d

テレビ放送に戻らないときは

1. サブメニュー でサブメニュー画面を表示する
2. [▲、▼]で"放送切換メニューを表示する"を選び、決定 を押す
3. [▲、▼]で"データ放送表示切"を選び、決定 を押す
4. 戻る を押す

(例)

前の画面に戻るときは
戻る を押す

通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

テレビ放送とは独立したデータ放送を見る（独立データ放送）

1 デジタル放送の番組を視聴中に、
p.47（チャンネル選局）または p.49（番組表）で、独立データ放送のチャンネルを選ぶ

- 放送がない場合は選局できません。

2 **画面の案内に従って、操作する**

- 操作方法は番組や内容によって異なります。

気を付けて

- データ放送のサービスを利用するためには、次の準備が必要になる場合があります。
  - B-CASカードの登録
  - 放送局との受信契約
- 番組によってはテレビ放送に連動した情報が、自動的にデータ放送に切り換わって表示されることがあります。
- 番組に連動したデータ放送があるかどうかは、"番組内容"画面で確認できます。次ページ
- 電話回線のみで通信が行われるデータ放送には、対応していません。
- デジタル放送を録画した番組の再生中は、データ放送やラジオ放送を視聴することはできません。
- デジタル放送の録画中のチャンネルは、テレビ放送に連動したデータ放送を視聴することはできません。
- データ放送には、インターネット経由で通信する双方向サービスもあります。
  くわしくは放送事業者へお問い合わせください。

番組視聴中の便利な機能

☞ 前の画面に戻るときは
戻る を押す

☞ 通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

番組のくわしい情報を見る（番組内容）

視聴中の番組の内容や、番組表を表示中に選んでいる番組の内容を確認することができます。

“今すぐ見る”は、現在放送中の番組の場合にだけ表示されます。

視聴中の番組の“番組内容”画面を表示するとき

1 番組を視聴中に、
サブメニュー画面を表示する

サブメニュー
番組内容を表示する
この番組を録画する
放送切換メニューを表示する
画質設定
3D画面設定(サイドバイサイド)
3D奥行き切換
録画モード

2 **“番組内容を表示する”が選ばれているので、そのまま決定する**

番組表の番組の“番組内容”画面を表示するとき

1 内容を表示したい番組を選んでいるときに、
黄 を押す

☞ **番組の属性(番組の種類、映像、音声、ジャンル、信号情報、視聴制限など)を確認するときは**
属性を確認するときは、番組内容画面を表示中に、赤 を押します。
番組内容に戻すときは、青 を押します。

☞ **番組の関連情報を確認するときは**
番組内容画面を表示中に、緑 を押します。

☞ **番組内容画面を消すときは、**
番組内容画面表示中に、戻る を押す

番組内容画面のマークについて

マーク	説明
テレビ	テレビ放送の番組
データ	データ放送の番組
+d テレビ	テレビ放送と連動したデータ放送がある番組
d テレビ	テレビ放送とは別のデータ放送がある番組
ラジオ	ラジオ放送の番組
+d ラジオ	ラジオ放送と連動したデータ放送がある番組
d ラジオ	ラジオ放送とは別のデータ放送がある番組
ステレオ	ステレオ音声の番組
モノラル	モノラル音声の番組
主+副	二重音声放送で「主＋副」音声の番組
サラウンド	5.1chなどのサラウンド音声の番組
信号	マルチ番組 (映像や音声などが複数あり、切り換えできる番組)
デジタル COPY 制限	「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」(コピー9回＋ムーブ1回)番組(デジタル放送)
デジタル COPY ×	「録画禁止」番組(デジタル放送)
アナログ 出力 ×	映像/D映像、音声などのアナログ出力端子から映像･音声が出力されない番組
16:9 1080i	番組の映像信号情報 上：画面の縦横比 下：信号方式
字幕	字幕がある番組
4才～	視聴制限がある番組

使いかたに困ったときやおかしいな？と思ったときは ➡「故障かな？と思ったときは」、「こんなメッセージが表示されたときは」

視聴中の番組の音声、字幕、マルチ番組の映像・音声などを切り換える

音声(言語)を切り換える

複数の音声がある番組を見るときは、視聴中に音声を切り換えることができます。

1 複数の音声がある番組を視聴中に、
音声切換 を押して、希望の音声を選ぶ

- 押すたびに、音声や音声言語が切り換わります。
- BDビデオでは、音声切換 を押したあと、[▲、▼]で切り換えることもできます。

字幕を出す

字幕や文字スーパーを表示できる番組の場合、字幕や文字スーパーの言語や表示/非表示を選ぶことができます。

1 字幕を表示できる番組を視聴中に、
字幕 を押して、希望の字幕(日本語、英語)を選ぶ、またはオフ(非表示)を選ぶ

- 押すたびに、字幕が切り換わります。
- 英語の字幕がない場合は、"英語" を選んでも字幕は表示されません。
- 字幕 を押したあと、[▲、▼]で切り換えることもできます。

マルチ番組の映像・音声などを切り換える（信号切換）

マルチ番組(映像、音声などが複数ある番組)の場合、それぞれの項目を選んで視聴することができます。

1 デジタル放送のマルチ番組を視聴中に、
"デジタル放送メニュー"画面を表示する

1 サブメニュー画面を表示する
サブメニュー

2 "放送切換メニューを表示する" を選び、決定する

サブメニュー
番組内容を表示する
この番組を録画する
放送切換メニューを表示する
画質設定
3D画面設定(サイドバイサイド)
3D奥行き切換
録画モード

2 **"信号切換"を選び、決定する**

(例)
- "信号切換" 画面が表示されます。

3 **項目を選び、設定する**

信号切換	
マルチビュー	◀ 主番組 ▶
映像	映像1
音声	日本語
二重音声	主
データ	データ1
字幕	入　切
字幕言語	日本語　英語

項目選択
設定変更　戻る

- 番組によって、選べる項目が変わります。
- "マルチビュー" は、映像、音声、字幕などの組み合わせが複数ある番組で、この項目を切り換えることでそれぞれの項目が一度に切り換わります。

4 **設定が終わったら、戻る を押し、通常画面に戻す**

枝番で選局できる放送局を確認/変更する（枝番選局）

地上デジタル放送のみ

1 デジタル放送を視聴中に、
"デジタル放送メニュー"画面を表示する

1 サブメニュー画面を表示する
サブメニュー

2 "放送切換メニューを表示する" を選び、決定する

2 **"枝番選局"を選び、決定する**

(例)
- "枝番選局" 画面が表示されます。

3 【選局するとき】
選局する放送局を選び、決定する

- 選んだ放送局の画面に切り換わります。

【主選局の放送局を変更するとき】
主選局にする放送局を選び、変更を確定する

4 **設定が終わったら、戻る を押し、通常画面に戻す**

本機で使えるメディア(ディスク・カード)について

本機で録画・再生ができるディスク

本機で使えるディスクは、ここの表に載っている次のディスクだけです。

- ディスクのバージョン(Ver)が違う場合、本機では使えないことがあります。

メディアの種類 ○:できる ×:できない		本体 (HDD) 本体 内蔵ハードディスク (HDD)	
録画で直接録画 ／ 録画予約で直接録画		○ ／ ○	
「スカパー！HD録画」		○	
BD/DVDからダビング	「1回だけ録画可能」番組 ※1	○ (BD-RE/-R)	× (DVD-RW/-R)
	「制限なしに録画可能」番組	○	
繰り返し録画		○	
再生		○	
録画一覧からの再生		○	
追っかけ再生、見どころ再生		○	

メディアの種類 ○:できる ×:できない		BD ブルーレイディスク	
		BD-RE BD-RE SL (片面1層) BD-RE DL (片面2層) BD-RE BDXL (片面3層) Ver 2.1 高速記録2倍速ディスクまで Ver 3.0 高速記録2倍速ディスクまで	BD-R BD-R SL、BD-R SL LTH (片面1層) BD-R DL (片面2層) BD-R BDXL (片面3層) BD-R BDXL (片面4層) Ver 1.1、1.2、1.3 高速記録6倍速ディスクまで Ver 2.0 高速記録4倍速ディスクまで
録画で直接録画 ／ 録画予約で直接録画		× ／ ○	× ／ ○
「スカパー！HD録画」		×	×
本体(HDD)からダビング	「1回だけ録画可能」番組 「ダビング10」番組 ※1	○	○
	「制限なしに録画可能」番組	○	○
繰り返し録画		○	×
再生		○	○
録画一覧からの再生		○	○
追っかけ再生、見どころ再生		×	×

- **2011年11月現在、BD-R BDXL (片面4層) は発売されていません。また、BD-RE BDXL (片面4層) はありません。**

推奨ディスクについて

本機の性能を充分に発揮するため、次のメーカー製ディスクの使用をおすすめします。(2011年3月現在)
ただし、推奨メーカー製のディスクであっても、動作を保証するものではありません。

- BD-RE‥‥‥ SL(1層):パナソニック　DL(2層):パナソニック
  BDXL(3層):パナソニック
- BD-R ‥‥‥ SL(1層):パナソニック　DL(2層):パナソニック
  BDXL(3層):パナソニック、TDK
- DVD-RW ‥ [4倍速] 三菱化学メディア
- DVD-R ‥‥ SL(1層):[16倍速] 太陽誘電(That's)　DL(2層):[8倍速] 三菱化学メディア

各部 準備(接続) 準備(設定) テレビ放送 メディア 録る 見る 編集消去 残す取り込む 便利機能 安全注意 仕様 困ったとき

使いかたに困ったときやおかしいな?と思ったときは ➡「故障かな?と思ったときは」、「こんなメッセージが表示されたときは」

メディアの種類 DVD-RW/DVD-Rには録画方式が3種類(AVCREC、VR、Video)あります。p.60 デジタル放送をDVD-RW/DVD-Rにダビングする場合は、**CPRM対応**のディスクをお使いください。	DVD デジタルビデオディスク					
	-RW DVD-RW Ver 1.1、1.2 高速記録6倍速ディスクまで			-R DVD-R (1層) DVD-R DL (2層) ※5 Ver 2.0、2.1 高速記録16倍速ディスクまで / Ver 3.0 高速記録8倍速ディスクまで		
○:できる ×:できない	-RW (AVCREC) DVD-RW (AVCREC)	-RW (VR) DVD-RW (VR)	-RW (Video) DVD-RW (Video)	-R (AVCREC) DVD-R (AVCREC)	-R (VR) DVD-R (VR)	-R (Video) DVD-R (Video)
録画で直接録画 / 録画予約で直接録画	× / ×	× / ×	× / ×	× / ×	× / ×	× / ×
「スカパー!HD録画」	×	×	×	×	×	×
本体(HDD)からダビングで録画 「1回だけ録画可能」番組 「ダビング10」番組 ※1	○ ※2	○ ※2 (標準画質)	×	○ ※2	○※2 (標準画質)	×
本体(HDD)からダビングで録画 「制限なしに録画可能」番組	○	○ (標準画質)	○ ※3 (標準画質)	○	○ (標準画質)	○※3 (標準画質)
繰り返し録画 ※4	○	○	○	×	×	×
再生	○	○	○ ※3	○	○	○※3
録画一覧からの再生	○	○	× ※3	○	○	× ※3
追っかけ再生、見どころ再生	×	×	×	×	×	×

※1 デジタル放送をダビングする場合、「コピー」、「ムーブ(移動)」のどちらになるかについては、p.71をごらんください。
- ケーブルテレビ(CATV)、スカパー!HD、スカパー! e2、WOWOWなどで録画制限がある番組の録画については、デジタル放送の番組の場合と同様となります。
  ただし、ケーブルテレビのホームターミナル/セットトップボックス経由で「ダビング10(コピー 9回+ムーブ1回)」番組を録画する場合は、「1回だけ録画可能」番組として録画されます。

※2 DVD-RW(AVCREC)/-R(AVCREC)には録画モードAF ~ AEでのみ、DVD-RW(VR)/-R(VR)には録画モードXP ~ EPでのみダビングできます。p.124

※3 DVD-RW(Video)/DVD-R(Video)にダビングしたときは、ダビングを終了後、自動的にファイナライズが行われます。本書では、ファイナライズされたDVD-RW(Video)/-R(Video)は次ページの DVDビデオ として扱います。

※4 ファイナライズされたDVD-RW(AVCREC)/-RW(Video)に録画できるようにする場合は、p.121初期化(再フォーマット)を行ってください。(ただし、初期化を行うと録画内容は消去されます。)

※5 DVD-R DL(2層)ディスクの場合、本機ではDVD-R(AVCREC)にだけダビングできます。

+RW/+Rについては、本機では対応していません。

CPRM (シーピーアールエム)について

CPRMとは、「1回だけ録画可能」番組や「ダビング10(コピー 9回+ムーブ1回)」番組に対する著作権保護技術です。
デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組や「ダビング10(コピー 9回+ムーブ1回)」番組をDVDに記録するときは、CPRM対応のディスクを使います。

各部
準備(接続)
準備(設定)
テレビ放送
メディア
録る
見る
編集消去
残す取り込む
便利機能
安全注意
仕様
困ったとき

本機で再生だけができるディスク

本機で使えるディスクは、ここの表に載っている次のディスクだけです。

- ディスクのバージョン(Ver)が違う場合、本機では使えないことがあります。

メディアの種類 ○：できる ×：できない	市販のBDソフト、など	市販のDVDソフト、など	DVD-RAMディスク
	BDビデオ リージョンコードに「A」が含まれるディスク	DVDビデオ リージョンコードに「2」や「ALL」が含まれるディスク	RAM 4.7/9.4GB Ver 2.0、2.1、2.2 他社のDVDレコーダーのVR方式で録画されて、カートリッジからディスクを取り出せるもの
再生	○	○	○
録画一覧からの再生	×	×	○

メディアの種類 本機で再生できるJPEG形式については、p.107 をごらんください。 ○：できる ×：できない	市販の音楽用ソフト、など	JPEGで記録されたディスク	AVCHDで記録されたディスク
	音楽用CD ・音楽用CD(CD-DA) ・音楽用CD形式で記録され、ファイナライズ済みのCD-RW/CD-R	CD (JPEG) JPEGファイル(デジタルカメラで撮影された写真など)が記録された、CD-RW/CD-R	DISC(AVCHD) AVCHD(デジタルビデオカメラで撮影されたハイビジョン画質の動画)が記録され、ファイナライズ済みのDVD-RW/DVD-R (2層ディスクを含む)
再生	○	○	○
録画一覧からの再生	×	○ (JPEG専用)	× ※1

※1　本体に取り込んで(ダビングして)、本体の録画一覧( )画面から再生することができます。

本機で再生だけができるSDカード/USB

本機で使えるSDカード/USBは、ここの表に載っている次のものだけです。

- SDカード/USBのバージョン(Ver)が違う場合、本機では使えないことがあります。

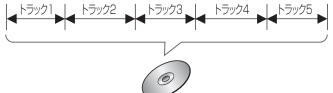
メディアの種類 p.105 の「本機で利用できるSDカードカードについて」、「本機で利用できるUSB機器について」もあわせてごらんください。 本機で再生できるJPEG形式については、p.107 をごらんください。 ○：できる ×：できない	JPEGで記録されたSD、USB	AVCHDで記録されたSD、USB
	SD (JPEG)　USB (JPEG) JPEGファイル(デジタルカメラで撮影された写真など)が記録された、 ・SDHC (4GB〜32GB) ・SD (8MB〜2GB) ・USB機器	SD (AVCHD)　USB(AVCHD) AVCHD(デジタルビデオカメラで撮影されたハイビジョン画質の動画)が記録された、 ・SDHC (4GB〜32GB) ・SD (8MB〜2GB) ・USB機器
再生	○	× ※1
録画一覧からの再生	○ (JPEG専用)	

※1　直接再生はできませんが、本体(HDD)に取り込んで(ダビングして)、本体の録画一覧( )画面から再生することができます。

ディスクの構成の区分について

本体（HDD）/BD/DVD

「番組（タイトル）」という大きな区切りと、「チャプター」という小さな区切りで構成されます。

- 本体（HDD）/BD-RE/BD-R/DVD-RW/DVD-R
  1回の録画が1番組（タイトル）となります。
  チャプターは、チャプターマークを追加することによって、さらに細かく区切ることができます。
- BDビデオ/DVDビデオ
  一般的には1つの映画が1番組（タイトル）になっており、番組（タイトル）ごとに複数のチャプターで構成されています。

音楽用CD

一般的には、曲ごとに「トラック」という区切りが付けられています。

本体（内蔵HDD）について

本書では、内蔵HDDのことを「本体」または「本体（HDD）」と表現している場合があります。

■ HDD、ハードディスク（ドライブ）とは？

大容量データ記録装置の1つで、大量のデータの読み書きを高速で行うことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。本機は、このHDDを内蔵しています。

■ 次のようなことは行わないでください！

- **本機に振動や衝撃を与えないでください。特に本機の電源が入っているときは、お気を付けください。**
- **本機の電源が入っている状態で、電源コードを抜かないでください。**
- **本機の電源が入っている状態や電源を切った直後は、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。（電源を切ったあと、2分以上経過してから行ってください。）**
- **本機が結露した状態で使わないでください。**
- HDDは、振動や衝撃、周囲の環境（温度など）の変化に影響されやすい精密な機器です。場合によっては、録画（録音）内容が失われたり、正常に動作しなくなる恐れがあります。
- HDDが故障すると、HDDの録画（録音）内容が失われることがあります。

■ HDDは、録画（録音）内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。

- 大切な録画（録音）内容は、ディスクに保存しておくことをおすすめします。
- HDDは、使用する場所の環境や使用状況が過酷な場合、数年で寿命となり、録画（録音）内容が再生できなくなることがあります。
- HDDに異常が発生した場合、HDDの録画（録音）内容は失われます。
- 部分的または全体的に次のような症状が頻繁に発生するようになった場合、HDDが寿命近くになっています。
  - 再生できない、再生一時停止を繰り返す
  - ブロックノイズ（モザイク状のノイズ）が発生する
  - 映像が乱れる

■ その他

- 本機を長時間使用しないときは、電源を切っておいてください。
- HDDは、工場出荷時には何も録画されていません。あらかじめ番組などを録画してから、再生をお楽しみください。

各部
準備（接続）
準備（設定）
テレビ放送
メディア
録る
見る
編集消去
残す取り込む
便利機能
安全注意
仕様
困ったとき

気を付けて

- **内蔵のHDDやディスクドライブをはずして、お客さま自身でHDDを交換することはできません。（正常に動作しません。また、保証が無効となります。）**

ディスクについて

BD/DVD/CD全般

■ **次のような場合は、正常に録画・再生できません。**

- **記録状態が悪い、ディスクの特性、傷、汚れ、本機の録画/再生用レンズの汚れ、結露などがあるとき。**
- **本機で録画したディスクを、パソコン、カーナビゲーション、カーオーディオ、ゲーム機などで再生するとき。**
- **パソコンなどで作成されたディスクを本機で再生するとき。**
このようなディスクを本機に入れて、ディスクが取り出せなくなった場合は、p.192「おかしいな？と思ったときの調べかた」をごらんになり、対処してください。
- PAL方式など、NTSC方式以外で記録されたDVDディスク。
- 無許諾(海賊版など)のディスク。
- クローズド・キャプション(Closed Caption)の録画・再生。

■ **ディスクの持ちかた**

- ディスクの端または中央を持ち、記録・再生面(光っている面)には手を触れないでください。

- 指紋が付いたり汚れたときは、ディスクの中心から外側に向けて水を含ませた柔らかい布でふいたあと、からぶきしてください。

市販のレコードクリーナーやベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。

■ **ディスクの保管について**

- 使用後は、所定のケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけて置くと、変形や反りの原因となります。
- 直射日光の当たる場所や熱器具の近く、締め切った自動車内など、高温になる場所に放置しないでください。

■ **次のようなディスクは使わないでください！**

- ディスク自体の破損や本体の故障の原因となります。
  - 傷が付いているディスク。
  - ラベルやシールが貼られている/はがれているディスク。
  - のりがはみ出しているディスク。
  - ひび割れ、変形、接着剤などで補修したディスク。
  - 六角形など、特殊な形状のディスク。

■ **8cm盤のディスクを使用するときは**

- **本機では再生だけができます。録画や編集はできません。**
- 8cmアダプターなしで使用できます。

BD-RE/BD-R

- **他の機器で録画してファイナライズしていないBD-Rは、本機で正常に再生・録画・編集ができなかったり、ディスクの録画内容が失われたりすることがあります。**
- BD-RE/BD-Rは、お買上げ時には初期化(フォーマット)されていません。
使用する前に初期化してください。p.60
- BD-RE Ver1.0(カートリッジタイプ)は、本機では使用できません。

DVD-RW/DVD-R/DVD-RAM

- **他の機器で録画してファイナライズしていないディスクは、本機で正常に再生・録画・編集ができなかったり、ディスクの録画内容が失われたりすることがあります。**
- DVD-RW(AVC)/DVD-R(AVC)は、AVCREC方式に対応したレコーダー/プレーヤーでのみ再生できます。
- DVD-RW(VR)は、RW COMPATIBLE 表示の付いたVR方式対応のレコーダー/プレーヤーでのみ再生できます。
- DVD-R(VR)は、DVD-RのVR方式に対応したレコーダー/プレーヤーでのみ再生できます。
- CPRM対応のディスクは、CPRM対応のレコーダー/プレーヤーでのみ再生できます。(CPRMとは ••▶ p.55)
- DVD-RW(Video)/DVD-R(Video)は、ダビング終了後に自動的にファイナライズが行われます。ファイナライズ後は、本機ではDVDビデオと同様の扱いとなります。
- 1倍速ディスクを使用する場合は、ディスクの取り出しに時間がかかることがあります。

BDビデオ、DVDビデオ

- ディスクによっては、ソフト制作者の意図により本書の記載どおりに動作しないことがあります。くわしくは、ディスクの説明書をごらんください。

音楽用CD

- 音楽用CDは、ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- CD規格外の音楽用CD(コピーコントロール付きCDなど)やMP3ファイル形式で録音されたディスクは、まったく再生できないか、正常に再生できません。

気を付けて

- 次のような場合、実際に録画できる時間は短くなります。
  - ディスクに、傷や汚れなどによって録画できない部分があるとき。
  - 映りの悪い(電波状態が悪い、弱い)番組など、画質が良くない映像を録画したとき。
- 高速記録対応のディスクを使用して高速ダビングをしているときは、本機の動作音が通常よりも大きくなりますが、故障ではありません。

ディスクの出し入れ

BD-RE BD-R BDビデオ -RW -R DVDビデオ RAM 音楽用CD

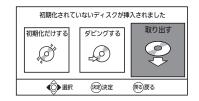
1 ディスクトレイを開く

トレイ開/閉

- トレイが開くまで、しばらく時間がかかることがあります。

2 【ディスクを入れる場合】 本機で使用可能なディスクのラベル面を上にして、トレイの上に置く

両面ディスクを再生する場合は
再生する面を下にしてください。

【ディスクを取り出す場合】
ディスクをトレイから取り出す

3 ディスクトレイを閉める

トレイ開/閉

- ディスクの認識と読み込みを行うため、ディスクが使用可能になるまでしばらく時間がかかります。
- ディスクの読み込みが完了すると、本体表示部に"●"が表示されます。
- ディスクによっては、このあと自動的に再生が始まるものがあります。

新品(未使用)のディスクを入れたときは

新品(未使用)のディスクを入れると、次の選択画面が表示されます。
次ページをごらんになり、「初期化だけする」、「ダビングする」、「取り出す」のいずれかの操作を行ってください。

BD-RE/BD-R
お買上げ時には初期化されていません。使用前に初期化してください。

DVD-RW
お買上げ時には初期化されていません。使用前に録画方式を選んで初期化してください。

DVD-R
お買上げ時には初期化されていないかVideo方式で初期化されています。使用前に一度だけ録画方式を選ぶまたは変更して初期化することができます。

- 初期化されていないディスクは、録画やダビングができません。
- 録画中やダビング中は、選択画面は表示されません。

新品(未使用)のディスクの初期化(フォーマット)のしかた

気を付けて

- **BD-R、DVD-Rは、一度初期化すると初期化し直すことはできません。**
  BD-RE、DVD-RWは、あとで初期化し直すことができます。(初期化すると録画内容は消去されます。p.120、121)
- **ディスクの読み込み中や初期化(フォーマット)中は、本機の電源を切ったり電源コードを抜かないでください。**
  ディスクの破損や本体の故障の原因となります。
- 初期化中は、途中で中止できません。

初期化だけする(初期化だけするとき)

1 ディスクを入れ、選択画面が表示されたら、
"初期化だけする"を選び、決定する

2 【DVD-RW/-Rのときのみ】
録画方式(下欄参照)を選び、決定する

- 初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 初期化が終了すると、終了メッセージを数秒間表示したあと、通常画面に戻ります。

取り出す(初期化せずに取り出すとき)

1 ディスクを入れ、選択画面が表示されたら、
"取り出す"のまま、決定する

ダビングする(初期化後に、そのまま続けてダビングするとき)

p.126 手間なしダビングをするときは、左記の"初期化だけする"を行い、あとでダビングしてください。

1 ディスクを入れ、選択画面が表示されたら、
"ダビングする"を選び、決定する

らく楽モードの場合は、「らく楽ダビング」のディスク確認画面が表示されます。
••▶ p.128の手順 2-1 へ進んでください。

通常モードの場合は、「ダビング一覧からダビング」のダビング用の録画一覧画面が表示されます。
••▶ p.131の手順 2-1 へ進んでください。

- DVD-RW/-Rの録画方式は、ダビングの操作中に設定します。
- ダビングの操作を完了すると、初期化を行ったあと、ダビングが始まります。

ちょっとメモ

- デジタル放送をダビングするときは、CPRM対応ディスクを使って、AVCRECまたはVR方式で初期化してください。
- 本機で2層ディスク(DVD-R DL)を使う場合は、AVCREC方式でのみ初期化できます。

DVD-RW/DVD-Rの録画方式(AVCREC、VR、Video)について

DVD-RW/-Rには録画方式が3種類あり、それぞれ次のような特徴があります。
ディスクを初めて使うときに、録画方式(AVCREC、VR、Video)を選んでから使用します。

方式	特徴
AVCREC方式 -RW(AVCREC) -R(AVCREC) DVD-RW(AVCREC)/-R(AVCREC)	● デジタル放送をハイビジョン画質で記録できる方式です。 ● CPRM対応のディスクを使えば、デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」(コピー 9回+ムーブ1回)番組の録画(ダビングのみ)ができます。 ● ファイナライズ後はAVCREC方式対応のプレーヤー /レコーダーで再生できます。
VR方式 (DVDビデオレコーディング規格) -RW(VR) -R(VR) DVD-RW(VR)/-R(VR)	● DVDレコーダーの基本記録方式です。 ● CPRM対応のディスクを使えば、デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」(コピー 9回+ムーブ1回)番組の録画(ダビングのみ)ができます。 ● 一般のプレーヤー /レコーダーで再生できます。
Video方式 (DVDビデオ規格) -RW(Video) -R(Video) DVD-RW(Video)/-R(Video)	● 市販のDVDビデオソフトと同じ記録方式です。 ● 「制限なしに録画可能」番組だけ録画(ダビングのみ)でき、ダビング終了後に自動的にファイナライズが行われます。ファイナライズ後は、本機ではDVDビデオと同様の扱いとなり、一般のDVD機器で再生できます。 ● デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」(コピー 9回+ムーブ1回)番組の録画はできません。

録画・録画予約をする前に

本機でできる録画・録画予約について

本機では、最大80番組まで録画予約できます。おすすめ自動録画は最大40番組まで予約でき、ユーザー予約(自分で予約)は80番組からおすすめ自動録画の予約数を除いた番組数まで予約できます。

今すぐ録る(録画)

● 見ている番組を今すぐ録る（録画） p.72､88 *デジタル放送、外部入力* 本体

こんなときに	番組を今すぐ録画したいとき	[録画]ボタンを押すだけで、今見ている番組をすぐに録画できます。

ユーザー予約(自分で予約する)

● 番組表(Gガイド)から簡単に予約する（簡単予約） p.74 *デジタル放送* 本体

こんなときに	番組表から簡単に番組を予約したいとき	番組表から予約したい番組を選ぶだけで、8日先までの番組を簡単に予約できます。毎週録画の設定も簡単にできます。

● 番組表(Gガイド)から好みの設定で予約する（詳細予約） p.76 *デジタル放送* 本体 BD-RE BD-R

こんなときに	番組表から好みの設定で番組を予約したいとき	番組表から予約したい番組を選んで、8日先までの番組を好みの設定で予約できます。また、ジャンル検索やディスクへの予約、毎週/毎日録画の設定などもできます。

● 予約内容を手動で入力して予約する（時刻指定予約） p.78､88 *デジタル放送、L1入力* 本体 BD-RE BD-R

こんなときに	番組表が利用できない番組を予約したいとき	自分でチャンネルや予約日、開始/終了時刻などを入力して、約1カ月先までの番組を予約できます。

自動予約

● 過去の録画履歴などをもとに、本機におまかせで自動予約する（おすすめ自動録画） p.80 *デジタル放送* 本体

こんなときに	本機におまかせで自動予約したいとき	自分で予約をする必要はありません。過去の録画履歴などをもとに、番組表の8日先までの番組を1日最大4番組まで自動予約できます。

録画・録画予約全般

- 録画中に残量がなくなったときは、録画が自動的に停止します。
- 本機の時計が設定されていないときは、録画予約はできません。(デジタル放送を受信できるときは、自動で時刻が設定・修正されます。)
- 本機の時計が合っていないときは、希望の時間に正しく録画できません。

BD-RE/BD-Rに録画予約した録画を、本体に録画する場合(代理録画)

次のようなときは本体に録画し、内部メールでお知らせします。(本体が録画可能な場合のみ)

- ディスクを再生しているとき。
- 録画不可のディスク(ソフトなど)が入っているときや、ディスクが入っていないとき。
- BD-RE/-Rの残量時間が不足しているとき。

録画予約があるときの本機の動き

予約があるときは

- 本体表示部に" ◷ "が点灯します。

予約開始時刻の直前になると

- 本機の電源が入のときでも、予約の録画は実行されます。
- 本機の電源が切のときは、予約開始時刻の約5分前に自動的に電源が入ります。

予約終了時刻になると

- 自動的に録画が終わります。
- p.156 "セットアップ"画面の"録画予約設定"－"予約連動オフ設定"の設定によって、本機の電源の入/切が変わります。

各部 / 準備(接続) / 準備(設定) / テレビ放送 / メディア / 録る / 見る / 編集消去 / 取り込む残す / 便利機能 / 安全注意 / 仕様 / 困ったとき

録画モードとおよその録画時間（目安）について

本体(HDD)

録画モード		DVR−BZ250 DVR-B5W (500 GB)	DVR−BZ350 (1 TB)	DVR−BZ450 (2 TB)	録画できる放送	記録される画質	画質と時間の関係
DR	地上デジタル(HD放送)	約63時間	約127時間	約254時間	デジタル放送 i.LINK(TS)入力	放送そのままの画質（ハイビジョン画質）	高画質 画質優先
	BSデジタル(HD放送)	約45時間	約90時間	約180時間			
	BSデジタル(SD放送)	約90時間	約180時間	約360時間			
AF		約80時間	約160時間	約320時間	デジタル放送 i.LINK(TS)入力	放送のデータを圧縮変換したハイビジョン画質	
AN		約126時間	約254時間	約508時間			
AE	5.5倍モード	約252時間	約508時間	約1016時間			時間優先
	12倍モード	約540時間	約1080時間	約2160時間			
XP		約110時間	約220時間	約440時間	デジタル放送 外部入力(L1) i.LINK(TS)入力	標準画質（従来の画質）	画質優先
SP		約222時間	約443時間	約886時間			
LP		約442時間	約883時間	約1766時間			
EP	6時間モード	約665時間	約1330時間	約2660時間			
	8時間モード	約887時間	約1773時間	約3546時間			従来の画質 時間優先

「スカパー！ＨＤ録画」の場合

録画モード ※		DVR−BZ250 DVR-B5W (500 GB)	DVR−BZ350 (1 TB)	DVR−BZ450 (2 TB)	録画できる放送	記録される画質
DR	スカパー！HD (ハイビジョン画質番組)	約120時間 (約65〜150時間)	約240時間 (約130〜300時間)	約480時間 (約260〜600時間)	スカパー！HD	ハイビジョン画質
	スカパー！HD (標準画質番組)	約205時間 (約130〜395時間)	約410時間 (約260〜790時間)	約820時間 (約520〜1580時間)	スカパー！HD	標準画質

※ 「スカパー！ＨＤ録画」の録画モードは、DRだけとなります。
　「スカパー！ＨＤ録画」の(　)内の時間は、変動する録画可能時間の目安です。

● **録画時間はおよその目安です。また、録画する映像によって録画容量が異なるため、実際に録画できる時間は異なります。**

● **本体(HDD)に録画モードXP 〜 EPで録画する場合は、録画開始時点からいったん録画モードDRで録画され、本機の電源が切になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。(録画モード変換予定番組)**
また、p.66､68 〜 70 の同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モードDRで録画され、本機の電源が切になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始される場合があります。(録画モード変換予定番組)

- BSデジタル(SD放送)は、DR、AF〜AEで録画しても標準画質で録画されます。
- 110度CSデジタル放送は、番組ごとにビットレートが異なるため、番組ごとに録画可能時間(残量)が変わります。
- AE、EPは、p.155 “セットアップ”画面の“録画設定”−“AEモード”、“EPモード”の設定によって録画できる時間が変わります。
- スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組をAEで録画すると、ブロックノイズなどが目立つことがあります。
- i.LINK(TS)入力から録画予約で本機に録画する場合は、DRで録画されます。この場合、録画終了後も録画モードはDRのままとなりますので、このあと他の番組をDR以外で録画されるときは、録画モードを変更してください。p.72
  i.LINK(TS)入力から一発録画で本機に録画する場合は、本機で現在選ばれている録画モードで録画されます。この場合、録画終了後も録画モードはそのままとなります。
- ディスクに管理情報が含まれるなどの理由によって、実際にディスクに記録される時間がダビングする番組の合計時間よりも多くなり、ダビングできないことがあります。また、残量時間が不足していない場合でも、チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできないことがあります。
- 本機は、効率よく録画を行うために可変ビットレート方式で録画を行っており、映像によって録画できる時間が変わります。
- 1番組あたりの連続録画可能時間は、最大8時間です。(連続録画時間が8時間になると、録画が自動的に停止します。)

BD-RE BD-R

録画モード		片面1層（25 GB）	片面2層（50 GB）	録画できる放送	記録される画質	画質と時間の関係
DR	地上デジタル(HD放送)	約3時間	約6時間	デジタル放送	放送そのままの画質（ハイビジョン画質）	高画質 画質優先
	BSデジタル(HD放送)	約2時間10分	約4時間20分			
	BSデジタル(SD放送)	約4時間20分	約8時間40分			
AF		約4時間	約8時間	デジタル放送	放送のデータを圧縮変換した**ハイビジョン画質**	
AN		約6時間	約12時間			
AE	5.5倍モード	約12時間	約24時間			時間優先
	12倍モード	約26時間	約52時間			
XP		約5時間15分	約10時間30分	デジタル放送 / 外部入力(L1)	**標準画質**（従来の画質）	画質優先
SP		約10時間30分	約21時間			
LP		約21時間	約42時間			
EP	6時間モード	約31時間30分	約63時間			従来の画質 時間優先
	8時間モード	約42時間	約84時間			

録画モード		片面3層（100 GB）	録画できる放送	記録される画質	画質と時間の関係
DR	地上デジタル(HD放送)	約12時間	デジタル放送	放送そのままの画質（ハイビジョン画質）	高画質 画質優先
	BSデジタル(HD放送)	約8時間40分			
	BSデジタル(SD放送)	約17時間20分			
AF		約16時間	デジタル放送	放送のデータを圧縮変換した**ハイビジョン画質**	
AN		約24時間			
AE	5.5倍モード	約48時間			時間優先
	12倍モード	約104時間			
XP		約21時間	デジタル放送 / 外部入力(L1)	**標準画質**（従来の画質）	画質優先
SP		約42時間			
LP		約84時間			
EP	6時間モード	約126時間			従来の画質 時間優先
	8時間モード	約168時間			

● 2011年11月現在、BD-R BDXL（片面4層）は発売されていません。
また、BD-RE BDXL（片面4層）はありません。

-RW -R（ダビングのみ可能）　-RW(AVCREC) -R(AVCREC)：AF～AEのみ　-RW(VR) -R(VR) -RW(Video) -R(Video)：XP～EPのみ

録画モード		1層（4.7 GB）	片面2層（8.5 GB）	録画できる放送	記録される画質	画質と時間の関係
AF		約42分	約1時間20分	デジタル放送	放送のデータを圧縮変換した**ハイビジョン画質**	高画質 画質優先
AN		約1時間5分	約2時間			
AE	5.5倍モード	約2時間10分	約4時間10分			時間優先
	12倍モード	約4時間50分	約9時間			
XP		約1時間	–	デジタル放送 / 外部入力(L1)	**標準画質**（従来の画質）	画質優先
SP		約2時間	–			
LP		約4時間	–			
EP	6時間モード	約6時間	–			従来の画質 時間優先
	8時間モード	約8時間	–			

録画モード変換予定番組について

- 録画モード変換予定番組は、p.92録画一覧画面の番組名の録画モード情報欄に次のように表示されます。
  （例） 録画モードAFに変換予定の番組の場合　　変換前 ･･･ 変換予定➡AF　　変換終了後 ･･･ HD画質AF
- 変換順は前後することがあります。
- 変換時間は番組の録画時間と同じだけかかります。（変換対象が2番組ある場合は、2番組分の時間がかかります。）
- 変換中に本機の電源が入になったときは、そのとき変換実行中の番組の変換を中止し、次回の変換可能なときに再びその番組の最初から変換されます。

各部
準備（接続）
準備（設定）
テレビ放送
メディア
録る
見る
編集消去
残す取り込む
便利機能
安全注意
仕様
困ったとき

二カ国語(二重音声)、マルチ番組の映像·音声、サラウンド音声、字幕の録画について

録画モードやp.155、156“セットアップ”画面の“録画設定”、“録画予約設定”の設定によって、記録される映像や音声が異なります。録画前に、設定を確認してから録画してください。

デジタル放送やi.LINK(TS)入力の二重音声、マルチ番組の映像や音声、サラウンド音声

録画先 ( )はダビングのみ	本体 BD-RE BD-R	本体 BD-RE BD-R (-RW (AVCREC) -R (AVCREC))	本体 BD-RE BD-R (-RW (VR) -R (VR))
録画モード	DR	AF〜AE	XP〜EP
二重音声	主音声/副音声の両方が記録されます。※1 ● 再生中は･･･ 音声が選べます。		主音声/副音声の両方が記録されます。※2 ● 再生中は･･･ 音声が選べます。
マルチ番組の映像·音声	複数の映像·音声が記録されます。 ● 再生中は･･･ 映像·音声が選べます。	1つの映像·音声だけが記録されます。 ■ 現在放送中の番組を録画するとき ■ 手間なしダビングするとき 視聴中/再生中の映像·音声が記録されます。 ■ 番組表(Gガイド)から録画予約で録画するとき “予約設定”画面で選んだ映像·音声が記録されます。 ■ 時刻指定予約で録画するとき ■ らく楽ダビングするとき ■ ダビング一覧からダビングするとき 映像1·音声1が記録されます。 ● 再生中は･･･ 映像·音声の切り換えはできません。	
サラウンド音声	放送そのままのサラウンド音声で記録されます。	放送の音声方式を変換したサラウンド音声で記録されます。※3	ステレオ音声で記録されます。

※1 i.LINK(TS)入力の音声方式がAAC以外の二重音声放送の場合、次のようなときには“録画設定”－“二重音声選択”で設定している音声(主音声または副音声)だけが記録されます。(この場合、再生時に音声は選べません。)
- 録画モードAF〜AEで録画するとき
- 本体に録画モードDRで録画した番組を、ディスクに録画モードAF〜AEでダビングするとき

※2 “録画設定”－“XP記録音声”の設定を“LPCM”にして録画モードXPで録画するときは、“録画設定”－“二重音声選択”で設定している音声(主音声または副音声)だけが記録されます。(この場合、再生時に音声は選べません。)
※3 i.LINK(TS)入力から録画するときは、放送の音声方式を変換したステレオ音声(ダウンミックス2チャンネル)で記録されます。

外部入力(L1)の二重音声

録画先 ( )はダビングのみ	本体 BD-RE BD-R	(-RW (VR) -R (VR))	(-RW (Video) -R (Video))
録画モード	XP〜EP	XP〜EP	XP〜EP
二重音声	■ “Video高速ダビング”の設定が“切”のとき 主音声/副音声の両方が記録されます。※1 ● 再生中は･･･ 音声が選べます。 ■ “Video高速ダビング”の設定が“入”のとき “二重音声選択”で設定している音声(主音声または副音声)だけが記録されます。※2 ● 再生中は･･･ 音声の切り換えはできません。	主音声/副音声の両方が記録されます。※1 ● 再生中は･･･ 音声が選べます。	“二重音声選択”で設定している音声(主音声または副音声)だけが記録されます。※2 ● 再生中は･･･ 音声の切り換えはできません。

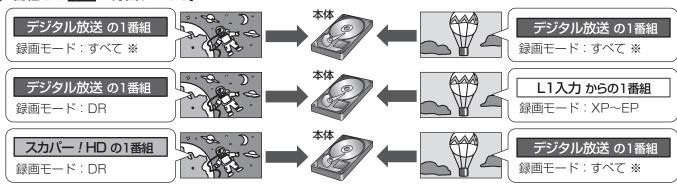
※1 “録画設定”－“XP記録音声”の設定を“LPCM”にして録画モードXPで録画するときは、“録画設定”－“二重音声選択”で設定している音声(主音声または副音声)だけが記録されます。(この場合、再生時に音声は選べません。)
※2 外部入力(L1)の二重音声のどちらか一方だけを記録する場合は、必ず“録画設定”－“外部音声選択”の設定を“二重音声”にしてください。設定が“ステレオ”になっていると、再生時に主音声と副音声が重なって再生されます。

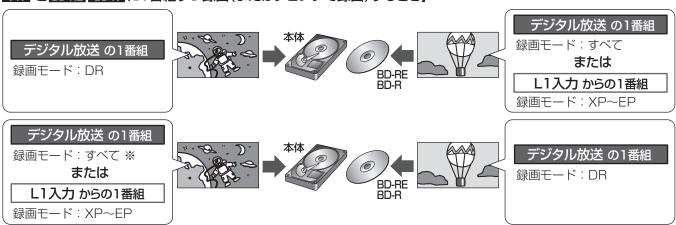
デジタル放送の字幕

録画先 （　）はダビングのみ	本体 BD-RE BD-R	本体 BD-RE BD-R （-RW (AVCREC) -R (AVCREC)）	本体 BD-RE BD-R （-RW (VR) -R (VR)）
録画モード	DR	AF〜AE	XP〜EP
字幕	**字幕の情報が記録されます。※1** ● 再生中は･･･ 字幕表示の入/切ができます。	**■ 番組表から録画予約、おすすめ自動録画で録画予約した場合** **"録画予約設定"－"字幕焼きこみ"を"あり"に設定して録画予約したときだけ、映像といっしょに字幕("録画予約設定"－"字幕焼きこみ言語"で設定された言語)が記録されます。※2** **■ 時刻指定予約の場合** **p.53 字幕の設定に応じて映像といっしょに字幕が記録されます。** ● 再生中は･･･ 字幕表示の入/切はできません。	

※1　ダビングするときは、録画時に字幕が記録された番組を高速ダビングしたときだけ、字幕の情報もダビングされます。

※2　ダビングするときは、映像といっしょに字幕が記録されている場合は字幕もダビングされます。
"字幕焼きこみ"の設定を"あり"にしている場合は、次のようなときに字幕が自動的に表示されます。"なし"にしているときは、字幕表示が消えます。
- 字幕ありの番組を視聴中に、番組指定での録画予約(DRモード以外で録画)が開始されたとき
- 番組指定での予約録画中(DRモード以外で録画)に、字幕ありの番組に切り換えたとき

視聴中の番組の字幕を表示させたくない場合は、p.53をごらんください。

2番組を同時に録画するときは（2番組同時録画）

p.68～70「同時操作について」もごらんください。

本機で可能な2番組同時録画の組み合わせ

● **本機では、次の組み合わせのときに2番組を同時に録画することができます。**

- デジタル放送の2番組（本体に2番組、または本体とBD-RE/-Rに各1番組）
- デジタル放送とL1入力からの各1番組（本体に各1番組、または本体とBD-RE/-Rに各1番組）
- スカパー！ＨＤとデジタル放送の各1番組（本体に各1番組）

● **録画する番組の録画モードによって、2番組同時録画できる/できないが異なります。**

【2番組とも 本体 に録画するとき】

【 本体 と BD-RE BD-R に1番組ずつ録画（またはダビングで録画）するとき】

※ デジタル放送を録画モードDR以外で同時録画する場合は、同時録画開始時点からいったん録画モードDRで録画され、本機の電源が切になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。（録画モード変換予定番組）

● **本体→BD/DVDへ高速ダビング中は、ダビング中の番組のほかに本体(HDD)に録画予約した番組を、1番組録画することができます。**

● デジタル放送の1つの番組（同じ番組）を2回予約して、同じ番組の2番組同時録画をすることもできます。

録画モード変換予定番組について

● 録画モード変換予定番組は、p.92 録画一覧画面の番組名の録画モード情報欄に次のように表示されます。
（例） 録画モードAFに変換予定の番組の場合　　変換前 ･･･ 変換予定➔AF　　変換終了後 ･･･ HD画質AF
● 変換順は前後することがあります。
● 変換時間は番組の録画時間と同じだけかかります。（変換対象が2番組ある場合は、2番組分の時間がかかります。）
● 変換中に本機の電源が入になったときは、そのとき変換実行中の番組の変換を中止し、次回の変換可能なときに再びその番組の最初から変換されます。

次の場合、2番組の同時録画はできません

- スカパー！ＨＤとL1入力からの各1番組
- スカパー！ＨＤとBD-RE/-Rへの各1番組
- BD-RE/-Rへの2番組
- 本体→BD/DVDへ等速ダビング中
- BD/DVD→本体へダビング中
- i.LINK(TS)入力から録画するとき
- 本機のi.LINK(TS)端子に接続したケーブルテレビ(CATV)のセットトップボックスなどから録画するとき

2番組同時録画をする場合のご注意

- **同時録画ができない場合、2番組の録画予約が重なった部分は後の番組が優先して録画されます。前の番組は、後の番組と重なる部分の手前1分ほどから先が録画されません。** p.90
- 2番組同時録画中のチャンネル切り換えは、右記をごらんください。

録画中のチャンネルや入力の切り換え

2番組同時録画中は

- **録画中以外の放送やチャンネルに切り換えることはできません。**
- 予約録画により2番組同時録画となったときは予約を優先しますので、視聴中の番組が録画している番組に切り換わります。（視聴中の番組が予約番組と同じ場合は切り換わりません。）
- 2番組連続予約録画で、連続する2番組が同時録画可能な組み合わせの場合、次の番組の録画が始まるときに一時的に2番組同時録画となり、視聴中の番組が録画している番組に切り換わります。10数秒後、選局できるようになります。（視聴中の番組が予約番組と同じ場合は切り換わりません。）

予約	前の予約 後の予約
テレビ画面に映る番組	切り換わる 現在視聴中の番組　後の予約の番組

デジタル放送の録画中は

- i.LINK(TS)入力に切り換えることはできません。
- L1入力との2番組同時録画中は、他のデジタル放送やチャンネルに切り換えることはできません。

他の機器からの映像･音声を録画中は

- i.LINK(TS)入力視聴中にデジタル放送の録画が始まると、デジタル放送に切り換わります。

同時操作について

視聴中、再生中、録画中、ダビング中によって、同時にできる操作が異なります。

視聴中の同時操作について

【視聴中の録画・ダビング】　　○：できる　×：できない　中断：録画中は中断し、録画終了後に再開する

これから始める（始まる）こと ＼ 今やっていること	[録画]を押して本体(HDD)へ録画する	本体(HDD)へ予約した録画を実行する	i.LINK(TS)入力から録画する	「スカパー！HD録画」する	BD-RE/-Rへ予約した録画を実行する	ダビングする
放送の視聴中	○	○	視聴：×（※1） 録画：○	○	○	○
L1入力からの映像を視聴中	○	○	視聴：×（※1） 録画：○	○	○	○
i.LINK(TS)入力からの映像を視聴中	○	視聴：×（※2） 録画：○	○	○	視聴：×（※2） 録画：○	○
ネットワークのホームページ表示中 ネットワークから動画コンテンツを表示(視聴)中	表示：○ 録画：×	表示：× 録画：○	表示：○ 録画：×	表示：× 録画：○	表示：× 録画：○	表示　：○ ダビング：×
ネットワークのダウンロード(DL)中	ＤＬ：中断 録画：○	ＤＬ：中断 録画：○	ＤＬ：中断 録画：○	ＤＬ：中断 録画：○	ＤＬ：中断 録画：○	ＤＬ　：中断 ダビング：○

※1　画面が録画中の映像に切り換わりますが、p.87入力切換を切り換えて、引き続き放送や映像を視聴することができます。

※2　画面が録画中の映像に切り換わりますが、p.87入力切換をCATVのセットトップボックスを接続している端子（L1など）の入力に切り換えて、引き続き視聴することができます。

再生中の同時操作について

【再生中の録画、ダビング】

○：できる　×：できない　代理：本体(HDD)が録画可能な場合は本体(HDD)に代理録画される　終了：再生停止

これから始める（始まる）こと ＼ 今やっていること	[録画]を押して本体(HDD)へ録画する	本体(HDD)予約した録画を実行する		i.LINK(TS)入力から録画する	「スカパー！HD録画」する	BD-RE/-Rへ予約した録画を実行する	ダビングする
		放送	L1入力				
本体(HDD)の再生中	×	○（※1）	○	再生：終了 録画：○	○	○	○ (手間なしダビングのみ)
BD-RE/-R、DVD-RW/-R、DVD-RAMの再生中	×	○（※1）	○	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：○ 録画：代理	○ (手間なしダビングのみ)
DVDビデオ、音楽用CDの再生中	×	○（※1）	○	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：○ 録画：代理	再生　：○ ダビング：×
BDビデオの再生中 DISC(AVCHD)の再生中	×	○（※2）	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：○ 録画：代理（※2）	再生　：○ ダビング：×
CD(JPEG)、SD(JPEG)、USB(JPEG)の再生中	×	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：代理 (CD) ○ (SD、USB)	再生　：○ ダビング：×

※1　録画モードXP～EPで録画する場合は、録画開始時点からいったん録画モードDRで録画され、本機の電源が切になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。（録画モード変換予定番組）

※2　録画モードDR以外で録画する場合は、録画開始時点からいったん録画モードDRで録画され、本機の電源が切になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。（録画モード変換予定番組）

録画モード変換予定番組について

- 録画モード変換予定番組は、p.92録画一覧画面の番組名の録画モード情報欄に次のように表示されます。
  （例）　録画モードAFに変換予定の番組の場合　　変換前 ･･･ 変換予定➜AF　　変換終了後 ･･･ HD画質AF
- 変換順は前後することがあります。
- 変換時間は番組の録画時間と同じだけかかります。（変換対象が2番組ある場合は、2番組分の時間がかかります。）
- 変換中に本機の電源が入になったときは、そのとき変換実行中の番組の変換を中止し、次回の変換可能なときに再びその番組の最初から変換されます。

録画中の同時操作について

【録画中の録画・ダビング】　○：録画中に再生できる（★は追っかけ再生もできます）　×：録画中に再生・ダビングできない

今やっていること ＼ これから始める（始まる）こと		再生する：本体（HDD）	再生する：BD-RE/-R DVD-RW/-R DVD-RAM DVDビデオ	再生する：音楽用CD	再生する：BDビデオ DISC（AVCHD）	再生する：CD（JPEG） SD（JPEG） USB（JPEG）	ダビングする
本体（HDD）に録画中	放送を録画中	○★	○	○	○（※1）	×	×
	L1入力から録画中	○★	○	○	×	×	×
	i.LINK（TS）入力から録画中	○★	○	×	○ （録画モードDRのみ）	×	×
	「スカパー！HD録画」中	○★	×	×	×	×	×
BD-RE/Rに録画中		○	×	×	×	×	×

※1　録画モードDR以外で録画している場合は、再生開始時点からいったん録画モードDRで録画され、本機の電源が切になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。（録画モード変換予定番組）

【録画中に別の番組の録画（2番組同時録画）p.66】

○：録画できる　△：録画モードによって録画できる/できないが異なる　×：録画できない　終了：録画停止（録画終了）
代理：本体（HDD）が録画可能な場合は本体（HDD）に代理録画される

今やっていること（1番組目の録画） ＼ これから始める（始まる）こと（2番組目の録画）			[2] 通常モードで［録画］ボタンを押して本体（HDD）へ録画する：放送	[2] 通常モードで［録画］ボタンを押して本体（HDD）へ録画する：L1入力	[2] らく楽モードで［録画］ボタンを押して本体（HDD）へ録画する：放送	[2] らく楽モードで［録画］ボタンを押して本体（HDD）へ録画する：L1入力	[2] 本体（HDD）へ予約した録画を実行する：放送	[2] 本体（HDD）へ予約した録画を実行する：L1入力	[2] i.LINK（TS）入力から録画する	[2] 「スカパー！HD録画」する	[2] BD-RE/-Rへ予約した録画を実行する
[1] 本体に録画中	通常モードで［録画］ボタンを押して録画中	放送	[1]：○ [2]：○ （※3）	[1]：○ [2]：△ （※3）	[1]：○ [2]：○ （※2）	[1]：○ [2]：△ （※3）	[1]：○ [2]：○ （※2）	[1]：○ [2]：△ （※3）	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：○ （※2）	[1]：○ [2]：△ （※3）
		L1入力	[1]：○ [2]：△ （※3）	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：△ （※3）	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：△ （※3）	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：△ （※3）
	らく楽モードで［録画］ボタンを押して録画中	放送	[1]：○ [2]：○ （※3）	[1]：○ [2]：△ （※3）	[1]：○ [2]：○ （※2）	[1]：○ [2]：△ （※3）	[1]：○ [2]：○ （※2）	[1]：△ [2]：○ （※2）	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：○ （※2）	[1]：△ [2]：○ （※2）
		L1入力	[1]：○ [2]：△ （※3）	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：△ （※3）	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：△ （※3）	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：△ （※3）
	予約を録画中	放送	[1]：○ [2]：○ （※3）	[1]：○ [2]：△ （※3）	[1]：○ [2]：○ （※2）	[1]：○ [2]：△ （※3）	[1]：○ [2]：○ （※2）	[1]：△ [2]：○ （※2）	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：○ （※2）	[1]：△ [2]：○ （※2）
		L1入力	[1]：○ [2]：△ （※3）	[1]：○ [2]：×	[1]：△ [2]：○ （※2）	[1]：○ [2]：×	[1]：△ [2]：○ （※2）	[1]：終了 [2]：○	[1]：○ [2]：×	[1]：終了 [2]：○	[1]：△ [2]：○ （※2）
	i.LINK（TS）入力から録画中		[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：×
	「スカパー！HD録画」中		[1]：○ [2]：○ （※3）	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：○ （※2）	[1]：○ [2]：×	[1]：○ [2]：○ （※2）	[1]：終了 [2]：○	[1]：○ [2]：×	チューナーの仕様による	[1]：終了 [2]：○
[1] BD-RE/Rに録画中			[1]：○ [2]：△ （※3）	[1]：○ [2]：△ （※3）	[1]：△ [2]：○ （※2）	[1]：○ [2]：△ （※3）	[1]：△ [2]：○ （※2）	[1]：△ [2]：○ （※2）	[1]：○ [2]：×	[1]：終了 [2]：○	[1]：△ [2]：代理 （※2）

※2、※3　どちらかの番組を録画モードDR以外で録画する場合は、同時録画開始時点からいったん録画モードDRで録画され、本機の電源が切になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。（録画モード変換予定番組）

※2のみ　2番組同時録画できない場合は、先の番組（[1]）の録画が終了し、後の番組（[2]）が録画されます。p.90

※3のみ　2番組同時録画できない場合は、先の番組（[1]）の録画が継続し、後の番組（[2]）は録画されません。

同時操作について（つづき）

ダビング中の同時操作について

【ダビング中の視聴】 ○：できる　×：できない

今やっていること ＼ これから始める（始まる）こと	放送の画面の映像を見る	L1入力の映像を見る	ダビング中の映像を見る
本体(HDD)→DVD-RW(Video)/-R(Video)へのダビング中	○（※1）	○（※1）	○（等速ダビングのみ）
上記以外のダビング中	○	○	×

※1　高速ダビングの場合のみ、ダビング開始時に選局していたチャンネルだけ視聴できます。

【ダビング中の再生】 ○：できる　×：できない

今やっていること ＼ これから始める（始まる）こと	再生する	
	本体(HDD)	本体(HDD)以外
本体(HDD)→ディスクへの高速ダビング中 ディスク→本体(HDD)への高速ダビング中	○（※2）	×
上記以外のダビング中	×	×

※2　ダビングが「コピー」になる場合だけ、再生できます。（「ムーブ(移動)」になる場合は、再生できません。）

【ダビング中の録画】 ○：できる　×：できない　代理：本体(HDD)が録画可能な場合は本体(HDD)に代理録画される

今やっていること ＼ これから始める（始まる）こと	[録画]を押して本体(HDD)へ録画する		本体(HDD)へ予約した録画を実行する		i.LINK(TS)入力から録画する	「スカパー！HD録画」する	BD-RE/-Rへ予約した録画を実行する
	放送	L1入力	放送	L1入力			
本体(HDD)→BD/DVDへの高速ダビング中 BD/DVD→本体(HDD)への高速ダビング中	×	×	○（※3）	○	×	×	代理（※3）
本体(HDD)→BD/DVDへの等速ダビング中 BD/DVD→本体(HDD)への等速ダビング中	×	×	×	×	×	×	×
DISC(AVCHD)→本体(HDD)へのダビング中	×	×	○（※3）	○	×	×	代理（※3）
SD/USB→本体(HDD)へのダビング中	×	×	○（※3）	○	×	×	代理（※3）

※2　録画モードDR以外で録画する場合は、録画開始時点からいったん録画モードDRで録画され、本機の電源が切になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。（録画モード変換予定番組）

録画モード変換予定番組について

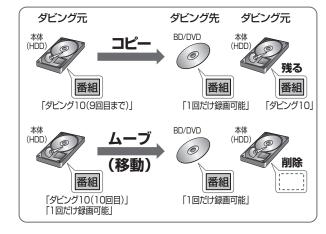
- 録画モード変換予定番組は、p.92録画一覧画面の番組名の録画モード情報欄に次のように表示されます。
  （例）　録画モードAFに変換予定の番組の場合　　変換前 ･･･ 変換予定➡AF　　変換終了後 ･･･ HD画質AF
- 変換順は前後することがあります。
- 変換時間は番組の録画時間と同じだけかかります。（変換対象が2番組ある場合は、2番組分の時間がかかります。）
- 変換中に本機の電源が入になったときは、そのとき変換実行中の番組の変換を中止し、次回の変換可能なときに再びその番組の最初から変換されます。

番組の録画制限、ダビング制限について

番組によっては、著作権保護のため録画が禁止・制限されています。

番組の録画制限 ○：できる ×：できない	本体 (HDD)	BD-RE BD-R (録画予約のみ)	-RW -R
制限なしに録画可能	○	○	×
1回だけ録画可能	○	○	×
ダビング10	○	○	×
録画禁止	×	×	×

デジタル放送の場合は、ほとんどの番組が「1回だけ録画可能」番組または「ダビング10」番組です。

ダビング制限 ◎：「コピー」 ○：「ムーブ(移動)」 ×：できない×	本体 ↓ BD-RE BD-R / -RW(AVCREC) -R(AVCREC) / -RW(VR) -R(VR)	本体 ↓ -RW(Video) -R(Video)	BD-RE BD-R ↓ 本体	-RW -R ↓ 本体
制限なしに録画可能	◎	◎	◎	◎
1回だけ録画可能	○	×	○	×
ダビング10(9回目まで)	◎	×		
ダビング10(10回目)	○	×		

デジタル放送をDVD-RW/-Rにダビングする場合は、
CPRM対応 のディスクをお使いください。

● **「制限なしに録画可能」番組について**
ダビングする場合は「コピー」となり、ダビング後もダビング元の番組はそのまま残ります。

● **デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組について**
ダビングする場合は「ムーブ(移動)」となり、ダビング後にダビング元の番組が削除されます。

● **デジタル放送の「ダビング10(コピー 9回＋ムーブ1回)」番組について**
ダビングする場合、9回目までは「コピー」となり、ダビング後もダビング元の番組はそのまま残ります。
10回目は「ムーブ(移動)」となり、ダビング後にダビング元の番組が削除されます。
BD/DVDにダビングされた番組は、「1回だけ録画可能」番組となります。

● **ケーブルテレビ(CATV)、スカパー！HD、スカパー！ e2、WOWOWなどで録画制限がある番組を録画するときの制約は**
デジタル放送の番組の場合と同様となります。
ただし、ケーブルテレビのホームターミナル/セットトップボックス経由で「ダビング10(コピー 9回＋ムーブ1回)」番組を録画する場合は、「1回だけ録画可能」番組として録画されます。

● **本機にケーブルテレビ(CATV)のホームターミナル/セットトップボックスや外部チューナーなどを接続して、外部入力(L1)でコピー制限のある番組を録画する場合は、著作権保護の規定により、DVD-RW(AVCREC)/-R(AVCREC)にダビングすることはできません。**
この場合は、BD-RE/-RまたはCPRM対応のDVD-RW(VR)/-R(VR)にダビングすることをおすすめします。

● **「ダビング10(コピー)」「制限なしにコピー可能」になる番組と、「1回だけ録画可能」「ダビング10(ムーブ)」番組を続けて1回で録画すると**
録画の開始から停止までが1番組(タイトル)となるため、ダビングする場合はすべての部分が「ムーブ(移動)」となります。

● **デジタル放送の4：3の映像を録画したときや、外部入力のワイド映像(16：9)を"セットアップ"画面の"Video高速ダビング"の設定を"入"にして録画したときは**
4：3の映像に左右に黒帯が付いた状態で録画されます。再生時に、テレビ側で画面サイズを変更して調整できます。

● **録画中に「録画禁止」番組や視聴年齢制限のある番組になったときは**
録画を一時停止します(本体表示部は録画状態の表示のままです)。録画が可能な状態になると、再び録画が始まります。

● **録画モードや音声、字幕による録画の制限は、p.62、64をごらんください。**

● デジタル放送のラジオ放送、データ放送は録画できません。

ちょっとメモ

● 本体(HDD)/ディスクごとの最大録画可能数については p.183

気を付けて

● 録画モードをDR以外にして録画する場合は、いったん録画モードDRで録画され、本機の電源が切のときに自動的に録画モードが変換される場合があります。
p.62、66、68～70

テレビ番組の録画のしかた

デジタル放送、外部入力 **本体**

1
- **本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる**
- **テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える**

2 録画したい放送を選ぶ p.47

地上 BS CS

3 録画したいチャンネルに合わせる p.47

レコーダーチャンネル ∧∨ または 番号入力 1～12

4 録画を始める

(1回押す)

【らく楽モードから録画を始めた場合】
- 番組が終了すると、自動的に録画が停止します。

【通常モードから録画を始めた場合、外部入力の録画を始めた場合】
- 録画は自動で停止しません。録画を停止するときは、次ページをごらんください。
- 2回以上押すと、オフタイマー録画になります。次ページ

5 録画を一時停止するときは

1 録画を一時停止したい番組を画面に表示させる
- 放送を切り換えているときは ••▶ 上の手順 2 を行います。
- チャンネルを切り換えているときは ••▶ 上の手順 3 を行います。

2 録画を一時停止する

一時停止

- もう一度押すと、再び録画が始まります。

録画中に停止するときは

••▶ 次ページをごらんください。

ちょっとメモ

- 録画を始める前に、録画モードを変更したいときは
  1. 停止中に、サブメニュー を押してサブメニュー画面を表示する
  2. [▲、▼]で"録画モード"に移動し、決定 を押す
  3. [▲、▼]で希望の録画モードを選ぶ
  4. 変更後、戻る を押して、サブメニュー画面を消す

- 現在録画中の番組のメディア、放送、チャンネル、録画モードを確認したいときは、画面表示 を押して画面表示を表示すると確認できます。
- 視聴中に、p.144 サブメニューの"この番組を録画する"から、視聴中の番組の録画を始めることもできます。
- 外部入力から録画するときは ••▶ p.88

自動的に録画を終わらせるときは(オフタイマー録画)

本体

録画中に来客や外出･お休みになるときは、録画時間を設定しておくと、指定した時間になると自動的に録画を停止させることができます。(通常モードで録画を開始した番組の録画中にだけ、操作できます。)

1 通常モードで録画を開始した番組の録画中に、
前ページの手順 2、3 を行って、録画時間を設定したい番組を選ぶ

2 **録画 を押し、録画時間を設定する**

- 押すたびに、録画時間が変わります。(15分単位で最大4時間まで)

  0時間15分→0時間30分→0時間45分－･･･→3時間45分→4時間00分→(通常の録画)

- オフタイマー録画の録画中に 録画 を押すと、録画時間をさらに15分単位で最大4時間まで延長できます。(オフタイマー録画から通常の録画に変更したいときは、録画時間の表示が消えるまで何回か押します。)
- 録画終了後は、自動的に録画が停止します。
  (終了時に録画や再生、メニュー操作などを行っていない場合は、電源が切れます。)
- オフタイマー録画の録画中に録画が終了するまでの時間を確認したいときは、オフタイマー録画で録画中のチャンネルを選ぶと本体表示部に表示されます。

オフタイマー録画の録画中に停止するときは
下欄の「録画中に録画を停止するときは」をごらんください。

録画中に録画を停止するときは

停止した位置までが、1番組となります。

- 停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。

前の画面に戻るときは
戻る を押す

通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

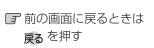
1番組だけ録画している場合

1 **停止 を押す**

確認メッセージが表示されるときは
[◀、▶]で“はい”を選び、決定 を押します。

2番組同時録画中/追っかけ再生/同時録画再生中の場合

1 追っかけ再生/同時録画再生しているときは、
再生を停止する

2 **録画を停止する**

1 サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する

2 録画を停止したい番組の“録画を停止する”を選び、決定する

(例)

サブメニュー
番組内容を表示する
この番組を録画する
放送切換メニューを表示する
画質設定
録画を停止する【地デジ】【011ch】
録画を停止する【地デジ】【051ch】
3D画面設定(サイドバイサイド)
3D奥行き切換
録画モード

3 録画中のもう一方の番組の録画も停止する場合は、停止 を押す

確認メッセージが表示されるときは
[◀、▶]で“はい”を選び、決定 を押します。

各部 準備(接続) 準備(設定) テレビ放送 メディア 録る 見る 編集消去 残す取り込む 便利機能 安全注意 仕様 困ったとき

番組を録画予約する

番組表(Gガイド)から簡単に予約する(簡単予約)

デジタル放送 **本体**

気を付けて

- 録画モードをDR以外にして録画する場合は、いったん録画モードDRで録画され、本機の電源が切のときに自動的に録画モードが変換される場合があります。p.62､66､68～70

1. - 本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
   - テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

2. 番組表を表示する (番組表の見かたは ••▶ p.48)

   予約 番組表

   別の放送の番組表を見るときは

   地上 BS CS を押すと、その放送の番組表に切り換わります。

3. 予約したい日の番組を選ぶ

別の日の番組表を見るときは

青 を押して“日付選択”画面を表示し、[▲、▼]で日付を選んで 決定 を押します。

4. 予約を確定する

(または 予約 番組表 を押す)

- 予約が確定し、選んだ番組に“予”が表示されます。
  (現在放送中の番組の場合は、番組内容画面が表示されます。p.76の手順 4 ～ 8 を行って予約を確定してください。)
- 予約が重なっているときは、確認メッセージが表示されます。
  決定 で“はい”のまま決定すると、“予約一覧”画面が表示され、重なっている予約に“重×”または“重○”が表示されます。p.85､90
  [◀、▶]で“いいえ”を選んで決定したときは、“予約一覧”画面は表示されず、確認メッセージが消えます。

毎週この番組を予約するときは

緑 を押します。

他の番組を続けて予約するときは

このあと、手順 3、4 を繰り返します。

5. 予約の設定が終わったら、戻る を押し、通常画面に戻す

本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。(電源が入った状態でも予約の録画は実行されます。)

前の画面に戻るときは
戻る を押す

通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

暗証番号の入力画面が表示されたときは ••▶ p.149

ちょっとメモ

- 簡単予約するときの録画モードは、その番組を予約したときに画面下の[決定]のガイド 決定簡単予約(DR) に表示されていた録画モードで予約されます。
  番組表を表示中に録画モードを変更するときは、手順 3 のときに次の操作を行います。
  1. サブメニュー を押してサブメニュー画面を表示する
  2. [▲、▼]で“録画モード”に移動したあと、[◀、▶]で希望の録画モードを選ぶ
  3. 変更後、戻る を押して、サブメニュー画面を消す

- 番組表は、p.140 らく楽メニューの“予約する”－“番組表”から、または p.142 通常メニューの“録る”－“番組表”から表示することもできます。
- 別の日の番組表は、p.140 らく楽メニューの“予約する”－“日付選択”から“日付選択”画面を表示して選択することもできます。

メモ

番組表(Gガイド)から好みの設定で予約する（詳細予約）

デジタル放送 本体 BD-RE BD-R

気を付けて

- 録画モードをDR以外にして録画する場合は、いったん録画モードDRで録画され、本機の電源が切のときに自動的に録画モードが変換される場合があります。 p.62、66、68～70

☞ 前の画面に戻るときは 戻る を押す

☞ 通常画面に戻るときは 戻る を何回か押す

☞ 暗証番号の入力画面が表示されたときは p.149

1

- 本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える
- BD-RE/-Rに録画するときは、録画が可能で残量のあるディスクを入れる p.59

2 番組表を表示する （番組表の見かたは p.48）

☞ 別の放送の番組表を見るときは

地上 BS CS を押すと、その放送の番組表に切り換わります。

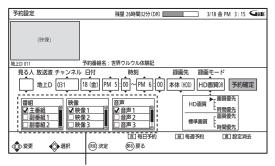
3 予約したい日の番組を選び、番組内容画面を表示する

☞ 別の日の番組表を見るときは

青 を押して“日付選択”画面を表示し、[▲、▼]で日付を選んで 決定 を押します。

☞ フリーワード、ジャンル、キーワード、人名などから予約する番組を探すときは p.50

4 “番組予約へ”が選ばれているので、そのまま決定する

決定

- “予約設定”画面が表示されます。

次ページへつづく

5 予約内容を確認する

映像・音声が複数ある番組を録画モードDR以外で予約するときにだけ、表示されます

6 予約内容を変更するときは

（項目の移動）　（内容の変更）

放送局(チャンネル)の枝番を切り換えるときは
"チャンネル"項目に移動し、希望の枝番がついたチャンネルに変更します。

毎週/毎日録画をするときは
"日付"項目に移動し、希望の表示(毎週土、毎日、月－土、月－金など)に変更します。
- [▼]を押していくと、毎週/毎日録画用の表示を早く表示することができます。
- 毎週録画、毎日録画(「毎日」)は、手順 8 で簡単に設定することもできます。

BD-RE/-Rに予約するときは
"録画先"項目に移動し、"BD"に変更します。

録画モードを変更するときは
"録画モード"項目に移動し、希望の録画モードに変更します。

ユーザーを設定するときは（本体の場合のみ）
"見る人"項目に移動し、希望のユーザーマークに変更します。
（p.92 録画一覧画面でユーザー別の録画一覧が利用できるようになります。）

7 マルチ番組(映像、音声が複数ある番組)を録画モードDR以外で予約するときは

（項目の移動）　（内容の変更･決定）

デジタル放送のマルチ番組(映像、音声が複数ある番組)を録画モードDR以外で予約するときは、番組、映像、音声を選んで予約する必要があります。
変更したい項目(番組、映像、音声)に移動し、予約したい内容を選んで決定します。

8 "予約確定"に移動し、決定する

- 予約が確定して番組表に戻り、録画予約した番組に"予"が表示されます。
（チャンネルを変更して予約を行った場合は、表示されません。）
- 予約が重なっているときは"予約一覧"画面が表示され、重なっている予約に「重○」または「重×」が表示されます。p.85､90

毎週/毎日録画を簡単に設定するときは

毎週録画をするときは
この手順のときに、緑 を押します。

毎日録画(「毎日」)をするときは
この手順のときに、赤 を押します。

他の番組を続けて予約するときは
このあと、手順 3 ～ 8 を繰り返します。

本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。(電源が入った状態でも予約の録画は実行されます。)

ちょっとメモ
- チャンネルや日付、時刻を変更して予約を行った場合、番組表に"予"は表示されません。
- 番組表は、p.140 らく楽メニューの"予約する"－"番組表"から、または p.142 通常メニューの"録る"－"番組表"から表示することもできます。
- 別の日の番組表は、p.140 らく楽メニューの"予約する"－"日付選択"から"日付選択"画面を表示して選択することもできます。

予約内容を手動で入力して予約する（時刻指定予約）

デジタル放送、L1入力 **本体** **BD-RE** **BD-R**

気を付けて

- 録画モードをDR以外にして録画する場合は、いったん録画モードDRで録画され、本機の電源が切のときに自動的に録画モードが変換される場合があります。 p.62、66、68～70

前の画面に戻るときは 戻る を押す

通常画面に戻るときは 戻る を何回か押す

1
- 本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える
- BD-RE/-Rに録画するときは、録画が可能で残量のあるディスクを入れる p.59

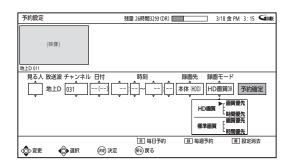
2 予約したい放送を選ぶ p.47

地上 BS CS

3 “予約一覧”画面を表示する

予約一覧

4 “予約設定”画面を表示する

赤

5 予約内容を設定する

チャンネル、
日付、
開始時刻(時、分)、
終了時刻(時、分)、
録画先、
録画モード

を合わせます。

- 昼の12時は“PM 0:00”に、夜の12時は“AM 0:00”に合わせます。
- チャンネルは、手順 2 で選んだ放送だけが選べます。

次ページへつづく

放送局(チャンネル)の枝番を切り換えるときは
“チャンネル”項目に移動し、希望の枝番がついたチャンネルに変更します。

毎週/毎日録画をするときは

毎週録画をするときは
項目をすべて設定したあと、緑 を押します。

「予約日」で設定した日からの毎週録画で確定します。（この場合は、手順 6 の操作は不要です。）

毎日録画(「毎日」)をするときは
項目をすべて設定したあと、赤 を押します。

「予約日」で設定した日からの毎日録画で確定します。（この場合は、手順 6 の操作は不要です。）

毎日録画(「月－土」、「月－金」など曜日指定)をするときは
“日付”項目に移動し、希望の表示に変更します。
- [▼]を押していくと、毎週/毎日録画用の表示を早く表示することができます。

BD-RE/-Rに予約するときは
“録画先”項目に移動し、“BD”に変更します。

ユーザーを設定するときは(本体の場合のみ)
“見る人”項目に移動し、希望のユーザーマークに変更します。
(p.92 録画一覧画面でユーザー別の録画一覧が利用できるようになります。)

6 “予約確定”に移動し、決定する

- 予約が確定し、“予約一覧”画面に戻ります。
- 予約が重なっているときは、“予約一覧”画面で重なっている予約に“重○”または“重×”が表示されます。p.85､90

他の番組を続けて予約するときは
このあと、[▲、▼]で予約未設定の段を選んで決定し、手順 3 ～ 6 を繰り返します。

7 確認が終わったら、戻る を押し、通常画面に戻す

本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。（電源が入った状態でも予約の録画は実行されます。）

各部 / 準備(接続) / 準備(設定) / テレビ放送 / メディア / 録る / 見る / 編集消去 / 残す取り込む / 便利機能 / 安全注意 / 仕様 / 困ったとき

ちょっとメモ

- “予約一覧”画面は、p.140 らく楽メニューの“予約を確認する”から、または p.142 通常メニューの“録る”－“予約変更・確認”から表示することもできます。
また、p.142 通常メニューの“録る”－“時刻指定予約”から時刻指定予約をすることもできます。
- 外部入力から時刻指定予約するときは ••▶ p.88

過去の録画履歴などをもとに、本機におまかせで自動予約する（おすすめ自動録画）

デジタル放送 本体

過去の録画履歴などをもとに、条件に合った番組を番組表から抽出し、自動予約･録画します。
工場出荷時は、自動予約･録画されない設定になっていますので、自動予約･録画をしたいときは設定を変更してください。

各部 準備（接続） 準備（設定） テレビ放送 メディア 録る 見る 編集消去 残す取り込む 便利機能 安全注意 仕様 困ったとき

気を付けて

- 録画モードをDR以外にして録画する場合は、いったん録画モードDRで録画され、本機の電源が切のときに自動的に録画モードが変換される場合があります。 p.62､66､68～70

☞ 前の画面に戻るときは 戻る を押す

☞ 通常画面に戻るときは 戻る を何回か押す

おすすめ自動録画の設定をするときは（らく楽メニューから）

設定内容を変更しておすすめ自動録画する場合は、次ページの通常メニュー画面から操作してください。

- **次ページの通常メニュー画面で設定を変更している場合は、らく楽メニュー画面から設定することはできません。**

1
- 本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える
- 本機が通常モード（本体前面の が消灯）になっているときは、らく楽モードに切り換える

  ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを点灯させます。

2 “おすすめ自動録画”の設定画面（らく楽メニュー用）を表示する

1 停止中に、らく楽メニュー画面を表示する

2 “予約する”で、そのまま決定する

3 “おすすめ自動録画”を選び、決定する

3 おすすめ自動録画をするときは、
“設定する”を選び、決定する

おすすめ自動録画の設定を行います。

設定する　設定しない

☞ **おすすめ自動録画をしないときは**
“設定しない”を選びます。

- **らく楽メニューから設定した場合は、次のように設定されます。**
（設定の変更はできません。変更したい場合は、次ページの通常メニューから操作してください。）

番組の抽出方法の設定 ････････････････････････････ **入（発掘型のみ）**
過去の録画履歴や再生履歴などをもとに、ユーザーの嗜好（しこう）に合った番組を番組表から抽出して自動予約･録画します。

録画モード（自動予約・録画するときの録画モード）･･･**HD画質DR**

録画数（1日の最大自動予約・録画番組数）･･････････ **2番組**

4 設定が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

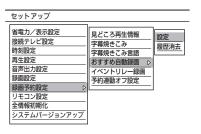
おすすめ自動録画の設定をする/設定を変更するときは（通常メニューから）

1
- 本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える
- 本機がらく楽モード（本体前面の らく楽モード が点灯）になっているときは、通常モードに切り換える
  ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。

2 “セットアップ”画面を表示する

1 停止中に、通常メニュー画面を表示する
メニュー らく楽

2 “設定・管理”を選び、決定する
⬇
3 “セットアップ”で、そのまま決定する

3 “おすすめ自動録画”の設定画面を表示する

1 “録画予約設定”を選び、決定する
⬇
“おすすめ自動録画”を選び、決定する

2 “設定”で、そのまま決定する

4 希望の項目を選び、設定を変更する

＿は工場出荷時の設定です。

番組の抽出方法の設定

入（安心型＋発掘型）
・・・安心型と発掘型の両方から抽出された番組を自動予約・録画するとき。

入（発掘型のみ）
・・・過去の録画履歴や再生履歴などをもとに、ユーザーの嗜好（しこう）に合った番組を番組表から抽出して自動予約・録画するとき。

入（安心型のみ）
・・・過去の録画履歴があるのに予約されていない番組を番組表から抽出して自動予約・録画するとき。

切 ・・・自動予約・録画をしないとき。

録画モード（自動予約・録画するときの録画モード）
HD画質DR　HD画質AF　HD画質AN　HD画質AE

録画数（1日の最大自動予約・録画番組数）
4番組　2番組　1番組

5 変更を確定する

6 確認が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

おすすめ自動録画の番組抽出タイミングについて

- **1日1回、番組表（Gガイド）の番組データを受信終了後に抽出されます。**
- “入（安心型＋発掘型）”の場合は、まず「安心型」の番組を抽出し、予約数に余裕があれば「発掘型」の番組の抽出します。同一番組が両方で抽出された場合は、「安心型」で画面に表示されます。

ちょっとメモ

- おすすめ自動録画の履歴は、おすすめ自動録画の“設定”を“切”にしていても蓄積されていきます。
- おすすめ自動録画の履歴は、消去することができます。
  1 p.156 “セットアップ”画面の“録画予約設定”－“おすすめ自動録画”で“履歴消去”を選んで決定する
  2 [◀、▶]で確認メッセージの“はい”を選び、決定 を押す

過去の録画履歴などをもとに、本機におまかせで自動予約する（おすすめ自動録画）（つづき）

おすすめ自動録画の予約状況を確認するときは

1
- 本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

2 “予約一覧”画面を表示する

予約一覧

予約一覧　残量 26時間32分（DR）　3/18 金 PM 3：15 G-GUIDE

（映像）

地上D	031	3/18金	PM 5：00~PM 6：00	本体	DR	番組指定 追跡対応 世界ウルウル体験記
地上D	151	3/18金	PM11：00~PM11：30	本体	DR	ポップスジャム
地上D	011−01	3/20日	PM 8：30~PM10：00	本体	DR	京都・三人歩き旅
安心 BS	161	3/20日	PM 9：00~PM11：00	本体	DR	カウントダウンポップ…
地上D	071	3/22火	PM 2：00~PM 4：54	本体	DR	ドラマ劇場
地上D	081	3/23水	PM11：00~AM 1：00	本体	DR	サッカー「○○×△△…
地上D	021	毎週木	AM 8：15~AM 8：30	本体	AF	朝のドラマ「○◇△□…

3 おすすめ自動録画の一覧を表示する

1 サブメニューを表示する

サブメニュー

2 “絞込み表示”を選び、決定する

⬇

“自動予約”を選び、決定する

（繰り返し）

4 予約を確認する
（“予約一覧”画面の見かたは ••▶ p.85）

☞ 別のページを表示するときは
前 ⏮、次/ジャンプ ⏭ を押します。

☞ 内容を変更したい予約があるときは ••▶ p.86

☞ 不要な予約を削除するときは ••▶ p.86

5 確認が終わったら、戻る を押し、通常画面に戻す

おすすめ自動録画で録画された番組の自動削除について

- **本体(HDD)の残量が10%未満になった場合、本体(HDD)の残量が10%以上になるように、次の条件の番組が録画日付の古い順に自動削除されます。**
  - おすすめ自動録画され、録画後8日以上経過した番組。
- **保護されている番組は、自動削除されません。**
  自動削除されたくない番組は、番組を保護しておいてください。p.113
- 自動削除は、おすすめ自動録画の番組抽出と同時に実行されます。
- 一度も再生していない番組でも、再生の有無にかかわらず削除されます。
- 本体の残量が10%以上ある場合、自動削除は実行されません。
- おすすめ自動録画の抽出方法を“切”に設定しているときは、自動削除は実行されません。

ちょっとメモ

- “予約一覧”画面は、p.140 らく楽メニューの“予約を確認する”から、または p.142 通常メニューの“録る”−“予約変更・確認”から表示することもできます。

気を付けて

- 自動予約数が40番組になった場合や、総予約数が80になった場合、それ以上は予約されません。
- 本体(HDD)の残量(1週間先までの録画予約分の容量を含む)が10%未満になった場合は、自動予約されません。また、本体(HDD)の残量がなくなった場合、おすすめ自動録画は実行されません。
- 不要な予約が自動予約によって予約一覧に登録されている場合は、その予約を手動で削除してください。
  削除すると、以降はその番組は自動予約されません。
- 毎週放送の連続ドラマなどの場合、毎回自動予約されるとは限りませんので、確実に録画したいときはユーザー予約で毎週録画してください。
- 毎日、月〜金、月〜土の同じ時間に放送されている番組を録画した場合は、最初に録画された曜日の番組だけが自動予約の対象となります。(最初に録画された曜日以外は、自動予約の対象となりません。)
  毎日録画をする場合は、ユーザー予約してください。
- おすすめ自動録画機能は、当社独自の機能です。
  Gガイドの機能ではありません。

予約の便利な機能

番組表から予約したデジタル放送の予約を自動追跡する

デジタル放送 **本体**

☞ 前の画面に戻るときは
戻る を押す

☞ 通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

自動追跡

デジタル放送の番組を番組表から予約した場合、次のようなときに自動的に録画開始/終了時刻が変更されて録画されます。

（例）
- 毎週録画をしているドラマの最終回だけ、放送時間が延長されているとき。
- 特別番組のため、今回放送分だけ、放送時間が遅くなるとき。
- 予約していたスポーツ番組が延長されたとき。
- 予約番組の前に放送されているスポーツ番組が延長されて、予約番組の放送時間が遅くなるとき。

自動追跡対象の番組は、"予約一覧"画面の番組情報欄に"番組指定 追跡対応"と表示されます。

自動的に録画開始/終了時刻が変更される時間は、1回だけの録画の場合は3時間後まで、毎週/毎日録画の場合は前後各3時間までとなります。

イベントリレー録画

p.156 "セットアップ"画面の"録画予約設定"－"イベントリレー録画"を"する"に設定すると、野球中継などで延長部分が他のチャンネルに引き継がれて放送される場合に、番組データの延長情報に従って自動的にチャンネルと録画終了時刻が変更されて録画されます。

（例） 昼の時間帯に「NHK総合」で放送されている高校野球を番組表から予約して録画中、夕方から放送されるチャンネルが「NHKEテレ」に引き継がれた場合でも、録画チャンネルが切り換わってそのまま高校野球の録画が継続されます。

各部
準備（接続）
準備（設定）
テレビ放送
メディア
録る
見る
編集消去
残す取り込む
便利機能
安全注意
仕様
困ったとき

ちょっとメモ

- 自動追跡やイベントリレーによって予約が重なったときは、p.90「予約が重なったときは」の例に従って録画されます。
- 自動追跡は、デジタル放送の番組を番組表から予約した場合だけ有効となります。

各部 / 準備（接続） / 準備（設定） / テレビ放送 / メディア / 録る / 見る / 編集消去 / 残す取り込む / 便利機能 / 安全注意 / 仕様 / 困ったとき

見どころ再生の盛り上がり具合の情報を盛り込んで録画する（見どころ再生情報）

本体

p.94 見どころ再生の盛り上がり具合の情報を盛り込んで録画することができます。

本機の番組表（Gガイド）を使って予約するとき

通常は、設定を変更する必要はありません。

工場出荷時は、盛り上がり具合の情報を盛り込んで録画するようになっています。

設定を変更するときは

1 p.81「おすすめ自動録画の設定を変更するときは」の手順 1、2 を行って、“セットアップ”画面を表示する

2 “見どころ再生情報”画面を表示する

1 “録画予約設定”を選び、決定する

⬇

“見どころ再生情報”を選び、決定する

（繰り返し）

3 “見どころ再生情報”の設定を変更し、決定する

生成する ……見どころ再生の情報を盛り込むとき。
生成しない ……見どころ再生の情報を盛り込まないとき。

4 変更が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

他の機器から外部入力で予約するとき

（ケーブルテレビ（CATV）のセットトップボックスや、スカパー！ e2のチューナーなど）

「スポーツ」の盛り上がり具合の情報だけ、または「音楽」の盛り上がり具合の情報だけを盛り込んで、録画することができます。

工場出荷時の設定は、「スポーツ」の盛り上がり具合の情報が盛り込まれて録画されます。
「音楽」の盛り上がり具合の情報を盛り込んで録画したいときは、設定を変更してください。

設定を変更するときは

1 左の手順 1、2 を行い、“見どころ再生情報”画面を表示する

2 “外部入力からの生成”に移動する

3 設定を変更し、決定する

見どころ再生
すべての項目を設定後、決定を押してください。
見どころ再生情報　生成する
外部入力からの生成　する(スポーツ)

する（スポーツ） ……「スポーツ」の盛り上がり具合の情報を盛り込むとき。
する（音楽） ……「音楽」の盛り上がり具合の情報を盛り込むとき。
しない ……盛り上がり具合の情報を盛り込まないとき。

4 変更が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

気を付けて

- 予約ごとに見どころ再生情報の設定を切り換えることはできません。
- 外部入力で予約する場合、「スポーツ」と「音楽」の盛り上がり具合の情報を両方盛り込んで録画することはできません。
- 番組や録画状況によっては、盛り上がり具合の情報が盛り込まれないことがあります。p.94

予約の確認・変更・削除をするときは

設定済みの予約を確認する（"予約一覧"画面の表示）

1
- 本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

2 "予約一覧"画面を表示し、予約を確認する

予約一覧

☞ 一覧（すべて、ユーザー予約だけ、おすすめ自動録画だけ）を絞り込みたいときは

1. サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
2. ［▲、▼］で"絞込み表示"を選び、決定 を押す
3. ［▲、▼］で表示方法を選び、決定 を押す

スキップ / 絞込み表示 ▷ ユーザー予約 / 自動予約 / すべて

☞ 別のページを表示するときは

前、次/ジャンプ を押します。

3 確認が終わったら、戻る を押し、通常画面に戻す

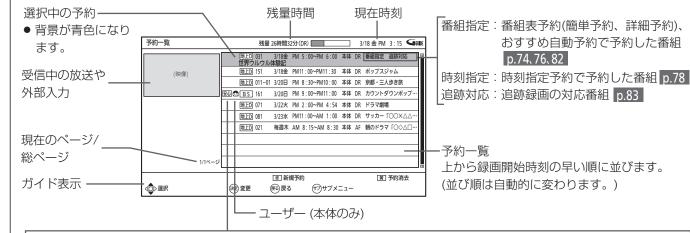
- 次回に"予約一覧"画面を表示するときは、上の一覧の切り換えにかかわらず"すべて"の予約の一覧が表示されます。

☞ 前の画面に戻るときは

戻る を押す

☞ 通常画面に戻るときは

戻る を何回か押す

予約実行中の予約の録画を停止するときは
●●▶ p.73「録画を停止するときは」をごらんください。

"予約一覧"画面の見かた

(例) すべての予約を表示する設定にしているとき

重○、重× ：予約重なり p.90
- 重○：その番組の全部が録画されます
- 重×：その番組の全部または一部が録画されません
- 重なっている予約は、背景が黄色になります。

安心、発掘 ：おすすめ自動録画 (本体のみ) p.82
- 予約内容を変更した場合は、マークが消え、ユーザー予約に変わります。

ｽｷｯﾌﾟ：予約スキップ中の予約 次ページ

ちょっとメモ

- "予約一覧"画面は、p.140 らく楽メニューの"予約を確認する"から、または p.142 通常メニューの"録る"－"予約変更・確認"から表示することもできます。

一時的に毎週/毎日録画をやめる（予約スキップ）

祝日などでその週/日の番組の放送がない場合、予約をそのまま残して録画だけ実行されないようにすることができます。

- **予約スキップの設定をした予約は、1回だけスキップされます。（次回からは録画されます。）**

1 上記で“予約一覧”画面を表示したあと、
一時的に毎週/毎日録画をやめたい予約を選ぶ

（選択）　（前、次ページ）

2 予約をスキップする

1 サブメニューを表示し、“スキップ”でそのまま決定する

サブメニュー ➡

- 予約スキップを設定した予約には、“スキップ”が表示されます。

予約一覧　残量 26時間32分（DR）　3/18 金 PM 3：15 G-GUIDE

（映像）

地上D	031	8/20金	PM 5：00~PM 6：00	本体	DR	世界ウルウル体験記
地上D	151	3/18金	PM11：00~PM11：30	本体	DR	ポップスジャム
地上D	011−01	3/20日	PM 8：30~PM10：00	本体	DR	京都・三人歩き旅
安心 BS	161	3/20日	PM 9：00~PM11：00	本体	DR	カウントダウンポップ…
地上D	071	3/22火	PM 2：00~PM 4：54	本体	DR	ドラマ劇場
地上D	081	3/23水	PM11：00~AM 1：00	本体	DR	サッカー「〇〇×△△…
スキップ 地上D	021	毎週木	AM 8：15~AM 8：30	本体	AF	番組指定　追跡対応 朝のドラマ「〇◇△□繁盛物語」

3 確認が終わったら、戻る を押し、通常画面に戻す

設定済みの予約の内容を変更する

録画実行中の予約は変更できません。

1 前ページ で“予約一覧”画面を表示したあと、
変更したい予約を選び、決定する

（選択）　（前、次ページ）

2 変更したい項目に移動し、内容を変更する

（移動）　（変更）

3 “予約確定”に移動し、決定する

- 予約が確定し、“予約一覧”画面に戻ります。
- 予約が重なっているときは、重なっている予約に「重○」または「重×」が表示されます。p.85, 90
- 自動予約の内容を変更したときは、安心や発掘マークが消え、ユーザー予約に変わります。

4 設定の変更が終わったら、戻る を押し、通常画面に戻す

不要な予約を取り消す

予約の取り消しは1予約ずつのみとなります。

録画実行中の予約の取り消しはできません。録画を停止させると取り消されます。p.73

番組表から予約を取り消すときは

1 番組表を表示中に、
“予”が表示されている番組で、予約を取り消したい番組を選ぶ p.74

2 予約を取り消す

- “予”が消えて、予約が取り消されます。

3 予約の取り消しが終わったら、戻る を押し、通常画面に戻す

“予約一覧”画面から予約を取り消すときは

1 前ページ で“予約一覧”画面を表示したあと、
取り消したい予約を選び、確定する

➡
（選択）　（前、次ページ）　（確定）

2 確認メッセージの“はい”を選び、決定する

- 予約が取り消されます。

3 予約の取り消しが終わったら、戻る を押し、通常画面に戻す

他の機器の映像・音声を視聴/録画する

本機の入力端子(L1)やi.LINK(TS)端子につないだ機器の映像・音声を、本機を経由して視聴したり本機に録画したりするときは、本機を外部入力に切り換えます。
他の機器の操作については、それぞれの機器の取扱説明書をお読みください。

外部入力に切り換えるには(入力切換)

外部入力(L1またはTSin)に切り換える

外部入力

- 押すたびに、L1（L1入力）↔ TSin（i.LINK(TS)入力）が切り換わります。

  L1（L1入力）············ 本機の入力端子につないでいる機器の映像・音声を視聴・録画するとき。

  TSin（i.LINK(TS)入力）··· 本機のi.LINK(TS)端子につないでいる機器の映像・音声を視聴・録画するとき。
  (ハイビジョン画質で録画できます。)

- 外部入力 で外部入力に切り換えたあと、 で L1 ↔ TSin を切り換えることもできます。

放送の画面に戻るときは
地上 BS CS で放送を切り換えます。p.47

ケーブルテレビ(CATV)で受信している番組を視聴するときは

ケーブルテレビの番組を視聴するためには、ケーブルテレビ会社専用のホームターミナル/セットトップボックスでチャンネルを選局し、本機を外部入力に切り換えて視聴します。
地上デジタル/BSデジタル放送は、本機のチャンネル選局で視聴できる(外部入力に切り換え不要な)場合もあります。

くわしくはご契約のケーブルテレビ会社にご相談ください。
接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

事前に、次の接続を確認・変更しておいてください。
- **本機とケーブルテレビのホームターミナル/セットトップボックスの接続** p.16

視聴するときの例

ケーブルテレビのホームターミナル/セットトップボックス
見たいチャンネルに合わせる

本 機
外部入力に切り換える（上記を参照）

各部 / 準備(接続) / 準備(設定) / テレビ放送 / メディア / 録る / 見る / 消去編集 / 取り込む残す / 便利機能 / 安全注意 / 仕様 / 困ったとき

気を付けて

- テレビやケーブルテレビのホームターミナル/セットトップボックスのＩrシステムを使う場合、本機を操作できないことがあります。

ケーブルテレビ(CATV)で受信している番組を録画するときは

- 事前に、次の接続と設定を確認・変更しておいてください。設定が間違っていると、正しく録画できません。
  - 本機とケーブルテレビのホームターミナル/セットトップボックスの接続 p.16
  - i.LINK(TS)入力から録画・録画予約する場合は、p.152 "セットアップ"画面の"省電力／表示設定"－"高速起動設定"を"入"に設定しておく（「切」にすると録画できません）
  - p.64､155 "セットアップ"画面の"録画設定"－"外部音声選択"の設定（工場出荷時の設定：ステレオ）
  - 二重音声を録画する場合は、p.64､155 "セットアップ"画面の"録画設定"－"二重音声選択"、"外部音声選択"の設定

  "セットアップ"画面の設定の確認･変更のしかたについては、p.158 をごらんください。
- p.91 の補足説明や p.200 の【解説】もお読みください。

L1入力から録画･録画予約するとき

録画するときの例

本体

1 ケーブルテレビのホームターミナル/セットトップボックス
録画するチャンネルに合わせる

2 本 機
外部入力(L1)に切り換える 前ページ

3 本 機
録画する p.72

録画予約するときの例

本体 BD-RE BD-R

1 ケーブルテレビのホームターミナル/セットトップボックス
録画するチャンネルに合わせる

2 本 機
時刻指定予約をする p.78
- "ch"に外部入力(L1)を表示させます。

3 ケーブルテレビのホームターミナル/セットトップボックス
予約開始時刻に、電源が入っているようにしておく
- 電源が入っていないと、録画できません。

i.LINK(TS)入力から録画･録画予約するとき

録画するときの例

本体

1 ケーブルテレビのi.LINK(TS)対応セットトップボックス
録画するチャンネルに合わせる

2 本 機
外部入力(TSin)に切り換える 前ページ

3 本 機
録画する p.72

録画予約するときの例

本体

1 ケーブルテレビのi.LINK(TS)対応セットトップボックス
i.LINKの設定をする
- ケーブルテレビ側で、本機がi.LINK機器として認識されていることを確認してください。

2 ケーブルテレビのi.LINK(TS)対応セットトップボックス
録画予約の設定をする
- 録画機器を"D-VHS"に、録画モードを"自動"に設定してください。
  本機には録画モードDRで録画されます。

3 本 機
電源を切る
- 録画予約の開始時刻になると、本機の電源が自動的に入り、録画が始まります。
  録画予約の終了時刻になると、録画が自動的に停止します。

ちょっとメモ

- i.LINK(TS)入力から録画予約するときは、番組の最初の部分が録画されない場合があるため、録画開始時刻を多少早めに設定しておくことをおすすめします。
- i.LINK(TS)入力から録画予約で本機に録画する場合のみ、録画終了後も録画モードはDRのままとなります。他の番組をDR以外で録画されるときは、録画モードを変更してください。p.72
  (i.LINK(TS)入力から録画で本機に録画する場合は、本機で現在選ばれている録画モードで録画され、録画終了後も録画モードはそのままとなります。)

各部 準備(接続) 準備(設定) テレビ放送 メディア 録る 見る 編集消去 残す取り込む 便利機能 安全注意 仕様 困ったとき

スカパー！HD対応チューナーから録画するときは（「スカパー！HD録画」）

本体

- 事前に、次の接続と設定を確認・変更しておいてください。設定が間違っていると、正しく録画できません。
  - 本機とスカパー！HD対応チューナーの接続 p.20
  - p.152"セットアップ"画面の"省電力／表示設定"－"高速起動設定"を"入"に設定しておく（「切」にすると録画できません）
  - ネットワークの設定 p.32

  "セットアップ"画面の設定の確認・変更のしかたについては、p.158をごらんください。
- p.91の補足説明やp.201の【解説】もお読みください。

スカパー！HD対応チューナーから録画・録画予約をするとき

現在放送中の番組を録画するときの例

1 スカパー！HD対応チューナー

本機が録画先になるように設定する
- 設定については、スカパー！HD対応チューナーの取扱説明書をごらんください。

2 スカパー！HD対応チューナー

録画するチャンネルに合わせる

3 スカパー！HD対応チューナー

スカパー！HD対応チューナーのリモコンを操作し、現在放送中の番組の録画を開始する
- 本機の電源が切のときは自動的に電源が入り、録画が始まります。この場合、電源入から録画ができる状態になるまでしばらく時間がかかりますので、録画の最初の部分は録画されません。
- 録画番組の終了時刻になると、録画が自動的に停止します。

録画予約で録画するときの例

1 スカパー！HD対応チューナー

本機が録画先になるように設定する
- 設定については、スカパー！HD対応チューナーの取扱説明書をごらんください。

2 スカパー！HD対応チューナー

録画予約の設定をする
- スカパー！HD対応チューナーで設定した予約が、本機の「予約一覧」画面に登録されます。

3 本　機

予約を確認する p.85
- 本機には録画モードDRで録画されます。
- 録画予約の開始時刻になると、自動的に本機の録画が始まります。
- 録画予約の終了時刻になると、録画が自動的に停止します。

スカパー！HD対応チューナーからの録画予約の設定を変更・取り消すとき

録画予約の設定の変更

- 本機では変更できません。
- 本機とスカパー！HD対応チューナーの電源を入れた状態で、スカパー！HD対応チューナー側で変更してください。

録画予約の設定の取り消し

- 本機とスカパー！HD対応チューナーの電源を入れた状態で、スカパー！HD対応チューナー側で取り消しを行ってください。自動的に本機の予約一覧から消去されます。
  スカパー！HD対応チューナー側で取り消し操作を行っても本機の予約一覧から消去されない場合は、本機の予約一覧画面から取り消しを行ってください。

スカパー！放送サービスおよびご契約内容の変更に関するお問い合わせは　（2011年4月現在）

スカパー！カスタマーセンター
0570-039-888
（PHS・IP電話のお客様は045-287-7777）
受付時間　10：00～20：00　<年中無休>

電話番号はお間違いのないようにお願いします。

お電話いただく前に、有料放送役務契約約款(http://www.skyperfectv.co.jp/top/legal/yakkan/)の内容をご確認ください。

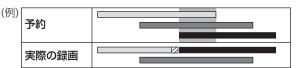
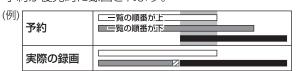
※ 個人情報の取扱いに関しましては、プライバシーポリシー(http://www.skyperfectv.co.jp/privacypolicy/)に記載しております。

ちょっとメモ
- 番組の最初の部分が録画されない場合があります。
- 接続しているスカパー！HD対応チューナーによって、または視聴制限がある番組の場合は、番組名が表示されないことがあります。視聴制限を解除すると、表示されるようになります。

録画についての補足説明

予約が重なったときは

“予約一覧”画面で確認できます

- 予約が重なっている場合は、“予約一覧”画面で重なっている予約に“重○”“重×”が表示されます。p.85
  (前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合は、表示されません。)
  重×・・・その番組の全部または一部が録画されません。
  重○・・・その番組の全部が録画されます。

3つ以上の予約が重なった場合は

ユーザー予約が重なった場合

- 全部または一部が重なった場合は、録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。

(例)
- 開始時刻が同じ場合は、“予約一覧”画面で順番が上の方の予約が優先的に録画されます。

(例)
- 前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合

(例)
ユーザー予約とおすすめ自動録画が重なった場合

- ユーザー予約が優先的に録画されます。

(例)
前の予約と後の予約が重なる手前の部分の録画について

- 前の予約の場合、後の予約と重なる部分の手前1分ほど(▨部分)は録画されません。

2番組同時録画ができない条件P.67で、2つ以上の予約が重なった場合は

ユーザー予約が重なった場合

- 録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。
- 開始時刻が同じ場合は、“予約一覧”画面で順番が上の方の予約が優先的に録画されます。
- 前の予約の場合、後の予約と重なる部分の手前1分ほどは録画されません。(前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合を含む)

ユーザー予約とおすすめ自動録画が重なった場合

- ユーザー予約が優先的に録画されます。

通常録画/オフタイマー録画/等速ダビングと予約の録画が重なったときは

- 通常録画/オフタイマー録画/等速ダビングが優先して録画されます。
  予約は取り消され、録画されません。

停電があったときは

全般

- 停電から復帰すると、自動的に電源が入ってシステム設定を行います。
  (システム設定中は、本体表示部に“**WAIT**”が表示されます。)
- 停電によって録画が中断したときは、内部メールでお知らせします。p.146

録画の種類別では

録画中に停電したとき

- 録画は停電したところで終了します。
- システム設定後は、電源が切れます。

録画予約の録画開始前に停電したとき

- 停電復帰後に、時計が自動修正されるまたは合わせ直すと予約内容が復活します。

録画予約の録画実行中や、オフタイマー録画中に停電したとき

- 録画は停電したところで中断します。
- 録画終了時刻(時間)前に復帰したときは、システム設定後に録画終了時刻(時間)まで録画されます。
- 録画終了時刻後に復帰したときは、録画は停電したところで終了し、システム設定後に電源が切れます。

ディスク別では

本体(HDD)

- 停電前後の番組が分割して録画一覧画面に登録されます。
- 停電直前の10分程度が録画されないことがあります。
- 停電発生のタイミングによっては、停電前に録画された内容が削除されることがあります。
- 停電発生の状況によっては、初期化が必要となることがあります。

BD-RE/BD-R

- 停電前に録画された録画内容は録画一覧画面に登録されないため、再生することができません。また、録画された分だけディスクの残量時間が減ります。
- 停電復帰後にディスクの認識に時間がかかる場合(タイトル数が多い場合など)は、本体(HDD)に代理録画されることがあります。本体(HDD)に代理録画された場合は、本体(HDD)の録画一覧画面に登録されます。
- 停電発生の状況によっては、そのディスクが使用できなくなることがあります。

ケーブルテレビ(CATV)で受信している番組をi.LINK(TS)入力から録画･録画予約するとき

● **i.LINK(TS)入力から録画・録画予約する場合は、必ず p.152 “セットアップ”画面の“省電力／表示設定”－“高速起動設定”を“入”に設定しておいてください。「切」にすると録画できません。**

- i.LINK(TS)入力からの録画中に本機の操作を行うと、録画が中断することがあります。
  また、次のような場合、本機の状態によってはi.LINK(TS)入力からの録画予約が開始されない場合があります。
  - 本機を操作中
  - 本機の他の動作(録画、ダビング、ネットワーク、各種設定など)を実行中
  - 本機の電源が入ってから操作可能になるまで
- ディスクが挿入された状態で本機の電源を入れた場合、本機が操作可能になるまでに時間がかかり、i.LINK(TS)入力からの録画予約が開始されない場合があります。i.LINK(TS)入力から録画予約する場合は、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
- i.LINK(TS)入力からの録画中に、本機の電源を切らないでください。
- i.LINK(TS)入力から録画する番組は、2番組同時録画できません。
- 本機からケーブルテレビのセットトップボックスを操作したり、セットトップボックスから本機を操作したりすることはできません。
- ケーブルテレビのセットトップボックスによっては、i.LINK(TS)端子からは録画できない場合があります。
- ケーブルテレビの専用チャンネル(地上デジタル/アナログ、BSデジタル、110度CSデジタル以外)の番組をi.LINK(TS)入力から録画予約して本機に録画した場合、その番組に対して次の再生はできません。
  - 見どころ再生
  - シーン検索

本機の予約とi.LINK(TS)入力からの予約が重なった場合は

- 録画開始時刻が早い方の予約が優先的に録画されます。
- 前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合でも、後の予約が取り消されて録画されません。

(例)

予約	本機 i.LINK(TS)
実際の録画	

(例)

予約	i.LINK(TS) 本機
実際の録画	

p.200 の【解説】もお読みください。

「スカパー！HD録画」をする場合

● **「スカパー！HD録画」をするときは、必ず p.152 “セットアップ”画面の“省電力／表示設定”－“高速起動設定”を“入”に設定しておいてください。「切」にすると録画できません。**

- スカパー！HDのデータ放送、ラジオ放送は本機に録画できません。
- 地上デジタル放送を受信可能なスカパー！HD対応チューナーから、地上デジタル放送を本機に録画予約することはできません。本機側で録画予約してください。
- ネットワーク環境により、通信速度が遅い場合は録画が停止することがあります。
- 予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」番組の場合は、最初の部分が録画されないことがあります。
- ディスクが挿入された状態で本機の電源を入れた場合、本機が操作可能になるまでに時間がかかり、「スカパー！HD録画」の録画開始が遅れる場合があります。
  「スカパー！HD録画」をする場合は、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
- 「スカパー！HD録画」の録画中に、本機の電源を切らないでください。
- ネットワーク環境により、通信速度が遅い場合は録画が停止することがあります。
- 本機からスカパー！HD対応チューナーを操作したり、スカパー！HD対応チューナーから本機を操作したりすることはできません。
- 次のような場合、録画したスカパー！HDの番組の字幕表示を入/切したり、文字スーパーを記録することはできません。
  - スカパー！HD対応チューナーが字幕や文字スーパーの出力に対応していないとき
  - 標準画質の番組のとき
  - 「スカパー！HD録画」した番組を等速ダビングするとき
  - 本機以外で「スカパー！HD録画」した番組のとき
- 「スカパー！HD録画」した番組に対して、次の再生はできません。
  - 見どころ再生
  - シーン検索

本機の予約と「スカパー！HD録画」が重なった場合は

●●▶ p.66～70

p.201 の【解説】もお読みください。

録画した番組の一覧について（録画一覧画面）

本機で録画した番組を見るときは、画面に録画一覧画面を表示させて、見たい番組を選んで再生します。

録画一覧画面の見かた

（例） 本体(HDD)の録画一覧(全)で日付順に並んでいるとき

※1 本体(HDD)の一覧にだけ、表示されます。
※2 「全」「ユーザー」の一覧にだけ表示されます。

選択中の番組の音声付き早見再生(約1.3倍速)画面
- 録画中の番組は、右のような表示になります。（録画中のため表示できません）

選択中の番組と情報(青色)
- 9回 ：コピー可能（数字はコピー可能回数） p.71、125
- ムーブ ：ムーブ(移動)のみ可能 p.71、125
- 安心、発掘 ：おすすめ自動録画で録画された番組 ※1 p.80
- 変換予定➡〇〇 ：録画モード変換予定番組 ※1 p.62、66、68～70（〇〇は変換後の録画モード）

選択中のラベル ※1
ラベルごとに下記の内容で分類された番組の一覧が表示されます。
- 「全」以外は、表示される番組がないときには選べません。

全 ：再生可能なすべての番組の一覧（ネットワークでダウンロードした番組を除く） p.93
▶ ：見どころ再生が可能な番組の一覧 p.95
AVCHDで記録された動画をダビングした一覧 p.108
ネットワークでダウンロードした番組の一覧 p.172
その他：ユーザーアイコン別の番組の一覧

録画一覧(HDD) 残量 26時間32分(DR) 3/18 金 PM 3：15
全 すべて ／ 見どころ ／ 撮影ビデオ ／ ユーザー1 ／ ユーザー2 ／ ユーザー3 ／ ダウンロード
(映像)
プロジェクトZ 9回 安心 地上D 061 PM11：00～（1時間00分） HD画質DR 11/ 3/17木
カウントダウンポップス 11/ 3/13日
世界ウルウル体験記 11/ 3/12土
スペシャル「京都」 11/ 3/12土
大リーグ 〇〇〇〇〇×◇◇◇ 11/ 3/11金
ドラマスペシャル 11/ 3/ 9水
大リーグ △△△△×◇◇◇ 11/ 3/ 7月
カウントダウンポップス 11/ 3/ 6日
京都・奈良 古都の社寺めぐり 11/ 3/ 5土
1/24番組
シーン検索 複数消去選択 番組消去
選択 ラベル切換 決定 再生 戻る 戻る サブメニュー 前・次ページ

まだ一度も見ていない(未再生の)番組 ※1
- 再生すると消えます。

ユーザー ※1

ガイド表示

選択中の番組の順番/総数

- 🔒 ：保護されている番組 p.113
- AUTO ：おすすめ自動チャプターが記録されていてCMのある番組 ※1 p.93、155、175
- ：見どころ再生が可能な番組 ※1 p.94
- ：録画中の番組 ※2

- 本機の録画一覧画面は、本体(HDD)、ディスクごとに別々の画面になっています。
- 一覧の並び順は、番組名順、読み込み順、日付順、未再生順から選べます。
（番組名順は本体(HDD)の一覧のみ、読み込み順はBD/DVDの一覧のみ）
- 日付順、未再生順の番組は、録画日付の新しい順に並びます。
- 番組名順で最初の5文字が同じ名前の番組は、（フォルダー）でまとめて表示されます。（連続ドラマ一括機能）
フォルダー内の一覧を表示したいときは、[▲、▼]で の付いた番組名を選んで決定すると、フォルダー内の一覧が表示されます。（フォルダー内で 戻る を押すと、通常の一覧に戻ります。）
- 番組名をGガイドから引用しているときは、番組名の左に“GG”が表示されます。（本体(HDD)の一覧のみ）

気を付けて

- 次の方法で録画した番組は、録画一覧(全)/(ユーザー)画面にだけ表示されます。
  - ［録画］ボタンで録画した番組
  - 本体(HDD)にダビングした番組
  - Ir録画した番組
- 番組を部分削除、分割したときは、録画一覧(▶)画面には表示されなくなります。部分削除、分割後の番組を再生するときは、録画一覧(全)/(ユーザー)画面から選んでください。

ちょっとメモ

- 録画一覧画面から番組を再生したときは、その番組の再生が終わると自動的に停止し、録画一覧画面に戻ります。
- 番組の消去・編集をするときは ••▶ p.110

各部 準備(接続) 準備(設定) テレビ放送 メディア 録る 見る 編集消去 残す取り込む 便利機能 安全注意 仕様 困ったとき

本体(HDD)に録画した番組を見る(本体の再生)

本体(HDD)に録画した番組を見る(本体の通常再生)

本体

1
- 本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

2 本体(HDD)の録画一覧(全)画面を表示する

本体再生/ディスク再生の選択画面が表示されるときは
"録画した番組を見る"で、そのまま 決定 を押します。

3 希望の番組を選ぶ

(番組の選択)

(ラベルの選択)

別のページを表示するときは
前、次/ジャンプ を押します。

一覧の並び順を変えたいときは
1. サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
2. [▲、▼]で"並べ替え"を選び、決定 を押す
3. [▲、▼]で希望の並び順を選び、決定 を押す

4 再生を始める

再生 または 決定

- 再生が始まる位置(先頭から、続きから)については ••▶ つづき再生 p.100

5 再生を停止するときは

停止

- 再生が停止します。(停止位置が記憶されます。)

前の画面に戻るときは
戻る を押す

通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

暗証番号の入力画面が表示されたときは ••▶ p.149

再生中に、場面の切り換わるところや本編とCMの変わり目で次の場面までとばしたい(ジャンプしたい)ときは

録画一覧画面で"AUTO"が付いた番組には、録画中に場面が切り換わるところや本編とCMの変わり目で、チャプターマークが自動的に記録されています。(p.155 おすすめ自動チャプター)
このチャプターマークを利用して、次の場面までとばすことができます。

1 再生中に次の場面までとばしたいときは、次/ジャンプ を押す

- とばされる位置は、録画時のおすすめ自動チャプターの設定(おすすめ自動1、おすすめ自動2)によって異なります。

ちょっとメモ

- 本体(HDD)の録画一覧画面は、p.140 らく楽メニューの"録画した番組を見る"－"すべて"から、または p.142 通常メニューの"見る(再生)"－"HDD録画一覧"から表示することもできます。
- 録画一覧画面を表示中に、p.144 サブメニューの"再生"で、再生を始める位置(先頭から、続きから)を選んで再生を始めることもできます。

録画した番組の盛り上がった部分だけを見る(見どころ再生)

本体

再生時に画面に盛り上がり具合の情報を表示させて、一定レベルより上の部分を連続して再生することができます。
また、盛り上がり具合の再生レベルを変更して、再生することができます。

前の画面に戻るときは
戻る を押す

通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

見どころ再生について

● **見どころ再生をするときは、見どころ再生の盛り上がり具合の情報を盛り込んで録画してください。**
盛り上がり具合の情報は、次の1.、2.の両方を行った場合にだけ、番組といっしょに録画されます。
1. p.84 "セットアップ"画面の"録画予約設定"－"見どころ再生情報"－"見どころ再生情報"の設定を"生成する"にする（工場出荷時は、"生成する"になっています。）
2. 本機の番組表(Gガイド)を使って番組を予約・録画する
または、ケーブルテレビ(CATV)のセットトップボックスやスカパー！ e2のチューナーなど、他の機器から外部入力で予約・録画する

● **見どころ再生が可能な番組は、録画一覧画面を表示すると、"▶" "🏃" "♪"アイコンが付いています。**
▶ ･･･ 番組のジャンルが下記以外の番組
🏃 ･･･ 番組のジャンルが｢スポーツ｣の番組
♪ ･･･ 番組のジャンルが｢音楽｣の番組

● **ケーブルテレビ(CATV)のセットトップボックスやスカパー！ e2のチューナーなど、他の機器から外部入力で予約したときは･･･**
｢スポーツ｣の盛り上がり具合の情報だけ、または｢音楽｣の盛り上がり具合の情報だけを盛り込んで、録画することができます。
｢スポーツ｣と｢音楽｣のどちらの盛り上がり具合の情報を録画するかは、p.84 "セットアップ"画面の"録画予約設定"－"見どころ再生情報"－"外部入力からの生成"で設定します。（工場出荷時は、"する(スポーツ)"になっています。）

気を付けて

- 録画予約後に、手動で予約のチャンネル、日付(予約日)、開始/終了時刻を変更すると、その番組の盛り上がり具合の情報は盛り込まれません。
- 録画予約後に、予約した番組の番組データが変更された場合、その番組の盛り上がり具合の情報は盛り込まれません。予約当日に、番組表で予約した番組の番組データが変更されていないかどうか確認することをおすすめします。
- 本体(HDD)へ代理録画された場合は、盛り上がり具合の情報は盛り込まれません。

ちょっとメモ

- 番組によって、次のような場合は見どころ再生が正しくできないことがあります。
  - 番組の構成上、盛り上がり具合の情報が検出しづらいとき。(クラシック音楽番組など)
  - 野球中継などで副音声を選択して録画したとき。
  - 受信状態の悪い番組を録画したとき。(特に音声ノイズが大きいような場合)
  - 他の機器から外部入力で録画したときの音量レベルが低いとき、または高いとき。

見どころ再生をするときは

1 本体(HDD)の録画一覧(▶)画面を表示する

見どころ

- 該当する番組がない場合は、録画一覧(全)画面が表示されます。
- 録画一覧(▶)画面は、他のラベルの録画一覧画面を表示中に、[◀、▶]でラベルを切り換えて表示することもできます。

2 見たい番組を選んで、 再生する
(p.93 の手順 3、4 を参照)

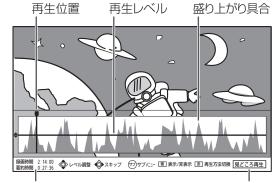
録画一覧(HDD)　残量 26時間32分(DR)　3/18 金 PM 3:15 G-GUIDE

全 すべて | ▶ 見どころ | 撮影ビデオ | ユーザー1 | ユーザー2 | ユーザー3 | ダウンロード

(映像)

番組		
NEW カウントダウンポップス 9回 安心 BS 161 PM 9:00~(2時間00分) HD画質DR	AUTO ♪	11/ 3/13日
世界ウルウル体験記	AUTO ▶	11/ 3/12土
大リーグ ○○○○○×◇◇◇	AUTO	11/ 3/11金
ドラマスペシャル	AUTO ▶	11/ 3/ 9水
大リーグ △△△△×◇◇◇	AUTO	11/ 3/ 7月
カウントダウンポップス	AUTO ♪	11/ 3/ 6日
京都・奈良 古都の社寺めぐり	AUTO ▶	11/ 3/ 5土

3 見どころ再生をやめるときは

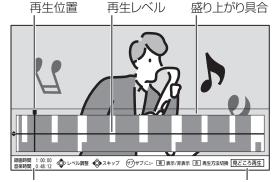
■ 停止

- 見どころ再生が停止し、録画一覧画面に戻ります。(見どころ再生の場合、停止位置は記憶されません。)
- 最後まで再生されると、再生一時停止画面のままとなります。

ちょっとメモ

- 見どころ再生が可能な番組は、録画一覧(全)画面から再生することもできます。
  1. 番組名の右に“▶”、“ ”または“♪”が付いた希望の番組を選ぶ
  2. サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
  3. [▲、▼]で“再生”を選び、決定 を押す
  4. [▲、▼]で“見どころ再生”を選び、決定 を押す
- 本体の録画一覧(▶)画面は、p.140 らく楽メニューの“録画した番組を見る”－“見どころ”から表示することもできます。
- 見どころ再生中(見どころ再生の通常再生中を含む)は、サブメニューから操作する次の機能は利用できません。
  - リピート再生
  - 頭だし
  - アングルの切り換え
  - 画質設定

見どころ再生中の画面と操作

【▶、 の番組の場合のレベル表示】

再生位置　再生レベル　盛り上がり具合

(上) 通常再生の再生時間　現在の再生方法
(下) 見どころ再生の再生時間

【♪の番組の場合のレベル表示】

再生位置　再生レベル　盛り上がり具合

(上) 通常再生の再生時間　現在の再生方法
(下) 見どころ再生の再生時間

盛り上がり具合の情報の表示/非表示を切り換えるとき

青 を押すたびに、表示/非表示が切り換わります。

再生方法を切り換えるとき

赤 を押すたびに、見どころ再生と通常再生が切り換わります。

見どころ再生のときは

再生レベルから上の部分だけが再生されます。

通常再生のときは

全部分が再生されます。

再生中にできること

再生中に、再生速度の切り換え、30秒スキップ、チョット戻し、音声の切り換えができます。

次または前の再生部分までとばすとき

[◀、▶]または 前 ⏮、次/ジャンプ ⏭ で、次/前の再生部分までスキップします。

再生レベルを切り換えるとき

[▲、▼]で、再生レベルの位置を上下させ、再生される部分を調整できます。

▶、 の番組の場合･･･10段階
♪の番組の場合････････2段階

ディスクを見る(ディスクの再生)

BD/DVDに録画した番組を見る(ディスクの再生)

BD-RE BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) RAM

- 本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

2 再生したいBD/DVDを入れる p.59

3 BD/DVDの録画一覧画面を表示する

1. 見る を押す
2. 本体再生/ディスク再生の選択画面が表示されるので、"ブルーレイ™/DVDを見る"を選び、決定する

4 希望の番組を選ぶ

別のページを表示するときは
前、次/ジャンプ を押します。

一覧の並び順を変えたいときは
1. サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
2. [▲、▼]で"並べ替え"を選び、決定 を押す
3. [▲、▼]で希望の並び順を選び、決定 を押す

5 再生を始める

- 再生が始まる位置(先頭から、続きから)については ••▶ つづき再生 p.100

6 再生を停止するときは

- 再生が停止します。(停止位置が記憶されます。)
- 続けて見ないときは、p.59 でディスクを取り出しておくと、本体に録画した番組を見るときなどに便利です。

前の画面に戻るときは
戻る を押す

通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

暗証番号の入力画面が表示されたときは ••▶ p.149

ちょっとメモ

- PINコードの入力画面が表示されたときは
他社のBDレコーダーなどでディスクにPINコードが設定されているときは、本機で使用するときにPINコードの入力画面が表示されますので、1~10 で設定されたPINコードを入力し、決定 を押してください。(本機では、PINコードの設定や変更はできません。)
- BD/DVDの録画一覧画面は、p.140 らく楽メニューの"ブルーレイ™/DVDを見る"から、または p.142 通常メニューの"見る(再生)"-"BD/DVDトップメニュー/録画一覧"から表示することもできます。

市販のソフトを見る･聞く(ソフトの再生)

BDビデオ DVDビデオ 音楽用CD

1
- 本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

2 再生したいディスクを入れる p.59
- ディスクによっては、自動的に再生が始まります。

ディスクを入れると、ディスクのメニュー画面が表示される場合は
画面の指示に従って操作してください。

3 自動的に再生が始まらないときは、再生を始める

BDビデオ/DVDビデオの場合

1 見る を押す

2 本体再生/ディスク再生の選択画面が表示されるので、"ブルーレイ™/DVDを見る"を選び、決定する

操作先がBD/DVD(本体前面の"BD/DVD"が点灯しているとき)で、ディスクが停止中の場合は
再生 を押すと、ディスクの再生が始まります。

- 再生が始まる位置(先頭から、続きから)については つづき再生 p.100

音楽用CDの場合

1 p.140 **らく楽メニューの"ブルーレイ™/DVDを見る"から、または** p.142 **通常メニューの"見る(再生)"－"音楽CD再生"から、再生を始める**

音楽用CDを再生するときは、見る を押しても本体再生/ディスク再生の選択画面は表示されません。(本体(HDD)の録画一覧画面が表示されます。)

操作先がBD/DVD(本体前面の"BD/DVD"が点灯しているとき)で、ディスクが停止中の場合は
再生 を押すと、ディスクの再生が始まります。

4 再生を停止するときは

停止

- 再生が停止します。(BDビデオ/DVDビデオの場合は、停止位置が記憶されます。)
- 続けて見ないときは、p.59 でディスクを取り出しておくと、本体に録画した番組を見るときなどに便利です。

ディスクのメニューやトップメニュー、ポップアップメニューから操作するときは

(ディスクのメニューがある場合のみ) BDビデオ DVDビデオ

ディスクのメニューを表示して、いろいろな操作ができます。
また、BDビデオの場合はポップアップメニューを表示して、再生を止めずにいろいろな操作ができます。
ディスクによってメニューやポップアップメニューの内容が異なりますので、操作のしかたはディスクの説明書をお読みください。ここでは、一般的な操作の例を示します。

1 再生中に、サブメニューの"ディスクメニュー"を選び、決定する

サブメニュー

サブメニュー
始めから再生する
ディスクメニュー
リピート再生設定を行う
頭だしを行う
アングル切換
BD再生選択
画質設定
この番組をダビングする

2 希望のメニューを選び、決定する

BDビデオの場合: ポップアップメニュー / トップメニュー

DVDビデオの場合: トップメニュー / メニュー

- ディスクメニューが表示されます。

3 画面の指示に従って、希望のタイトルや項目を選び、決定する

気を付けて
- 市販のソフトの再生中は、テレビ放送と比べて音量が小さく感じられます。再生中にテレビの音量を上げたときは、再生停止前に必ず音量を下げてください。

ちょっとメモ
- BDビデオ/DVDビデオの再生は、p.140 らく楽メニューの"ブルーレイ™/DVDを見る"から、または p.142 通常メニューの"見る(再生)"－"BD/DVDトップメニュー/録画一覧"から、再生を始めることもできます。

BDビデオの子画面の映像・音声や字幕のスタイルを切り換える

ピクチャー・イン・ピクチャー対応の BDビデオ
字幕スタイル切換対応の BDビデオ

子画面(ピクチャー・イン・ピクチャー)対応のBDビデオソフトでは、再生する子画面の設定を選ぶことができます。
字幕スタイル対応のBDビデオソフトでは、字幕のスタイルを選ぶことができます。

- 子画面の再生のしかたは、BDビデオソフトによって異なりますので、BDビデオソフトの説明書をごらんください。

1 BDビデオの再生中に、サブメニューの"BD再生選択"を選び、決定する

- 子画面の設定は、親画面/子画面の同時再生中にだけ設定できます。

2 希望の項目を選び、決定する

サブメニュー
始めから再生する
ディスクメニュー
リピート再生設定を行う
頭だしを行う
アングル切換
BD再生選択 ▷
画質設定
この番組をダビングする

セカンダリービデオ切換
セカンダリーオーディオ切換
字幕スタイル切換

セカンダリービデオ切換、セカンダリーオーディオ切換
… 子画面の映像、音声を切り換えるとき。
字幕スタイル切換
… 字幕スタイルを切り換えるとき。

3 設定を切り換える

- セカンダリービデオ切換で子画面の映像を切り換えたときは、映像が切り換わるまでしばらく時間がかかります。

BD-LIVE対応のBDビデオを楽しむ

BD-LIVE対応の BDビデオ

BD-LIVE対応のBDビデオソフトでは、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなど、いろいろな機能を楽しむことができます。

ほとんどのBD-LIVE対応のBDビデオソフトでは、BD-LIVE機能を利用して再生するために、他のメディア(ローカルストレージ)にコンテンツのデータをダウンロードする必要があります。
本機では、SDカードをローカルストレージとして使用します。
SDスピードクラスのCLASS 2以上で、残量が1GB以上あるSDカードをお使いください。
(SDカードが挿入されていない場合、BD-LIVE機能は利用できません。)

- 次のような場合は、BDビデオソフトの説明書をごらんください。
  - 利用できるBD-LIVE機能や、再生のしかた
  - インターネットに接続してBD-LIVE機能を利用するためにアカウントの取得が必要な場合の取得方法
  - SDカードへのダウンロードのしかた

1 ネットワークの接続と設定を行う p.18、32

2 p.154 "セットアップ"画面の"再生設定"－"BD-LIVE接続設定"を"有効"または"有効(制限つき)"に設定する

3 SDカードを入れる p.105

4 BD-LIVE対応のBDビデオソフトを入れる p.59

- 自動的に再生が始まります。
(自動的に再生が始まらない場合は、••▶ 前ページ)

- 他のデータが入ったSDカードや、他の機器でフォーマットされたSDカードを使用すると、正しく再生されないことがあります。その場合は、p.121でSDカードを初期化するか、他のSDカードをお使いください。
- SDカードにダウンロードしながら再生する場合、通信環境によっては再生が一時的に停止することがあります。また、ダウンロードが完了していない部分へスキップができないなど、一部の機能が利用できないことがあります。
- 再生中や2番組同時録画中、ダウンロード中などは、映像や音声が停止することがあります。
- 再生中に、レコーダーやディスク認識IDをインターネット経由でコンテンツプロバイダーに送信することがあります。

ちょっとメモ

- BDビデオソフトによって決められている再生方法が優先されるため、本機の設定どおりに再生できないことがあります。
- SDカードに記録されたローカルストレージのコンテンツのデータが不要になった場合は、p.121で消去することができます。

3D映像対応のBDビデオを楽しむ

3D映像対応の BDビデオ

3D映像対応テレビとHDMIケーブルで接続すると、市販の3D映像対応ソフトの3D映像を再生することができます。

1 本機と3D映像対応テレビをHDMIケーブルで接続する p.14

2 p.154 **“セットアップ”画面の“再生設定”－“3Dディスク再生設定”を“3D再生”に設定する**

- 2D映像（従来の映像）で再生したい場合は、“2D再生”に設定します。

3 p.153 **“セットアップ”画面の“接続テレビ設定”－“3D方式設定”が、“フルHD”に設定されていることを確認する**

- “サイドバイサイド”、“チェッカーボード”は、当社レーザーテレビ75-LT1と接続した場合にのみ、お使いください。

4 3D映像対応のBDビデオソフトを入れる p.59

- 自動的に再生が始まります。
  （自動的に再生が始まらない場合は、••▶ p.97）

3D映像の再生に関する注意が表示される場合は

“確認”を選び、決定 を押します。

注意は、p.153 “セットアップ”画面の“接続テレビ設定”－“3D表示時の注意表示”で表示されないように設定することができます。

3D映像の奥行き感を変更したいときは

4段階で設定できます。

1. **番組の視聴中または再生中に、サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する**
2. **[▲、▼]で“3D奥行き切換”を選び、決定 を押す**
3. **[▲、▼]で希望の設定を選び、決定 を押す**
4. **戻る を何回か押し、通常画面に戻す**

- “セットアップ”画面の“接続テレビ設定”－“3D方式設定”の設定が“チェッカーボード”の場合は切り換えできません。

- **接続しているテレビによっては、テレビ側の3D設定が必要になる場合があります。くわしくは、テレビの取扱説明書をごらんください。**

- 接続しているテレビによっては、再生中の映像が解像度などの変化のため2D映像（従来の映像）に切り換わることがあります。テレビ側の3D設定をご確認ください。
- 3D映像は、p.153 “セットアップ”画面の“接続テレビ設定”－“HDMI解像度設定”や“24p出力設定”の設定どおりに出力されない場合があります。
- 早送り/早戻し中は、2D映像になります。
- 3D映像をお楽しみいただける、サイドバイサイド（2画面構成）などの放送の番組を再生するときは、テレビ側の3D設定に従って再生されます。
  本機側の3D映像関連の設定（3D方式設定、3D表示時の注意表示、3Dディスク再生設定）とは関係なく再生されます。
- 3D映像の放送を本機に録画する場合は、録画モードDRで録画されることをおすすめします。
- “セットアップ”画面の“接続テレビ設定”－“3D方式設定”の設定を“サイドバイサイド”にして、3D映像をサイドバイサイドで表示中、一部のメニューやメッセージを2D映像表示時とほぼ同じ位置で表示したいときは
  1. 番組の視聴中または再生中に、サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
  2. [▲、▼]で“3D画面設定（サイドバイサイド）”を選び、決定 を押す
  3. [▲、▼]で“入”を選び、決定 を押す
  4. 戻る を何回か押し、通常画面に戻す

各部 / 準備（接続） / 準備（設定） / テレビ放送 / メディア / 録る / 見る / 編集消去 / 残す取り込む / 便利機能 / 安全注意 / 仕様 / 困ったとき

いろいろな見かた(いろいろな再生)

停止した位置の続きから見る (つづき再生・リジューム停止)

通常再生を停止すると、つづき再生の停止状態になり、停止位置が記憶されます。停止位置は電源を切っても記憶しています。

本体(HDD)/ディスク別では

本体(HDD)

番組ごとに停止位置が記憶されます。

- 見どころ再生の停止位置は記憶されません。

BD/DVD、動画(AVCHD)

停止位置だけが記憶されます。

- BDビデオ/DVDビデオでは、停止位置が記憶されないものがあります。

音楽用CD、静止画(JPEG)

停止位置は記憶されません。

次のような場合は、記憶した停止位置が解除されます

- 停止中に、停止 を押したとき。
  本体(HDD)の場合は、そのとき選ばれている番組の停止位置が解除されます。
- 番組の削除や、番組/ディスクの編集をしたとき。
  この場合、削除や編集をしていない番組の停止位置も解除されます。
- 初期化をしたとき。

以下は、ディスクのみ。

- ディスクトレイを開けたとき。
- ディスクのメニューを表示したとき。
- ファイナライズをしたとき。　　　　　など。

再生が始まる位置について

操作のしかたによって、再生が始まる位置(始めから、続きから)が変わります。

再生 を押してすぐに再生を始めるとき、 または
本体(HDD)の録画一覧画面からすぐに再生を始めるとき

停止位置を記憶しているとき

記憶している停止位置(続き)から再生が始まります。

停止位置を記憶していないとき

番組の始めから再生が始まります。

録画一覧画面から、サブメニューを表示して再生を始めるとき

再生を始める位置(先頭から、続きから)を選んで再生します。

1 録画一覧画面を表示中に、サブメニューを表示する

サブメニュー

2 “再生”を選び、決定する

⬇

“始めから再生”または“続きから再生”を選び、決定する

(繰り返し)

前の画面に戻るときは
戻る を押す

通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

ちょっとメモ

- つづき再生が始まる位置は、停止位置によって多少ずれることがあります。
- 再生中に、p.145 サブメニューの“始めから再生する”で、番組の先頭から再生を始めることもできます。

再生速度を変えて見る･聞く/見たい番組や場面までとばす

早く見る/聞く(早送り/早戻し)

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) DVDビデオ RAM 音楽用CD

再生中に、早戻し、早送り を押す

- 押すたびに、再生速度が5段階で切り換わります。
- 音楽用CDの再生速度の切り換えはできません。音楽用CDの早送り/早戻し中は、およその再生位置が確認できる程度の音声が断続的に出ます。
- 再生 を押すと再生に戻ります。

音声付きで早く見る(早見再生)

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) DVDビデオ RAM

再生中に、早送り を1回押す

- 音声付きの約1.3倍速の早送りになります。
- 再生 を押すと再生に戻ります。

再生を一時的に止める(再生一時停止)

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) DVDビデオ RAM 音楽用CD

再生中に、一時停止 を押す

- 再生が一時停止します。
- 再生 を押すと再生に戻ります。

ゆっくり見る(スロー/逆スロー再生)

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) DVDビデオ RAM

再生一時停止中に、早戻し、早送り を押す

- 押すたびに、再生速度が2段階で切り換わります。(録画モードAF～AEで録画された番組を逆スロー再生する場合は、1と2で同じ速度になります。)
- 再生 を押すと再生に、一時停止 を押すと再生一時停止に戻ります。
- スロー/逆スロー再生を約5分続けると、再生一時停止に戻ります。

コマを進める/戻す(コマ送り/コマ戻し)

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) DVDビデオ RAM

再生一時停止中に、前、次/ジャンプ を押す

- 押すたびに、コマが進み/戻ります。

見たい/聞きたいところまでとばす(スキップ)

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) DVDビデオ RAM 音楽用CD

再生中に、前、次/ジャンプ を押す

- 押すたびに(連続10回まで)、チャプターやトラックがとばされます。

30秒単位で先にとばす(30秒スキップ) 15秒単位で前に戻す(チョット戻し)

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) DVDビデオ RAM

再生中に、チョット戻し 30秒スキップ を押す

30秒スキップ
- 押すたびに(連続10回まで)、約30秒ずつ最大5分先の場面までとばされます。

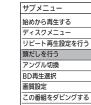
チョット戻し
- 押すたびに(連続10回まで)、約15秒ずつ最大2分30秒前の場面まで戻ります。

気を付けて

- **再生速度を変えて見るときは、一部を除き音声は出ません。**
- 市販の3D対応BDビデオでは、早見再生はできません。
- BDビデオやAVCHDで記録された映像の逆スロー再生、コマ戻しはできません。

ちょっとメモ

- コマ戻し中は、番組のつなぎ目部分でコマ飛びして再生されないことがあります。

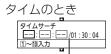
各部 準備(接続) 準備(設定) テレビ放送 メディア 録る 見る 編集消去 取り込む残す 便利機能 安全注意 仕様 困ったとき

再生速度を変えて見る･聞く/見たい番組や場面までとばす(つづき)

番号や時間を指定してとばす(頭だし)

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) DVDビデオ RAM 音楽用CD

1 再生中または再生一時停止中に、
サブメニューを表示し、“頭だしを行う”を選び、決定する

2 **希望の頭だし(サーチ)を選ぶ**

- 押すたびに、種類が切り換わります。
- 再生中の本体(HDD)やディスクによって、選べる種類が異なります。
  本体(HDD)････チャプター、タイム(時間)
  BD、DVD･･････チャプター、頭だし(タイトル)、タイム(時間)
  音楽用CD･････トラック、タイム(時間)

(例) チャプターのとき　タイムのとき

頭だしする番号/総数

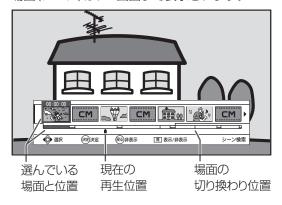
頭だしする時間/総時間
(時間 : 分 : 秒)

3 **番号または時間を入力し、決定する**

 ～ ➡ 決定

- 指定した番号または時間までとばされます。

☞ **入力を間違えたときは、** 黄 を押します。

見たい場面を選んでとばす(シーン検索)

本体

p.155 “自動チャプターマーク”を“おすすめ自動1”または“おすすめ自動2”に設定して録画した番組だけ、シーン検索できます。

1 再生中または録画一覧画面を表示中に、
画面下部に、場面(シーン)を表示する

- 録画一覧画面の表示中は、再生が始まります。
- 場面(シーン)は、7画面まで表示されます。

2 **希望の場面を選んで、決定する**

- 選んだ場面までとばされます。
- 現在表示されている場面よりも前/先の場面があるときは、[◀、▶]を押していくと前/次の画面が表示されます。(最大99画面まで)
- 表示される場面(シーン)は、録画したときの“自動チャプターマーク”の設定(“おすすめ自動1”か“おすすめ自動2”か)によって異なります。
- 番組の構成によっては、シーン検索の場面(シーン)が表示されないことがあります。
- シーン検索で選んだ場面と実際の場面の切り換わり位置は、ずれることがあります。
- シーン検索の場面の代わりに、“番組”と表示されることがあります。

3 **検索が終わったら、戻る を押して、シーン検索画面を消す**

ちょっとメモ

- ディスクの頭だしは、p.142 通常メニューの“見る(再生)”－“BD/DVD頭だし”や“音楽CD頭だし”から操作することもできます。

繰り返して見る(リピート再生)

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) DVDビデオ RAM 音楽用CD

1 再生中または再生一時停止中に、
サブメニューを表示し、“リピート再生設定を行う”を選び、決定する

サブメニュー
始めから再生する
ディスクメニュー
リピート再生設定を行う
頭だしを行う
アングル切換
BD再生選択
画質設定
この番組をダビングする

2 **希望のリピート再生を選ぶ**

- 押すたびに、種類が切り換わります。
- 再生中の本体(HDD)やディスクによって、選べる頭だしの種類が異なります。
  本体(HDD)、BD、DVD･･･ チャプター 、番組、切
  音楽用CD ･･･････････････ ディスク、トラック、切
- リピート再生が始まります。

3 **リピート再生をやめるときは、手順 2 のときに、“切”を選ぶ**

リピート再生をやめて、再生も停止するときは
停止 を押します。

他の機器で作成したプレイリストを再生する(プレイリスト再生)

BD-RE BD-R -RW(VR) -R(VR) RAM

録画一覧画面表示中に、青 を押すとプレイリストの録画一覧画面が表示されますので、再生したいプレイリストを選んでください。

- **本機では、プレイリストの作成や編集はできません。**

録画中の番組を最初から見る(追っかけ再生)

本体

予約した番組の録画中に帰宅したときなど、録画を続けながら(停止させずに)番組の最初から見ることができます。

1 録画中、
本体(HDD)の録画一覧(全)画面を表示する

本体再生/ディスク再生の選択画面が表示されるときは
“録画した番組を見る”で、そのまま 決定 を押します。

2 **録画中の番組( )を選ぶ(**p.93 の手順 3**)**

3 **追っかけ再生を始める**

再生

4 **追っかけ再生をやめるときは**

停止

- 再生が停止します。(録画は続きます。)

このあと、録画も停止させるときは p.73

気を付けて

- とびこすチャプターやトラックがないときは、該当の見たい番組や場面までとばすことができません。
- 次の場合は、シーン検索できません。
  - “自動チャプターマーク”を“おすすめ自動1”“おすすめ自動2”以外にして録画した番組
  - 部分削除/分割をした番組
- リピート再生中に録画一覧画面を表示すると、リピート再生が解除されます。
- 録画開始直後の15秒程度は、追っかけ再生ができません。
- 追っかけ再生中に早送りなどを行って、再生位置が録画位置に追いついた場合は、自動的に再生が停止します。(録画は続きます。)
- 追っかけ再生中に見どころ再生や頭だしはできません。

再生中の切り換え

前の画面に戻るときは
戻る を押す

通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

再生中の音声（言語）、字幕（言語）、カメラアングルを切り換える

音声（言語）を切り換える

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) DVDビデオ RAM

再生中の番組に複数の音声（主音声/副音声など）や音声言語が記録または収録されているときは、再生したい音声を選ぶことができます。

1 再生中に、音声切換 を押して、希望の音声を選ぶ

- 押すたびに、音声（主音声、副音声など）や音声言語が切り換わります。
- BDビデオでは、連続しての切り換え操作はできません。
- BDビデオでは、音声切換 を押したあと、[▲、▼]で切り換えることもできます。

字幕（言語）を切り換える

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) DVDビデオ RAM

再生中の番組に複数の字幕言語が記録または収録されているときは、字幕の言語を選んだり、字幕表示の入/切を選んだりすることができます。
（本機で録画した番組の場合は、録画モードDRで録画した番組だけ切り換えできます。）

1 再生中に、字幕 を押して、希望の字幕を選ぶ、または字幕を入/切する

- 押すたびに、字幕言語または字幕の入/切が切り換わります。
- BDビデオでは、連続しての切り換え操作はできません。
- 字幕 を押したあと、[▲、▼]で切り換えることもできます。

カメラアングル（見る角度）や映像を切り換える

本体 BD-RE BD-R BDビデオ DVDビデオ

再生中の番組に複数のカメラアングルや映像が記録または収録されているときは、映像を選んだり、見る角度を選ぶことができます。

- カメラアングルが選べる場面では、画面に“”が表示されます。

1 再生中に、サブメニューを表示し、“アングル切換”を選び、決定する

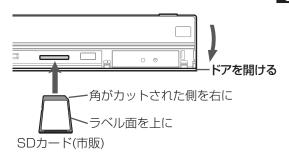
サブメニュー ➡

サブメニュー
始めから再生する
ディスクメニュー
リピート再生設定を行う
頭だしを行う
アングル切換
BD再生選択
画質設定
この番組をダビングする

2 カメラアングルや映像を切り換える

ちょっとメモ

- カメラアングルのアイコン“”は、表示されないようにすることもできます。p.154
- BD/DVDビデオソフトの場合、音声/字幕/カメラアングルの内容はディスクによって異なりますので、ディスクの説明書もごらんください。

各部 準備（接続） 準備（設定） テレビ放送 メディア 録る 見る 編集消去 残す取り込む 便利機能 安全注意 仕様 困ったとき

JPEGで記録された写真や絵を見る

パソコンやデジタルカメラなどでJPEG形式の写真や絵を記録したCD-RW/-RやSDカードを本機で再生することができます。
また、JPEG形式の写真や絵を記録したUSB機器と本機をUSBケーブルで接続すると、本機で再生することができます

SDカードの出し入れ

SD

入れるときは

1 SDカードのラベル面を上にし、角がカットされた側を右にして、奥まで(止まるまで)まっすぐ差し込む

- SDカードの読み込みが完了すると、本体表示部に"■"が表示されます。

取り出すときは

1 SDカードの中央部分を押してロックをはずし、まっすぐに引き出す

本機で利用できるSDカードについて

- 本機は、SD規格に準拠したFAT32形式でフォーマットされたSDHCカードと、FAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDカードに対応しています。
- 4GB以上のSDカードは、SDHCカードのみ使用できます。
- miniSDカード、microSDカードを使用するときは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- パソコンでフォーマットされたSDカードは、本機では使用できないことがあります。

USB機器との接続

USB

USBケーブル(市販)

- 接続する機器で専用のケーブルが指定されている場合は、そのケーブルを使用してください。

接続のしかた

1 USBケーブルを本機とUSB機器に接続する

- 本体表示部に"USB"が表示されます。
- 接続した機器に設定画面が表示されることがあります。その場合は、パソコンを接続するモードに設定してください。(くわしくは、接続するUSB機器の取扱説明書をごらんください。)

接続を解除するときは

1 USBケーブルを本機からはずす

本機で利用できるUSB機器について

- 本機で利用できるUSB機器は、USBマスストレージクラス(大容量データ記憶装置の1つに分類されるUSBの機器タイプ)に対応し、JPEG対応のデジタルカメラまたはAVCHD対応のデジタルビデオカメラだけです。
- 上記以外のUSB機器は接続しないでください。USB機器や本体の故障、記録されているデータの破損の原因となります。
  また、本機とUSB機器をUSBハブ経由やUSB延長ケーブルで接続した場合の動作は、保障しておりません。
- 本機のUSB端子を使用して、携帯電話やポータブルオーディオプレーヤーなどの充電は行わないでください。本体の故障の原因となります。

気を付けて

- **SDカードやUSB機器の認識中・読み込み中は、次のことを行わないでください。SDカード、USB機器や本体の故障、記録されているデータの破損の原因となります。**
  - **本機の電源を切ったり、電源コードを抜く**
  - **SDカードやUSBケーブルを抜く**
- SDカードに記録するデジタルカメラ/デジタルビデオカメラの場合、USB接続で認識・読み込みができないときは、SDカードを使用してJPEG再生や映像取り込み(ダビング)を行ってください。

写真や絵を連続して再生する（スライドショー）

CD (JPEG) SD (JPEG) USB (JPEG)

- 本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

2 写真・静止画一覧（JPEG用の録画一覧）画面を表示する

【CDの場合】

1. 本機がらく楽モード（本体前面の らく楽モード が点灯）になっているときは、通常モードに切り換える
   ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。
2. 停止中に、通常メニュー画面を表示する
   メニュー らく楽
3. “見る（再生）”を選び、決定する
   ⬇
   “CD写真・静止画一覧”を選び、決定する

（繰り返し）

【SDカード、USB機器の場合】

1. ダビングしたいSDカードを入れる、またはUSB機器を接続する 前ページ

☞ 選択画面が表示されるときは
［◀、▶］で“写真・静止画一覧”を選び、決定 を押します。

3 見たい写真/絵 📷（ファイル）を選ぶ

写真・静止画一覧(SDカード) 3/18 金 PM 3：15
(映像)
動物園
P0001.JPG 11/ 1/29日
P0002.JPG 記録時刻 AM10：32 11/ 1/29日
遊園地
P0023.JPG 11/ 1/14土
P0024.JPG 11/ 1/14土
P0025.JPG 11/ 1/14土

☞ 📁（フォルダー）内の一覧を表示したいときは
［▲、▼］で 📁 の付いた番組を選び、決定します。

☞ 別のページを表示するときは
前 ⏮、次/ジャンプ ⏭ を押します。

☞ 前の画面に戻るときは
戻る を押す

☞ 通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

●●▶ 次ページへつづく

ちょっとメモ

- 1つあたりのファイルの再生時間（表示間隔）は5秒です。10秒に変更することもできます。p.154
- JPEGの録画一覧画面には、JPEG形式のファイルだけが表示されます。JPEG形式以外のファイルは再生できません。
  また、記録状態などによっては、一覧に表示されるファイルでも再生できないことがあります。
- 写真・静止画一覧（JPEG用の録画一覧）画面のフォルダーやファイルの並び順は、メディアに記録されている物理的なアドレス順で表示されますので、記録日時順に並ばないことがあります。
- JPEG再生中に再生できないファイルがあった場合は、再生を中止して録画一覧画面に戻ります。
- 再生できないファイルには、“⃠”が表示されます。
- 写真や絵の縦横比によっては、上下左右に黒帯が表示されることがあります。
- JPEG再生中に録画予約の録画が始まると、JPEG再生は自動的に停止します。
- SDカード、USB機器の録画一覧画面は、p.142 通常メニューの“見る（再生）”－“SDカード写真・静止画一覧”、“USB写真・静止画一覧”から表示することもできます。

4 再生を始める

【連続再生するとき（スライドショー）】

赤 または 再生 を押す

- 選んだ写真/絵（ファイル）と、それ以降に収録されているファイルが連続再生されます。

【選んだファイルだけ再生するとき】

青 または 決定 を押す

- 選んだ写真/絵（ファイル）だけが再生されます。

再生中の写真/絵を回転させたいときは

再生中に、次のボタンを押します。（回転させた情報は記憶されません。）

緑 または［◀］･･･左回転

黄 または［▶］･･･右回転

ガイド表示の表示/非表示を切り換えたいときは

再生中に、青 を押すたびに、表示/非表示が切り換わります

5 再生を一時停止、停止するときは

【再生を一時停止するとき】

赤 または 一時停止 を押す

- 再生が一時停止します。
- もう一度 赤 を押すか 再生 を押すと、再生に戻ります。

【再生を停止するとき】

戻る または 停止 を押す

- 再生が停止し、録画一覧画面に戻り、停止したファイルが選ばれています。
- 最後のファイルまで再生されると、自動的に停止して録画一覧画面に戻ります。
- JPEG再生の場合、停止位置は記憶されません。

本機で再生できるJPEG形式について

- 拡張子に「jpg(JPG)」、「jpeg(JPEG)」が付いた、Exif 2.1準拠のJPEG圧縮データだけが再生できます。
  ただし、上記の拡張子が付いたファイルでも、JPEG形式で記録されていないものは、再生するとノイズが出ることがあります。
- 最大255フォルダー、999ファイルまで対応しています。
- 画素数は、34×34 ～ 8192×8192まで対応しています。
  画素数の小さなファイルを再生した場合は、拡大して表示されます。
- 一覧のフォルダー /ファイル名は、半角で8文字まで表示されます。
- 使用できるディスクは、ISO9660でフォーマットされているCD-RW/-Rだけです。
- 記録状態によっては、正常に再生できないことがあります。
- プログレッシブ形式のJPEGファイルは再生できません。
- Motion JPEGには対応していません。

気を付けて

- 録画中やダビング中は、JPEG再生はできません。
- USB機器からJPEG再生中または映像取り込み（ダビング）中に、“USB機器接続に異常が発生しました。USB機器を外してください。”というメッセージが表示されたときは、本機の操作ができなくなります。
  その場合は、USBケーブルの接続をはずしてください。メッセージが消え、本機が操作できるようになります。

デジタルビデオカメラで記録されたハイビジョン画質の動画を見る

ハイビジョン対応デジタルビデオカメラなどでディスクに撮影されたAVCHDのハイビジョン画質の動画を、本機で再生することができます。(録画した機器でファイナライズ済みのディスクだけが再生可能です。)
また、本機のHDDにダビングしたAVCHDのハイビジョン画質の動画を再生することができます。

☞ 前の画面に戻るときは
戻る を押す

☞ 通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

AVCHDで記録された動画の再生中に、次の再生が利用できます。
p.101 ~ 104

- 通常再生
- 早送り/早戻し
- 早見再生
- 再生一時停止
- スロー再生
- コマ送り
- スキップ
- 30秒スキップ
- チョット戻し
- 頭だし
- リピート再生
- 音声/字幕切換

(逆スロー/コマ戻しはできません。)

ディスクに撮影されたAVCHDのハイビジョン画質の動画を再生する

DISC(AVCHD)

1
- **本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる**
- **テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える**
- **再生したいディスクを入れる** p.59

2 再生を始める

☞ **ディスクを入れるとディスクのメニュー画面が表示される場合は**
ディスクによってメニューの内容が異なりますので、操作のしかたはディスクを録画した機器の説明書をお読みください。ここでは、一般的な操作の例を示します。

- 画面の指示に従って、希望のタイトルや項目を選び、決定します。

3 再生を停止するときは

- 再生が停止します。(停止位置が記憶されます。)

本機にダビングしたAVCHDのハイビジョン画質の動画を再生する

本体

1 本体(HDD)の録画一覧(全)画面を表示する

☞ **本体再生/ディスク再生の選択画面が表示されるときは**
"録画した番組を見る"で、そのまま 決定 を押します。

2 録画一覧(🎥)画面に切り換える

- 録画一覧(🎥)画面は、本機の本体(HDD)にダビングしたAVCHDの動画がない場合は選べません。

3 見たい番組を選んで、再生する(p.93の手順3、4)

4 再生を停止するときは

- 再生が停止します。(停止位置が記憶されます。)

ちょっとメモ

- AVCHD準拠でない動画は、再生できません。
- SDカードやUSB機器に記録されたAVCHDの動画は、本機で直接再生することはできませんが、本機の本体(HDD)に取り込む(ダビングする)ことができます。p.136
- 本体(HDD)の録画一覧画面は、p.140 らく楽メニューの"録画した番組を見る"－"すべて"から、または p.142 通常メニューの"見る"－"HDD録画一覧"から表示することもできます。

再生についての補足説明

再生全般

- **BD/DVDの2層ディスクの再生中は、1層目と2層目が切り換わるときに映像や音声が一瞬止まることがあります。**
- 再生開始時に、映像や音声が出るまで時間がかかることがあります。
- 録画モードをDRで録画した番組を再生しているときは、番組の変わり目で画面が一瞬静止画になったりブロックノイズが見えたりすることがあります。
- ディスクの再生が終わると、最後の場面で再生一時停止となったりディスクメニューが表示されたりすることがあります。
  この状態が長く続くと、テレビ画面が焼き付けを起こすことがありますので、お気を付けください。
- ディスクによっては、つづき再生、再生速度の切り換え、頭だし、言語やカメラアングルの切り換え、リピート再生などの操作が、本機ではできないことがあります。
- 再生中にSDカードを挿入したりUSB機器を接続すると、再生が停止し、SDカードやUSB機器の内容を見るための画面が表示されます。
- ファイナライズ中や初期化中は、再生できません。

録画一覧画面

- DVD-RW(Video)/-R(Video)をp.119ファイナライズしたディスクは、録画一覧画面を表示できません。
  ディスクメニューから再生してください。
- ダビングした番組は、チャンネル番号が"−−ch"になることがあります

音声／字幕／カメラアングルの切り換え

音声／字幕

- BD/DVDビデオソフトによっては、ディスクメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。
- 音声言語を切り換えると、一瞬映像が止まったり黒画面になったりすることがあります。
- 本機の電源を切ったりディスクトレイを開けたりすると、設定が"セットアップ"画面の"再生設定"−"音声言語設定"の設定に戻ります。(BD/DVDビデオによっては、そのディスクで決められている言語になります。)
- "セットアップ"画面の"音声出力設定"−"デジタル出力設定"を"自動"に設定して二重音声をデジタル音声出力端子から出力しているときは、再生時に本機で音声を切り換えることはできません。
  この場合は、設定を"PCM"にするか、アンプ側で切り換えてください。
- 字幕設定を変更したときは、切り換わるまで多少時間がかかることがあります。
- いろいろな速度での再生中は、字幕は表示されません。

カメラアングル

- 変更したときは、切り換わるまでに多少時間がかかることがあります。
- 本機の電源を切ったときやディスクトレイを開けたときは、設定が"1"に戻ります。

消去・編集をする前に

本機でできる編集について

ディスク ○：できる ×：できない －：該当なし		本体 (HDD)	BD-RE BD-R	-RW (AVCREC) -R (AVCREC)	-RW (VR) -R (VR)	-RW (Video) -R (Video)
番組の編集	チャプターマークの追加･削除	○	○	○	○	－
	1番組の削除、複数番組の一括削除	○	○	○	○	－
	番組の不要部分の削除 (部分削除)	○	×	×	×	－
	番組の分割	○	×	×	×	－
	番組名の変更	○	○	○	○	－
	ユーザーの変更	○	－	－	－	－
	番組の保護/保護解除	○	○	○	○	－
プレイリストの作成		×	×	×	×	－
ディスクの編集	初期化 (全消去/部分消去)	○	－	－	－	－
	初期化 (再フォーマット)	－	○ (REのみ)	○ (RWのみ)	○ (RWのみ)	○ (RWのみ)
	ディスク名の変更	－	○	○	○	－
	ディスクの保護/保護解除	－	○	○	○	－
ファイナライズ		－	－ (RE) ○ (R)	○	○ ※1	ダビング後に自動ファイナライズ

※1　DVD-RW(VR)のみ、本機でファイナライズしたディスクのファイナライズを解除することができます。

- 上記のほかに、本機ではSDカードの初期化やローカルストレージ(p.98)の消去をすることができます。

ダビングすると「ムーブ(移動)」になる部分を含んでいる番組の編集について

- 「ムーブ(移動)」になる部分を一部でも含んでいる番組をダビングする場合は、「ムーブ(移動)」でダビングされます。
- 本体(HDD)に録画された番組で、「ムーブ(移動)」になる部分だけを部分削除した場合や、「ムーブ(移動)」になる部分と「コピー」になる部分を分割した場合でも、部分削除・分割後の番組は「ムーブ(移動)」になります。(「コピー」にはなりません。)

本体(HDD)やBD-RE/-Rの録画中にできる編集について

機能 ○：できる ×：できない －：該当なし	本体(HDD)の録画中			BD-RE/-Rの録画中	
	本体の録画済みの番組	本体の録画中の番組	BD-RE/-R、DVD-RW/-R	本体	BD-RE/-R
再生中のチャプターマークの追加･削除	○	×	○	○	×
1番組の削除、複数番組の一括削除	○		×		
番組の部分削除	×		－		
番組の分割	×		－		
番組名の変更	○		○		
ユーザーの変更	○		－		
番組の保護/保護解除	○		○		

気を付けて

- **番組やディスクが保護されているときや、ダビング中は、上記の編集はできません。**
- 一部のBD-Rでは、本機で編集できない場合があります。
- ネットワークでダウンロードした番組のチャプター追加/削除、部分削除、分割などの編集はできません。

チャプターマークを手動で追加・削除する

本体 BD-RE BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR)

チャプターマークを追加するときは

番組の録画中、録画一時停止中、通常再生中、通常再生の一時停止中に追加できます。

1 チャプターマークを追加したい場面が映ったら、
［チャプターマーク 追加］を押す

- チャプターマークが追加されます。
- 追加できるチャプター数については ••▶ p.183

チャプターマークを削除するときは

通常再生の一時停止中に、削除できます。

1 通常再生中に、スキップで削除したいチャプターまでとばす

［前 ⏮］、［次/ジャンプ ⏭］

2 すぐに、再生を一時停止する

［⏸ 一時停止］

3 ［チャプターマーク 削除］を押す

- チャプターマークが削除されます。

前の画面に戻るときは
［戻る］を押す

通常画面に戻るときは
［戻る］を何回か押す

気を付けて

- 番組の最初に記録されているチャプターマークは削除できません。
- 見どころ再生中は、チャプターマークの手動追加・削除はできません。
- 見どころ再生のハイライト部分/楽曲部分の先頭にチャプターマークを追加することはできません。

ちょっとメモ

- チャプターマークは、録画した番組の始めに自動的に記録されます。録画一時停止状態から再び録画を始めたときは、自動的には記録されません。
- 本体(HDD)の場合は、録画中にチャプターマークを自動追加することもできます。p.155

気を付けて

● 削除された番組は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから削除してください。

不要な番組を1番組だけ削除する

本体 BD-RE BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR)

1 録画一覧画面を表示し、不要な番組を選ぶ p.93、96

2 選んだ番組を削除する

1 黄 を押す

2 確認メッセージの"はい"を選び、決定する

● 番組が削除されます。

3 削除が終わったら、戻る を押し、通常画面に戻す

複数の不要な番組を一括削除する

本体 BD-RE BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR)

1 録画一覧画面を表示し、不要な1番組目の番組を選ぶ p.93、96

2 一括削除する番組を確定し、削除する

1 緑 を押し、不要な1番組目の左に"☑"を表示する

2 不要な2番組目の左に"☑"を表示する

（選択）

（前、次ページ）

（決定）

● 2番組目以降を選ぶときは、ラベルの切り換えはできません。

3 手順2を繰り返し、不要な番組の左に"☑"を表示する（最大20番組まで）

削除を取り消すときは、"☑"の番組を選んで 緑 を押し、"☑"を消します。

4 黄 を押して、一括削除する番組を確定する

確定せずにやめるときは、戻る を押します。

5 確認メッセージの"はい"を選び、決定する

● 番組が一括削除されます。

3 削除が終わったら、戻る を押し、通常画面に戻す

番組を削除したときの残量時間について

● 本体 BD-RE -RW(VR)
番組を削除すると、残量時間が増えます。

● BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -R(VR)
番組を削除しても、残量時間は増えません。

DVD-RW(AVCREC)の残量時間を増やしたいときは、p.121 初期化(再フォーマット)を行ってください。
ただし、初期化を行うと録画内容は消去されます。

ユーザーを変更する

本体

1 録画一覧画面を表示し、ユーザーを変更する番組を選ぶ p.93

2 選んだ番組のユーザーを変更する

1 サブメニュー画面を表示する
サブメニュー

2 “編集”を選び、決定する
⬇
“ユーザー変更”を選び、決定する
⬇
希望のユーザーのマークを選び、決定する

（繰り返し）

再生	部分削除	なし
手間なしダビング	分割	ユーザー1
編集	番組名変更	ユーザー2
並べ替え	ユーザー変更	ユーザー3
録画モード変換	保護設定	
視聴制限一時解除		

● 選べるユーザー数は、3人までです。

確認メッセージが表示されるときは、［◀、▶］で“はい”を選び、決定 を押します。

3 変更が終わったら、戻る を押し、通常画面に戻す

ちょっとメモ

● ユーザーのアイコンは、12種類の中から選ぶことができます。（アイコンの重複はできません。） p.154

番組を保護する・保護を解除する

本体 BD-RE BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR)

1 録画一覧画面を表示し、保護または保護を解除する番組を選ぶ p.93、96

2 選んだ番組を保護する、または保護を解除する

1 サブメニュー画面を表示する
サブメニュー

2 “編集”を選び、決定する
⬇
“保護設定”または“保護解除”を選び、決定する

（繰り返し）

再生	部分削除
手間なしダビング	分割
編集	番組名変更
並べ替え	ユーザー変更
録画モード変換	保護設定
視聴制限一時解除	

再生	部分削除
手間なしダビング	分割
編集	番組名変更
並べ替え	ユーザー変更
録画モード変換	保護解除
視聴制限一時解除	

● 番組を保護すると、録画一覧画面の番組名に“🔒”が表示されます。

確認メッセージが表示されるときは、［◀、▶］で“はい”を選び、決定 を押します。

3 変更が終わったら、戻る を押し、通常画面に戻す

本体（HDD）の残量時間を増やすため、録画モードDRで録画された番組を録画モードAF～AEに変換することができます。

● 録画モード変換予定番組が5番組以上ある場合はできません。

1 録画一覧画面を表示し、希望の番組を選ぶ p.93
2 サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
3 ［▲、▼］で“録画モード変換”を選び、決定 を押す
4 ［▲、▼］で希望の変換を選び、決定 を押す

再生	
手間なしダビング	
編集	DR→AF
並べ替え	DR→AN
録画モード変換	DR→AE
視聴制限一時解除	変換取り消し

5 “確認”が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

p.62、66、68～70 録画モード変換予定番組の自動変換をやめる（録画モードDRのまま残す）こともできます。

1 上記の手順1～3を行う
2 ［▲、▼］で“変換取り消し”を選び、決定 を押す

● 左記の方法で録画モードを変換した番組は
・ 画質が低くなります。
・ マルチ番組の音声は、映像1・音声1だけとなり、再生中の切り換えはできません。
・ 字幕は表示できません。

● 録画モード変換予定番組は、録画一覧画面 p.92 の番組名の録画モード情報欄に次のように表示されます。
（例）　録画モードAFに変換予定の番組の場合
変換前 ･･･････････ 変換予定➡AF
変換終了後 ･･････ HD画質AF
変換取り消し後 ･･･ HD画質DR

● 録画モードの変換は、本機の電源が切になってから数分後、録画日時の古い変換予定番組から順に自動的に開始されます。
変換順は前後することがあります。
変換時間は番組の録画時間と同じだけかかります。（変換対象が2番組ある場合は、2番組分の時間がかかります。）
変換中に本機の電源が入になったときは、そのとき変換実行中の番組の変換を中止し、次回の変換可能なときに再びその番組の最初から変換されます。

番組名を変更する

本体 BD-RE BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR)

1 録画一覧画面を表示し、番組名を変更する番組を選ぶ p.93、96

2 選んだ番組の番組名を変更する

1 サブメニュー画面を表示する

サブメニュー

2 “編集”を選び、決定する

↓

“番組名変更”を選び、決定する

（繰り返し）

☞ 確認メッセージが表示されるときは、［◀、▶］で“はい”を選び、決定を押します。

3 録画一覧画面上で、番組名を変更する（文字の入力のしかたは、右記を参照）

4 すべての文字入力が終わったら、文字入力を終了する

決定

3 変更が終わったら、戻る を押し、通常画面に戻す

文字入力のしかた

入力可能な最大文字数について

- **番組名、ディスク名**
  ･･･全角で31文字分（半角で62文字分）まで。
  表示される画面や表示によって最大表示可能数が異なり、後半部分が表示されないことがありますので、お気を付けください。
  未確定のまま入力できる文字数は、全角12文字までです。

一覧などで表示可能な最大文字数について

- **録画一覧画面の番組名**
  番組名･･････全角31文字分（半角62文字分）まで。
  ディスク名･･･全角10文字分（半角20文字分）まで。
- **画面表示を表示させたときの番組名**
  ･･･全角20文字分（半角40文字分）まで。
- **DVD-RW(Video)/-R(Video)のファイナライズ後に表示されるDVDメニューの番組名、ディスク名**
  番組名･･････全角12文字分（半角24文字分）まで。
  ディスク名･･･全角24文字分（半角48文字分）まで。

- 入力または表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。
- 本機でBD-RE/BD-Rの番組名やディスク名を変更した場合、本体➞BD-RE/BD-Rにダビングした場合、他の機器で録画されたBD-RE/BD-Rの場合、または番組名やディスク名が変更されたBD-RE/BD-Rの場合、本機では一部の文字が以下のように表示されます。
  - カナ（半角）文字は、全角カタカナで表示されます。
  - ①〜⑩、Ⅰ〜Ⅹなどの機種依存文字は、空白（全角スペース）で表示されます。

入力できる文字の種類

ボタン	文字の種類			
	漢字　（全角かな）	カナ（半角）	英字（半角）	数字（半角）
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ		1
2	かきくけこ	ｶｷｸｹｺ	abcABC	2
3	さしすせそ	ｻｼｽｾｿ	defDEF	3
4	たちつてとっ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	ghiGHI	4
5	なにぬねの	ﾅﾆﾇﾈﾉ	jklJKL	5
6	はひふへほ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	mnoMNO	6
7	まみむめも	ﾏﾐﾑﾒﾓ	pqrsPQRS	7
8	やゆよゃゅょ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	tuvTUV	8
9	らりるれろ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	wxyzWXYZ	9
11	わをんゎー(長音)　記号　※2	ﾜｦﾝｰ(長音)	記号　※3	
10/0	(濁音/半濁音の切換)　※1	ﾞﾟ		0

※1 押すたびに、濁音(゛)、半濁音(゜)が切り換わります。（例）か → が → か → ･･･、 は → ば → ぱ → は → ･･･

※2 全角記号一覧が表示され、次の全角記号の中から希望の記号を選んで入力することができます。

、。，．・：；？！々／〜…（）［］｛｝「」＋－±×÷＝＜＞♂♀￥＄％＆＊＠☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓⇒⇔♪①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ（スペース）

※3 半角記号一覧が表示され、次の半角記号の中から希望の記号を選んで入力することができます。

! # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] _ { } ~ ･ （スペース）

文字入力に使うボタン

赤
- 押すたびに、次のように文字の種類が切り換わります。

漢字(全角かな) → カナ(半角) → 英字(半角) → 数字(半角) → 漢字(全角かな)

赤 [漢字] （ガイド表示）

切り換えた状態は、画面下側のガイド表示に表示されます。
- 漢字、全角カタカナは、"漢字"で入力したあとに変換します。

1あ ～ 11わ記号#
- 押すたびに入力文字が切り換わります。（文字の割り当ては左下表を参照。）

- "漢字"で入力中（未確定状態のとき）は、押すたびに前/次候補を表示します。
- "英字"、"数字"で入力中は、押すたびに半角／全角が切り換わります。

- カーソルを左右に移動します。
- 確定状態でカーソルが最後尾にあるときに[▶]を押すと、スペースが入ります。

黄
- 入力中の文字やカーソルで選んでいる文字を削除します。
- 確定状態でカーソルが最後尾にあるときは、左横の文字にカーソルが移動します。

- "漢字"で入力中（未確定状態のとき）は、変換中の文字を確定します。
- それ以外のときは、すべての文字を確定させて、文字入力を終了します。

戻る
- 文字入力を途中でやめます。

漢字に変換するときは

（例）「かよう」と入力後に「火曜」と漢字変換するとき

1 漢字入力モードに切り換える

赤

2 "かよう"を入力後に、"火曜"に変換する

ボタン	回数	表示
2かABC	（1回）	カーソル(入力中)：か
8やTUV	（3回）	未確定：かよ
1あ	（3回）	かよう
▲▼	（出るまで）	変換中：火曜
決定		確定：火曜

次の文字が同じボタン上にあるときは

[▶]を押すと、カーソルが1文字右へ移動します。
そのあと、同じボタンを押して入力を続けてください。
- 数字の場合（同じ番号を続けて入力する場合）は、この操作は不要です。

記号を入力するときは

1 記号一覧を表示する

11わ記号# （記号一覧が出るまで何回か押す）

2 希望の記号を選び、決定する

入力しないで記号一覧を消すときは、黄 を押します。

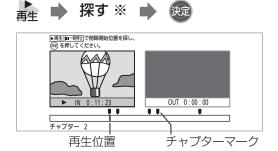
p.51 データ放送表示中、p.50 フリーワード検索、p.170 ネットワーク利用中に文字入力する場合は、次のボタンで入力してください。

- 文字の種類（かな、カナ、英数、数字）を切り換えるときは、緑 で切り換え、決定 で決定します。
  漢字を入力するときは、「かな」を選びます。
- 文字を入力するときは、1あ～12＊ で入力し、決定 で決定します。（「数字」で入力中は、決定 で決定する必要はありません。）
  - 漢字に変換するときは、「かな」で文字を入力後に［▲、▼］で変換候補を選び、決定 で決定します。
  - 濁音/半濁音を入力するときは、文字に続けて 10゛゜ を押します。
  - 同じボタンで続けて入力するときは、[▶]でカーソルを1文字右へ移動します。
  - かな、カナの記号は、"かな""カナ"のときに 10゛゜ で入力します。（または、「きごう」と入力後に［▲、▼］で変換候補を選び、決定 で決定します。）
  - 英数の記号は、「英数」のときに 1あ または 10゛゜ で入力します。（1あ と 10゛゜ で入力できる記号が異なります。）
    "#"、"*"は、「数字」のときに 11わ記号#、12＊ を押します。
  - 入力を間違えたときは、黄 を押します。

気を付けて

● 部分削除・分割された部分は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから部分削除・分割してください。

番組の不要な部分を削除する（部分削除）

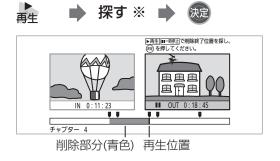
本体

1 録画一覧画面を表示し、部分削除する番組を選ぶ p.93

2 選んだ番組の“番組の部分削除”画面を表示する

1 サブメニュー画面を表示する

サブメニュー

2 “編集”を選び、決定する

↓

“部分削除”で、そのまま決定する

確認メッセージが表示されるときは、[◀、▶]で“はい”を選び、決定 を押します。

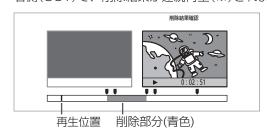
3 左側(IN)の映像を見ながら、不要な部分の開始位置を探し、決定する

4 同様に操作して、右側(OUT)の映像を見ながら、不要な部分の終了位置を探し、決定する

再生 ➡ 探す ※ ➡ 決定

● 選択メニューが表示されます。

5 同じ番組の別の部分を削除するときは

1 選択メニューの“続けて編集する”で、そのまま決定する

続けて編集する
削除を実行する
削除結果を確認する

2 左記の手順 3、4 を繰り返す

6 不要な部分の選択が終わったら、

1 選択メニューの“削除結果を確認する”を選び、決定する

● 右側(OUT)で、削除結果が連続再生(※)されます。

2 確認が終わったら、再生を停止する

3 選択メニューの“削除を実行する”を選び、決定する

4 確認メッセージの“はい”を選び、決定する

● 不要な部分が削除され、通常画面に戻ります。

番組を分割する

本体

1 録画一覧画面を表示し、分割する番組を選ぶ p.93

2 選んだ番組の“番組の分割”画面を表示する

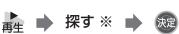
1 サブメニュー画面を表示する

2 “編集”を選び、決定する

↓

“分割”を選び、決定する

再生
手間なしダビング
編集
並べ替え
録画モード変換
視聴制限一時解除

部分削除
分割
番組名変更
ユーザー変更
保護設定

（繰り返し）

☞ 確認メッセージが表示されるときは、[◀、▶]で“はい”を選び、決定 を押します。

3 映像を見ながら、分割位置を探し、決定する

再生位置　チャプターマーク

4 確認メッセージの“はい”を選び、決定する

- 番組が分割され、通常画面に戻ります。

※ 部分削除の開始/終了位置を検索するときは
部分削除の削除結果の確認再生をするときは
分割位置の検索をするときは

- 次の再生が利用できます。p.101
  - 再生
  - 早送り/早戻し
  - 再生一時停止
  - スロー/逆スロー再生
  - 30秒スキップ
  - チョット戻し
  - スキップ（再生一時停止中からでもできます）
- 再生一時停止中にコマ送り/コマ戻しをするときは、赤（コマ送り）、青（コマ戻し）を押します。
- 部分削除の開始/終了位置の検索時のみ、再生一時停止中に 停止 を押すと、番組の先頭に移動させることができます。

気を付けて

- 番組を部分削除、分割したときは、その番組の見どころ再生ができなくなり、録画一覧（▶）画面には表示されなくなります。
  部分削除、分割後の番組を再生するときは、録画一覧（全）/（ユーザー）画面から選んでください。
- 部分削除で指定した開始/終了位置や分割で指定した分割位置と、実際に編集される箇所とは、1秒程度ずれることがあります。
- 部分削除の終了位置や分割位置を設定する場合、チャプターマーク位置から先の数秒間は設定できないことがあります。
  この部分に部分削除の終了位置や分割位置を設定したい場合は、次の操作を行って該当のチャプターマークを削除してください。

1 通常画面に戻るまで 戻る を何回か押して、いったん部分削除または分割の操作を中止する
（確認メッセージが表示されるときは、[◀、▶]で“はい”を選び、決定 を押します。）

2 手動で該当のチャプターマークを削除する p.111

3 もう一度、部分削除または分割の操作を行う

ディスクを編集する

前の画面に戻るときは 戻る を押す

通常画面に戻るときは 戻る を何回か押す

ディスク名を変更する

BD-RE BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR)

1 "メディア管理"画面を表示する

1 本機がらく楽モード(本体前面の らく楽モード が点灯)になっているときは、通常モードに切り換える

ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。

2 停止中に、通常メニュー画面を表示する

3 "設定・管理"を選び、決定する

⬇

"メディア管理(初期化)"を選び、決定する

(繰り返し)

2 ディスク名を変更する

1 "ディスク設定"を選び、決定する

⬇

"ディスク名変更"を選び、決定する

メディア管理
BD初期化 / DVD初期化 / ディスク設定 / HDD初期化 / SDカード
ファイナライズ / ディスク名変更 / ディスク保護

2 確認メッセージの"はい"を選び、決定する

3 ディスク名を変更する(文字の入力のしかたは ••▶ p.114)

4 すべての文字を確定したら、決定 を押して文字入力を終了する

3 変更が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

ディスクを保護する・保護を解除する

BD-RE BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR)

1 上記の手順 1 を行って、"メディア管理"画面を表示する

2 ディスクを保護する・保護を解除する

1 "ディスク設定"を選び、決定する

⬇

"ディスク保護"または"ディスク保護解除"を選び、決定する

メディア管理
BD初期化 / DVD初期化 / ディスク設定 / HDD初期化 / SDカード
ファイナライズ / ディスク名変更 / ディスク保護

メディア管理
BD初期化 / DVD初期化 / ディスク設定 / HDD初期化 / SDカード
ファイナライズ / ディスク名変更 / ディスク保護解除

2 確認メッセージの"はい"を選び、決定する

3 変更が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

● ファイナライズ後は録画や編集ができなくなります。（DVD-RW（VR）以外は解除もできません。）
録画内容をよく確認してからファイナライズしてください。

本機で録画したディスクをファイナライズする

BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) （-RW(Video) -R(Video)）

本機で録画したディスクをファイナライズすると、その録画方式に対応した他のBD/DVDプレーヤーやレコーダー、パソコンなどで再生することができます。

● ファイナライズは数分から数十分かかります。（録画時間が短い場合や録画した番組数が多い場合は、ファイナライズに時間がかかります。）

BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) のときは

1 前ページ「ディスク名を変更する」の手順 1 を行って、"メディア管理"画面を表示する

2 ファイナライズを始める

1 "ディスク設定"を選び、決定する
⬇
"ファイナライズ"で、そのまま決定する

メディア管理
BD初期化 / DVD初期化 / ディスク設定 / HDD初期化 / SDカード
ファイナライズ / ディスク名変更 / ディスク保護

2 確認メッセージの"はい"を選び、決定する

● ファイナライズが始まります。
● ファイナライズ中は、途中で中止できません。
● ファイナライズの進捗表示は目安です。ディスクによっては、90%以降の表示の進捗がかなり遅くなることがあります。
● ファイナライズが終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

前の画面に戻るときは
戻る を押す

通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

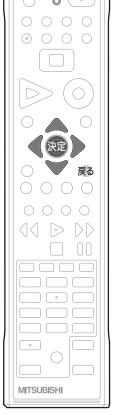
-RW(Video) -R(Video) のときは

ダビングが終わると自動的にファイナライズされます。手動でファイナライズすることはできません。
● ファイナライズ後は、録画一覧が利用できなくなります。
● ファイナライズ後は、DVDメニューが作成されますので、再生するときはDVDメニューから希望の番組を選んでください。

本機でファイナライズしたディスクのファイナライズを解除するときは

-RW(VR)

本機でファイナライズしたDVD-RW（VR）の場合だけ、本機でファイナライズを解除することができます。解除すると、再び録画や編集をすることができます。
上の手順 2 のときに、"ファイナライズ解除"でそのまま決定します。

気を付けて

●ファイナライズ中/解除中は、本機の電源を切ったり電源コードを抜いたりしないでください。ディスクの破損や本体が故障する原因となります。
● 他機で録画・ファイナライズされたディスクは、本機でファイナライズやファイナライズの解除ができないことがあります。

メディアを消去・初期化する（全消去/部分消去、フォーマット）

気を付けて

● 初期化を行って消去された録画内容は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから初期化してください。
● 消去されたローカルストレージの内容は、元に戻せません。内容をよく確認してから消去してください。

前の画面に戻るときは 戻る を押す

通常画面に戻るときは 戻る を何回か押す

本体（HDD）の録画内容を全部または一部消去する（HDDの初期化）

本体

1 p.118「ディスク名を変更する」の手順 1 を行って、“メディア管理”画面を表示する

2 本体（HDD）の録画内容を全部または一部消去する

1 “HDD初期化”を選び、決定する
⬇
希望の消去方法を選び、決定する

（繰り返し）

メディア管理
BD初期化
DVD初期化
ディスク設定
HDD初期化
SDカード
全消去
部分消去

全消去‥‥‥すべて消去するとき。
部分消去‥‥保護された番組以外を消去するとき。

2 確認メッセージの“はい”を選び、決定する

● 初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
● 初期化中は、途中で中止できません。
● 初期化が終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

BD-REの録画内容を消去して再フォーマットする（BDの初期化）

BD-RE

1 p.118「ディスク名を変更する」の手順 1 を行って、“メディア管理”画面を表示する

2 BD-REを再フォーマット（初期化）する

1 “BD初期化”で、そのまま決定する

決定

メディア管理
BD初期化
DVD初期化
ディスク設定
HDD初期化
SDカード

2 確認メッセージの“はい”を選び、決定する

● 初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
● 初期化中は、途中で中止できません。
● 初期化が終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

● 初期化中は、本機の電源を切ったり電源コードを抜いたりしないでください。
ディスク・カードの破損や本体が故障する原因となります。

DVD-RWの録画内容を消去して再フォーマットする（DVDの初期化）

-RW

1 p.118「ディスク名を変更する」の手順 1 を行って、“メディア管理”画面を表示する

2 DVD-RWを再フォーマット（初期化）する

1 “DVD初期化”を選び、決定する

⬇

希望の録画方式 p.60 を選び、決定する

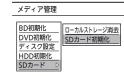
（繰り返し）

2 確認メッセージの“はい”を選び、決定する

- 初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 初期化中は、途中で中止できません。
- 初期化が終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

SDカードをフォーマットする（SDカードの初期化）

SD

1 p.118「ディスク名を変更する」の手順 1 を行って、“メディア管理”画面を表示する

2 SDカードをフォーマット（初期化）する、または、BDビデオのローカルストレージの内容を消去する

SDカードをフォーマット（初期化）するとき

1 “SDカード”を選び、決定する

⬇

“SDカード初期化”を選び、決定する

（繰り返し）

2 確認メッセージの“はい”を選び、決定する

- 初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 初期化中は、途中で中止できません。
- 初期化が終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

BDビデオのローカルストレージの内容を消去するとき

ローカルストレージについては ••▶ p.98

1 “SDカード”を選び、決定する

2 “ローカルストレージ消去”で、そのまま決定する

3 確認メッセージの“はい”を選び、決定する

- ローカルストレージ領域の消去が始まります。
  終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 消去中は、途中で中止できません。
- 消去が終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

ちょっとメモ

- 新品（未使用）で初期化されていないBD-RE/BD-R/DVD-RWを初期化（フォーマット）するときは ••▶ p.60
- 新品（未使用）のDVD-Rの録画方式を変更して初期化するときは ••▶ p.60

消去・編集についての補足説明

ファイナライズ/ファイナライズ解除

- BD-REは、ファイナライズ不要です。ファイナライズをしなくても他のBDプレーヤーやレコーダー、パソコンで再生できます。（機器によっては、再生できない場合もあります。）
- DVD-RWは、ファイナライズ後も録画内容をすべて消去する再フォーマット（初期化）を行えば、録画可能となります。
- ファイナライズ中やファイナライズ解除中に録画予約の開始時刻になったときは、録画予約がキャンセルされます。
- チャプターの情報は、ファイナライズ後も引き継がれます。
- DVDプレーヤー /レコーダーやパソコンなどによっては、ファイナライズをしても再生できないことがあります。
- ファイナライズ中/解除中に停電したときは
  - DVD-RWは、初期化が必要になることがあります。（初期化をすると、録画内容が消去されます。）
  - BD-R/DVD-Rは、そのディスクが使用できなくなることがあります。

初期化（フォーマット）

- 初期化中に録画予約の開始時刻になったときは、録画予約がキャンセルされます。
- 他機でファイナライズされたディスクは、本機で初期化できないことがあります。

メモ

各部
準備（接続）
準備（設定）
テレビ放送
メディア
録る
見る
消去編集
残す取り込む
便利機能
安全注意
仕様
困ったとき

ダビングをする前に

本機でできるダビングについて

ダビングの方向	こんなとき		ダビング方法
本体(HDD) → ディスク(BD/DVD) ディスク(BD/DVD) → 本体(HDD) ※ 本体(HDD) → ディスク(BD/DVD) のみ	● 1番組だけダビングしたい	かんたんに	手間なしダビング
		難しい設定なしで ※	らく楽ダビング
		好みの設定で	ダビング一覧からダビング
	● 再生中の番組をダビングしたい ● 見どころ再生の盛り上がり部分だけをダビングしたい（見どころ再生中の番組のダビング）※		手間なしダビング
	● 複数の番組をまとめて一度にダビングしたい ● 番組本編だけをダビングしたい ※	難しい設定なしで ※	らく楽ダビング
		好みの設定で	ダビング一覧からダビング
	● 録画モードを変更してダビングしたい		ダビング一覧からダビング
ディスク ↘ SDカード →　本体(HDD) USB機器 ↗	● デジタルビデオカメラで撮影されたハイビジョン画質（AVCHD）の動画をダビングしたい		AVCHDの動画のダビング

ダビング方法について

手間なしダビング p.126	再生中の番組を、番組の最初から終わりまでダビングする方法です。 （番組名もダビングされます。） ● 通常再生中の番組のほかに、見どころ再生中の番組のダビングができます。
らく楽ダビング p.128	ダビング用の録画一覧画面から番組を選び、難しい設定なしでダビングする方法です。 選んだ番組と挿入されているディスクの種類に最適になるように、自動でダビングされます。 本体が、らく楽モードのときに操作できます。 ● 番組全体のダビングのほかに、番組本編だけのダビングができます。 ● **一括ダビング** 複数の番組をまとめて一度にダビングできます。
ダビング一覧からダビング p.130	ダビング用の録画一覧画面から番組を選び、ダビング一覧に登録してダビングする方法です。 本体が、通常モードのときに操作できます。 ● 番組全体のダビングのほかに、番組本編だけのダビングができます。 ● **一括ダビング** 複数の番組をまとめて一度にダビングできます。 ● **レート変換ダビング** 録画モードを変更してダビングできます。（ダビング元より高画質の録画モードに変換しても、画質は良くなりません。また、等速ダビングになります。）
AVCHDの動画のダビング p.136	デジタルビデオカメラで撮影されたハイビジョン画質（AVCHD）の動画を本体（HDD）へダビングできます。 本体が、通常モードのときに操作できます。

☞ ビデオ、ビデオカメラから本機にダビングするときは ••▶ p.137
☞ 本機からビデオにダビングするときは ••▶ p.138

気を付けて

● 市販のソフトやレンタルディスク·テープのほとんどは、違法複製防止のために録画禁止処理（コピーガード）がされており、ダビングできません。

ちょっとメモ

● Video方式でファイナライズ済みのディスクを本体（HDD）へダビングするときは、p.137「ビデオやビデオカメラから本機にダビングする」の方法でダビングしてください。

各部
準備（接続）
準備（設定）
テレビ放送
メディア
録る
見る
編集消去
残す取り込む
便利機能
安全注意
仕様
困ったとき

ダビングする前に、必ずお読みください

ダビングをするときの録画モードとダビング速度について

録画モードについては、p.62「録画モードとおよその録画時間（目安）について」をごらんください。

手間なしダビングするとき

ダビング元 メディア	ダビング元 録画モード		ダビング先 メディア	ダビング先 ダビング速度：録画モード（選択できません）
本体（HDD）	DR	➡	BD-RE BD-R	高速　　　　　：ダビング元と同じ
			-RW（AVCREC） -R（AVCREC） -RW（VR） -R（VR）	等速（1倍速）：AUTO
			-RW（Video） -R（Video）	等速（1倍速）：AUTO　（「制限なしに録画可能」番組のみ）
	AF〜AE	➡	BD-RE BD-R -RW（AVCREC） -R（AVCREC）	高速　　　　　：ダビング元と同じ
			-RW（VR） -R（VR）	等速（1倍速）：AUTO
			-RW（Video） -R（Video）	等速（1倍速）：AUTO　（「制限なしに録画可能」番組のみ）
	XP〜EP	➡	BD-RE BD-R	等速（1倍速）：ダビング元と同じ
			-RW（AVCREC） -R（AVCREC）	ダビングできません
			-RW（VR） -R（VR）	高速　　　　　：ダビング元と同じ
			-RW（Video） -R（Video）	高速：ダビング元と同じ、等速（1倍速）：AUTO（「制限なしに録画可能」番組のみ）※1
BD-RE BD-R	DR	➡	本体（HDD）	ダビングできません
	AF〜AE			高速　　　　　：ダビング元と同じ（「制限なしに録画可能」番組のみ）
	XP〜EP			等速（1倍速）：ダビング元と同じ（「制限なしに録画可能」番組のみ）
-RW（AVCREC） -R（AVCREC）		➡		等速（1倍速）：ダビング元と同じ（「制限なしに録画可能」番組のみ）
-RW（VR） -R（VR）		➡		高速　　　　　：ダビング元と同じ（「制限なしに録画可能」番組のみ）
-RW（Video） -R（Video）		➡		ダビングできません

※1　p.155“セットアップ”画面の“録画設定”－“Video高速ダビング”の設定を“入”にして録画された番組は「高速」で、“切”にして録画された番組は「等速（1倍速）」でダビングされます。

ダビング一覧からダビングするとき

ダビング元 メディア	ダビング元 録画モード		ダビング先 メディア	ダビング先 選択できる録画モード（「高速」はダビング元と同じ）：ダビング速度
本体（HDD）	DR	➡	BD-RE BD-R	高速：高速、　AF〜AE、XP〜EP：等速（1倍速）
			-RW（AVCREC） -R（AVCREC）	－　　　、　AF〜AE：等速（1倍速）
			-RW（VR） -R（VR）	－　　　、　XP〜EP、AUTO：等速（1倍速）
			-RW（Video） -R（Video）	－　　　、　XP〜EP、AUTO：等速（1倍速）（「制限なしに録画可能」番組のみ）
	AF〜AE	➡	BD-RE BD-R	高速：高速、　AF〜AE、XP〜EP：等速（1倍速）
			-RW（AVCREC） -R（AVCREC）	高速：高速、　AF〜AE：等速（1倍速）
			-RW（VR） -R（VR）	－　　　、　XP〜EP、AUTO：等速（1倍速）
			-RW（Video） -R（Video）	－　　　、　XP〜EP、AUTO：等速（1倍速）（「制限なしに録画可能」番組のみ）
	XP〜EP	➡	BD-RE BD-R	－　　　、　XP〜EP：等速（1倍速）
			-RW（AVCREC） -R（AVCREC）	ダビングできません
			-RW（VR） -R（VR）	高速：高速、　XP〜EP、AUTO：等速（1倍速）
			-RW（Video） -R（Video）	高速：高速、　XP〜EP、AUTO：等速（1倍速）（「制限なしに録画可能」番組のみ）※2
BD-RE BD-R	DR	➡	本体（HDD）	高速：高速、　－
	AF〜AE			高速：高速、　AF〜AE、XP〜EP：等速（1倍速）
	XP〜EP			－　　　、　AF〜AE、XP〜EP：等速（1倍速）
-RW（AVCREC） -R（AVCREC）		➡		高速：高速、　AF〜AE、XP〜EP：等速（1倍速）（「制限なしに録画可能」番組のみ）
-RW（VR） -R（VR）		➡		高速：高速、　－　（「制限なしに録画可能」番組のみ）
-RW（Video） -R（Video）		➡		ダビングできません

※2　p.155“セットアップ”画面の“録画設定”－“Video高速ダビング”の設定を“入”にして録画された番組のみ、“高速”が選択できます。

AUTO（ジャストレコーディング）について

ディスクの残量に合わせて録画モードが自動調整されます。（条件により、高速ダビングとなることがあります。）

- ディスクに傷があったり残量が著しく少ないときや番組の最初から長時間録画の録画モードでダビングしても残量が足りないときは、ジャストレコーディングをしても最後までダビングできません。
- ダビングする番組の内容やディスクの状況によっては、ジャストレコーディング後に残量が残ることがあります。

らく楽ダビングするとき

ダビング元			ダビング先	
メディア	録画モード		メディア	ダビング速度：録画モード（選択できません）
本体（HDD）	DR	➡	BD-RE BD-R	高速：ダビング元と同じ または 等速（1倍速）：AUTO ※3
			-RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR)	等速（1倍速）：AUTO
			-RW(Video) -R(Video)	ダビングできません
	AF～AE	➡	BD-RE BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC)	高速：ダビング元と同じ または 等速（1倍速）：AUTO ※3
			-RW(VR) -R(VR)	等速（1倍速）：AUTO
			-RW(Video) -R(Video)	ダビングできません
	XP～EP	➡	BD-RE BD-R	等速（1倍速）：AUTO
			-RW(AVCREC) -R(AVCREC)	ダビングできません
			-RW(VR) -R(VR)	高速：ダビング元と同じ または 等速（1倍速）：AUTO ※3
			-RW(Video) -R(Video)	ダビングできません

※3 「高速」で番組の最後までダビングできない（残量が足らない）場合は、「等速（1倍速）」でダビングされます。

「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」番組のダビング制限について

p.71「番組の録画制限、ダビング制限について」をごらんください。
ダビング中にできる同時操作については、p.68「同時操作について」をごらんください。

「コピー」と「ムーブ（移動）」について

p.71「番組の録画制限、ダビング制限について」をごらんください。

- ディスク→本体（HDD）へダビングする場合、ダビングする番組を最後まで再生しないとダビング可能/不可の判定ができないことがあります。その場合は、ダビング不可の判定までダビングできた場合と同じだけ時間がかかることがあります。

「高速ダビング」と「等速ダビング」について

高速ダビング	● ダビング元と同じ画質（録画モード）でダビングするとき、高速ダビングになります。 ● 高速記録対応のディスクを使ってダビングすると、ダビングする番組の記録時間よりも短い時間でダビングされます。（本機の動作音が、通常よりも大きくなります。）
等速ダビング（1倍速ダビング）	● 画質（録画モード）を変えてダビング（レート変換ダビング）するとき、等速ダビングになります。（ダビング元より高画質の録画モードに変換しても、画質は良くなりません。） ● ダビング元の番組の記録時間と同じ時間（またはそれ以上の時間）をかけてダビングされます。 ● 等速ダビング中は、音声の切り換えなど、できない操作があります。

二カ国語（二重音声）、マルチ番組の映像･音声、サラウンド音声、字幕のダビングについて

p.64「二カ国語（二重音声）、マルチ番組の映像･音声、サラウンド音声、字幕の録画について」をごらんください。

- 手間なしダビングで等速ダビングするときは、ダビング再生中の音声が記録されます。

気を付けて

- **本体（HDD）→DVD-RW（Video）/-R（Video）へダビングする場合は、ダビングが終わると自動的にファイナライズされ、それ以上ダビングできなくなります。複数の番組をダビングするときは、ダビング一覧からダビングしてください。**
  - 本体（HDD）→DVD-RW（Video）/-R（Video）へダビングする場合は、ダビングする映像の縦横比によって、“セットアップ”画面の“録画設定”－“Videoアスペクト”の設定を変更してダビングしてください。
    違う設定でダビングした場合は、再生時に縦長や横長の映像になります。（テレビ側で画面サイズを変更できます。）
- **ダビングを開始すると、放送の画面に切り換わります。（ダビング中の映像を本機で見ることはできません。）**
  - 本体（HDD）→DVD-RW（Video）/-R（Video）へダビング中の場合のみ、ダビング中の画面に切り換わります。（放送の画面に切り換えることはできません。）また、本体（HDD）→DVD-RW（Video）/-R（Video）へ高速ダビング中は、本機のチャンネルを切り換えたり、録画一覧画面/番組表などを表示したりすることはできません。
- ディスク→本体（HDD）へダビングするとき、次のようなディスクによっては、手間なしダビングできなかったりダビング一覧から高速ダビングできないことがあります。（この場合、ダビング一覧から等速ダビングすることができます。）
  - 録画モードAF～AEで録画されたBD-RE/-R→本体（HDD）へ手間なしダビングするとき、またはダビング一覧から高速ダビングするとき
  - DVD-RW（AVCREC）/-R（AVCREC）→本体（HDD）へ手間なしダビングするとき

再生中の番組をダビングする（手間なしダビング）

本体 → BD-RE BD-R -RW -R 、BD-RE BD-R -RW -R → 本体

1. ダビングが可能なディスクを入れる p.59
   - ディスクにダビングするときは、残量があるディスクを入れてください。

2. ダビング元の番組/プレイリストの、再生(通常再生、または見どころ再生)を始める p.93､95

3. 再生中に、 を押す

4. 確認メッセージに従って、“はい”を選び、決定する

手間なしダビングが始まり、再生中の番組が番組の最初から終わりまでダビングされます。

ダビング中は、本体表示部の“**DUB**”が点灯します。
ダビングが終わると、本体表示部の“**DUB**”が消えます。

DVD-RW(Video)/-R(Video)へダビングした場合のみ
手間なしダビング終了後、自動的にファイナライズが始まります。
ファイナライズ中は、途中で中止できません。
ファイナライズが終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

ダビング実行中に途中で中止するときは

1. ダビング中に、残す を約4秒間押し続ける
   - DVD-RW(Video)/-R(Video)へダビング中のときのみ
     このあと確認メッセージが表示されますので、[◀、▶]で“はい”を選び、決定 を押します。

2. 中止完了メッセージが表示されたら、決定 を押す

☞ 前の画面に戻るときは
戻る を押す

☞ 通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

各部
準備（接続）
準備（設定）
テレビ放送
メディア
録る
見る
編集消去
残す取り込む
便利機能
安全注意
仕様
困ったとき

見どころ再生中の番組を手間なしダビングするときは

- **p.95 見どころ再生中の番組を手間なしダビングすると、再生レベルより上の部分だけがダビングされます。**
- **「ムーブ(移動)」になる番組をダビングする場合は、ダビング元の番組でダビングされなかった部分(再生レベルより下の部分)はダビング後に消去されます。**
  番組全体をダビングしたい場合は、通常再生中の番組をダビングしてください。
- 本体(HDD)→ディスクにだけダビングできます。

気を付けて

- **ダビング実行中に途中で中止したときは**
  - **再生側**
    内容がそのまま残ります。
  - **録画側：**
    BD-RE、DVD-RW(VR)の場合
    ダビングされません。
    BD-R、DVD-RW(AVCREC)/-R(AVCREC)/-R(VR)の場合
    ダビングを中止したところまで録画され、ダビングされた分だけディスクの残量時間が減ります。
    ダビング中止時点でダビング実行中だった番組は、再生することはできません。
    DVD-RW(Video)の場合
    初期化が必要となります。
    DVD-R(Video)の場合
    ダビングされた内容は再生できず、そのディスクは使用できなくなります。

ちょっとメモ

- 再生中に、サブメニュー画面から手間なしダビングすることもできます。
  1. 再生中に、サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
  2. [▲、▼]で“この番組をダビングする”を選び、決定 を押す
- 録画一覧画面を表示中に、サブメニュー画面から手間なしダビングすることもできます。
  1. 録画一覧画面を表示中に、ダビングしたい番組を選ぶ
  2. サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
  3. [▲、▼]で“手間なしダビング”を選び、決定 を押す
- ダビング中に、サブメニュー画面からダビングを中止することもできます。
  1. ダビング中に、サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
  2. [▲、▼]で“ダビングを中断する”を選び、決定 を押す
  3. [◀、▶]で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す
  4. 中止完了メッセージが表示されたら、決定 を押す

らく楽モードのときに、難しい設定なしでダビングする（らく楽ダビング）

本体 → BD-RE BD-R -RW -R

次の順序でダビングします。
1. ディスクを入れ、ディスク確認画面を表示する
2. ディスクの種類と残量時間を確認する
3. ダビングする番組を選ぶ
4. ダビングを開始する

1. ディスクを入れ、ディスク確認画面を表示する

1-1 本機が通常モード（本体前面の らく楽モード が消灯）になっているときは、らく楽モードに切り換える

ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを点灯させます。

1-2 停止中に、残すダビング を押す

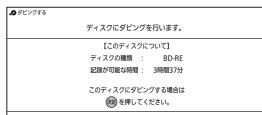
- **ディスクが入っていない場合**
  ディスク挿入案内画面が表示されます。 ●●▶ 手順1-3へ
- **録画可能なディスクが入っている場合**
  ディスク確認画面が表示されます。 ●●▶ 手順2-1へ
- **録画できないディスクが入っている場合**
  ディスク変更案内画面が表示されます。 ●●▶ 手順1-4へ

【ディスクが入っていない場合】

1-3 ディスクを入れる p.59

- **新品（未使用）ディスクを入れた場合**
  p.59 の初期化・ダビング・取り出しの選択画面が表示されます。
  p.60「初期化後に、そのまま続けてダビングするとき」の操作を行ってください。
  ディスク確認画面が表示されます。 ●●▶ 手順2-1へ
- **録画可能なディスクを入れた場合**
  ディスク確認画面が表示されます。 ●●▶ 手順2-1へ
- **録画できないディスクを入れた場合**
  ディスク変更案内画面が表示されます。 ●●▶ 手順1-4へ

【ディスクを変更する場合】

1-4 録画可能なディスクに入れ換える p.59

ディスク確認画面が表示されます。 ●●▶ 手順2-1へ

次は、●●▶ 手順2-1へ

2. ディスクの種類と残量時間を確認する

2-1 ディスクの種類と残量時間を確認し、決定 を押す

- ダビング用の録画一覧画面が表示されます。

別のディスクに変更するときは
p.59 の操作を行って、ディスクを入れ換えてください。

次は、手順3-1へ

3. ダビングする番組を選ぶ

3-1 ダビングする番組を選ぶ p.93

- 録画一覧（全）/（ユーザー）画面だけから選ぶことができます。

3-2 緑 を押し、登録（追加）する1番組目の左に“☑”を表示する

3-3 2番組以降を一括して登録（追加）する場合のみ
上記の手順3-1～3-2を行い、登録（追加）する番組（2番組目以降）の左に“☑”を表示する（最大18番組まで）

- 2番組目以降を選ぶときは、ラベルの切り換えはできません。

●●▶ 次ページへつづく

ちょっとメモ

- 新品（未使用）のDVD-RW/-Rにらく楽ダビングする場合は、VR方式で初期化されます。
  DVD-RW（AVCREC）/-R（AVCREC）にダビングしたいときは、p.60 でらく楽ダビング前に初期化を済ませておくか、p.130 のダビング一覧からダビングしてください。（DVD-RW（Video）/-R（Video）には、らく楽ダビングできません。）

3-4 登録（追加）する番組を選び終わったら、決定 を押す

- ダビング開始確認画面が表示されます。

本編だけダビングするかどうかの確認メッセージが表示されるときは

【本編だけをダビングする場合は】
[◀、▶]で“はい”を選び、決定 を押します。
【番組全体をダビングする場合は】
“いいえ”でそのまま 決定 を押します。

本編のみをダビングについて

- ダビング一覧に登録したすべての番組に“AUTO”が付いている場合にのみ、選択できます。
- 「ムーブ（移動）」になる番組をダビングする場合は、ダビング元の番組でダビングされなかった部分（番組の本編以外の部分）はダビング後に消去されます。番組全体をダビングしたい場合は、“番組全体をダビング”を選んでください。
- 番組の内容などによっては、ダビングされる部分が多少ずれたりすることがあります。また、不要な部分がダビングされたり、本編部分がダビングされないことがあります。

次は、手順4-1へ

4. ダビングを開始する

4-1 “ダビングを開始する”を選び、決定する

（例）
ダビングが始まります。

ダビング中は、本体表示部の“**DUB**”が点灯します。
ダビングが終わると、本体表示部の“**DUB**”が消えます。

新品（未使用）のディスクへダビングする場合のみ
ダビング前に、ディスクの初期化が始まります。
初期化が終わるまで、しばらく時間がかかります。
初期化中は、途中で中止できません。
初期化が終わると、引き続きダビングが始まります。

ダビング実行中に途中で中止するときは

1 ダビング中に、残す ダビング を約4秒間押し続ける
2 中止完了メッセージが表示されたら、決定 を押す
気を付けて

- **ダビング実行中に途中で中止したときは**
  - **再生側（本体）**
    内容がそのまま残ります。
    一括ダビングする場合、ダビング中止時点で「ムーブ（移動）」になる番組をダビング完了しているときは削除されます。
  - **録画側：**
    BD-RE、DVD-RW（VR）の場合
    ダビングされません。
    BD-R、DVD-RW（AVCREC）/-R（AVCREC）/-R（VR）の場合
    ダビングを中止したところまで録画され、ダビングされた分だけディスクの残量時間が減ります。
    ダビング中止時点でダビング実行中だった番組は、再生することはできません。
    複数番組を一括ダビングした場合、ダビング中止時点でダビング完了している番組は再生できます。

ちょっとメモ

- 手順1-2の操作は、p.140 らく楽メニューの“ダビングする”から操作することもできます。
- ダビング中に、サブメニュー画面からダビングを中止することもできます。
  1. ダビング中に、サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
  2. [▲、▼]で“ダビングを中断する”を選び、決定 を押す
  3. [◀、▶]で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す
  4. 中止完了メッセージが表示されたら、決定 を押す
- らく楽ダビングの設定中は、音声ガイドが流れます。

各部
準備（接続）
準備（設定）
テレビ放送
メディア
録る
見る
編集消去
残す取り込む
便利機能
安全注意
仕様
困ったとき

番組をダビング一覧に登録してダビングする（ダビング一覧からダビング）

本体 → BD-RE BD-R -RW -R 、BD-RE BD-R -RW -R → 本体

ダビング一覧画面の見かた

ダビング方向

選択中の番組と情報（青色）
9回　：コピー可能
（数字はコピー可能回数）
ムーブ：ムーブ（移動）のみ可能

選択中の番組の音声付き早見再生（約1.3倍速）画面

HDDからディスクへダビング　3/18 金 PM 3 : 15 G-GUIDE

AUTO カウントダウンポップス
9回　BS 161　HD画質DR　11/ 2/27日
AUTO カウントダウンポップス　HD画質DR　11/ 3/13日
AUTO カウントダウンポップス　HD画質DR　11/ 3/ 6日
AUTO カウントダウンポップス　HD画質DR　11/ 2/20日

（映像）
番組登録に戻る（追加）
本編のみをダビング
☑番組全体をダビング　※1
ディスク名設定　※2
登録完了

青 番組移動　赤 番組名変更　緑 全番組削除　黄 番組削除
選択　決定 決定　戻る 戻る　◀◀▶▶前・次ページ

ダビング一覧
（最大18番組まで追加可能）

ガイド表示

● **一覧の上から順に、登録された全タイトルがダビングされます。**
（一部のタイトルだけを選んでダビングすることはできません。）
ダビング順は、p.132 で変更することができます。

● 一覧には、以前のダビングで登録したタイトルが表示されることがあります。
p.132 で全番組または一部番組を削除することができます。

※1　本体(HDD)→ディスクにダビングするときのみ表示され、選択できます。
※2　本体(HDD)→DVD-RW(Video)/-R(Video)にダビングするときのみ表示され、選択できます。

ちょっとメモ

● 本体(HDD)のダビング用の録画一覧画面は、p.142 通常メニューの“残す(ダビング)”－“HDD録画番組を残す”から表示することもできます。

次の順序でダビングします。
1. ディスクを入れ、ダビング用の録画一覧画面を表示する
2. ダビング一覧に番組を登録(追加)する/番組を削除する/ダビング順や番組名などを変更する
3. ダビングの設定を確認する/変更する
4. ダビングを開始する

1. ディスクを入れ、ダビング用の録画一覧画面を表示する

ダビング用の録画一覧画面の表示のしかたは、ダビングの方向やダビングするディスクによって異なります。

1-1 本機がらく楽モード(本体前面の らく楽モード が点灯)になっているときは、通常モードに切り換える
ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。

【本体(HDD)→新品(未使用)ディスクへダビングする場合】

1-2 ダビングが可能なディスクを入れる p.59

1-3 p.60 **「初期化後に、そのまま続けてダビングするとき」の操作を行う**
● 本体(HDD)のダビング用の録画一覧画面が表示されます。

【本体(HDD)→初期化済みディスクへダビングする場合】
【本体(HDD)→録画済みディスクへ追加でダビングする場合】

1-2 ダビングが可能なディスクを入れる p.59
● 録画が可能で残量があるディスクを入れてください。

1-3 停止中に、 残す ダビング を押す
● 本体(HDD)のダビング用の録画一覧画面が表示されます。

【ディスク→本体(HDD)へダビングする場合】

1-2 ダビングが可能なディスクを入れる p.59

1-3 ディスクのダビング用の録画一覧画面を表示する

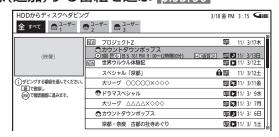
1. 停止中に、 メニュー らく楽 を押して、通常メニュー画面を表示する
2. [◀、▶]で“取り込む(ダビング)”を選び、 決定 を押す
3. [◀、▶]で“BD/DVDからの映像取り込み”を選び、 決定 を押す
● ディスクのダビング用の録画一覧画面が表示されます。

次は、●●▶ 手順2-1へ

各部　準備（接続）　準備（設定）　テレビ放送　メディア　録る　見る　編集消去　残す取り込む　便利機能　安全注意　仕様　困ったとき

2. ダビング一覧に番組を登録（追加）する/番組を削除する/ダビング順や番組名などを変更する

次のようなことができます。

A ダビング一覧に番組を登録（追加）する場合 ●●▶ 手順2-1へ
B 全番組を削除する場合 ●●▶ 手順2-5へ
C 一部の番組を削除する場合 ●●▶ 手順2-7へ
D ダビング順を変更する場合 ●●▶ 手順2-9へ
E ダビングする番組名を変更する場合 ●●▶ 手順2-11へ
F ディスク名を設定する場合（本体(HDD)→DVD-RW(Video)/-R(Video)のときのみ） ●●▶ 手順2-13へ
G 番組の本編部分だけをダビングする場合（本体(HDD)→ディスクのときのみ） ●●▶ 手順2-15へ

A ダビング一覧に番組を登録（追加）する場合

2-1 登録（追加）する番組を選ぶ p.93, 96

● 本体(HDD)の場合は、録画一覧（全）/（ユーザー）画面だけから選ぶことができます。

2-2 緑 を押し、登録（追加）する1番組目の左に“☑”を表示する

2-3 2番組以降を一括して登録（追加）する場合のみ
上記の手順2-1～2-2を行い、登録（追加）する番組（2番組目以降）の左に“☑”を表示する
（最大18番組まで）

● 2番組目以降を選ぶときは、ラベルの切り換えはできません。

2-4 登録（追加）する番組を選び終わったら、決定 を押す

● 番組が登録（追加）されたダビング一覧が表示されます。

確認メッセージが出る場合は
［◀、▶］で“はい”を選び、決定 を押してください。

ダビング一覧画面表示中に、番組を追加するときは
［▲、▼］で右側の「番組登録に戻る（追加）」に移動し、決定 を押します。
（左側の一覧が選ばれている場合は、［▶、▲、▼］で“番組登録に戻る（追加）”に移動し、決定 を押します。）
ダビング用の録画一覧画面が表示されますので、手順2-1以降の操作を行ってください。

このあと、次のステップ（ダビングの設定を確認する/変更する）に進む場合は ●●▶ 手順3-1へ

●●▶ 次ページへつづく

気を付けて

● 録画モードDR・AF～AEの番組と録画モードXP～EPの番組を混在させて登録したときは、標準画質（XP～EP）でダビングされます。

番組をダビング一覧に登録してダビングする（ダビング一覧からダビング）（つづき）

2. ダビング一覧に番組を登録(追加)する/番組を削除する/ダビング順や番組名などを変更する（つづき）

B 全番組を削除する場合

2-5 ダビング一覧画面を表示中に、

 で左側の一覧に移動し、 緑 を押す

2-6 確認メッセージの“はい”を選び、決定する

- ダビング一覧の全番組が削除されます。

このあと、ダビング一覧画面に番組を追加する場合は
右側の「番組登録に戻る(追加)」が選ばれているので、そのまま 決定 を押します。
ダビング用の録画一覧画面が表示されますので、手順2-1以降の操作を行ってください。

C 一部の番組を削除する場合

2-7 ダビング一覧画面を表示中に、
左側の一覧に移動し、希望の番組を選ぶ

（移動）　（選択）

（前、次ページ）

HDDからディスクへダビング　3/18 金 PM 3:15
- カウントダウンポップス　HD画質DR　11/ 3/13日
- カウントダウンポップス　HD画質DR　11/ 3/ 6日
- カウントダウンポップス　9回　BS 161　HD画質DR　11/ 2/27日
- カウントダウンポップス　HD画質DR　11/ 2/20日

(映像)
番組登録に戻る(追加)

2-8 選んだ番組を削除する

1 黄 を押す

2 確認メッセージの“はい”を選び、決定する

- 選んだタイトルが削除されます。

このあと、次のステップ(ダビングの設定を確認する/変更する)に進む場合は ●●▶ 手順3-1へ

D ダビング順を変更する場合

2-9 ダビング一覧画面を表示中に、
左側の一覧に移動し、希望の番組を選ぶ

（移動）　（選択）

（前、次ページ）

HDDからディスクへダビング　3/18 金 PM 3:15
- カウントダウンポップス　9回　BS 161　HD画質DR　11/ 2/27日
- カウントダウンポップス　HD画質DR　11/ 3/13日
- カウントダウンポップス　HD画質DR　11/ 3/ 6日
- カウントダウンポップス　HD画質DR　11/ 2/20日

(映像)
番組登録に戻る(追加)

2-10 選んだ番組の順番を移動する

1 青 を押す

2 順番を移動する位置を選び、決定する

- ダビングの順番が変更されます。

HDDからディスクへダビング　3/18 金 PM 3:15
- カウントダウンポップス　9回　BS 161　HD画質DR　11/ 2/27日
- カウントダウンポップス　HD画質DR　11/ 3/13日
- カウントダウンポップス　HD画質DR　11/ 3/ 6日
- カウントダウンポップス　HD画質DR　11/ 2/20日

(映像)
番組登録に戻る(追加)

このあと、次のステップ(ダビングの設定を確認する/変更する)に進む場合は ●●▶ 手順3-1へ

E ダビングする番組名を変更する場合

2-11 ダビング一覧画面を表示中に、
左側の一覧に移動し、希望の番組を選ぶ

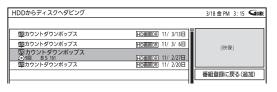
（移動）　（選択）

（前、次ページ）

HDDからディスクへダビング　3/18 金 PM 3:15
- カウントダウンポップス　HD画質DR　11/ 3/13日
- カウントダウンポップス　HD画質DR　11/ 3/ 6日
- カウントダウンポップス　9回　BS 161　HD画質DR　11/ 2/27日
- カウントダウンポップス　HD画質DR　11/ 2/20日

(映像)
番組登録に戻る(追加)

2-12 選んだタイトルの名前を変更する

1 赤 を押す

1 名前を入力する p.114

2 すべての文字を確定し、文字入力を終了する

- 選んだ番組の名前が設定されます。

このあと、次のステップ(ダビングの設定を確認する/変更する)に進む場合は ●●▶ 手順3-1へ

各部 / 準備（接続） / 準備（設定） / テレビ放送 / メディア / 録る / 見る / 編集消去 / 残す取り込む / 便利機能 / 安全注意 / 仕様 / 困ったとき

F ディスク名を設定する場合

（本体(HDD)→DVD-RW(Video)/-R(Video)のときのみ）

2-13 右側の「ディスク名設定」に移動し、決定する

（移動）
（選択・決定）

HDDからディスクへダビング　3/18 金 PM 3:15

AUTOカウントダウンポップス	HD画質DR	11/ 3/13日
AUTOカウントダウンポップス	HD画質DR	11/ 3/ 6日
AUTOカウントダウンポップス	HD画質DR	10/ 2/27日
AUTOカウントダウンポップス	HD画質DR	11/ 2/20日

番組登録に戻る(追加)
本編のみをダビング
☑番組全体をダビング
ディスク名設定
登録完了

2-14 ディスクの名前を設定する

1 名前を入力する p.114

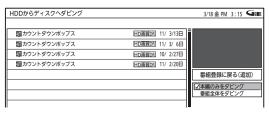
2 すべての文字を確定し、文字入力を終了する

- ディスクの名前が設定されます。

このあと、次のステップ(ダビングの設定を確認する/変更する)に進む場合は ●●▶ 手順3-1へ

G 番組の本編部分だけをダビングする場合

（本体(HDD)→ディスクのときのみ）

2-15 右側に移動後、“本編のみをダビング”を選び、決定する

（移動）
（選択・決定）

＿＿は工場出荷時の設定です。

本編のみをダビング
番組の本編部分だけをダビングするとき。

<u>番組全体をダビング</u>
番組全体をダビングするとき。

本編のみをダビングについて
- ダビング一覧に登録したすべての番組に“AUTO”が付いている場合にのみ、選択できます。
- 「ムーブ(移動)」になる番組をダビングする場合は、ダビング元の番組でダビングされなかった部分(番組の本編以外の部分)はダビング後に消去されます。番組全体をダビングしたい場合は、“番組全体をダビング”を選んでください。
- 番組の内容などによっては、ダビングされる部分が多少ずれたりすることがあります。また、不要な部分がダビングされたり、本編部分がダビングされないことがあります。

このあと、次のステップ(ダビングの設定を確認する/変更する)に進む場合は ●●▶ 手順3-1へ

●●▶ 次ページへつづく

ちょっとメモ
- ダビング登録一覧の全番組の削除/一部番組の削除/番組名の変更をした場合でも、オリジナルの番組はそのまま残ります。
- オリジナルの番組を消去すると、ダビング登録一覧からも削除されます。
- DVD-RW(Video)/-R(Video)以外のディスクにダビングする場合は、ダビング完了後にディスク名を変更できます。 p.118

番組をダビング一覧に登録してダビングする（ダビング一覧からダビング）（つづき）

3. ダビングの設定を確認する/変更する

3-1 右側の"登録完了"に移動し、決定する

● 次のような画面が表示されます。

ダビングを開始してよろしいですか？
80%
等速 録画時間とほぼ同じ時間がかかります。ダビング中の予約録画は、取り消されます。
ダビング開始
戻る
フォーマット AVCREC
ダビング画質 HD画質 AF
設定を変更

DVD-RW/-Rへダビングするときにだけ表示され、新品（未使用）のDVD-RW/-Rへダビングするときにだけ、初期化するときの録画方式を選択できます。

次は、
● **このまま、ダビングを開始する場合 ●●▶ 手順4-1へ**
● 新品（未使用）のDVD-RW/-Rへダビングする場合 ●●▶ 手順3-2へ
● 録画モードを変更してダビングする場合 ●●▶ 手順3-3へ

新品（未使用）のDVD-RW/-Rへダビングする場合

初期化するときの録画方式を設定します。
録画方式を設定した場合は、容量の再計算が必要となります。

3-2 初期化するときの録画方式を設定する

1 "設定を変更"に移動し、決定する

2 "フォーマット"に移動し、録画方式を選ぶ

フォーマット AVCREC　ダビング画質 HD画質 AF　確定

● L1入力から本体（HDD）に録画した番組を新品（未使用）のDVD-RW/-Rへダビングする場合は、録画方式は"VR"となります。（選択不可）

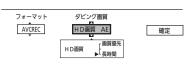
次は、
● 録画モードを変更する場合 ●●▶ 手順3-3へ
● 容量を再計算する場合 ●●▶ 手順3-4へ

ダビング先の録画モードを変更する場合

録画モードを変更した場合は、容量の再計算が必要となります。

3-3 ダビング先の録画モードを変更する

1 "設定を変更"に移動し、決定する

（手順3-1の操作後、引き続き録画モードを変更する場合は、この操作は不要です。）

フォーマット AVCREC　ダビング画質 HD画質 AF　設定を変更

2 "ダビング画質"に移動し、録画モードを選ぶ

● ダビング先のメディアや録画方式、ダビング元の録画モードなどによって、選べる録画モードは異なります。
● "高速"以外のモードを選んだときは、レート変換ダビングになるため、等速ダビングになります。

次は、●●▶ 手順3-4「容量を再計算する」へ

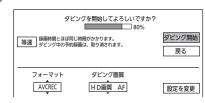
容量を再計算する

3-4 手順3-2、3-3で設定を変更した場合のみ "確定"に移動し、決定する

フォーマット AVCREC　ダビング画質 HD画質 AE　確定

● 容量が再計算されます。（容量を再計算しないと、ダビングが開始できません。）

次は、●●▶ 手順4-1へ

各部 準備（接続） 準備（設定） テレビ放送 メディア 録る 見る 編集消去 取り込む残す 便利機能 安全注意 仕様 困ったとき

4. ダビングを開始する

4-1 "ダビング開始"に移動し、決定する

（"ダビング開始"が選ばれている場合は、決定 だけ押してください）

ダビングが始まります。

● ダビングの開始を中止するときは、戻る を押します。

ダビング中は、本体表示部の"**DUB**"が点灯します。
ダビングが終わると、本体表示部の"**DUB**"が消えます。

新品(未使用)のディスクへダビングする場合のみ
ダビング前に、ディスクの初期化が始まります。
初期化が終わるまで、しばらく時間がかかります。
初期化中は、途中で中止できません。
初期化が終わると、引き続きダビングが始まります。

DVD-RW(Video)/-R(Video)へダビングした場合のみ
ダビング終了後、自動的にファイナライズが始まります。
ファイナライズ中は、途中で中止できません。
ファイナライズが終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

ダビング実行中に途中で中止するときは

1 ダビング中に、 を約4秒間押し続ける

● **DVD-RW(Video)/-R(Video)へダビング中のときのみ**
このあと確認メッセージが表示されますので、[◀、▶]で"はい"を選び、決定 を押します。

2 中止完了メッセージが表示されたら、 を押す

気を付けて

● **ダビング実行中に途中で中止したときは**
- **再生側**
  内容がそのまま残ります。
  DVD-RW(Video)/-R(Video)以外に一括ダビングする場合、ダビング中止時点で「ムーブ(移動)」になる番組をダビング完了しているときは削除されます。
- **録画側：**
  本体(HDD)、BD-RE、DVD-RW(VR)の場合
  ダビングされません。
  BD-R、DVD-RW(AVCREC)/-R(AVCREC)/-R(VR)の場合
  ダビングを中止したところまで録画され、ダビングされた分だけディスクの残量時間が減ります。
  ダビング中止時点でダビング実行中だった番組は、再生することはできません。
  複数番組を一括ダビングした場合、ダビング中止時点でダビング完了している番組は再生できます。
  DVD-RW(Video)の場合
  初期化が必要となります。
  DVD-R(Video)の場合
  ダビングされた内容は再生できず、そのディスクは使用できなくなります。

ちょっとメモ

● 手順1・2の操作は、 らく楽メニューの"ダビングする"から操作することもできます。
● ダビング中に、サブメニュー画面からダビングを中止することもできます。
1 ダビング中に、 を押して、サブメニュー画面を表示する
2 [▲、▼]で"ダビングを中断する"を選び、決定 を押す
3 [◀、▶]で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す
4 中止完了メッセージが表示されたら、決定 を押す

デジタルビデオカメラで記録されたハイビジョン画質の動画をダビングする

AVCHDのハイビジョン画質で記録された動画を本体(HDD)にダビングする

DISC(AVCHD) SD(AVCHD) USB(AVCHD) → 本体

デジタルビデオカメラで撮影されたハイビジョン画質(AVCHD)の動画を本体(HDD)にダビングできます。

- ディスクの場合は、録画した機器でファイナライズ済みのディスクだけがダビング可能です。
- ダビング元で記録された録画モードで高速ダビングされます。(本機で録画モードを変更してダビングすることはできません。)
- ダビング後は、本体(HDD)の録画一覧(🎥)画面から再生することができます。
- 編集したい場合は、ダビング後に本体(HDD)で行ってください。
- ディスクにダビングしたい場合は、一度本体(HDD)にダビングしてから、本体(HDD)→ディスクにダビングしてください。

☞ 前の画面に戻るときは

戻る を押す

☞ 通常画面に戻るときは

戻る を何回か押す

1 ダビング元のダビング一覧画面を表示する

【ディスクの場合】

1 本機がらく楽モード(本体前面の らく楽モード が点灯)になっているときは、通常モードに切り換える

ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。

2 停止中に、通常メニュー画面を表示する

メニュー らく楽

3 "取り込む(ダビング)"を選び、決定する

⬇

"BD/DVDからの映像取り込み"を選び、決定する

(繰り返し)

【SDカード、USB機器の場合】

1 ダビングしたいSDカードを入れる、またはUSB機器を接続する p.105

☞ **選択画面が表示されるときは**

[◀、▶]で"映像取り込み"を選び、決定 を押します。

2 p.131～135 の手順 2-1 ～ 4-1 を行い、ダビングを始める

- ダビング先の本体(HDD)の録画モードは、"高速"だけが選べます。

ダビング実行中に途中で中止するときは

1 ダビング中に、 を約4秒間押し続ける

2 中止完了メッセージが表示されたら、決定 を押す

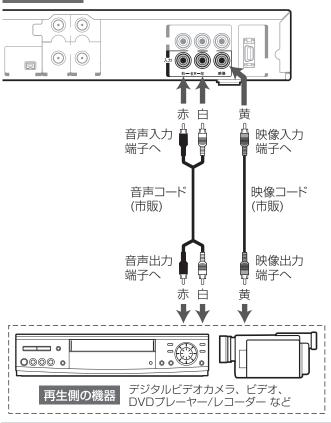
気を付けて

- **ダビング実行中に途中で中止したときは**
  - **再生側** ········ 内容がそのまま残ります。
  - **録画側(本体)** ··· ダビングされません。
- AVCHD準拠でない動画は、ダビングできません。
- USB機器から映像取り込み(ダビング)中に、"USB機器接続に異常が発生しました。USB機器を外してください。"というメッセージが表示されたときは、本機の操作ができなくなります。
  その場合は、USBケーブルの接続をはずしてください。メッセージが消え、本機が操作できるようになります。

ちょっとメモ

- ダビング中に、サブメニュー画面からダビングを中止することもできます。
  1. ダビング中に、サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
  2. [▲、▼]で"ダビングを中断する"を選び、決定 を押す
  3. [◀、▶]で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す
  4. 中止完了メッセージが表示されたら、決定 を押す

他の機器とのダビング

ビデオやビデオカメラから本機にダビングする

他の機器 → 本機（本体のみ）

ビデオテープなどを、他の機器から本体（HDD）にダビングすることができます。
- ディスクにダビングしたい場合は、一度本体（HDD）にダビングしてから、本体（HDD）→ディスクにダビングしてください。

つなぎかた

- **接続時は、接続する機器の電源を切にしてください。**

ダビングを始める前に

事前に"セットアップ"画面の次の設定を確認・変更しておいてください。設定が間違っていると、正しく録画できません。

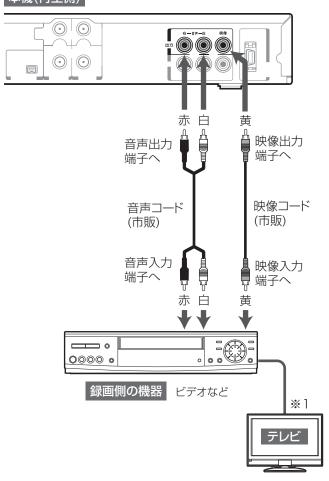
- **"録画設定"－"外部音声選択"の設定** p.64､155
  （工場出荷時の設定：ステレオ）
- **二重音声を録画する場合は、"録画設定"－"二重音声選択"、"外部音声選択"の設定** p.64､155

"セットアップ" 画面の設定の確認･変更のしかたについては、p.158をごらんください。

ダビングのしかた

他の機器の操作については、その機器の取扱説明書をお読みください。

1. 本 機　L1入力に切り換える p.87
2. 本 機　録画モード（XP～EP）を選ぶ p.72
3. 他の機器　再生を始める
4. 本 機　録画を始める
   ● 録画
5. 本 機　録画を一時停止するときは
   一時停止
   - もう一度押すと、再び録画が始まります
6. 本 機　録画を停止するときは
   停止
   - 録画が停止します。（停止後に次の操作ができるまでしばらく時間がかかることがあります。）
     停止した位置までが、1番組となります。
   - 2番組同時録画中/追っかけ再生/同時録画再生中に録画を停止するときは、p.73をごらんください。

- 市販のソフトのほとんどは、違法複製防止のために録画禁止処理（コピーガード）がされており、ダビングできません。

本機からビデオにダビングする

本機 → 他の機器

つなぎかた

● **接続時は、接続する機器の電源を切にしてください。**

※1　録画中のビデオの映像・音声を確認しながらダビングしたいときは、テレビを録画側の機器につないでください。
ただし、上記のように本機－ビデオ－テレビの順でつなぐと、コピーガードによって正常な画像で映らなかったりダビングできないことがあります。p.14

ダビングのしかた

ビデオの操作のしかたは、その機器の取扱説明書をお読みください。

1. ビデオ　**外部入力に切り換える**
2. 本機　**再生を始める** p.93､96
3. ビデオ　**録画を始める**
4. 本機　**再生を一時停止するときは**
   一時停止
   - 再生 を押すと、再び再生が始まります
5. 本機　**再生を停止するときは**
   停止
   - 再生が停止します。

各部
準備（接続）
準備（設定）
テレビ放送
メディア
録る
見る
編集消去
残す取り込む
便利機能
安全注意
仕様
困ったとき

気を付けて

- 違法複製防止のために録画禁止処理（コピーガード）がされている番組は、ダビングできません。
  市販のソフトのほとんどは、違法複製防止のために録画禁止処理（コピーガード）がされています。
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。

ダビングについての補足説明

ダビング全般

- 高速ダビングの所要時間は、高速記録対応ディスクによって異なり、ディスク記載の倍速よりも遅い速度でダビングされる(ダビング時間がかかる)ことがあります。
- 他の機器のAVCREC方式で録画されたディスクを本機へダビングする場合は、ダビングできないことがあります。
- ビデオカメラやパソコンなどで作成された静止画を含んでいる番組は、ダビングできません。
- 本体(HDD)は録画内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。
大切な録画(録音)内容は、ディスクに保存しておくことをおすすめします。

デジタルビデオカメラで記録されたハイビジョン画質の動画のダビング

- ダビング後のタイトルは、撮影日となります。
お使いのデジタルビデオカメラによっては、複数のタイトルが1つになって登録される場合があります。
デジタルビデオカメラの取扱説明書もごらんください。
- 1つのタイトルに99シーンを超えて記録されている場合は、99シーンごとに分けて取り込まれます。

ダビングするときのチャプターマーク

- 本体(HDD)、BD/DVDへダビングするときは、チャプターマークもいっしょにダビングされます。
- ダビング先のチャプターマークは、多少ずれる場合があります。

ダビング中に停電があったときは

全般

- ダビングを中止します。
- 停電から復帰すると、自動的に電源が入ってシステム設定を行います。(システム設定中は、本体表示部に“**WAIT**”が表示されます。)
- システム設定後は、電源が切れます。

再生側は

- 再生側の内容は、そのまま残ります。
- DVD-RW(Video)/-R(Video)以外に一括ダビングする場合、ダビング中止時点で「ムーブ(移動)」になる番組をダビング完了しているときは削除されます。

録画側は

本体(HDD)/BD-RE/DVD-RW(VR)

- ダビングされません。
- 停電発生の状況によっては、ディスクの初期化が必要となったり、そのディスクが使用できなくなることがあります。

BD-R/-RW(AVCREC)/-R(AVCREC)/DVD-R(VR)

- ダビングを中止したところまで録画され、ダビングされた分だけディスクの残量時間が減ります。
- ダビング中止時点でダビング実行中だった番組は、再生することはできません。
複数番組を一括ダビングした場合、ダビング中止時点でダビング完了している番組は再生できます。
- 停電発生の状況によっては、ディスクの初期化(RWのみ)が必要となったり、そのディスクが使用できなくなることがあります。

DVD-RW(Video)

- ダビングされず、初期化が必要となります。
- 停電発生の状況によっては、そのディスクが使用できなくなることがあります。

DVD-R(Video)

- ダビングされた内容は再生できず、そのディスクは使用できなくなります。

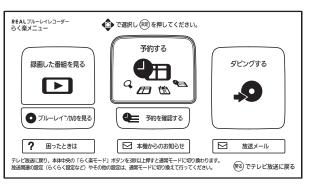
高速ダビング時のおよその所要時間(目安)について

本体(HDD)→ディスクへ高速ダビングするとき

(例) 本体(HDD)に録画した1時間番組をBD-R(4倍速対応)に高速ダビングした場合の最速所要時間の目安

録画モード		所要時間	倍速
DR	地上デジタル(HD放送)	約7分30秒	約8倍
	BSデジタル(HD放送)	約10分	約6倍
	BSデジタル(SD放送)	約5分	約12倍
AF		約6分	約10倍
AN		約4分	約15倍
AE	5.5倍モード	約2分	約30倍
	12倍モード	約1分5秒	約55倍

(例) 高速記録対応BD-RE/BD-Rに高速ダビングするときの最大倍速

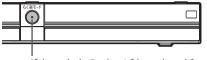
ディスク	書き込み速度
BD-RE/BD-R (2倍速対応)	2倍まで
BD-R (4倍速、6倍速対応)	4倍まで

- ディスクの書き込み位置や特性などの条件により、所要時間や速度が変わります。
- ディスクの倍速表示は、実際の所要時間に対するダビング時間比ではありません。
BD-RE/-R(2倍速対応)の場合は最大2倍速、BD-R(4倍速、6倍速対応)の場合は最大4倍速までとなります。
- 高速ダビング中に本体(HDD)の録画や再生をすると、所要時間が延びることがあります。

ディスク→本体(HDD)へ高速ダビングするとき

約2倍速相当のダビング速度となります。

メニュー /サブメニュー

らく楽メニュー（らく楽モード）

本機では、らく楽メニューを表示して、基本的な機能の操作をすることができます。

らく楽メニューは、らく楽モードのとき(本体前面の らく楽モード のインジケーターが点灯)に、リモコンの メニュー らく楽 を押すと表示されます。

- 項目の操作ができない場合、その項目は表示されません。（表示されていても、操作できません。）

項目	内容	参照ページ
録画した番組を見る		
すべて	本体(HDD)の録画一覧(全)画面を表示して、再生するとき	p.93
見どころ	本体(HDD)の録画一覧(▶)画面を表示して、見どころ再生するとき	p.95
シーン検索	シーン検索の操作のしかたを見たいとき（この項目から直接シーン検索することはできません。）	p.102
ジャンプ	再生中に次の場面までとばしたいときの操作のしかたを見たいとき（この項目から直接次の場面までとばすことはできません。）	p.93
ブルーレイ™/DVDを見る		
ー	BD/DVDのトップメニュー画面または録画一覧画面から再生するとき BD/DVDビデオソフトを再生するとき、音楽用CDを再生するとき	p.96、97
予約する		
番組表	番組表を表示して、見たい番組を選んだり、簡単予約や詳細予約をするとき	p.49、p.74、76
日付選択	“日付選択”画面を表示して、別の日の番組表を表示するとき	p.49、p.74、76
番組検索	番組の検索画面を表示して、番組表から番組を検索するとき	p.50
おすすめ自動録画	おすすめ自動録画(らく楽メニュー用)の設定をするとき	p.80
予約を確認する		
ー	予約一覧画面を表示して、時刻指定予約をしたり、予約内容を確認・変更するとき	p.78、p.85、86
ダビングする		
ー	らく楽ダビングをするとき	p.128
困ったときは		
ー	困ったときの問い合わせ先を確認するとき	p.148
本機からのお知らせ		
ー	本機からのお知らせ(内部メール)を読むとき	p.146
放送メール		
ー	放送局からのお知らせ(放送メール)を読むとき	p.147

らく楽メニューから操作するときは

らく楽モード

ボタン中央のインジゲーターが点灯

1 本機が通常モード（本体前面の らく楽モード が消灯）になっているときは、らく楽モードに切り換える

ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを点灯させせます。

2 らく楽メニュー画面を表示する

メニュー らく楽

3 希望の項目を選び、決定する

“録画した番組を見る”、“予約する”のとき

次の階層のメニューが表示されます。

それ以外の項目のとき

選んだ項目の画面が表示されます。

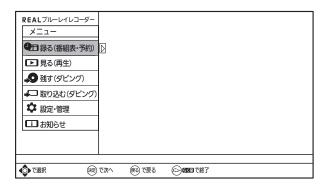
4 “録画した番組を見る”、“予約する”を選んだときのみ

希望の項目を選び、決定する

- 選んだ項目の画面が表示されます。

通常画面に戻るときは

戻る または メニュー らく楽 を押す

ちょっとメモ

- らく楽メニュー画面の表示中は、音声ガイドが流れます。

通常メニュー（通常モード）

本機では、通常メニュー画面を表示して、いろいろな機能や設定の操作をすることができます。

通常メニュー画面は、本体前面の らく楽モード のインジケーターが消えているとき（通常モード）に、リモコンの メニュー らく楽 を押すと表示されます。

- 項目の操作ができない場合、その項目は表示されません。（表示されていても、操作できません。）

項　目	内　容	参照ページ
録る（番組表・予約）		
番組表	番組表を表示して、見たい番組を選んだり、簡単予約や詳細予約をするとき	p.49、p.74, 76
時刻指定予約	予約設定画面を表示して、時刻指定予約をするとき	p.78
予約変更・確認	予約一覧画面を表示して、予約内容を確認・変更するとき	p.85, 86
見る（再生）		
続きから再生（○○） （○○：HDD、BD、またはDVD）	本体（HDD）、BD、またはDVDのつづき再生をするとき	p.100
HDD録画一覧	本体（HDD）の録画一覧（全）画面を表示して、再生するとき	p.93
BD/DVDトップメニュー/録画一覧	BD/DVDのトップメニュー画面または録画一覧画面から再生するとき、BD/DVDビデオソフトを再生するとき	p.96, 97
音楽CD再生	音楽用CDを再生するとき	p.97
○○写真・静止画一覧 （○○：CD、SDカード、またはUSB）	JPEGが記録されたCD、SDカード、またはUSB機器の録画一覧画面からJPEG再生するとき	p.106
BD/DVD頭だし	BD/DVDの頭だし（サーチ）をするとき	p.102
音楽CD頭だし	音楽用CDの頭だし（サーチ）をするとき	p.102
ネットワーク	利用するネットワークを選ぶとき	p.170
残す（ダビング）		
HDD録画番組を残す	本体（HDD）→ディスクへ、ダビング一覧からダビングするとき	p.130
ダウンロードコンテンツを残す	ネットワークから本体（HDD）にダウンロードした番組を、BD/DVDへダビングするとき	p.173
取り込む（ダビング）		
BD/DVDからの映像取り込み	BD/DVD→本体（HDD）へ、ダビング一覧からダビングするとき ハイビジョン画質（AVCHD）の動画が記録されたディスクから本体（HDD）にダビングするとき	p.130 p.136
○○からの映像取り込み （○○：SDカード、またはUSB）	ハイビジョン画質（AVCHD）の動画が記録されたSDカードまたはUSB機器から本体（HDD）にダビングするとき	p.136
設定・管理		
セットアップ	“セットアップ”画面を表示して、いろいろな機能の設定をするとき • 省電力/表示設定　• 接続テレビ設定　• 時刻設定 • 再生設定　• 音声出力設定　• 録画設定 • 録画予約設定　• リモコン設定　• 全情報初期化　など	p.152
放送関連の設定	放送関連の設定をするとき • らくらく設定　• 放送設置（チャンネル設定、番組表設定など） • 制限項目設定　• 選局対象　• ダウンロード設定	p.162
メディア管理（初期化）	ディスクの編集（ディスク名変更、保護/保護解除）、ディスクのファイナライズ、本体（HDD）/BD/DVD/SDカードの初期化をするとき	p.118、p.119、p.120

●●▶ 次ページへつづく

主 な 項 目	内 容	参照ページ
お知らせ		
内部メール	本機からのお知らせ(内部メール)を読むとき	p.146
放送メール	放送局からのお知らせ(放送メール)を読むとき	p.147
ボード	110度CSデジタル放送のお知らせ(ボード)を読むとき	p.148
B-CASカード	B-CASカードの情報を確認するとき	p.148
ソフトウェア情報	ソフトウェアの情報を確認するとき	p.148
困ったときは	困ったときの問い合わせ先を確認するとき	p.148

通常モード

ボタン中央のインジケーターが消灯

☞ 通常画面に戻るときは

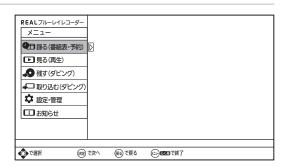
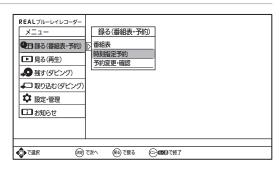
メニュー らく楽 を押す

通常メニューから操作するときは

1 本機がらく楽モード(本体前面の らく楽モード が点灯)になっているときは、通常モードに切り換える

ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。

2 通常メニュー画面を表示する

メニュー らく楽

3 希望の項目を選び、決定する

- 右の階層のメニューが表示されます。

4 希望の項目を選び、決定する

- 選んだ項目に"▷"が表示されていない場合は、その項目の画面が表示されます。
- 選んだ項目に"▷"が表示されている場合は、次の階層のメニューが表示されます。
  [▶]を押して、次の階層のメニューに移動することもできます。
  [◀]または 戻る を押すと、1つ前の階層のメニューに戻ります。
  (トップ画面のときに 戻る を押すと、通常画面に戻ります。)

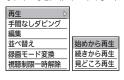
サブメニュー

本機では、本機の一部の機能は、サブメニューを表示して操作するようになっています。
サブメニューは、リモコンの サブメニュー を押すと表示されます。

(表示例)

視聴中/録画中

サブメニュー
番組内容を表示する
この番組を録画する
放送切換メニューを表示する
画質設定
録画を停止する【地デジ】【011ch】
録画を停止する【地デジ】【051ch】
3D画面設定(サイドバイサイド)
3D奥行き切換
録画モード

番組表の表示中

予約一覧画面の表示中

録画一覧画面の表示中

再生中

サブメニュー
始めから再生する
ディスクメニュー
リピート再生設定を行う
頭だしを行う
アングル切換
BD再生選択
画質設定
この番組をダビングする

- 項目の操作ができない場合、その項目は表示されません。(表示されていても、操作できません。)

主な項目	内容	参照ページ
視聴中/録画中の番組を表示中		
番組内容を表示する	現在視聴中の番組の番組内容を表示するとき	p.52
この番組を録画する	現在視聴中の番組を録画するとき	p.72
放送切換メニューを表示する	放送切換メニューを表示して、データ放送の画面を消したり、視聴中の番組の視聴制限一時解除、信号切換、枝番選局の変更などをするとき	p.51、53 p.149
画質設定	画質を調整するとき	p.150
録画を停止する	録画を停止するとき(2番組同時録画中は、録画を停止する番組を選べます)	p.73
ダビングを中断する	実行中のダビングを中止するとき	p.127、129、 p.135、136
3D画面設定(サイドバイサイド)	3D映像をサイドバイサイドで表示中、一部のメニューやメッセージを2D映像表示時とほぼ同じ位置で表示するとき	p.99
3D奥行き切換	3D映像の奥行き感を切り換えるとき	p.99
録画モード	視聴中の番組を表示中に、録画モードを変更するとき	p.72
番組表の表示中		
番組表の検索	番組表から番組を検索するとき	p.50
録画モード	番組表を表示中に、録画モードを変更するとき	p.75
放送切換、表示チャンネル数、表示対象	番組表に表示される放送、1画面のチャンネル数、表示対象を変更するとき	p.49
視聴制限一時解除	選んだ番組の視聴制限を一時解除するとき	p.149
番組データ取得	番組表の番組データを取得するとき	p.49
予約一覧画面の表示中		
スキップ または スキップ解除	予約スキップをする/予約スキップを解除するとき	p.86
絞込み表示	"予約一覧"画面の一覧の種類を切り換えるとき	p.82、85
録画一覧画面の表示中(ネットワークの録画一覧画面のサブメニューは ●●▶ p.172、173)		
再生	通常再生(先頭から、続きから)をするとき、見どころ再生をするとき	p.93、95、100
手間なしダビング	手間なしダビングするとき	p.127
編集	番組の編集(部分削除、分割、番組名変更、ユーザー変更、保護/保護解除)をするとき	p.113～117
並べ替え	録画一覧画面の番組名の並びかたを変更するとき	p.93、96
録画モード変換	本体(HDD)の残量時間を増やすため、録画モードDRで録画された番組を録画モードAF～AEに変換するとき 録画モード変換予定番組の自動変換をやめる(録画モードDRのまま残す)とき	p.113
視聴制限一時解除	選んだ番組の視聴制限を一時解除するとき	p.149

●●▶ 次ページへつづく

主 な 項 目	内 容	参照ページ
番組やソフトの再生中		
始めから再生する	番組の先頭から再生するとき	p.100
ディスクメニュー	BD/DVDビデオのディスクメニューを表示するとき	p.97
リピート再生設定を行う	リピート再生をするとき	p.103
頭だしを行う	頭だし(サーチ)をするとき	p.102
アングル切換	再生中のカメラアングルを切り換えるとき	p.104
BD再生選択	BDビデオを再生中にいろいろな機能を利用するとき	p.98
画質設定	画質を調整するとき	p.150
この番組をダビングする	再生中の番組を手間なしダビングするとき	p.127
3D画面設定(サイドバイサイド)	3D映像をサイドバイサイドで表示中、一部のメニューやメッセージを2D映像表示時とほぼ同じ位置で表示するとき	p.99
3D奥行き切換	3D映像の奥行き感を切り換えるとき	p.99

サブメニューの表示のしかた

1 サブメニューを表示する

サブ
メニュー

2 【番組表以外のサブメニューの場合】
希望の項目を選び、決定する

- 選んだ項目に“▷”が表示されていない場合は、その項目の画面が表示されます。または、その項目が実行されます。
- 選んだ項目に“▷”が表示されている場合は、次の階層のメニューが表示されます。
  [▶]を押して、次の階層のメニューに移動することもできます。
  [◀]または 戻る を押すと、1つ前の階層のメニューに戻ります。
  (トップ画面のときに 戻る を押すと、通常画面に戻ります。)

希望の設定に変更するときに確認メッセージが出る場合は
[◀、▶]で“はい”を選び、決定 を押してください。

【番組表のサブメニューの場合】

選んだ項目を実行する場合は、
希望の項目を選び、決定する

- その項目の画面が表示されます。または、その項目が実行されます。

選んだ項目の設定を変更する場合は、
希望の項目を選び、設定を変更する

- 戻る を押して変更を確定すると、通常画面に戻ります。

いろいろな情報を確認する（メール、その他の情報）

☞ 前の画面に戻るときは
戻る を押す

☞ 通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

本機からのメールを確認する（内部メール）

内部メールには、予約重なりや停電などで録画予約の録画、初期化、ファイナライズなどができなかったときなどに本機から送られる情報（最大32通まで）が表示されます。
未読の内部メールがあるときは、らく楽メニュー画面の"本機からのお知らせ"、または通常メニュー画面の"お知らせ"に"✉"（赤色）が表示されます。

内部メールを確認するときは

1 "内部メール"画面を表示する

らく楽モードで操作するときは

1 本機が通常モード（本体前面の らく楽モード が消灯）になっているときは、らく楽モードに切り換える
ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを点灯させます。

2 停止中に、らく楽メニュー画面を表示する

3 "本機からのお知らせ"を選び、決定する

通常モードで操作するときは

1 本機がらく楽モード（本体前面の らく楽モード が点灯）になっているときは、通常モードに切り換える
ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。

2 停止中に、通常メニュー画面を表示する

3 "お知らせ"を選び、決定する
⬇
"内部メール"で、そのまま決定する

2 メールの内容を確認する

- "内部メール"画面を表示すると、未読メールがすべて既読に変わります。

内部メール	
11/ 3/17 (木) PM 8:29	PM 8:00～PM 9:00の予約録画は重複していたため録画を中断しました。
11/ 3/16 (水) AM 0:14	AM 0:15～AM 1:30の予約録画は停電のため一部またはすべて録画できませんでした。

☞ 別のページを表示するときは
前 ⏮、次/ジャンプ ⏭ を押します。

3 確認が終わったら、戻る を押し、通常画面に戻す

内部メールを削除するときは

1 "内部メール"画面を表示中に、黄 を押す

2 確認メッセージの"はい"を選び、決定する

- すべての内部メールが削除されます。

放送局からのメールを確認する（放送メール）

放送局からのメールには、デジタル放送の放送局から送られてくるお知らせ（最大31通まで）と、本機の機能向上のためのダウンロード更新情報（最新の1通のみ）が表示されます。
未読の放送メールがあるときは、らく楽メニュー画面の“放送メール”、または通常メニュー画面の“お知らせ”に“”（赤色）が表示されます。

放送局からのメールを確認するときは

1 “放送メール”画面を表示する

らく楽モードで操作するときは

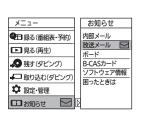
1 本機が通常モード（本体前面の らく楽モード が消灯）になっているときは、らく楽モードに切り換える
ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを点灯させます。

2 停止中に、らく楽メニュー画面を表示する

3 “放送メール”を選び、決定する

通常モードで操作するときは

1 本機がらく楽モード（本体前面の らく楽モード が点灯）になっているときは、通常モードに切り換える
ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。

2 停止中に、通常メニュー画面を表示する

メニュー
らく楽

3 “お知らせ”を選び、決定する
⬇
“放送メール”を選び、決定する

（繰り返し）

2 確認したいメールを選び、決定する

放送メール

未読	放送局変更のお知らせ
既読	ダウンロードのお知らせ

- 選んだメールの内容が表示されます。

メール画面の続きがあるときは
［▲、▼］で上下にスクロールさせます。

3 メールの内容を確認する

- “内部メール”画面を表示すると、未読メールがすべて既読メールに変わります。

メール本文の続きがあるときは
［▲、▼］で上下にスクロールさせます。

4 確認が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

ダウンロード更新情報が届いたときは

p.42 のダウンロード設定でダウンロード予約を「切」に設定している場合、ダウンロード更新情報が届いたときはダウンロード予約を「入」にしてください。
（ダウンロード予約を「入」に設定している場合は、自動的にダウンロード更新されます。）

気を付けて

- 内部メールは、最大表示数を越えると日付の古いメール順に削除されます。
  内部メールごとの手動削除はできません。
- 放送メールは、最大表示数を越えると日付の古いメール順（未読メールを含む）に削除されます。
  放送メールは、ほとんどの場合お客さまご自身で削除することはできません。
- 内部メールや放送メールの送信や返信はできません。
- 本機に記憶されたお客さまの個人情報（メール、登録情報、ポイント情報など）の一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

110度CSデジタル放送の番組情報などのお知らせを確認する(ボード)

1 "お知らせ"画面を表示する

1 本機がらく楽モード(本体前面の らく楽モード が点灯)になっているときは、通常モードに切り換える
ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。

2 停止中に、通常メニュー画面を表示する

3 "お知らせ"を選び、決定する

2 ボードの情報を確認する

1 "ボード"を選び、決定する
↓
"CS1ボード"または"CS2ボード"を選び、決定する

(繰り返し)

2 確認したい情報を選び、決定する

3 確認が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

B-CASカードの情報を確認する(B-CASカード)

1 上記の手順 1 を行って、"お知らせ"画面を表示する

2 "B-CASカード"を選び、決定する

- 契約されている各委託放送事業者への問い合わせなどで必要なB-CASカードの番号が表示されます。

3 確認が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

ソフトウェアの情報を確認する(ソフトウェア情報)

1 左記の手順 1 を行って、"お知らせ"画面を表示する

2 "ソフトウェア情報"を選び、決定する

- 本機で使用しているソフトウェアについての情報が表示されます。

3 確認が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

困ったときの問い合わせ先を確認する(困ったときは)

1 「お客さま相談センター」への問い合わせ情報を表示する

らく楽モードで操作するときは

1 本機が通常モード(本体前面の らく楽モード が消灯)になっているときは、らく楽モードに切り換える
ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを点灯させます。

2 停止中に、らく楽メニュー画面を表示する
メニュー らく楽

3 "困ったとき"を選び、決定する

通常モードで操作するときは

1 左記の手順 1 を行って、"お知らせ"画面を表示する

2 "困ったときは"を選び、決定する

2 確認が終わったら、決定 を押し、通常画面に戻す

視聴制限を一時解除する、報知音を入/切する

視聴中や再生中、ネットワークの利用時に、視聴制限を一時解除する

視聴中や再生中、ネットワークの利用時に、暗証番号を入力して視聴制限を一時解除することができます。

暗証番号の入力画面が表示されたら、
p.160 または p.163 で設定した暗証番号を入力し、決定する

1 あ ～ 10/0 決定

- 視聴可能年齢の場合は、電源を切にするまで見ることができます。

- デジタル放送を視聴中は
  サブメニュー画面から、視聴中の番組の視聴制限を一時解除することもできます。
  1. サブメニュー でサブメニュー画面を表示する
  2. [▲、▼]で"放送切換メニューを表示する"を選び、決定 を押す
  3. [▲、▼]で"視聴制限一時解除"を選び、決定 を押す
- 番組表を表示中は
  サブメニュー画面から、選んでいる番組の視聴制限を一時解除することもできます。
  1. サブメニュー でサブメニュー画面を表示する
  2. [▲、▼]で"視聴制限一時解除"を選び、決定 を押す
- 録画一覧画面を表示中は
  サブメニュー画面から、選んでいる番組の再生視聴制限を一時解除することもできます。
  1. サブメニュー でサブメニュー画面を表示する
  2. [▲、▼]で"視聴制限一時解除"を選び、決定 を押す

前の画面に戻るときは
戻る を押す

通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

リモコンのボタンを押したときの報知音を入/切する

本体の報知音の設定を入にすると、リモコンからの信号を本体が受け取ったときに、本体から報知音が鳴ります。本体の報知音の設定(入/切)は、リモコンで行います。

- 本体から報知音が鳴るのは、レコーダー操作面のボタン([テレビ音量]を除く)を操作したときだけです。テレビ操作面のボタンを操作しても、報知音は鳴りません。

リモコンの「レコーダー」操作面を上面にする

リモコンを本機のリモコン受光部に向ける

3 **画面表示/操作音 入/切(長押し) を3秒以上押し続ける**

- 長押しするたびに、リモコンからの信号を本体が受け取ったときの報知音が入/切します。
- ボタンを押すと画面表示も表示されますが、報知音の入/切の切り換え完了メッセージが表示されると自動的に消えます。

ちょっとメモ

- 報知音の設定を切にしても、本機の電源を入れたときは報知音が鳴ります。
- 再生中や各種画面(番組表、録画一覧、メニュー、など)を表示中は、報知音の入/切はできません。
  放送の画面を表示中に切り換えてください。

画質を設定する

お好みの画質に調整する（画質設定）

視聴中、再生中の映像の画質に調整することができます。

画質設定で設定/調整できる項目

＿は工場出荷時の設定です。

項目	内容
映像モード切換	5つのモードから映像に合った設定を選ぶことができます。
ノーマル（下線）	標準的な画質で視聴・再生するとき。
シネマ	部屋を暗くして、映画ソフトなどを楽しみたいとき。
ユーザー１～３	お好みの設定で視聴・再生したいとき。 （3通りまで設定可能です）
ブライトネス	映像の明るさを調整するとき。 （暗い） 0（下線） ～ 15 （明るい）
コントラスト	映像の白黒の強弱を調整するとき。 （弱い） −7 ～ 0（下線） ～ +7 （強い）
カラー	映像の色の濃さを調整するとき。 （薄い） −7 ～ 0（下線） ～ +7 （濃い）
シャープネス	映像の輪郭を調整するとき。 （やわらかい）−6 ～ 0（下線） ～ +6（くっきり）
ガンマ	暗くて見えにくい場面を調整するとき。 （弱い） 0（下線） ～ 5 （強い）
ノイズリダクション	映像のノイズを低減するとき。 切　入（下線）
プログレスモード	プログレッシブ出力時に、素材に合わせて最適な画質に変換するとき。 フィルム（下線）　ビデオ
ダイヤモンドHD Basic	精彩感を強調するとき。 切　弱（下線）　強

- ブライトネス～ダイヤモンドHD Basicは、ユーザー１～3の場合にだけ、設定できます。

前の画面に戻るときは
戻る を押す

通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

ちょっとメモ

プログレスモードの素材について

フィルム･･･ 映画のフィルムなどをもとに作成された映像で、通常は24コマ/秒で記録されています。
ビデオ･････ テレビドラマやテレビアニメなどをもとに作成された映像で、30コマ/秒で記録されています。

ダイヤモンドHD Basicについて

- **標準画質の場合にだけ有効となります。（ハイビジョン画質の場合には、効果はありません。）**
- 出力解像度や接続するテレビによって、効果が異なります。
- 接続するテレビに超解像設定機能が搭載されている場合は、相乗効果によりノイズっぽい映像になることがあります。その場合は、本機の“ダイヤモンドHD Basic”の設定を“切”にしてください。
- 元の映像がノイズっぽい場合は、“ダイヤモンドHD Basic”の設定を“強”または“弱”にしていると見づらい画面になることがあります。その場合は、本機の“ダイヤモンドHD Basic”の設定を“切”にしてください。

設定を切り換えるときは

1 視聴中または再生中に、“画質設定”画面を表示する

1 サブメニュー画面を表示する

サブメニュー

2 “画質設定”を選び、決定する

視聴中

サブメニュー
番組内容を表示する
この番組を録画する
放送切換メニューを表示する
画質設定 ▷
3D画面表示(サイドバイサイド)
録画モード

再生中

サブメニュー
始めから再生する
ディスクメニュー
リピート再生設定を行う
頭だしを行う
アングル切換
BD再生選択
画質設定 ▷
この番組をダビングする

2 “映像モード切換”で、そのまま決定する

画質設定		
映像モード切換	:	ノーマル ▷
ブライトネス	:	0
コントラスト	:	0
カラー	:	0
シャープネス	:	0
ガンマ	:	0
ノイズリダクション	:	入
プログレスモード	:	フィルム
ダイヤモンドHD Basic	:	弱

3 希望の映像モードを選ぶ

ノーマル
☑シネマ
ユーザー1
ユーザー2
ユーザー3

4 設定の切り換えが終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

ユーザー 1～3をお好みの設定にするときは

1 左記の手順 3 で、設定したいユーザーを選ぶ

ノーマル
シネマ
☑ユーザー1
ユーザー2
ユーザー3

2 戻る を押す

● 映像モードが切り換わります。

画質設定		
映像モード切換	:	ユーザー1 ▷
ブライトネス	:	0
コントラスト	:	0
カラー	:	0
シャープネス	:	0
ガンマ	:	0
ノイズリダクション	:	入
プログレスモード	:	フィルム
ダイヤモンドHD Basic	:	弱

3 希望の項目を選び、決定する

画質設定		
映像モード切換	:	ユーザー1
ブライトネス	:	0
コントラスト	:	0
カラー	:	0
シャープネス	:	0 ▷
ガンマ	:	0
ノイズリダクション	:	入
プログレスモード	:	フィルム
ダイヤモンドHD Basic	:	弱

4 設定を変更する

ユーザー1		
シャープネス	:	+2 ▷

◁ −6 ――――|―― +6 ▷

5 戻る を押す

● 設定が変更されます。

画質設定		
映像モード切換	:	ユーザー1
ブライトネス	:	0
コントラスト	:	0
カラー	:	0
シャープネス	:	+2 ▷
ガンマ	:	0
ノイズリダクション	:	入
プログレスモード	:	フィルム
ダイヤモンドHD Basic	:	弱

他の項目の設定も変更するときは
手順 3 ～ 5 を繰り返します。

6 設定が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

いろいろな機能の設定を変える（セットアップ）

“セットアップ”画面の項目と設定内容

設定のしかたは ●●▶ p.158

項目	設定内容（＿は工場出荷時の設定）
省電力／表示設定	
無操作節電 電源入状態で本機を使わないとき、一定時間後に電源が自動的に切れる設定をします。	入　切 ● “入”にすると、停止中に無操作状態が連続約30分続くと電源が切れます。
本体表示部調整 本体表示部の点灯/消灯の設定をします。	常時オン　常時オフ　電源連動 ● “電源連動”にすると、電源入時は点灯し、電源切時は消灯します。
動作状態表示 画面上の動作状態表示の入/切の設定をします。	入　切
スクリーンセーバー 長時間同じ画面が続いたときに、スクリーンセーバー画面を表示してテレビ画面の焼き付きを防止します。	入　切 ● “入”にすると、無操作状態や一覧画面などの表示が連続約15分続いたとき（音楽用CDを除く）などに、スクリーンセーバーが表示されます。 スクリーンセーバーを解除するときは、スクリーンセーバー表示中に本体またはリモコンの何らかのボタンを押します。（[電源]、[トレイ開/閉]、[再生]ボタンを押したときは、スクリーンセーバー解除後、押したボタンの動作が実行されます。）
高速起動設定 本機の起動時間（本機の電源が入になってから使用可能になるまでの時間）を高速化します。 ● “リンク機器制御”を“する”に設定して本機とテレビとの間でREALINK（リアリンク）機能が有効な場合は、自動的に設定が“入”になります。	※ “リンク機器制御”を“しない”に設定している場合にだけ、設定できます。 入 ･･･ 高速起動するとき。 切 ･･･ 高速起動しないとき。 ● “入”にすると、内部の制御部が通電状態になるため、“切”のときと比較して待機時消費電力（電源切のときの消費電力）が増えます。
瞬間電源オン設定 瞬間電源オンを設定した時間帯の間、本機が瞬間電源オン状態となり、すぐに起動できるように待機します。 ● “リンク機器制御”を“する”に設定して本機とテレビとの間でREALINK（リアリンク）機能が有効で、テレビの電源が入の場合に、すぐに起動できます。	※ “高速起動設定”を“入”に設定している場合にだけ、設定できます。 学習のみ　早朝（AM6:00～AM9:00）＋学習 昼間（AM11:00～PM2:00）＋学習　夕方（PM4:00～PM7:00）＋学習 夜間（PM7:00～PM10:00）＋学習　夜間（PM10:00～AM1:00）＋学習 切 ･･･ 常時、瞬間電源オン状態にしないとき。 ● “学習のみ”は、使用履歴より頻度の高い時間帯を推定し、自動的に瞬間電源オン状態に設定します。（個別設定時間も含め、最大6時間まで） ● 長期間使用されない場合、使用履歴は消去され、学習機能がはたらかない場合があります。 ● “瞬間電源オン状態の場合、待機時消費電力（電源切のときの消費電力）が増えます。
接続テレビ設定　（p.157の補足説明もごらんください）	
HDMI/D端子優先設定 本機のHDMI端子/D映像端子から出力される信号の解像度の設定を、HDMI/D映像端子のどちらの設定で出力するかを設定します。	※ 本機とテレビをHDMI端子またはD映像端子でつないでいる場合だけ、設定が必要です。 HDMI解像度優先 ･････ “HDMI解像度設定”の設定で出力するとき。 D端子解像度優先 ･････ “D端子解像度設定”の設定で出力するとき。
テレビ画面選択 標準テレビ（4：3）やワイドテレビ（16：9）で、ワイド映像（16：9）を見るときの設定をします。 4：3 レターボックス 4：3 パンスキャン 16：9	4：3レターボックス･･ 標準テレビでワイド映像を見るときに、左右方向を画面いっぱいに映して上下方向に帯を付けるとき。 4：3パンスキャン ･･･ 標準テレビでワイド映像を見るときに、上下方向を画面いっぱいに映して左右方向をカットするとき。 16：9 ･･････････ ワイドテレビで見るとき。 ● ワイドテレビ（16：9）と接続する場合、“4：3パンスキャン”は左右に拡大して表示されます。

設定のしかたは ••▶ p.158

項　目	設　定　内　容　（＿は工場出荷時の設定）
接続テレビ設定（つづき）（p.157 の補足説明もごらんください）	
D端子解像度設定 本機とつないでいるテレビのD映像端子に合わせて、本機のD映像出力端子の設定をします。	※ テレビとD映像端子でつないでいる場合だけ、設定が必要です。 D1　D2　D3　D4 ☞ 映像が正常に映らない（設定が合っていない）場合は、本体の[らく楽モード]と[チャンネル ∧]ボタンを同時に4秒以上押し続けると、設定が“D1”になり、映るようになります。 ● 標準テレビ（4：3）とD映像端子で接続する場合は、“D端子解像度設定”を“D1”または“D2”に設定してください。 ● “D4”に設定した場合、720pの映像以外は1080iで出力されます。
HDMI解像度設定 本機のHDMI出力端子から出力される映像の解像度を設定します。	※ テレビとHDMI端子でつないでいる場合だけ、設定が必要です。 自動　480p　1080i　720p　1080p ● “720p”に設定した場合、720pの映像以外は1080iで出力されます。
Deep Color出力設定 HDMI出力端子からの映像信号の色深度（Deep Color）を設定します。	※ テレビとHDMI端子でつないでいる場合だけ、設定できます。 入 ･･･ Deep Colorモード（色深度 12 bit）で出力されます。 切 ･･･ 通常モード（色深度 8 bit）で出力されます。 ● Deep Color非対応のテレビと接続しているときは、この設定にかかわらず“切”で出力されます。
24p出力設定 映画など24コマ/秒で記録された素材を24pで出力するかどうかの設定をします。	※ 24pに対応したテレビとHDMI端子でつないでいる場合だけ、設定できます。 ※ “HDMI解像度設定”を“自動”、“1080i”、“1080p”に設定している場合だけ、有効となります。 入 ･･･ 24コマ/秒で記録された素材をそのまま24pで出力するとき。 切 ･･･ 素材にかかわらず60コマ/秒で出力するとき。 ☞ 設定を“入”にするとHDMI端子以外の端子からは正常に出力されない（映像が正常に映らない）場合があります。この場合は、設定を“切”にしてください。
リンク機器制御 p.166 当社のREALINK（リアリンク）対応テレビでREALINK機能を使うかどうかの設定をします。	する ･･････ REALINK（リアリンク）機能を有効にするとき。 しない ････ REALINK（リアリンク）機能を無効にするとき。 ● p.27 らくらく設定でREALINK機能を有効にするかどうかを選んだときは、設定が自動的に切り換わります。
テレビ連動オフ設定 本機の電源を切るとテレビの電源も連動して切るかどうかの設定をします。	※ “リンク機器制御”を“する”に設定して、本機とREALINK（リアリンク）対応テレビとの間でREALINK機能が有効な場合にだけ、設定できます。 入　切 ● “入”にすると、本機の電源切に連動してテレビの電源も切れます。
3D方式設定 接続する3D対応テレビの方式に合わせて設定します。	フルHD　サイドバイサイド　チェッカーボード ☞ “サイドバイサイド”、“チェッカーボード”は、当社レーザーテレビ75-LT1と接続した場合にのみ、お使いください。
3D表示時の注意表示 3D映像表示時に、3D視聴の注意画面を表示するどうかの設定をします。	入　切 ● “入”にすると、3D視聴の注意画面を表示します。

時刻設定 p.35 （デジタル放送を受信できるときは時刻を自動修正しますので、この設定は不要です）

本機の時計を手動で設定します。

“セットアップ”画面の項目と設定内容（つづき）

設定のしかたは ••▶ p.158

各部
準備（接続）
準備（設定）
テレビ放送
メディア
録る
見る
編集消去
残す取り込む
便利機能
安全注意
仕様
困ったとき

再生設定 （p.157の補足説明もごらんください）

項　目	設 定 内 容 （＿は工場出荷時の設定）
音声言語設定 BDビデオ DVDビデオ **字幕言語設定** BDビデオ DVDビデオ **ディスクメニュー言語設定** BDビデオ DVDビデオ 再生時の言語を設定します。	音声言語設定 オリジナル　日本語　英語　----（または数字） 字幕言語設定、ディスクメニュー言語設定 自動　日本語　英語　----（または数字）
スチルモード 再生一時停止中の映像の設定をします。	**自動** ・・・・・・・・・・ 通常は、この設定でお使いください。 **フィールド** ・・・・ “自動”では画像がブレるとき。 **フレーム** ・・・・・・ “自動”では小さな文字や細かい絵柄が見えにくいとき。
視聴制限設定 p.160 BDビデオ DVDビデオ BD/DVDビデオソフト、ダウンロード番組の再生時の視聴制限年齢やレベルを設定します。	※ 設定すると、暗証番号を入力しない限り、再生や視聴制限の設定変更ができなくなります。 デジタル放送の視聴時の視聴制限設定をするときは ••▶ p.163
BD-LIVE接続設定 BD-LIVEを利用するときに、インターネットへの接続を制限するかどうかの設定をします。	**有効** ・・・・・・・・・・・接続を制限しないとき。 **有効(制限つき)**・・接続するときに、暗証番号の入力を必要とするとき。 **無効** ・・・・・・・・・・ 接続を無効(許可しない)にするとき。
3Dディスク再生設定 3Dディスクの再生方法の設定をします。	**3D再生** ・・・・・・・ 3D映像で再生するとき。 **2D再生** ・・・・・・・ 2D映像(従来の映像)で再生するとき。
アングルアイコン BDビデオ DVDビデオ 再生中にアングルアイコンを表示するかどうかの設定をします。	入　切 ● “入”にすると、アングルが切り換え可能な場面で“🎥”が表示されます。
JPEGスライドショー JPEGファイルの表示間隔を設定します。	5秒　10秒
ユーザーアイコン設定 予約一覧画面や録画一覧画面に表示されるユーザーアイコンを、12種類の中から設定します。	**ユーザー 1 ～ 3**　（アイコンの重複はできません。） 録画一覧画面の番組のユーザーを変更するときは ••▶ p.113
再生設定初期化	“再生設定”の設定内容を工場出荷時の設定に戻すとき。

音声出力設定 （p.157の補足説明もごらんください）

※ 本機とテレビやHDMI対応アンプをHDMIケーブルで接続している場合や、本機とアンプを光デジタルケーブルで接続している場合にだけ設定が必要です。接続機器に合わせて正しく設定しないと、音声にノイズが発生したり音が出ないことがあります。

項　目	設 定 内 容
デジタル出力設定 ドルビーデジタル、DTS、AAC対応機器との接続状況を設定します。	**自動**・・・・・・・・ ドルビーデジタル、DTS、AAC対応機器と接続しているとき。 **PCM** ・・・・・・ ドルビーデジタル、DTS、AAC対応でない機器と接続しているとき。
Dolby Dレンジ 夜間など音量を下げて再生したいときに、小さい音でも聞きやすく調整して再生します。	※ ドルビーデジタル音声にだけ有効です。 **入** ・・・・・・・・・ 小さい音でも聞きやすく調整して再生するとき。 **切**・・・・・・・・・・ 調整しないで再生するとき。
ダウンミックス マルチサラウンド音声を再生するときのダウンミックスの方法を設定します。	※ “デジタル出力設定”を“PCM”に設定している場合だけ、有効となります。 **ノーマル** ・・・・・・・・・ マルチサラウンド変換対応機器と接続していないとき。 **サラウンドミックス** ・・ マルチサラウンド変換対応機器と接続しているとき。
LPCM デジタル音声のサンプリング周波数を設定します。	**48kHz** ・・・・ 96kHz対応でない機器と接続しているとき。 **96kHz** ・・・・ 96kHz対応機器と接続しているとき。

設定のしかたは ●●▶ p.158

項　目	設　定　内　容　（＿は工場出荷時の設定）
音声出力設定（つづき）（p.157の補足説明もごらんください）	
HDMI音声設定 本機のHDMI端子から出力される音声の設定をします。	入 ･････････ 音声を2chオーディオ機器で再生可能なリニアPCM音声にして出力するとき。 切 ･････････ HDMI対応でないアンプなどと接続しているとき。
BD-HD音声設定 Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD対応ビデオソフトの音声を設定します。	複合音声 ･･･ プライマリー音声とセカンダリー音声を出力するとき。 HD音声 ････ プライマリー音声だけ出力し、セカンダリー音声は出力しないとき。
録画設定	
自動チャプターマーク 本体 録画中、チャプターマークが自動的に記録される間隔を設定します。 チャプターマーク数の記録上限を超える場合は、それ以上記録されません。（最大登録可能数は ●●▶ p.183）	おすすめ自動1　おすすめ自動2　5分　10分　15分　切 ● **おすすめ自動チャプター** 録画中に、次のようなところで自動的に記録されます。 **おすすめ自動1**･･･本編とCMの変わり目や、場面が切り換わるところ **おすすめ自動2**･･･本編とCMの変わり目のみ ● “切”のときは、記録されません。
二重音声選択 二重音声（二カ国語）を録画するときの音声を設定します。	主音声･････ 主音声で録画するとき。 副音声･････ 副音声で録画するとき。 ●●▶ 設定によって記録される音声については、p.64をごらんください。
Video高速ダビング L1入力から本体→DVD-RW(Video)/-R(Video)へ高速ダビングできるようにするかどうかを設定します。 設定によって、二重音声の記録のしかたが変わります。	入 ･････････ 高速ダビングになります。 二重音声は、“二重音声選択”で設定されている音声だけが記録されます。 切 ･････････ 等速ダビングになります。 二重音声は、主/副音声の両方が記録されます。 ●●▶ 設定によって記録される音声については、p.64をごらんください。
Videoアスペクト DVD-RW(Video)/-R(Video)に録画するときの画面の縦横比を設定します。	4：3　16：9 ● 録画モードEPの場合は、この設定にかかわらず4：3で録画されます。
外部音声選択 L1入力から録画するときの音声を設定します。	ステレオ ･･･ 通常は、この設定でお使いください。 二重音声 ･･･ L1入力から二重音声放送を録画するとき。 二重音声は、“二重音声選択”で設定されている音声だけが記録されます。 ●●▶ 設定によって記録される音声については、p.64をごらんください。
XP記録音声 L1入力から録画モードXPで録画するときの音声を設定します。	Dolby Digital ････ 通常の音質（ドルビーデジタル）で録画するとき。 二重音声は、主/副音声の両方が記録されます。 LPCM ･･････････ 高音質（リニアPCM）で録画するとき。 二重音声は、“二重音声選択”で設定されている音声だけが記録されます。
AEモード 録画モードAEの録画時間を設定します。	5.5倍　12倍 ● “12倍”（約2 Mbps）は、“5.5倍”（約4.2 Mbps）よりも長時間録画できますが、画質は低下します。
EPモード 録画モードEPの録画時間を設定します。	6時間　8時間 ● “8時間”は、“6時間”よりも長時間録画できますが、画質は低下します。
録画設定初期化	“録画設定”の設定内容を工場出荷時の設定に戻すとき。

“セットアップ”画面の項目と設定内容（つづき）

設定のしかたは ●●▶ p.158

項目	設定内容（＿は工場出荷時の設定）
録画予約設定	
見どころ再生情報 p.84 **本体** 見どころ再生用の情報を盛り込んで録画するかどうかの設定をします。	見どころ再生情報：生成する　生成しない 外部入力からの生成：する（スポーツ）　する（音楽）　しない
字幕焼きこみ 録画モードDR以外で録画予約するときに、映像といっしょに字幕を記録するかどうかを設定します。（デジタル放送の番組のみ）	あり　なし ● “あり”にすると、字幕がある場合に映像といっしょに字幕を記録します。 ● この設定で記録された字幕は、再生時に表示の入/切はできません。 ● 録画モードDRの場合は、この設定にかかわらず字幕の情報が記録され、再生時に表示の入/切ができます。
字幕焼きこみ言語 “字幕焼きこみ”で記録する字幕言語を設定します。	※ “字幕焼きこみ”の設定が“あり”のときだけ設定できます。 日本語　英語
おすすめ自動録画 p.81 **本体** 過去の録画履歴などから番組を抽出し、自動的に予約して録画する設定をします。 （デジタル放送の番組のみ）	**設定** 設定：入（安心型＋発掘型）　入（発掘型のみ）　入（安心型のみ）　切 録画モード：HD画質DR　HD画質AF　HD画質AN　HD画質AE 録画数：4番組　2番組　1番組 **履歴消去**
イベントリレー録画 p.83 **本体** 番組が他のチャンネルで延長放送される場合、引き続き録画を続けるかどうかを設定します。	する　しない ● “する”にすると、そのまま引き続き録画を続けます。
予約連動オフ設定 録画予約の録画終了後、本機の電源を切るかどうかを設定します。	入 ･････････ 録画終了後、本機の電源を切るとき。 自動 ･･････ 録画予約の録画開始時に電源が入だったときは入のまま、切だったときは録画終了後に電源が切れます。 ● 録画終了時に録画、再生、メニュー操作などを行っている場合は、電源は切れません。

リモコン設定 p.36

本体のリモコンモードを設定します。	リモコン1　リモコン2

全情報初期化 p.161

※ **本機に記憶されたお客さまの個人情報（メール、登録情報、ポイント情報など）の一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。**

放送設定リセット 本機の設定内容を工場出荷時の状態に戻します。 ※ **個人情報リセットは、本機を譲渡するときや廃棄するとき以外は、実行しないでください。**	**設定項目リセット** p.29 “受信設定”の“衛星”の設定内容の設定内容を、工場出荷時の設定に戻します。 **個人情報リセット** 本機を工場出荷時の状態に戻します。本体（HDD）の録画内容も消去されます。

システム・バージョンアップ

サービスマン用です。サービスマンが本機のシステムをバージョンアップするときに使用します。

設定のしかたは ••▶ p.158

セットアップ”画面の設定内容についての補足説明

接続テレビ設定

テレビ画面選択

- 4:3 16:9 LB 16:9 PS のように、DVDビデオ側で画面サイズが指定されているときは、本機で画面の種類を選んでも、違う種類で表示されることがあります。

D端子解像度設定

- **次の場合は、“D端子解像度設定”の設定にかかわらず“D1”で出力されます。**
  - BDビデオを再生するとき。
  - DVD-RW(AVCREC)/-R(AVCREC)を再生するとき。
  - ディスク→本体(HDD)へダビングしたコンテンツを再生するとき。
- 本機でプログレッシブ映像を楽しむことができる条件
  次の接続・設定をすべて行っているときにだけ、DVDビデオソフトなどの映像を、プログレッシブ映像で楽しむことができます。
  - D2(480p)以上対応でマクロビジョンコピーガードに対応したプログレッシブ対応テレビとD端子ケーブルで接続しているとき。
  - 本機側の“D端子解像度設定”を“D2”、“D3”または“D4”にしているとき。
- 本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について
  プログレッシブ対応テレビによっては、本機との組み合わせでは正しく再生できないことがあります。
  この場合は、本機の“D端子解像度設定”を“D1”にしてお使いください。
- 正しい画面サイズ(画角、画面の縦横比)でプログレッシブ映像を見るには
  - 画面サイズを調整できるテレビのときは、テレビ側で画角を調整してください。
  - 画面サイズを調整できないテレビのときは、本機の“D端子解像度設定”を“D1”にしてください。
    お使いのテレビがプログレッシブ映像の画面サイズを調整可能なテレビかどうかは、テレビの取扱説明書をごらんください。

D端子解像度設定、HDMI解像度設定

- “D端子解像度設定”を“D3”または“D4”に設定した場合や、“HDMI解像度設定”を“480p”以外に設定した場合は、本機の映像出力端子からは“16：9”で信号が出力されます。

再生設定

音声言語設定/字幕言語設定/ディスクメニュー言語設定

- 言語設定はBD/DVDビデオ側の設定が優先され、本機の設定とは異なる言語になることがあります。
- BD/DVDビデオによっては、ディスクメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。この場合の操作のしかたは、ディスクの説明書をごらんください。
- BD/DVDビデオによっては、言語の設定を切り換えられないことがあります。
- 再生中の音声/字幕言語の切り換えかたは ••▶ p.104

再生設定初期化

- 再生設定を初期化した場合でも、視聴制限の設定はそのまま残ります。

音声出力設定

Dolby Dレンジ

- この機能の効果は、番組(タイトル)によって異なります。

LPCM

- ディスクによっては、“LPCM”を“96kHz”に設定していても、強制的に“48kHz”に変換されたり音声がデジタル出力されないことがあります。

“セットアップ”画面の設定内容を変更するときは

“時刻設定”、“見どころ再生情報”、“おすすめ自動録画”は、それぞれの設定の説明ページをごらんください。

1 “セットアップ”画面を表示する

1 本機がらく楽モード（本体前面の らく楽モード が点灯）になっているときは、通常モードに切り換える

ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。

2 停止中に、通常メニュー画面を表示する

3 “設定・管理”を選び、決定する

⬇

“セットアップ”で、そのまま決定する

メニュー	設定・管理
録る（番組表・予約）	セットアップ
見る（再生）	放送関連の設定
残す（ダビング）	メディア管理（初期化）
取り込む（ダビング）	
設定・管理 ▷	
お知らせ	

2 希望の項目または設定を選び、決定する この操作を繰り返し、希望の設定に変更する

（選択）　（決定）

- 選んだ項目に“▷”が表示されている場合は、右側の設定項目が表示されます。
  [▶]を押して、右側の設定項目に移動することもできます。
  [◀]または 戻る を押すと、左側の設定項目に戻ります。
- 選んだ項目に“▷”が表示されていない場合は、その項目の設定画面に切り換わります。

☞ 希望の設定に変更するときに確認メッセージが出る場合は

[◀、▶]で“はい”を選び、決定 を押してください。

3 変更が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

☞ 前の画面に戻るときは
戻る を押す

☞ 通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

☞ 通常メニュー画面のトップ画面に戻るときは、メニュー/らく楽 を押す
（もう一度押すと、通常画面に戻ります）

- 録画中は、各種設定画面の設定ができないことがあります。（設定できない場合、その項目は選べません。）
- 再生中に各種設定画面を表示すると、再生が自動的に停止します。

使いかたに困ったときやおかしいな？と思ったときは ➡「故障かな？と思ったときは」、「こんなメッセージが表示されたときは」

音声、字幕、ディスクメニューの言語を言語コード一覧から選ぶときは

1 前ページの手順 1 、2 を行って、“再生設定”で言語を変更したい言語設定を選び、決定する

2 “－－－－”（または数字）を選び、決定する

3 右記の言語コード一覧表を参考に、言語コード（4桁）を入力し、決定する

1 あ ～ 10/0 ゛ ➡ 決定

入力中に番号を間違えたときは、黄 を押します。

4 変更が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

言語コード一覧

言語名	画面上の表示	言語コード
Afar	aa	4747
Abkhazian	ab	4748
Afrikaans	af	4752
Amharic	am	4759
Arabic	ar	4764
Assamese	as	4765
Aymara	ay	4771
Azerbaijani	az	4772
Bashkir	ba	4847
Byelorussian	be	4851
Bulgarian	bg	4853
Bihari	bh	4854
Bislama	bi	4855
Bengali;Bangla	bn	4860
Tibetan	bo	4861
Breton	br	4864
Catalan	ca	4947
Corsican	co	4961
Czech	cs	4965
Welsh	cy	4971
Danish	da	5047
German	ドイツ語	5051
Bhutani	dz	5072
Greek	el	5158
English	英語	5160
Esperanto	eo	5161
Spanish	スペイン語	5165
Estonian	et	5166
Basque	eu	5167
Persian	fa	5247
Finnish	fi	5255
Fiji	fj	5256
Faroese	fo	5261
French	フランス語	5264
Frisian	fy	5271
Irish	ga	5347
Scots Gaelic	gd	5350
Galician	gl	5358
Guarani	gn	5360
Gujarati	gu	5367
Hausa	ha	5447
Hindi	hi	5455
Croatian	hr	5464
Hungarian	hu	5467
Armenian	hy	5471
Interlingua	ia	5547
Interlingue	ie	5551
Inupiak	ik	5557
Indonesian(BAHASA)	id	5560
Icelandic	is	5565
Italian	イタリア語	5566
Hebrew	he	5569
Japanese	**日本語**	**5647**
Yiddish	ji	5655
Javanese	jw	5669
Georgian	ka	5747
Kazakh	kk	5757
Greenlandic	kl	5758
Cambodian	km	5759
Kannada	kn	5760
Korean	韓国語	5761
Kashmiri	ks	5765
Kurdish	ku	5767
Kirghiz	ky	5771
Latin	la	5847
Lingala	ln	5860
Laothian	lo	5861
Lithuanian	lt	5866

言語名	画面上の表示	言語コード
Latvian;Lettish	lv	5868
Malagasy	mg	5953
Maori	mi	5955
Macedonian	mk	5957
Malayalam	ml	5958
Mongolian	mn	5960
Moldavian	mo	5961
Marathi	mr	5964
Malay	ms	5965
Maltese	mt	5966
Burmese	my	5971
Nauru	na	6047
Nepali	ne	6051
Dutch	オランダ語	6058
Norwegian	no	6061
Occitan	oc	6149
(Afan)Oromo	om	6159
Oriya	or	6164
Panjabi	pa	6247
Polish	pl	6258
Pashto;Pushto	ps	6265
Portuguese	pt	6266
Quechua	qu	6367
Rhaeto-Romance	rm	6459
Kirundi	rn	6460
Romanian	ro	6461
Russian	ru	6467
Kinyarwanda	rw	6469
Sanskrit	sa	6547
Sindhi	sd	6550
Sangho	sg	6553
Serbo-Croatian	sh	6554
Singhalese	si	6555
Slovak	sk	6557
Slovenian	sl	6558
Samoan	sm	6559
Shona	sn	6560
Somali	so	6561
Albanian	sq	6563
Serbian	sr	6564
Siswat	ss	6565
Sesotho	st	6566
Sundanese	su	6567
Swedish	sv	6568
Swahili	sw	6569
Tamil	ta	6647
Telugu	te	6652
Tajik	tg	6653
Thai	th	6654
Tigrinya	ti	6655
Turkmen	tk	6657
Tagalog	tl	6658
Setswana	tn	6660
Tonga	to	6661
Turkish	tr	6664
Tsonga	ts	6665
Tatar	tt	6666
Twi	tw	6669
Ukrainian	uk	6757
Urdu	ur	6764
Uzbek	uz	6772
Vietnamese	vi	6855
Volapuk	vo	6861
Wolof	wo	6961
Xhosa	xh	7054
Yoruba	yo	7161
Chinese	中国語	7254
Zulu	zu	7267

再生時の視聴制限設定をする

視聴制限を解除するための暗証番号を設定すると、市販ソフトやダウンロード番組の再生時の視聴制限を解除するときに、暗証番号の入力が必要となります。p.149

- ここで設定する暗証番号は、次の制限を解除するときの、共通の番号になります。
  - デジタル放送の視聴時の視聴制限解除
  - 市販ソフトの再生時の視聴制限解除
  - ネットワーク利用時の制限解除
  - 「スカパー! HD録画」した番組やネットワークのダウンロード番組の視聴制限解除

1 p.158 の手順 1 、2 を行って、"再生設定"の"視聴制限設定"を選び、決定する

- "視聴制限設定"画面が表示されます。

2 暗証番号(4桁)を入力する

 1 ～ 10 ➡ 決定

- 暗証番号(パスワード)は p.163 で登録した番号を入力します。
- 入力した数字は、"＊"で表示されます。
- 暗証番号が未登録の場合は、ここで入力した番号が暗証番号として登録されます。

入力中に番号を間違えたときは、黄 を押します。

"パスワードが間違っています。"メッセージが表示されたときは
間違った暗証番号を入力しています。決定 を押したあと、正しい暗証番号を入力し直してください。

3 変更したい項目を選び、設定内容を変更する

（移動） （変更・決定）

（＿は工場出荷時の設定です。）

DVDのレベル
- なし ······· 制限なし
- レベル8 ···· 弱(ほとんどのDVDが再生可能)
- ∫
- レベル1 ···· 強(子供用のDVDだけが再生可能)

BDの視聴可能年齢
無制限、0歳 ～ 254歳 （1歳単位）

スカパー！HDとダウンロード番組の視聴可能年齢
無制限、4歳 ～ 19歳 （1歳単位）

- レベルや視聴可能年齢の制限を超えるビデオソフトや番組を再生するときは、暗証番号の入力が必要となります。

4 変更が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

ちょっとメモ

- 暗証番号を変更・取り消すときは ••▶ p.164

設定内容を工場出荷時の設定に戻す

"再生設定"、"録画設定"の設定内容を工場出荷時の設定に戻すとき

1 "再生設定"を工場出荷時の設定に戻すときは、

p.158 の手順 1 、2 を行って、"再生設定"の"再生設定初期化"を選び、決定する

"録画設定"を工場出荷時の設定に戻すときは、

p.158 の手順 1 、2 を行って、"録画設定"の"録画設定初期化"を選び、決定する

2 確認メッセージの"はい"を選び、決定する

- 設定内容が、工場出荷時の設定に戻ります。

3 変更が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

"受信設定"（"衛星"のみ）の設定内容を工場出荷時の設定に戻すとき

1 p.158 の手順 1 、2 を行って、"全情報初期化"を選び、決定する

- "放送設定リセット"画面が表示されます。

2 "設定項目リセット"で、そのまま決定する

- "設定項目リセット"画面が表示されます。

3 "はい"を選び、決定する

- 設定内容が、工場出荷時の設定に戻ります。

4 変更が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

本機を工場出荷時の状態に戻すとき

● 本体（HDD）の録画内容も消去されるため、本機を譲渡するときや廃棄するとき以外は実行しないでください。

1 p.158 の手順 1 、2 を行って、"全情報初期化"を選び、決定する

- "放送設定リセット"画面が表示されます。

2 "個人情報リセット"を選ぶ

3 決定 を3秒以上押す

- "個人情報リセット"画面が表示されます。

4 "はい"を選び、決定する

- 電源が切れます。
- 本機が工場出荷時の状態に戻ります。

気を付けて

- 再生設定初期化、録画設定初期化、全情報初期化の実行中は、本機の電源を切ったり電源コードを抜かないでください。本機の故障の原因となります。
- 次の場合は、全情報初期化はできません。
  - 録画中
  - 予約の録画開始の直前
  - ダビング中

放送関連の設定を変える（放送関連の設定）

“放送関連の設定”の項目と設定内容

項目		設定内容

放送関連の設定

項目		設定内容
らくらく設定 p.24		らくらく設定を行って、地上デジタル放送のチャンネルの自動設定、BSデジタル、110度CSデジタル放送のアンテナの設定をします。
放送設置	受信対象設定 p.41	受信しない放送を操作できないようにします。
	チャンネル設定 p.30	地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送のチャンネルを設定/変更します。
	番組表設定 p.38	番組表(Gガイド)の設定変更や番組データの受信スケジュールの確認、地デジ難視対策衛星放送の設定をします。
	地域設定 p.41	データ放送を受信するための県域設定や郵便番号の設定を変更/消去します。
	受信設定 p.28	アンテナレベルの表示、地上デジタル放送用のアッテネーター（受信の強弱)の切り換え、BSアンテナのアンテナ電源の設定などをします。
	B-CASカードテスト p.41	B-CASカードのテストをします。
	ネットワーク設定 p.32 ブラウザ設定 p.32	ネットワークの接続テストや各種設定の変更、ブラウザの設定をします。
制限項目設定 次ページ		視聴制限のある番組を視聴するときの視聴可能年齢、暗証番号の設定/変更をします。
選局対象 p.165		[チャンネル∧∨]で選局できるデジタル放送のチャンネルの設定を変更します。
ダウンロード設定 p.42		本機の機能向上のためのダウンロード更新を自動で行うかどうかの設定をします。

各部
準備(接続)
準備(設定)
テレビ放送
メディア
録る
見る
編集消去
残す取り込む
便利機能
安全注意
仕様
困ったとき

気を付けて

- 本機で設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、p.156､161「個人情報リセット」を行うことをおすすめします。
- 本機に記憶されたお客さまの個人情報(メール、登録情報、ポイント情報など)の一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

視聴時やネットワーク利用時の視聴制限設定をする（制限項目設定）

視聴制限を解除するための暗証番号を設定すると、デジタル放送の有料放送で視聴可能年齢の制限を超える番組の視聴時や、ネットワークの利用時に、暗証番号の入力が必要となります。p.149

- ここで設定する暗証番号は、次の制限を解除したり機能を利用したりするときの、共通の番号になります。
  - デジタル放送の視聴時の視聴制限解除
  - 市販ソフトの再生時の視聴制限解除
  - ネットワーク利用時の制限解除
  - 「スカパー！ＨＤ録画」した番組やネットワークのダウンロード番組の視聴制限解除

初めて設定するとき（暗証番号が未設定のとき）

1 “暗証番号登録”画面を表示する

1 本機がらく楽モード（本体前面の らく楽モード が点灯）になっているときは、通常モードに切り換える

ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。

2 停止中に、通常メニュー画面を表示する

メニュー らく楽

3 “設定・管理”を選び、決定する

↓

“放送関連の設定”を選び、決定する

↓

“制限項目設定”を選び、決定する

（繰り返し）

- “暗証番号登録”画面が表示されます。

2 暗証番号（4桁）を登録する

1 暗証番号（4桁）を入力する

1 あ ～ 10/0

- 入力した数字は、“＊”で表示されます。

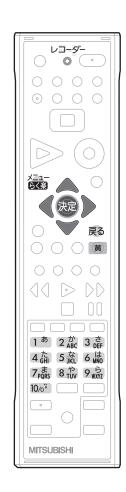
入力を間違えたときは、黄 を押します。

- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 4桁入力し終わると、再入力画面が表示されます。

2 暗証番号（4桁）を再入力する

1 あ ～ 10/0

3 暗証番号の登録が終わったら、戻る を押す

- “制限項目設定”画面が表示されます。

4 視聴可能年齢を選ぶ

視聴時の視聴可能年齢

<u>無制限</u>、4才～19才（1才単位）　（＿は工場出荷時の設定です。）

- 視聴可能年齢の制限を超えるデジタル放送を視聴するときは、暗証番号の入力が必要となります。

5 設定が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

前の画面に戻るときは 戻る を押す

通常画面に戻るときは 戻る を何回か押す

暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをおすすめします。

各部
準備（接続）
準備（設定）
テレビ放送
メディア
録る
見る
編集消去
残す取り込む
便利機能
安全注意
仕様
困ったとき

視聴時やネットワーク利用時の視聴制限設定をする（制限項目設定）（つづき）

設定を変更するとき（暗証番号が設定済みのとき）

1 前ページの手順 1 を行って、“暗証番号入力”画面を表示する

2 暗証番号（4桁）を入力する

1 あ ～ 10/0

- 入力した数字は、“＊”で表示されます。

入力を間違えたときは、黄 を押します。

- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 4桁入力し終わると、“制限項目設定”画面が表示されます。
- 間違った暗証番号を入力した場合は、“制限項目設定”画面は表示されません。正しい番号を入力し直してください。
  3回連続で間違った番号を入力した場合は、それ以上入力できません。戻る を押して、元の画面に戻してください。

3 視聴可能年齢を変更する

4 設定が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

暗証番号を変更するとき

1 左記の「設定を変更するとき（暗証番号が設定済みのとき）」の手順 1 、2 を行って、“制限項目設定”画面を表示する

2 “暗証番号変更”を選び、決定する

- “暗証番号変更”画面が表示されます。

3 暗証番号（4桁）を変更する

1 新しい暗証番号（4桁）を入力する

1 あ ～ 10/0

- 入力した数字は、“＊”で表示されます。

入力を間違えたときは、黄 を押します。

- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 4桁入力し終わると、再入力画面が表示されます。

2 新しい暗証番号（4桁）を再入力する

1 あ ～ 10/0

4 暗証番号の変更が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

暗証番号を取り消すとき

1 左記の「設定を変更するとき（暗証番号が設定済みのとき）」の手順 1 、2 を行って、“制限項目設定”画面を表示する

2 “暗証番号削除”を選び、決定する

制限項目設定 | 視聴可能年齢 無制限 | ブラウザ制限 する しない | 暗証番号変更 | 暗証番号削除 | 項目選択 決定 戻る

- “暗証番号削除”確認画面が表示されます。

3 “はい”を選び、決定する

4 暗証番号の取り消しが終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

ちょっとメモ

- 暗証番号を忘れたときは、有料放送を視聴するために契約されている各委託放送事業者にお問い合わせください。
  有料放送の契約をされていない場合は、p.156, 161「個人情報リセット」を行って本機を工場出荷時の状態に戻す必要があります。本体（HDD）の録画内容も消去されますので、暗証番号を忘れないようにしてください。

視聴時やネットワーク利用時の視聴制限設定をする（制限項目設定）（つづき）

ネットワークの利用時に、暗証番号を入力するように変更するとき

1 前ページの「設定を変更するとき（暗証番号が設定済みのとき）」の手順 1 、2 を行って、“制限項目設定”画面を表示する

2 “ブラウザ制限”を選ぶ

3 設定内容を変更する

（＿は工場出荷時の設定です。）

する････ ネットワークを利用するときに、暗証番号の入力を必要とするとき。

しない･･･ ネットワークを利用するときに、暗証番号の入力を不要とするとき。

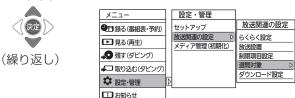
3 変更が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

- 利用するときに入力する暗証番号は、p.163 で設定した番号を使用します。

デジタル放送のチャンネルを変更する（選局対象）

1 “選局対象”の項目を表示する

1 本機がらく楽モード（本体前面の らく楽モード が点灯）になっているときは、通常モードに切り換える

ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。

2 停止中に、通常メニュー画面を表示する

メニュー らく楽

3 “設定・管理”を選び、決定する

⬇

“放送関連の設定”を選び、決定する

⬇

“選局対象”を選び、決定する

（繰り返し）

2 設定内容を変更する

放送関連の設定
らくらく設定
放送設置
制限項目設定
選局対象
ダウンロード設定

☑設定チャンネル
テレビ
ラジオ
データ
すべて

（＿は工場出荷時の設定です。）

すべて･････ 受信できるすべてのチャンネルを選局するとき。

設定チャンネル

･･････ チャンネル設定で設定されているPo1 ～ 36チャンネルだけを選局するとき。

テレビ･････ テレビ放送だけを選局するとき。

ラジオ･････ ラジオ放送だけを選局するとき。

データ･････ データ放送だけを選局するとき。

3 変更が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

REALINK(リアリンク)機能を使う

REALINK(リアリンク)機能とは?

● **REALINK機能とは、本機と当社製REALINK対応テレビをHDMIケーブルで接続することで、本機とテレビの間で連動して操作することができる機能です。**
REALINK(リアリンク)機能は、HDMI CEC(制御規格:Consumer Electronics Control)をベースに、当社独自の機能を追加したものです。

● **他社製HDMI CEC対応機器と組み合わせた場合の動作は保証しておりません。**

当社製REALINK(リアリンク)対応テレビについて(2011年4月現在)

当社製REALINK(リアリンク)対応テレビには2種類あり、利用できる機能が異なります。

《機種群2》のテレビ

● REALINK ロゴマークが付いているテレビ(下記以外)

《機種群1》のテレビ

・LCD-H20MX75B/R/S	・LCD-20MX10B/S/P	・LCD-32MX10	・LCD-32MX11
・LCD-H32MX65	・LCD-H32MX70	・LCD-H32MX75	・LCD-H32MXW75
・LCD-32H8000X	・LCD-32H8000XG	・LCD-32H8500X	・LCD-32H9000
・LCD-32H9500	・LCD-H37MX70	・LCD-37H8000X	・LCD-37H8000XG
・LCD-H40MZ70	・LCD-H40MZW75	・LCD-40F8000Z	・LCD-H46MZ70
・LCD-H46MZW75	・LCD-46F8000Z	・LCD-H52MZW75	

当社製HDD/BD内蔵テレビ(BHRシリーズ、MDRシリーズなど)は、REALINKに対応していません。

REALINK(リアリンク)機能を使うために必要な接続と設定

REALINK機能を使うためには、本機と当社製REALINK対応テレビを、HDMIケーブル(市販)で接続してください。 p.14

本機や当社製REALINK対応テレビでは、お買上げ時からREALINK機能を使うことができるように設定されていますので、通常は設定不要です。

● **当社製REALINK対応テレビでREALINK機能を使うために必要な設定について**
テレビによって異なりますので、くわしくはテレビの取扱説明書をごらんください。

● **本機でREALINK機能を使うために必要な設定について**

- "セットアップ"画面の"接続テレビ設定"-"リンク機器制御"の設定を"する"にします。p.153
- 本機のリモコンでテレビを操作するときは、テレビメーカーの設定を"三菱 リモコン1"〜"三菱 リモコン3"にします。p.37
- 一発録画をする場合やテレビの番組表を使って直接本機の本体(HDD)に録画予約する場合は、本機の番組表の番組データを受信して本機の番組表が利用できるようにしておいてください。p.48

気を付けて

- REALINK機能は、本機と当社製REALINK対応テレビを組み合わせて、必要な接続(HDMI接続)と設定を行っている場合だけ、使うことができます。
- REALINK機能の仕様は、予告無く変更されることがあります。(本書に記載の仕様は、2011年4月現在のものです。)
- REALINK機能が有効な状態で次のようなことを行った場合は、REALINK機能が無効となる場合があります。
  - 本機の電源コードやHDMIケーブルを抜いたとき。
  - 本機につないでいるテレビを別のテレビに変えたとき。(テレビを買い換えたときなど)

  このような場合は、電源コードやHDMIケーブルを接続後、テレビの入力切換を本機の入力に切り換える、または"セットアップ"画面の"接続テレビ設定"-"リンク機器制御"の設定を一度"しない"に変更して決定したあともう一度設定を"する"に変更して決定すると、再びREALINK機能が有効になります。

REALINK機能が使える状態になっているときは、こんなことができます

テレビによって、操作できる機能や操作のしかたが異なります。くわしくは、テレビの取扱説明書をごらんください。

- **テレビのリモコンで、本機の操作をする**
  操作パネルを表示して、本機の再生/早送り/早戻し/停止や本機のメニュー画面の操作、メディアの切り換えなどをすることができます。
- **本機の操作をするとき、テレビの入力切換が自動的に本機を接続した入力に切り換わる**
  本機で次のような操作を行ったときは、テレビの入力切換が自動的に本機を接続した入力(HDMI1など)に切り換わります。
  - 本体(HDD)やディスクの再生を始めたとき。
  - 本機の録画一覧画面、メニュー画面、番組表、予約一覧画面などを表示したとき。
- **番組ポーズ** 次ページ
  テレビで視聴中のデジタル放送の番組を、一時的に本機の本体(HDD)に録画して、あとで見ることができます。
- **一発録画** p.169
  テレビで視聴中のデジタル放送の番組を、今すぐ本機の本体(HDD)に録画することができます。
- **テレビの番組表を使って本機に録画予約する** p.169
  テレビの番組表を使って、直接本機の本体(HDD)に録画予約することができます。
- **テレビの電源の入/切に連動して、本機の電源を自動的に入/切する**
  テレビの電源の入/切に連動して、本機の電源を自動的に入/切することができます。
  テレビの電源を入/切しても本機の電源が連動して入/切しないようにしたいときは
  テレビ側の設定(例：テレビ電源オン連動、テレビ電源オフ連動、など)を変更してください。
- **本機の電源を切ると、テレビの電源も連動して切れる**
  本機の p.153 “セットアップ”画面の“接続テレビ設定”－“テレビ連動オフ設定”の設定を“入”にしたときに有効となります。

《機種群2》のテレビのみの機能

- テレビのリモコンの[再生リスト]ボタンを押すと、テレビの入力切換が自動的に本機を接続した入力(HDMI1など)に切り換わり、本機の録画一覧画面が表示されます。このあと、テレビのリモコンで希望の番組を選んで再生することができます。(再生を終了すると、テレビの入力切換がテレビ入力に戻ります。)
- テレビの2画面表示中に、テレビのリモコンで本機側の画面の放送やチャンネルを切り換えることができます。

気を付けて

- テレビが次のような状態のときは、テレビの[HDMI操作]または[リンク操作]ボタンを押しても操作パネルは表示されません。
  - 設定メニュー表示中
  - らくらく設定中
  - 一発録画中
  - 録画予約実行中
  - 2画面表示中
  - 静止画表示中
  - テレビと本機のREALINK機能の設定が使える状態になっていないとき

ちょっとメモ

- REALINK機能を使用してテレビのリモコンで本機を操作中でも、本機の本体またはリモコンで本機を操作することも可能です。
- REALINK機能が有効なときは、 p.152 “高速起動設定”が自動的に入の状態になります。
- 一発録画は、Irシステムをご利用の場合にもお使いになれます。

テレビで視聴中のデジタル放送の番組を、一時的に本機の本体(HDD)に録画して、あとで見る（番組ポーズ）

番組ポーズ機能搭載テレビのみ

テレビによって、設定や操作のしかたが異なります。くわしくは、テレビの取扱説明書をごらんください。

- 一部のテレビには、番組ポーズ機能は搭載されておりません。

デジタル放送の番組を視聴中に急な来客などで引き続き視聴することができなくなったときに、テレビ の[番組ポーズ]ボタンを押して一時的に本機の本体(HDD)に録画しておき、あとで視聴することができます。

- **番組ポーズは一時的な録画ですので、番組ポーズの再生終了後に録画された内容が消去されます。もう一度再生することはできません。**
- **番組ポーズはテレビ側のチャンネルで選んでいる番組を一時的に録画しますので、番組ポーズをする前にテレビ側のチャンネルを番組ポーズしたいチャンネルに切り換えておいてください。**
- 《機種群1》のテレビ ･･･ 本機の電源が入のときだけ、番組ポーズを行うことができます。
  《機種群2》のテレビ ･･･ 本機の電源が切のときでも、番組ポーズを行うことができます。(番組ポーズをするときに、自動的に本機の電源が入ります。)
- 録画モードDRで録画されます。
- 予約録画開始まで約3分以内の場合、番組ポーズはできません。

1 テレビ [番組ポーズ]ボタンを押して、番組ポーズの録画を始める

- 本機の録画準備完了後、本機の本体(HDD)が録画可能なときは番組ポーズの録画が始まります。
- 本機の録画準備が完了して録画が始まるまで、少し時間がかかります。
- 番組ポーズの録画が始まると、画面が静止画になります。
- 番組ポーズ中の番組が終了すると、番組ポーズの録画は自動的に停止します。

2 番組ポーズで録画された内容を再生するときは、テレビ [番組ポーズ]ボタンをもう一度押して、番組ポーズの再生を始める

- 画面の静止画が解除され、テレビの入力切換が自動的に本機を接続した入力(HDMI1など)に切り換わります。
- 番組ポーズの録画中は、録画を始めた位置からの追っかけ再生になります。
  録画が終了している場合は、録画を始めた位置からの通常再生となります。
- 通常の再生や追っかけ再生と同様に、番組ポーズの再生中に早送り/早戻し、再生一時停止、スロー /逆スロー再生、コマ送り/コマ戻しなどをすることができます。
- 《機種群2》のテレビのみ ･･･ 番組ポーズの再生中に、テレビの操作パネルを表示して本機を操作することもできます。

番組ポーズで録画された最後の部分まで再生されると

自動的に番組ポーズが終了し、番組ポーズで録画された内容が消去されます。

番組ポーズの再生を途中で(手動で)終了するときは

次の操作をすると番組ポーズが終了し、番組ポーズで録画された内容が消去されます。

テレビ
- チャンネルを切り換える
- 放送(地上デジタル/地上アナログ/BS/CS)を切り換える
- 入力を切り換える

本 機
- 停止 を押す ➡ [◀、▶]で確認メッセージの"はい"を選び、決定 を押す

気を付けて

- 録画中は、番組ポーズができません。
- テレビ側でテレビのチャンネルや入力を切り換えたとき(視聴予約などで自動的に入力やチャンネルが切り換わった場合も含む)やテレビの電源を切ったときは、番組ポーズは自動的に終了します。
- ネットワークの動画コンテンツをダウンロード中は、番組ポーズができません。
- 番組ポーズ中に録画予約の録画開始時刻になったときは、番組ポーズは自動的に終了します。
- 番組ポーズ中は、本機の次の操作はできません。
  - 他の番組を録画する
  - 電源を切る
  - 放送やチャンネル/外部入力を切り換える

使いかたに困ったときやおかしいな？と思ったときは ➡「故障かな？と思ったときは」、「こんなメッセージが表示されたときは」

テレビで視聴中のデジタル放送の番組を、今すぐ本機の本体(HDD)に録画する(一発録画)

テレビによって、設定や操作のしかたが異なります。くわしくは、テレビの取扱説明書をごらんください。

テレビ の[一発録画] ボタンを押すだけで、テレビで視聴中のデジタル放送の番組を本機に録画することができます。

- 本機の電源が切のときからでも、自動的に電源が入になって録画が開始されます。(この場合は、本機の電源が入って実際に録画が始まるまでしばらく時間がかかります。)

1 テレビ [一発録画] ボタンを押して、一発録画を始める

- 本機の本体(HDD)が録画可能な状態のときは、本機の録画が始まります。
- テレビのチャンネルで選局して視聴中の番組を一発録画する場合：
  - 本機のチャンネルが自動的に切り換わって録画されます。
  - 《機種群1》のテレビ ･･･ 本機で現在選ばれている録画モードで録画されます。
    《機種群2》のテレビ ･･･ 録画モードDRで録画されます。
- 本機のチャンネルで選局して視聴中の番組を一発録画する場合：
  - 視聴中の番組がそのまま録画されます。
  - 本機で現在選ばれている録画モードで録画されます。
- 一発録画中に、テレビ側の放送やチャンネルを切り換えることができます。(本機側の切り換えはできません。)

2 一発録画を停止するときは、

本 機 停止 を押す

- 確認メッセージが表示されるときは、[◀、▶]で"はい"を選び、決定 を押します。
- 《機種群2》のテレビのみ ･･･
  - テレビでデジタル放送を視聴中に一発録画中の番組が終了した場合 ･････ 自動的に本機の録画が停止します。
  - 本機でデジタル放送を視聴中に一発録画中の番組が終了した場合 ･･･････ 手動で停止操作を行ってください。
- テレビで一発録画の停止操作をする場合は、テレビの取扱説明書をごらんください。

テレビの番組表を使って、直接本機の本体(HDD)に録画予約する

テレビによって、設定や操作のしかたが異なります。くわしくは、テレビの取扱説明書をごらんください。

テレビの番組表を使って、直接本機の本体(HDD)に録画予約することができます。

- 《機種群1》のテレビ ･･･ 本機の電源が入のときだけ録画予約することができます。
  《機種群2》のテレビ ･･･ 本機の電源が切のときでも録画予約することができます。
- テレビから直接本機に録画予約する場合は、番組表のほかにテレビの「番組指定予約」や「ジャンル検索」、「時刻指定予約」から録画予約することもできます。

1 テレビ 録画予約の操作中、"予約登録"画面などで"HDMI録画"または"リンク録画"を選び、決定する

- 録画予約のしかたは、テレビの取扱説明書をごらんください。

テレビから直接本機のHDDに録画予約した内容の確認・変更について

テレビから直接本機のHDDに録画予約した内容は本機での予約となるため、予約設定後の内容の確認・変更は本機の"予約一覧"画面を表示して行ってください。(テレビの"予約一覧"画面には表示されません。)

確認・変更の操作のしかたは、p.85、86をごらんください。

- 録画モードはDRで録画されます。録画モードをDR以外に変更して予約したいときは、予約の内容(録画モード)を変更してください。
- 《機種群2》のテレビのみ ･･･
  テレビの番組表を表示すると、テレビの番組表を使って本機に録画予約した番組にマークが表示されます。本機の"予約一覧"画面や番組表を表示せずにテレビの番組表だけで予約の有無を確認することができます。

気を付けて

- 一発録画と予約が重なった場合の本機の動作について
  《機種群1》のテレビ ･･･ 通常の録画と予約が重なった場合と同様となります。
  《機種群2》のテレビ ･･･ 予約が重なった場合と同様となります。(くわしくは、p.90をごらんください。)

「ネットワーク」で動画を楽しむ

本機をブロードバンド環境に接続して、役立つ情報や映画などの映像をテレビで見ることができます。
本機では「アクトビラ」と「TSUTAYA TV」をお楽しみいただけます。
ネットワークの利用には料金はかかりません(一部有料のサービスもあります)。ただし、回線利用料やプロバイダーとの契約・使用料金は別途必要です。

前の画面に戻るときは
戻る を押す

暗証番号の入力画面が表示されたときは ••▶ p.149

ネットワークを利用するために必要な接続と設定

本機でネットワークを利用するためには、ブロードバンド環境(ADSL、FTTH、CATVなど)が必要です。

p.18のネットワークの接続と、p.32のネットワークの設定を行ってください。

- 動画配信サービスを利用する場合は、光ファイバー(FTTH)のブロードバンド環境と接続することをおすすめします。

利用するネットワークを選び、専用画面を表示する

1 本機で放送視聴中に、
ネットワーク を押して、ネットワーク画面を表示する

2 **見たいネットワークを選び、決定する**

- 「アクトビラ」のポータルサイト、または「TSUTAYA TV」のホームページが表示されます。

3 **見たい項目を選び、決定する**(画面に沿って操作してください)

- 選択したサービスの画面が表示されます。画面に従って操作してください。主に使うボタンは、[▲、▼、◀、▶]と 決定 です。
- ここからは、各サービスが提供する画面となりますので、ご不明な点などは各サービスへお問い合わせください。

ネット操作パネルを表示して操作するときは

1. ホームページ表示中に、サブメニュー を押してネット操作パネルを表示する
2. [◀、▶]で希望の操作を選び、決定 を押す

3. ネット操作パネルの表示を消すときは、サブメニュー を押す

「アクトビラ」のポータルサイト、または「TSUTAYA TV」のホームページに戻るときは
もう一度、手順1、2を行います。

4 **ネットワークを終了するときは、放送の画面に戻す**

地上 BS CS

ネットワークの閲覧制限について

本機には、ネットワークを利用するときにお子さまなどに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が付いています。お子さまなどが本機を使ってネットワークを利用になるご家庭では、ネットワークを利用する際に暗証番号を入力するように設定することをおすすめします。(設定のしかたは、p.163をごらんください。)

ちょっとメモ

- 利用するネットワークは、p.142通常メニューの"見る(再生)"－"ネットワーク"から選択することもできます。
- ネットワーク利用中に文字入力が必要となった場合は ••▶ p.115の下欄を参照

気に入ったホームページを登録して、あとで見る（お好みページ）

お好みページに登録するときは

1 ホームページを表示中に、
ネット操作パネルを表示する

サブメニュー

"お好みページ"を選び、決定する

3 **青 を押す**

4 **内容を確認し、決定 を押す**

- 表示中のホームページがお好みページに登録されます。（最大20件まで）

登録したお好みページを見るときは

1 **上記の手順1、2を行い、お好みページを表示する**

2 **表示したいタイトルを選び、決定する**

- 登録したホームページが、提供者の都合で削除されたりアドレスが変更された場合には、表示できません。

不要なお好みページを削除するときは

1 **上記の手順1、2を行い、お好みページを表示する**

削除したいタイトルを選ぶ

3 **黄 を押す**

4 **"はい"を選び、決定する**

ネットワークの動画コンテンツを本機にダウンロードする

ダウンロードするときは、ネットワークに接続した状態で行ってください。

ネットワークのページから動画コンテンツを購入し、本機の本体（HDD）にダウンロードすることができます。

- ネットワークの動画コンテンツを購入する方法については、それぞれのホームページに従ってください。
- 動画コンテンツ購入の課金方法は、ネットワークのページでご確認ください。

ネットワークから動画コンテンツを購入すると、本機の本体（HDD）の録画一覧（⬇）画面にダウンロードする番組が登録され、ダウンロードが自動的に開始されます。

録画一覧（⬇）画面の表示のしかたは、次ページをごらんください。

- ダウンロードの進捗状況は、録画一覧（⬇）画面の番組情報欄で確認することができます。
- ダウンロード後は、録画一覧（⬇）画面で番組を選択し、視聴期限やコピー回数などを確認してください。

- 本機の電源が切のときでも、ダウンロードは実行されます。（本体から動作音がしたり、冷却ファンが回ったりしますが、故障ではありません。）
- 本機の電源が切のときにダウンロードしている場合は、本体表示部に"**DL**"が表示されます。
- 次の操作中は、ダウンロードは実行されません。
  - 録画中
  - ダビング中
  - BDビデオ再生中
  - AVCHDで記録されたディスクの再生中
  - 各動画配信サービスのホームページを表示中

  また、ダウンロード中に上記の操作を開始した場合、ダウンロードを中断します。操作が終了するとダウンロードを再開します。（ダウンロードだけを手動で中断することはできません。）

ダウンロードを中断中に、すぐにダウンロードを再開したいときは

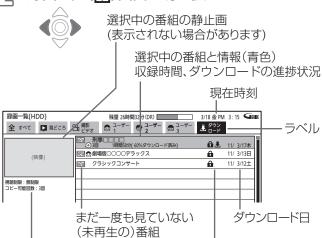
1. 録画一覧（⬇）画面を表示中に、サブメニューを押してサブメニュー画面を表示する
2. ［▲、▼］で"今すぐダウンロード"を選び、決定 を押す

各部
準備（接続）
準備（設定）
テレビ放送
メディア
録る
見る
編集消去
残す取り込む
便利機能
安全注意
仕様
困ったとき

ちょっとメモ

- **各サービス内容は、予告なく変更されることがあります。**
- 初めて利用されるときや、長期間ポータルサイトを利用しなかったときは、各サービスの案内画面が表示されます。画面の指示に従ってお使いください。（送信される情報には、郵便番号や本機の識別IDが含まれます。）
- ネットワークでは、テレビ向けのコンテンツを見ることができます。パソコン用のホームページなど、テレビ用に作られていないホームページは接続できません。
- ダウンロードに失敗したときは、内部メールでお知らせします。p.146

ダウンロードした番組を、録画一覧画面から視聴（再生）する

本体

再生するときは、ネットワークに接続した状態で行ってください。

本機にダウンロードした番組を再生するときは、本体（HDD）の録画一覧（⬇）画面から再生します。

1 本体（HDD）の録画一覧画面を表示する

本体再生/ディスク再生の選択画面が表示されるときは
“録画した番組を見る”で、そのまま 決定 を押します。

2 録画一覧（⬇）画面に切り換える

3 希望の番組を選ぶ

前ページ/次ページを表示するときは
一覧の並び順を変えたいときは
（フォルダー）の一覧を表示するときは
••▶ p.93

ダウンロードした番組の視聴期限やコピー回数などを確認するときは
確認したい番組を選ぶと表示されます。

4 再生を始める

▶再生 または 決定

- 再生が始まる位置（先頭から、続きから）については ••▶ つづき再生 p.100
- ダウンロード中の番組を追っかけ再生することもできます。
  （視聴期限のある番組を追っかけ再生すると、再生開始時点から視聴期間が開始されますので、お気を付けください。）
- 再生中に、次の操作ができます。（番組によっては、操作できない場合があります。）
  - 再生速度の変更、見たいところまでとばす（シーン検索を除く）p.101 ～ 102
  - 音声切換、字幕切換 p.104

確認メッセージが表示されるときは
［▲、▼、◀、▶］で“はい”を選び、決定 を押します。

5 再生を停止するときは

■停止

- 再生が停止します。（停止位置が記憶されます。）

ダウンロードした番組を削除するときは

ダウンロードした番組は保護設定されていますので、削除するときは番組の保護を解除してください。

1 左記の手順 1 ～ 3 を行い、削除する番組を選ぶ

2 保護を解除する

1 サブメニュー を押して、サブメニューを表示する

2 ［▲、▼］で“保護解除”を選び、決定 を押す

3 不要な番組を削除する p.112

- 1番組だけの削除と、複数の番組の一括削除ができます。

ちょっとメモ

- ダウンロードした番組が録画一覧（⬇）画面に表示されないときは
  p.160 “視聴制限設定”－“スカパー！HDとダウンロード番組の視聴可能年齢”の設定が“無制限”以外に設定されている場合は、表示されない番組があります。次の操作を行うと、表示させることができます。
  1. 録画一覧（⬇）画面を表示中に、サブメニュー を押してサブメニュー画面を表示する
  2. ［▲、▼］で“視聴制限一時解除”を選び、決定 を押す
  3. 画面に指示に従って、1 ～ 10/0 を押して p.160 で設定した暗証番号を入力する

ダウンロードした番組をBD/DVDにダビングする

本体 → BD-RE BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR)

ダビングするときは、ネットワークに接続した状態で行ってください。

ネットワークからダウンロードした番組には、ディスクにダビングできるものもあります。
本機では、通常メニュー画面または録画一覧画面からダビングの操作を行います。（らく楽ダビングはできません。）

- 残す ダビング を押してもダビングはできません。
- DVD-RW/-Rには、CPRM対応のDVD-RW(AVCREC)/-R(AVCREC)/-RW(VR)/-R(VR)にだけダビングできます。

通常メニュー画面から操作するとき

1 ダビングが可能なディスク（録画が可能で残量があるディスク）を入れる p.59

2 ダビング用の録画一覧（⬇）画面を表示する

1 本機がらく楽モード（本体前面の らく楽モード が点灯）になっているときは、通常モードに切り換える
ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消します。

2 停止中に、通常メニュー画面を表示する
メニュー らく楽

3 "残す（ダビング）"を選び、決定する
⬇
"ダウンロードコンテンツを残す"を選び、決定する

（繰り返し）

3 p.131～135の手順 2-1 ～ 4-1 を行い、ダビングを始める

- 録画一覧から番組を登録（追加）する場合は、録画一覧（⬇）画面だけから選ぶことができます。

録画一覧（⬇）画面から操作するとき

1 ダビングが可能なディスク（録画が可能で残量があるディスク）を入れる p.59

2 p.93の手順 1 ～ 3 を行い、ダビングする番組を選ぶ

2 手間なしダビングを始める

1 サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する

2 "手間なしダビング"を選び、決定する

再生
手間なしダビング
保護解除
並べ替え
今すぐダウンロード
視聴制限一時解除

- 選んだ1番組だけがダビングされます。

ちょっとメモ

- 番組によっては、ダビングできるディスクに制限がある場合や、ダビング（コピー）回数・期限などが設定されている場合があります。番組によってダビングできるディスクに制限がある場合、ダビング（コピー）できるディスクは録画一覧（⬇）画面の番組を選んだときに表示される情報で確認することができます。
- ダビングを途中で中止したり失敗などでキャンセルされたときは、再度ダビングすることができます。ただし、キャンセルされた番組をダビングせずに違う番組をダビングすると、キャンセルされた番組のダビング回数だけが減ってしまいます。

ネットワークについての補足説明

全般

- 録画予約の開始時刻になると、ネットワークは終了し、テレビ放送の画面に戻ります。
- 回線事業者やプロバイダーが採用している接続方法・契約内容によっては、ネットワークを利用できない場合があります。
- 災害やシステム障害などにより、ネットワークのサービスを表示できない場合があります。
- ネットワークを利用してホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。

接続

- お客さまの利用環境や通信環境、接続回線の混雑状況により、「アクトビラ ビデオ」「アクトビラ ビデオ･フル」をご利用の場合は映像が乱れる/途切れる、表示が遅くなる、などの症状が出たり、「アクトビラ ビデオ・フル/ダウンロード」ではダウンロード途中で通信が途切れたりする場合があります。実行速度12Mbps以上のFTTH(光)での接続をおすすめします。

再生、編集

- 視聴期限のある番組は、期限内に再生してください。期限を過ぎると、録画一覧画面から自動的に消去されます。
- 先行ダウンロード番組の場合は、視聴開始日時になるまで再生できません。
- ダウンロード中の番組を追っかけ再生する場合、ダウンロードが完了していない場面に追いつくと再生を終了します。
- 番組によっては、再生速度の変更や頭だしを禁止している場合があります。
- 最後に停止した番組がネットワークからダウンロードした番組の場合は、[再生]ボタンで直接再生を開始することはできません。録画一覧画面から再生してください。
- ダウンロードした番組のチャプター追加/削除、部分削除、分割などの編集はできません。

「アクトビラ」(acTVila)について

本機は、「アクトビラ ベーシック」「アクトビラ ビデオ」「アクトビラ ビデオ･フル」「アクトビラ ビデオ･フル/ダウンロード」のコンテンツをお楽しみいただけます。

- 「アクトビラ」の最新情報は、アクトビラ公式情報サイト http://actvila.jp/ をごらんください。(2011年4月現在)
- 「アクトビラ」の利用条件については、アクトビラ公式情報サイトでご確認のうえ、ご利用ください。

「アクトビラ」の最新情報は
アクトビラ公式情報サイト　http://actvila.jp/

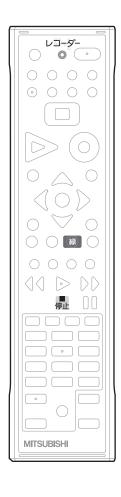
「アクトビラ」に関するお問い合わせは
アクトビラ・カスタマーセンター
メールアドレス ：info@desk.actvila.jp
WEB・携帯 ：アクトビラ公式情報サイト(http://actvila.jp/)でご確認ください。
(2011年4月現在)

TSUTAYA TVについて

視聴形式は、「レンタル(ストリーミング)」「レンタル(ダウンロード)」「セル(動画販売)」の3種類があります。

「TSUTAYA TV」に関するお問い合わせ先は
TSUTAYA TV公式情報サイトでご確認ください。
または、「TSUTAYA TV」トップページの「ヘルプ」からもご確認いただけます。

「TSUTAYA TV」の最新情報は
TSUTAYA TV公式情報サイト　http://tsutaya-tv.jp/
(2011年4月現在)

スマート再生をする DVR-B5Wのみ

録画一覧画面 p.93 で"AUTO"が付いた番組を再生中に 緑 を押して、早見再生 p.101 をしたり、見どころ再生(レベル表示なし) p.95 をすることができます。

- スマート再生ができる番組は、"AUTO"が付いている番組だけです。

スマート再生をするには

本体

録画一覧画面で"AUTO"が付いた番組を再生中に、緑 を押す

- 押すたびに、次の再生に切り換わります。
  (□は、切り換え時に画面左上に数秒間表示される動作表示です。)

  早見再生 → 見どころ再生(レベル表示なし) → 通常再生
  ▶▶◀)) 早見再生 ▶見どころ再生 ▶通常再生

- 再生中に 早送り を1回押して早見再生にしているときに 緑 を押した場合も、見どころ再生(レベル表示なし)に切り換わります。
- スマート再生で見どころ再生(レベル表示なし)をする場合は、見どころ再生のレベル表示は表示されません。
  また、再生レベルを切り換えることはできません。

スマート再生をやめるときは

緑 を1回または2回押して、通常再生に切り換えます。

スマート再生をやめて、再生も停止するときは

停止 を押します。(停止位置が記憶されます。)

各部 準備(接続) 準備(設定) テレビ放送 メディア 録る 見る 編集消去 残す取り込む 便利機能 安全注意 仕様 困ったとき

気を付けて

- 見どころ再生(レベル表示なし)は、番組の内容などによっては正しく再生されなかったり、再生部分が多少ずれたりすることがあります。このような場合は、通常再生してください。
- 二重音声放送の番組を見どころ再生(レベル表示なし)したときは、場面の変わり目の直後の部分だけ主/副音声が混ざって再生されることがあります。
- 番組の部分削除や分割をした場合、その番組のスマート再生はできなくなります。

安全のために必ずお守りください

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対に行わないでください		絶対にぬれた手で触れないでください		必ず指示に従い、行ってください
	絶対に分解・修理はしないでください		絶対に触れないでください		必ず電源プラグをコンセントから抜いてください
	絶対に水にぬらさないでください		手をはさまないよう、注意してください		

⚠警告

異常なときは

プラグを抜く

煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源を切って電源プラグを抜く!!

火災や感電の原因となります。
すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。

取扱い

使用禁止

落としたり、キャビネット(天板)を破損した場合は使わない

火災や感電の原因となります。

分解禁止

キャビネット(天板)をはずしたり、改造しない

感電や火災の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

禁止

異物を入れない(特にお子様にご注意を)

トレイ開閉口などから金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

水でぬらさない

火災や感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺などの屋外や、窓辺での使用は、特にご注意ください。

接触禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本体には触れない

感電の原因となります。

設置・接続

禁止

不安定な場所には置かない

落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

水ぬれ禁止

花びんやコップ、植木鉢などを上に置かない

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

電源・電源コード

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

禁止

電源コードを傷つけない

- 上にものをのせない
- 無理に曲げない
- 引っ張らない
- ねじらない
- 加工しない
- 加熱しない
- 束ねて使用しない

火災や感電の原因となります。
コードの修理は、販売店にご依頼ください。

禁止

タコ足配線をしない

火災の原因となります。

AC100V

電源は AC(交流)100V を使う

AC(交流)100V 以外の電源で使用すると、火災や感電の原因となります。

⚠注意

設置・接続

禁止

次のような場所には置かない

- 湿気やホコリの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 直射日光の当たる場所や、熱器具の近く
- 閉めきった自動車内など、高温になるところ

火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。

禁止

風通しの悪いところ、狭いところに置かない

- 本体後面の冷却ファンをふさがない
- 押し入れや本棚などに押し込まない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない

内部に熱がこもり、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。

禁止

本機の上に重いもの（テレビなど）を置かない
本機の上にのらない（特にお子様にご注意を）
トレイ開閉口の前にものを置かない

倒れたり落下によって、けがや故障の原因となることがあります。

持ち運び・取扱い

禁止

接続したまま移動させない

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使わない

飛び散って、けがの原因となることがあります。

手はさみ注意

ディスクトレイが開いているときに、開閉口に手を入れない（特にお子様にご注意を）

手がはさまれ、けがの原因となることがあります。

プラグを持つ

電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ってコードに傷がつくと、火災や感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

長期間の外出や旅行のときは、電源プラグをコンセントから抜いておく

火災の原因となることがあります。

日本専用

本機は日本国内専用です

海外では使用できません。（海外でのアフターサービスもできません。）

This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

火災や感電、故障の原因となることがあります。

お手入れ

プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。

ホコリを取る

電源プラグのホコリなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する

火災や感電の原因となることがあります。
1 年に 1 回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

内部掃除

5 年に一度は、内部の掃除を販売店に依頼する

火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、販売店にご相談ください。

乾電池（乾電池に表示されている注意事項もお読みください）

禁止

誤った使いかたをしない

- 新・旧の乾電池や種類の違う乾電池（マンガン、アルカリ）を混ぜ て使用しない
- プラス（＋）とマイナス（－）を逆に入れない
- 分解しない、ショートさせない、火の中に投入しない
- 充電しない、充電式の電池は使用しない

正しく使う

正しく取り扱う

- 必ずマイナス（－）側から入れる
- 使いきったら、すぐに取り出す

取扱いを誤ると、液もれや発熱、破裂により、火災やけが、周囲の汚損の原因となることがあります。

アルカリ乾電池のアルカリ水溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水でよく洗い流してください。
また、液が目に入ったときは、すぐにきれいな水でよく洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

禁止

取り出した乾電池は、幼児の手の届くところに置かない

飲み込むと、窒息死する原因となることがあります。
万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

⚠注意

3D 映像を視聴するときの注意

3D 映像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じたら、視聴を中止する
3D メガネを使用中にはっきりと二重に映像が見えたら、視聴を中止する

そのまま視聴すると、長時間の視聴による目の疲れや体調不良の原因になることがあります。
適度な休憩をとり、長時間連続して視聴しないでください。
3D 映画などの場合は、1 作品の視聴を目安に適度な休憩をとってください。
3D ゲームなどの 3D 映像の場合は、30 分～1 時間を目安に適度な休憩をとってください。
必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身で判断してください。
不快な症状が出たときは、回復するまで 3D 映像の視聴や 3D ゲームのプレイをやめ、必要に応じて医師にご相談ください。
また、回復するまで（2 時間程度）は自動車などの運転をしないでください。回復するまでの時間は個人によって異なりますので、ご自身で判断してください。

次のようなときは、3D 映像を視聴しない

- **光過敏の既往症がある**
- **心臓に疾患がある**
- **てんかんの既往症がある**
- **体調不良や疲れているとき**
- **睡眠不足**
- **酒気を帯びている**
- **妊婦**

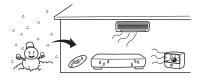
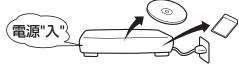
症状や体調の悪化の原因になることがあります。

お子様の視聴年齢は 5 ～ 6 歳以上を目安とする

体調不良、目の疲れの原因になることがあります。
お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。
お子様が視聴の際は、保護者の方がお子様の体調変化や目の疲れに注意し、適度な休憩を取るよう監督してください。

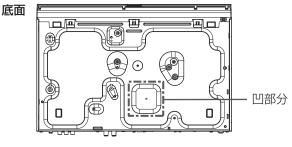
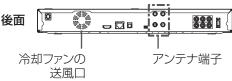
リモコン

リモコンを振り回さない

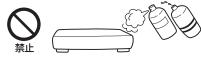
電池ボックスがはずれて、けがや故障の原因となることがあります。

露付き(結露)について

本機の内部に水滴がつくことを露付きといいます。
露付き状態で本機を使用すると、HDDやディスク、SDカードの情報が読みとれないなど、本機が正常に動作しなかったり故障の原因となることがあります。

- **露付きは、次のように温度が急に変わる場合に起こります。**
  - 部屋を急激に暖房したとき
  - エアコンなどの冷風を直接当てたとき
  - 本機を寒いところから暖かいところに移動させたとき

- **露付きが起こりそうなときは、電源を入れて2時間以上おき、充分に乾燥させてからご使用ください。**
  ディスクやSDカードが入っているときは、必ず取り出しておいてください。

- ディスクが結露しているときは、ディスクの表面の水滴をよくふき取ってからお使いください。

置き場所

- **本機内部の放熱をよくするために、本機後面の冷却用ファンと壁やテレビ台などの周辺物との間は、5cm以上空けてください。**
- **レコーダーなど2台以上の機器を上下に重ねて置かないでください。本機内部の温度が上昇し、HDDの故障などの原因となることがあります。**
- 使用時は、水平で安定した場所に置いてください。不安定な場所に置くと、ディスクがはずれるなどの原因となります。
- 他の機器に近づけすぎると、お互いの機器が悪影響を与え合って、映像や音声が乱れることがあります。
- 本機とテレビを上下に重ねて置くと、映像が乱れたり、ディスクが出ないなどの原因となります。
- 湿気やホコリの多い場所、油煙・湯気・たばこの煙などが当たりやすい場所に置くことは避けてください。
  録画/再生用レンズが汚れ、正常に録画・再生できなくなることがあります。
- ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムが床材に張り付き、床材のはがれや着色の原因となることがあります。

取扱い

- 本機は、振動や衝撃、周囲の環境(温度など)の変化に影響されやすい部品(HDDなど)を使用した精密な機器です。取扱いは慎重に行ってください。
- 本機の動作時は、本体内部の温度が上昇し、本体底面、後面のアンテナ端子などの金属部分、冷却用ファンの送風口などの温度が上昇しますので、お気を付けください。

温度が上昇しやすい箇所

本機の電源が切れている状態でも、本機内部の電源が入っている場合(番組表の番組データ受信中や、高速起動設定を「入」に設定している場合など)は、本体の温度が上昇することがあります。

- 本機を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜いたあと、本体の温度(上記箇所の温度)が十分下がってから移動させてください。
- 殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

- リモコンを水などでぬらさないでください。
  リモコン内部に水などが入ると、故障の原因となります。

本機を使わないときは

- ふだん使わないときは、ディスクやSDカードを取り出し、電源を切っておいてください。
- 長期間使わないときは、液もれを防ぐために、リモコンの乾電池を取り出しておいてください。

本体やリモコンのお手入れ

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。

- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼってから汚れをふき取り、乾いた布で仕上げぶきしてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

録画/再生用レンズ(レーザーピックアップ)について

- 録画/再生用レンズにごみ・ホコリ・たばこのヤニなどがつくと、映像の乱れや音飛びなどが発生し、正常に録画や再生ができなくなります。
  点検、清掃については「三菱電機お客さま相談センター」にご相談ください。正常にお使いいただくためには、定期的な点検をおすすめします。

アンテナの点検、交換

- アンテナは風雨にさらされ、向きがずれたり傷んだりします。映りが悪くなったときには、お買上げの販売店に点検、交換をご相談ください。

引っ越しのときは

- 製品が入っていた段ボール箱か同等品で梱包してください。ない場合は、本機に衝撃が加わらないように毛布などで包んでください。また、ディスクやSDカードは取り出しておいてください。

大切な録画(録音)の場合は

- **HDDはディスクにダビングするまでの、一時的な保管場所としてお使いください。**
- **大切な録画(録音)内容は、BD-RE/BD-R/DVD-RW/DVD-Rに保存しておくことをおすすめします。**
- 事前に録画(録音)をして、正常に録画(録音)されていることを確認しておくことをおすすめします。
- 本機に故障や異常が発生すると、HDDに録画(録音)された内容が失われることがあります。

録画(録音)内容の補償について

- **万一、何らかの不具合や停電・結露などによって、録画(録音)や編集が正常に行われなかった場合の内容の補償、データの損失、およびこれらに関するその他の直接・間接の損害については、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。**
  (例)
  - 本機で録画したディスクを、他社のBD/DVDレコーダーやパソコンのBD/DVDドライブで動作させる
  - 上記の動作を行ったディスクを、再び本機で動作させる
  - 他社のBD/DVDレコーダーやパソコンのBD/DVDドライブで録画したディスクを、本機で動作させる
  - 本機、記録媒体(HDD、メディアなど)の故障または異常による録画(録音)内容の損失
- 本機を修理した場合(HDD以外の修理を行った場合でも)、HDDの録画(録音)内容が失われることがあります。その場合の内容の補償、データの損失、およびこれらに関するその他の直接・間接の損害については、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

製造番号は、品質管理上重要なものです

- お買上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。
  この著作権保護技術の使用は、ロヴィ社の許可が必要で、また、ロヴィ社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、コピーガード（複製防止）機能を搭載しており、著作権者などによって複製を制限するコピー制御信号が記録されているソフトや放送番組を録画することはできません。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

- Manufactured under license under U.S. Patent Nos: 5,956,674; 5,974,380; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending.
  DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks & DTS Digital Surround and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
  Gガイドは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
  米国Rovi Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interface用語およびHDMIロゴは、米国およびその他国々において、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- "AVCHD"および"AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- i.LINKとi.LINKロゴ" "は、商標です。
- マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は（株）アクトビラの商標です。
- 「TSUTAYA TV」「 」は、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社の登録商標です。
- 『「スカパー！HD録画」ロゴ』は、スカパーJSAT株式会社の商標です。
- "Blu-ray Disc™（ブルーレイディスク™）" "Blu-ray™（ブルーレイ™）" "Blu-ray 3D™（ブルーレイ3D™）" "BD-LIVE™" "BDXL™" "AVCREC™"およびロゴは、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio LicenseおよびVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的においていかに記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - AVC規格に準拠する動画を記録する場合
  - 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合
  - ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合
    詳細については米国法人MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- この製品はVerance Corporation（ベランス・コーポレーション）のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。Cinaviaは Verance Corporationの商標です。Copyright 2004-2010 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。
- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

仕様・付属品

主な仕様

一般

電源	AC 100 V 50/60 Hz	
【DVR-BZ450】		
消費電力	**34 W**	（動作時）
待機時消費電力	**1.4 W ＊**	（本体表示部「点灯」、高速起動「切」、地上デジタルアッテネーター「オフ」、BS・110度CSアンテナ電源/アンテナ出力「オン」時）
（＊は工場出荷時の設定のとき）	**11.7 W**	（本体表示部「点灯」、高速起動「入」、地上デジタルアッテネーター「オフ」、BS・110度CSアンテナ電源/アンテナ出力「オン」時）
	26.0 W	（本体表示部「点灯」、高速起動「入」、瞬間電源オン状態、地上デジタルアッテネーター「オフ」、BS・110度CSアンテナ電源/アンテナ出力「オン」時）
	0.2 W	（本体表示部「消灯」、高速起動「切」、地上デジタルアッテネーター「オン」、BS・110度CSアンテナ電源/アンテナ出力「オフ」時）
【DVR-BZ350】		
消費電力	**33 W**	（動作時）
待機時消費電力	**1.4 W ＊**	（本体表示部「点灯」、高速起動「切」、地上デジタルアッテネーター「オフ」、BS・110度CSアンテナ電源/アンテナ出力「オン」時）
（＊は工場出荷時の設定のとき）	**11.7 W**	（本体表示部「点灯」、高速起動「入」、地上デジタルアッテネーター「オフ」、BS・110度CSアンテナ電源/アンテナ出力「オン」時）
	25.3 W	（本体表示部「点灯」、高速起動「入」、瞬間電源オン状態、地上デジタルアッテネーター「オフ」、BS・110度CSアンテナ電源/アンテナ出力「オン」時）
	0.2 W	（本体表示部「消灯」、高速起動「切」、地上デジタルアッテネーター「オン」、BS・110度CSアンテナ電源/アンテナ出力「オフ」時）
【DVR-BZ250 / DVR-B5W】		
消費電力	**33 W**	（動作時）
待機時消費電力	**1.4 W ＊**	（本体表示部「点灯」、高速起動「切」、地上デジタルアッテネーター「オフ」、BS・110度CSアンテナ電源/アンテナ出力「オン」時）
（＊は工場出荷時の設定のとき）	**11.7 W**	（本体表示部「点灯」、高速起動「入」、地上デジタルアッテネーター「オフ」、BS・110度CSアンテナ電源/アンテナ出力「オン」時）
	25.0 W	（本体表示部「点灯」、高速起動「入」、瞬間電源オン状態、地上デジタルアッテネーター「オフ」、BS・110度CSアンテナ電源/アンテナ出力「オン」時）
	0.2 W	（本体表示部「消灯」、高速起動「切」、地上デジタルアッテネーター「オン」、BS・110度CSアンテナ電源/アンテナ出力「オフ」時）
許容動作温度	5～40 ℃	
許容湿度	80%最大（結露なきこと）	
時刻表示形式	12時間デジタル表示、クォーツ制御	
外形寸法	431（幅）× 56（高さ）× 282（奥行）mm （突起部含まず）	
質量	【DVR-BZ450】3.8 kg 【DVR-BZ350】3.8 kg 【DVR-BZ250 / DVR-B5W】3.5 kg	

HDD/BD部

録画方式（BD）	Blu-ray Disc Rewritable Format準拠、Blu-ray Disc Recordable Format準拠
録画方式（DVD）	DVDビデオレコーディング規格準拠、DVDビデオ規格準拠、AVCREC規格準拠
録画圧縮方式	MPEG-2、MPEG-4 AVC/H.264
録音圧縮方式	ドルビーデジタル、リニアPCM（非圧縮）、MPEG-2 AAC
内蔵HDD容量	【DVR-BZ450】2 TB 【DVR-BZ350】1 TB 【DVR-BZ250 / DVR-B5W】500 GB
録画可能ディスク	「本機で使えるメディア（ディスク・カード）について」を参照
録画時間	「録画モードとおよその録画時間（目安）について」を参照
再生可能ディスク	「本機で使えるメディア（ディスク・カード）について」を参照
リージョンコード	BD：Region A DVD：#2

チューナー部

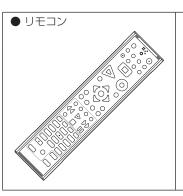
信号方式	NTSC方式	
受信チャンネル	地上デジタル	：000～999チャンネル
	BSデジタル	：000～999チャンネル
	110度CSデジタル	：000～999チャンネル

端子部

映像入力、映像出力	ピンジャック 1.0 V(p-p) 75 Ω
D1/D2/D3/D4映像出力	D端子 Y：1.0 V(p-p) 75 Ω C_B/P_B、C_R/P_R：0.7 V(p-p) 75 Ω
HDMI出力	HDMI端子 19 ピン Type A
音声入力	ピンジャック 2 V(rms) 47 kΩ不平衡
音声出力	ピンジャック 2 V(rms) 1.0 kΩ不平衡
デジタル音声出力	光コネクター 角型光ジャック
SDカードスロット	SDカード、SDHCカード対応 （miniSDカード、microSDカードは、専用のアダプター装着で使用可能）
USB	ハイスピードUSB（USB2.0 準拠） Type A DC 5 V 最大 500 mA
LAN	10 BASE-T/100 BASE-TX
i.LINK TS入力	MPEG2-TS、S400対応
地上デジタル入出力	75 Ω
BS・110度CS入出力	75 Ω

仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

- デジタル放送を放送そのままの画質で録画する場合の基準について
  - 地上デジタル（HD放送）：17 Mbps • BSデジタル（HD放送）：24 Mbps • BSデジタル（SD放送）：12 Mbps
- デジタル放送のデータを圧縮変換して録画する場合の圧縮方法について
  - MPEG-4 AVC/H.264 エンコード

付属品

● リモコン	● マンガン単４乾電池（R03）２本	● B-CASカード（台紙に貼り付けてあります）	● アンテナケーブル

最大録画可能数/登録数について

上限を超える場合は、メッセージが表示されます。
最大録画可能数/登録数は、ディスクの傷や汚れ、停電などにより、下記の数値より少なくなることがあります。

本体（HDD）

- 番組数　2000
- 1番組あたりのチャプター数　997

BD-RE/-R

- 番組数　200
- 1番組あたりのチャプター数　100
- ディスク全体のチャプター数　999

DVD-RW（VR）/-R（VR）

- 番組数　99
- ディスク全体のチャプター数　999

DVD-RW（AVC）/-R（AVC）

- 番組数　200
- 1番組あたりのチャプター数　100
- ディスク全体のチャプター数　999

DVD-RW（Video）/-R（Video）

- 番組数　99
- 1番組あたりのチャプター数　99

その他

- 録画予約数（ユーザー予約＋おすすめ自動録画）　80
  - おすすめ自動録画の予約数　40
- ダビング一覧の番組登録数　18
- 1番組あたりの連続録画可能時間　8時間
- 番組名やディスク名の文字入力数、一覧などで表示可能な文字数　p.114
- シーン検索の表示画面数　99

保証とアフターサービス

よくある質問
メッセージ
故障かな?
用語説明
さくいん
アフターサービス
困ったとき

保証書(別添付)

保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間は、お買上げ日から1年間です

補修用性能部品の保有期間

当社は、ブルーレイディスクレコーダーの補修用性能部品を、製造打切り後8年間保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買上げの販売店または「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に、p.192「故障かな?と思ったときは」の手順に従って、お調べください。
それでも不具合があるときは、電源を切ったあと、必ず電源プラグを抜いて、お買上げの販売店または「三菱電機 ご相談窓口」にご連絡ください。
修理を依頼されるときは、次ページの「修理カルテ」をコピーしてご記入のうえ、製品に添付していただくようお願いいたします。

- **保証期間中は**
  製品と修理カルテ、保証書をご持参のうえ、お買上げの販売店または「三菱電機 修理窓口」にご依頼ください。
  (本機の内部に異物を入れて故障したときや、接続と基本設定などに関しては、保証期間中でも有料修理になります。)
- **保証期間が過ぎているときは**
  修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
  料金などについては、お買上げの販売店または「三菱電機 修理窓口」にご相談ください。
  (HDDの交換などは有償となります。)
- **修理料金は**
  技術料・部品代などで構成されています。
- 接続をはずしたアンテナ線やコードには、あとで簡単に接続できるように、接続する端子の名前を書いた紙などを貼り付けておくことをおすすめします。
- 放送方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。
  また、海外でのアフターサービスもできません。
  This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

ご相談窓口・修理窓口のご案内(家電品)

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品など)は、**各窓口** へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

いつもサンキュー 365日
フリーコール **0120-139-365** (無料)

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
三菱電機お客さま相談センター 〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3 FAX (03) 3413-4049 (有料)	(03) 3414-9655 (有料)

■ご相談対応 平 日 9:00～19:00
土・日・祝・弊社休日 9:00～17:00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

修理窓口 家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル
0120-56-8634 (無料)

インターネット
www.melsc.co.jp

携帯電話サイト
空メールの送り先:**fc8634@melsc.jp**
またはバーコードからアクセス。
URLをメール返信します。
携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX (03) 3424-1115 (有料)	(03) 3424-1111 (有料)
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX (06) 6454-3900 (有料)	(06) 6454-3901 (有料)

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

K11A

※ コピーしてお使いください。

修理カルテ（症状記入シート）

ご記入日：＿＿＿＿年＿＿月＿＿日

万一、修理をお申し付けの際には円滑な対応をさせていただくため、次の内容をご記入のうえ、製品に添付いただきますよう、お願い申し上げます。

【お客さま個人情報】

お客さまの個人情報は当社の責任で管理し、当社サービスの実施および関連業務以外には使用いたしません。また、お客さまの承諾なしに公表することはありません。

お客さま名：	電話番号：　　　　　（　　　　　）

【ご確認事項】

機種名：	製造番号：
添付品：☐ リモコン　☐ ディスク　☐ SDカード　☐ その他（　　　）	
修理代金の見積り（有料修理の場合のみ）：☐ 不要　☐ ＿＿万円以上なら必要　☐ 必要	
HDDの初期化（HDD搭載機種のみ）：修理過程でやむを得ず記録内容が失われたり、HDDの初期化が必要な場合があります。 ☐ 同意する ☐ 同意しない（初期化しないと修理できない場合があります）	ご署名：　　　　㊞

【不具合症状について】

発生区分：☐ HDD　☐ ディスク　☐ SDカード　☐ その他（　　　）

発生頻度：☐ 常時　☐ ときどき　☐ その他（　　　）

症状（できるだけくわしく）：例. HDDからDVD-RWへ高速ダビング中に途中で止まってしまう

ディスクの種類（BD/DVD/CD関連時のみ）

☐ BD市販ソフト ☐ DVD市販ソフト ☐ CD市販ソフト	☐ 特定タイトルのみ発生　☐ 複数のタイトルで発生 タイトル名：＿＿＿＿ タイトルNo.：＿＿　チャプターNo.：＿＿　タイム：＿＿時間＿＿分＿＿秒
☐ BD-RE ☐ BD-R ☐ DVD-RW ☐ DVD-R	☐ 本機で記録　☐ 他機で記録（メーカー名：＿＿＿　機種名：＿＿＿） ディスクメーカー名：＿＿＿＿　　） タイトルNo.：＿＿　チャプターNo.：＿＿　タイム：＿＿時間＿＿分＿＿秒
☐ その他	（　　　　　）

接続している機器

①テレビ： メーカー名：＿＿＿　機種名：＿＿＿ 接続方法：☐ HDMIケーブル　☐ D端子ケーブル ☐ 映像コード　☐ 音声コード ☐ その他（　　　）	②その他：☐ デジタルビデオカメラ　☐ ビデオ/ビデオカメラ ☐ アンプ　☐ 他（　　　） メーカー名：＿＿＿　機種名：＿＿＿ 接続方法：☐ 映像コード　☐ 音声コード ☐ 光デジタルケーブル　☐ USBケーブル ☐ その他（　　　）

よくあるご質問

★ 質 問 ★	★ 回 答 ★	参照ページ
★準備★		
ヘッドホンやスピーカーを直接つなげますか?	● 本機には直接つなぐことはできません。アンプなどを通して接続してください。	–
プログレッシブ映像を楽しむには、どんなテレビが必要ですか?	● HDMI端子付きのテレビとHDMIケーブルでつなぐか、D2〜D5入力端子付きのテレビとD映像ケーブルでつないでください。	14
★メディア★		
本機で使えるディスクは? 本機で録画や再生が可能なディスクは?	●「本機で使えるメディア(ディスク·カード)について」をごらんください。	54
高速記録対応ディスクって何?	● 通常よりも短時間でダビングできるディスクのことです。 高速で録画ができるのは、高速ダビングのときだけです。	125
DVDの録画方式(VR方式、AVCREC方式、Video方式)って何?	● DVD-RW/DVD-Rに録画するときに選べる録画方式のことです。	60
AVCREC方式、VR方式、Video方式の違いは? どのように使い分ければよいでしょうか?	●「DVD-RW/DVD-Rの録画方式(VR、AVCREC、Video)について」をごらんください。	60
1枚のディスクにAVCREC方式、VR方式、Video方式を混在させて録画できますか?	● できません。ディスクごとに録画方式を選択する必要があります。	–
市販のビデオソフトの2層ディスクの再生はできますか?	● 再生できます。	–
+RW/+Rの録画・再生はできますか?	● 本機では対応していません。	55
DVDオーディオ、CD-ROM、ビデオCDは再生できますか?	● できません。	–
パソコンで作ったDVD・音楽用CDは再生できますか?	● 本機では対応していません。	58
MP3形式で記録されたディスクは再生できますか?	● できません。	58
★番組表★		
番組表を使った予約には、どのような特徴がありますか?	● 番組表から簡単に録画予約をしたり、番組の詳細情報を知ることができます。また、ジャンルやキーワードなどから関連番組を探したりすることができます。 ● 自動追跡録画に対応しています。 ● 録画後に、見どころ再生をすることができます。 ● 録画一覧画面に番組名が自動的に入ります。	74、76 83 94 –
番組表は、何日分まで表示できますか?	● 最大8日分まで表示できます。	48
番組表の利用料金はかかりますか?	● 利用料金はかかりません。	–
番組表は日本全国で利用できますか?	● 番組データの内容は地域ごとに異なるため、利用するためにはそれぞれの地域で番組データを取得する必要があります。	39
番組表をケーブルテレビ(CATV)で利用できますか?	● できる場合とできない場合があります。くわしくはご利用のケーブルテレビ(CATV)会社にご相談ください。	48

★ 質 問 ★	★ 回 答 ★	参照ページ
★録画★		
二カ国語放送の主音声と副音声の両方を録画するには？	●「二カ国語(二重音声)、マルチ番組の映像･音声、サラウンド音声、字幕の録画について」をごらんください。	64
字幕の録画はできますか？	●「二カ国語(二重音声)、マルチ番組の映像･音声、サラウンド音声、字幕の録画について」をごらんください。	64
録画できるメディアは？	● 本体(HDD)にだけ直接録画できます。 BD-RE/Rには、録画予約で録画できます。 DVD-RW/-Rには、本体(HDD)からダビングだけすることができます。	54、71
デジタル放送をハイビジョン画質(HD放送)で録画できますか？	● 本体(HDD)、BD-RE/R、DVD-RW(AVCREC)/-R(AVCREC)に、録画モードをDR・AF～AEにして録画・ダビングした場合のみ、ハイビジョン画質で録画できます。	62
デジタル放送のラジオ放送やデータ放送は録画できますか？	● 本機では録画できません。	46、51
2番組同時録画はできますか？	● 本機の動作状態によって変わります。 「2番組を同時に録画するときは(2番組同時録画)」や「同時操作について」をごらんください。	66、68～70
「ダビング10」(コピー 9回＋ムーブ1回)番組の録画はできますか？	● できます。 「1回だけ録画可能」番組と「ダビング10」(コピー 9回＋ムーブ1回)番組のどちらになるかは、放送によって異なります。	71
★予約★		
予約が重なった場合は、どちらが優先されるのですか?	●「同時操作について」や「予約が重なったときは」をごらんください。 ● 本機の予約とi.LINK(TS)入力からの予約が重なったときは、録画開始時刻が早い方の予約が優先的に録画されます。	68～70、90 91
電源を入れたまま予約時間になった場合は？	● 電源の入/切にかかわらず、予約録画は始まります。	61
★再生★		
海外で買ったBDソフトは再生できますか？	● リージョンコードに「A」を含んでいれば再生できます。	56
海外で買ったDVDソフトは再生できますか？	● リージョンコードに「2」または「ALL」を含んでいれば再生できます。 ただし、NTSC方式以外(PAL、SECAMなど)で記録されている場合は再生できません。	56
本機で録画やダビングしたディスクを、他の機器で再生するにはどうすればよいでしょうか？	● ファイナライズをすると、対応している機器(DVDプレーヤーなど)で再生できます。 記録状態によっては再生できないことがあります。	119
3D対応ビデオソフトを3D映像で再生できますか？	● 3D対応テレビとHDMIケーブルで接続すると、市販の3D対応ソフトの3D映像を再生することができます。	99
★編集・ダビング★		
どんな編集ができますか。	● メディアによって、編集できる機能が異なります。 「本機でできる編集について」をごらんください。	110
ファイナライズ解除をすると何ができるようになるのでしょうか？	● すでに録画した内容を消さずに、追加で録画や消去・編集ができるようになります。(本機でファイナライズしたDVD-RW(VR)のみ可能です。)	119
市販やレンタルのソフトからダビングできますか？	● 著作権保護のためにコピーガードが入っているものは、ダビングできません。	123
本機でダビング中に録画や再生はできますか？	●「同時操作について」や「予約が重なったときは」をごらんください。	70

●●▶ 次ページへつづく

よくある質問
メッセージ
故障かな？
用語説明
さくいん
アフターサービス

★ 質 問 ★	★ 回 答 ★	参照ページ
★i.LINK(TS)★		
本機のi.LINK(TS)端子にデジタルビデオカメラやD-VHSビデオなどをつなげますか？	● 本機のi.LINK(TS)端子に接続できる機器は、ケーブルテレビのi.LINK(TS)対応のセットトップボックス1台だけです。 デジタルビデオカメラなどのi.LINK(DV)対応機器やD-VHSビデオなどのi.LINK対応機器は、接続しても動作しません。	17
★スカパー！ＨＤ★		
「スカパー！ＨＤ録画」はできますか？	● 本機とスカパー！ＨＤ対応チューナーをLAN接続すれば、「スカパー！ＨＤ録画」が可能です。（操作はチューナー側で行います。）	20、89、201
★ネットワーク★		
無線LANでもネットワークは利用できますか？	● 「アクトビラ ビデオ」「アクトビラ ビデオ·フル」をご利用の場合は、設置環境や設定内容により、表示が遅くなったり映像が途切れることがあります。「アクトビラビデオ·フル/ダウンロード」ではダウンロード途中で通信が途切れたりする場合があります。LANケーブルでの接続をおすすめします。	－
ネットワークの利用に料金はかかりますか？	● ネットワークの利用には料金はかかりません。ただし、一部有料のサービスもあります。 また、回線利用料やプロバイダーとの契約・使用料金は別途必要です。	－
ネットワークで一般のホームページを見ることができますか？	● 見ることはできません。	－
ネットワークでメールは使えますか？	● インターネットのEメール（電子メール）は、本機では使えません。	－
★その他★		
AV(ビデオ)マウスやＩrシステムで本機を操作できますか？	● 機種によっては、本機を操作できないことがあります。	87
チューナーは入っていますか？	● デジタル（地上/BS/110度CS）放送用のチューナー 2台搭載しています。 ● 地上アナログ放送用、BSアナログ放送用のチューナーは搭載していません。	－ －
日本全国どこでも使えますか？ 海外でも使えますか?	● 本機は日本国内専用で、東日本、西日本に関係なく使えます。 海外では使用できません。	177
ビデオとの違いは？	● 本体（HDD）に録画すれば長時間番組も録画できます。 ● 本体（HDD）やディスクに録画する場合は、テープのように上書き録画されるのではなく、未記録部分に録画されます。不要になったら、削除することも可能です。 ● 見たいところまでとばすのに時間がかかりません。（テープのように早送り/巻戻しをする必要はありません。） ● パソコンのように、電源を入れてから使用可能になるまでしばらく時間がかかります。	－ － － －

困ったとき

こんなメッセージが表示されたときは

◆表示されるメッセージ(例)◆	◆メッセージの意味と対応のしかた◆	参照ページ

◆操作全般◆

◆表示されるメッセージ(例)◆	◆メッセージの意味と対応のしかた◆	参照ページ
B-CASカードを正しく挿入してください。	● B-CASカードが挿入されていません。 → B-CASカードを正しく挿入してください。B-CASカードの抜き差しは必ず主電源を切って行ってください。	15
地上デジタルのチャンネルは設定されていません。地上デジタルのチャンネル設定を行なってください。	● チャンネル設定が必要です。 → 地上デジタル放送のチャンネル設定を行ってください。	30
受信できません。 アンテナの設定や調整を確認してください。(E202)	● 受信レベルが低くて受信できません。アンテナの接続や向きを確認してください。	–
⃠ ここではこの操作はできません。	● 現在、その操作を行うことは禁止されています。	10
まもなく予約録画を開始します。 現在の操作を完了させないと予約録画ができません。現在の操作を中断しますか?	● まもなく予約の録画が始まりますが、現在予約を実行できる状態ではありません。 → 予約を実行する場合は、録画できるように準備をしてください。	–
まもなく予約録画を開始します。録画の準備をしてください。	● BD-RE/BD-Rへの録画の場合、ディスクが入っていますか。	–
まもなく予約録画を開始します。この操作はできません。	● まもなく予約の録画が始まるため、その操作を行うことはできません。	–
録画中はこの操作はできません。	● 現在録画中のため、その操作を行うことは禁止されています。	–
しばらくお待ちください。	● 停電復帰時など、システムの設定中です。設定が終わるまで操作ができませんので、しばらくお待ちください。	–
BS・110度CS-IF入力に接続されたアンテナ線がショートしているか、接続・設定に不具合があります。 映像が映っていない場合は、今すぐ本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してください。 映像が映っている場合、またはアンテナを接続していない場合は、決定ボタンを押してください。(E209) 衛星アンテナへの電源をオフします。	● 映像が映っていない場合は、アンテナ線の芯線と編組線が接触していないか、受信設定でアンテナ電源の設定が間違っていないかを確認してください。 映像が映っている場合は、アンテナ電源の設定をお使いの環境に合わせて切り換えます。	12、29

◆ディスク・カード挿入◆

◆表示されるメッセージ(例)◆	◆メッセージの意味と対応のしかた◆	参照ページ
初期化されていないディスクが挿入されました。	● 新品または未使用のBD-RE/-RまたはDVD-RW/-Rが挿入されています。 → ディスクの初期化を行うか、ディスクを取り出してください。	59、60
未対応のディスクかキズや汚れのため読み込めません。ディスクを取り出して確認してください。	● 本機で対応できないディスクが挿入されたか、傷や汚れのあるディスクが挿入されています。 → [決定]ボタンを押して通常画面に戻したあと、ディスクを取り出して傷や汚れなどがないか確認してください。	–
リージョンコードエラー。再生できません。	● 本機で再生できないリージョンコードのディスクが挿入されています。 → ディスクを取り出してください。	56
SDカードに異常が発生しました。	● SDカードのデータを正しく読み込み/書き込みできませんでした。 → [決定]ボタンを押して通常画面に戻したあと、SDカードを取り出してもう一度正しく入れ直してください。	105
未対応のSDカードかキズや汚れのため読み込めません。SDカードを取り出して確認してください。	● 本機で対応できないSDカードが挿入されたか、傷や汚れのあるSDカードが挿入されています。 → [決定]ボタンを押して通常画面に戻したあと、SDカードを取り出して傷や汚れなどがないか確認してください。	105
USB機器接続に異常が発生しました。USB機器を外してください。	● USB機器からJPEG再生中または映像取り込み(ダビング)中に、USB機器接続に異常が発生し、本機の操作ができなくなっています。 → USBケーブルの接続をはずしてください。メッセージが消え、本機が操作できるようになります。	105、107、136

●●▶ 次ページへつづく

◆表示されるメッセージ（例）◆	◆メッセージの意味と対応のしかた◆	参照ページ
◆番組表◆		
番組がありません。	● 番組表を表示するための情報がありません。（お買上げ時は、番組データを取得するまでは表示されません。）	38、48
◆録画◆		
ディスクの汚れなどのため、録画を停止しました。	● 本体（HDD）やディスクの傷や汚れのため録画が停止しました。	58
この番組は録画が禁止されています。 停止する場合は確認の後、停止ボタンを押してください。	●「録画禁止」番組を録画しようとしています。 ●「1回だけ録画可能」番組や「ダビング10」（コピー 9回＋ムーブ1回）番組を、録画できないディスクに録画しようとしています。	71 71
残量不足のため、録画を中断しました。	● 本体（HDD）やディスクの残量がなくなったため、録画を中断しました。	–
8時間を超えたため、録画を停止しました。	● 連続録画時間が8時間になったため、録画を停止しました。 1番組あたりの連続録画可能時間は最大8時間です。	62
◆予約◆		
予約が重なっています。	● 予約日時が重なっています。 →［決定］ボタンを押してメッセージを消したあと、日時を変更してください。	86、90
残量が不足しています。	● ディスクの残量が不足しています。 →［決定］ボタンを押してメッセージを消したあと、録画するメディアの残量を確認してください。	10
予約の設定内容が不足しています。	● 時刻指定予約で未設定の項目や設定が間違っている項目があります。 →［決定］ボタンを押してメッセージを消したあと、必要な項目を変更してください。	78
予約日時が間違っています。	● 録画予約の開始時刻と終了時刻が同じ時刻になっています。	–
現在録画中です。この予約はできません。	● 録画中に、予約完了後すぐに録画が始まる予約をしようとしています。	–
予約数がいっぱいなので予約登録できません。	● ユーザー予約数がいっぱいのため、それ以上予約できません。 → 不要な予約を削除してください。	86
◆再生◆		
ディスクの汚れなどのため、再生を停止しました。	● 本体（HDD）やディスクの傷や汚れのため再生が停止しました。	58
再生できるファイルがありません。	● JPEGのデータを正しく読み込み/書き込みできませんでした。 ● 再生できるJPEGファイルがありません。	107 107
再生できませんでした。	● JPEGのデータを正しく再生できませんでした。	107

◆表示されるメッセージ（例）◆	◆メッセージの意味と対応のしかた◆	参照ページ

◆消去・編集・ダビング◆

正常終了しませんでした。 ディスクに問題がある可能性があります。	● ディスクの傷や汚れなどによって、正常に初期化やファイナライズができませんでした。 → [決定]ボタンを押して通常画面に戻したあと、ディスクを取り出して傷や汚れなどがないか確認してください。 ● 何も録画されていないディスクをファイナライズすることはできません。	58 –
これ以上選択できません。	● 複数番組を一度に削除できる番組数がいっぱいになっています。 複数番組を一度に削除できる番組数は、最大20番組です。	112
この位置に設定できません。	● 番組の部分削除で、開始点と終了点の間隔が短すぎます。 チャプターがあるところや、そのすぐ近くには設定できません	116
この番組はダビングできません。	● ダビングができない番組をダビングしようとしています。	–
この番組はCPRM非対応のディスクにダビングできません。	● コピー制限のある番組は、CPRM対応でないディスクにダビングできません。	–
これ以上、番組を追加できません。	● ダビング一覧の登録番組数がいっぱいになっています。 ダビング一覧に登録できる番組数は最大18です。	131
ダビング先の空き容量が足りません。 ダビング先の残量が不足しているため、ダビングできません。	● ダビングの総容量がダビング先の空き容量(残量)を超えています。 → ダビングする番組数を減らす、録画モードを変える、などにより容量を減らすことができます。	–
このタイトルは手間なしダビングできません。 ダビングメニューからダビングして下さい。	● 手間なしダビングができない番組です。 → [決定]ボタンを押してメッセージを消したあと、らく楽ダビングまたはダビング一覧からダビングしてください。	126、128、130
ディスクフルのため、ダビングを中止しました。	● ディスクの残量が無くなったため、ダビングを中止しました。	–
ダビングができませんでした。	● ダビング先のディスクの傷や汚れ、容量不足などによって、ダビングができませんでした。	–
録画中はダビングできません。	● 録画中は手間なしダビングができません。	–

◆メール◆

✉ （らく楽メニュー、通常メニュー）	● 新着の内部メールまたは放送メールがあります。 → メールの内容を確認してください。	146、147

◆本体表示部◆

⬇D	● 番組表(Gガイド)の番組データを受信中ですので、受信が完了するまで本機の電源を入れないでください。 ● ダウンロード更新(オンエアーダウンロード)中ですので、更新が完了するまで本機の電源を入れないでください。 ● 瞬間電源オン状態で本機がすぐに起動できるよう待機状態になっています。 ● 録画モード変換予定番組の自動変換中です。 ● これら以外にも、情報整理をするために表示されることがあります。 ● “⬇D”の表示中は、冷却用ファンが回るなど動作音が大きくなりますが、故障ではありません。	9、48 9、43 9、152 9、62、66、68～70 – –
R-1 R-2	● 本体とリモコンのリモコンモードが異なっています。 • 本体が〈リモコン1〉でリモコンが〈リモコン2〉のとき … “R−1” • 本体が〈リモコン2〉でリモコンが〈リモコン1〉のとき … “R−2”	9、36
WAIT	● システム設定中です。本機の操作はできません。表示が消えると、本機の操作ができるようになります。	9、21

故障かな？と思ったときは

よくある質問
メッセージ
故障かな？
用語説明
さくいん
アフターサービス

あれ？おかしいな？と思ったときは、修理を依頼される前に以下の手順でお調べください。

アンテナ、テレビ、AVアンプなど、接続している機器の取扱説明書もよくお読みください。

おかしいな？と思ったときの調べかた

1 次ページからの「こんなときは、ここをお調べください」をごらんになり、現在の症状と対応のしかたをお調べください。

それでも直らないときは

2 **安全装置がはたらいている可能性があります。次の操作を行ってください。**

ディスクやSDカードが取り出せる場合は、先に取り出しておいてください。

1. 本機の電源を切ることができる場合は、本体前面（上面）の［電源］ボタンを押して本機の電源を切る
2. 本機の電源プラグを電源コンセントから抜いて、数秒間待つ
3. 本機の電源プラグを電源コンセントに差し込む（本機が通電状態になります。）
4. 電源を入れて、動作を確認する

まだ不具合があるときは

3 **本機の使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げの販売店または「三菱電機お客さま相談センター」にご相談ください。**

取扱説明書を読んでもどうしても使いかたがわからないときや、故障かな？と思ったときは

まずは、下記の「三菱電機 ご相談窓口」にお問い合わせください。

三菱電機お客さま相談センター p.184

それでも取扱いや据付・設置・接続・基本設定の方法がわからない場合や、故障かどうか判断がつかない場合は、お買上げの販売店へご相談いただくか、「三菱電機 修理窓口」にてご自宅へ訪問する出張サポート（有料）の受付を行っております。

出張サポート（有料）のご案内

出張サポートは、p.184の「三菱電機　修理窓口」または「三菱電機　ご相談窓口」のフリーコールの音声ガイダンス「修理のご依頼 [＊] [2] 」で受付けております。
料金についてはお見積りいたしますので、上記の窓口で受付時にご相談ください。

- 保証期間中の製品故障の場合は、保証書の規定に従って無償で修理させていただきます。

困ったとき

こんなときは、ここをお調べください

● こんなときは（症状）●	● ここをお調べください（原因と対応のしかた）●	参照ページ
●電源●		
電源が入らない。	● 電源コードのプラグが電源コンセントや本体から抜けていませんか。 ● リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ● 安全装置がはたらいている可能性があります。 →「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順 2 以降を行ってください。	21 23 192
何も操作をしていないのに、勝手に電源が入る。	● 録画予約の開始時刻約5分前になると、自動的に電源が入ります。	61
電源を入れると、“らくらく設定”画面が表示される。	● らくらく設定をしていないときは、電源を入れると“らくらく設定”画面が表示されます。	24
テレビの電源を入/切すると、本機の電源も自動的に入/切する。	● 当社製REALINK(リアリンク)対応テレビと組み合わせてREALINK機能のテレビ電源オン連動機能やテレビ電源オフ連動機能を使っているときは、テレビの電源の入/切に連動して本機の電源が自動的に入/切します。	166
勝手に電源が切れる。	● ディスクの異常を検知した場合は、自動的に電源が切れることがあります。 ● “無操作節電”が“入”になっていませんか。 ● “予約連動オフ設定”の設定によって、録画予約の録画が終了すると本機の電源が切れることがあります。 ● 安全装置がはたらいている可能性があります。 →「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順 2 以降を行ってください。	– 152 61、156 192
電源を切っても、電源がしばらく切れなかったり、切れるまで時間がかかる。	● システムの終了や情報の更新を行うため、実際に電源が切れるまで、しばらく時間がかかることがあります。	–
電源を切ったあと、2時間ほど冷却用ファンが回ったままになる。	● デジタル放送の有料放送と契約した場合、しばらくの期間は放送局側からの制御により本機の内部の制御部が通電状態となり、ファンが回転し続けることがあります。	–
●リモコン●		
リモコンがはたらかない。 リモコンで操作できない。	● 本機の起動中(本体前面の[らく楽モード]ボタンのインジケーターが点滅中、または画面に“起動中”と表示中)は、操作できません。 ● 操作が禁止されているときは、“⊘”またはメッセージが表示されます。 ● 乾電池の(+)(−)が逆に入っていませんか。 ● 乾電池が消耗していませんか。 ● 本体とリモコンのリモコンモードが合っていますか。 ● 本機のリモコンにはレコーダー操作面とテレビ操作面の両面があり、ボタンを押す面を上にしたほうだけが操作できます。 リモコンで操作したい方の面を上にして操作してください。 リモコンのボタンを押すと、リモコン上部のインジケーターが点灯します。インジケーターが点灯しない場合は、リモコンから信号が送信されていませんので、操作面(ボタンを押す面)を上にして、もう一度操作してください。 本機(レコーダー)の操作をするときは、リモコンからの信号を本体が受け取ると、本体から報知音が鳴ります。(鳴る設定にしているときのみ)	8、10 10 23 23 36 7
リモコンを操作すると、当社レコーダー2台が同時に動く。	● 本体とリモコンのリモコンモードが合っていますか。	36
テレビの操作ができない。 本機の操作はできるのに、テレビの操作ができない。	● テレビメーカーの設定をしていますか。 ● 乾電池が消耗していませんか。乾電池が消耗していると、テレビの操作だけができないことがあります。 ● 本機のリモコンにはレコーダー操作面とテレビ操作面の両面があり、ボタンを押す面を上にしたほうだけが操作できます。 テレビの操作をするときは、テレビ操作面を上にして操作してください。 リモコンのボタンを押すと、リモコン上部のインジケーターが点灯します。インジケーターが点灯しない場合は、リモコンから信号が送信されていませんので、操作面(ボタンを押す面)を上にして、もう一度操作してください。 テレビの操作をするときは、本機(本体)の報知音は鳴りません。	37 23 37
リモコンを操作するとき、リモコン内部から音がする。	● リモコンを振ったり動かしたりすると内部で音がしますが、故障ではありません。	–

●●▶ 次ページへつづく

● こんなときは（症状）●	● ここをお調べください（原因と対応のしかた）●	参照ページ

●本機の操作全般、ディスク·カードの出し入れ●

画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
本機が動かない。 本機の操作ができない。	● 本機の起動中(本体前面の[らく楽モード]ボタンのインジケーターが点滅中、または画面に"起動中"と表示中)は、操作できません。 ● 操作が禁止されているときは、"⊘"またはメッセージが表示されます。 ● 本体とリモコンのリモコンモードが合っていますか。 ● 本機のリモコンにはレコーダー操作面とテレビ操作面の両面があり、ボタンを押す面を上にしたほうだけが操作できます。 本機の操作をするときは、レコーダー操作面を上にして操作してください。 リモコンのボタンを押すと、リモコン上部のインジケーターが点灯します。 インジケーターが点灯しない場合は、リモコンから信号が送信されていませんので、操作面(ボタンを押す面)を上にして、もう一度操作してください。 本機の操作をするときは、リモコンからの信号を本体が受け取ると、本体から報知音が鳴ります。(鳴る設定にしているときのみ) ● リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ● ご購入後に初めて電源を入れたときは、"らくらく設定"画面が表示されます。らくらく設定中は、録画・再生などの操作はできません。 ● 安全装置がはたらいている可能性があります。 →「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順 2 以降を行ってください。	8、10 10 36 7 23 24 192
本機の設定画面やメニューが出ない、表示されない項目がある。	● 設定や項目の操作ができない場合は、選べなかったり表示されません。 ● テレビの入力切換を、本機を接続した入力にしていますか。	140～145 –
らく楽メニューが出ない。	● らく楽モード(本体前面の[らく楽モード]ボタンのインジケーターが点灯)になっていますか。 →［らく楽モード］ボタンのインジケーターが消えている場合は、ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを点灯させてください。	8、140
通常メニューが出ない。	● 通常モード(本体前面の[らく楽モード]ボタンのインジケーターが消灯)になっていますか。 →［らく楽モード］ボタンのインジケーターが点灯している場合は、ボタンを3秒以上押し続けて、インジケーターを消してください。	8、142
ディスクの操作ができない。	● ディスクを入れていますか。 ● ディスクによっては、本機では再生速度の切り換えなどができない場合があります。	59 –
ディスクトレイの開/閉ができない。	● 各種メッセージの表示中は、トレイの開/閉はできません。 ● 本機で使用できないディスクを本機に入れた場合は、トレイの開/閉ができなくなることがあります。 →「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順 2 以降を行ってください。	– 192
ディスクトレイがしばらく出てこない、出てくるまで時間がかかる。	● 情報を更新するため、トレイが開くまでしばらく時間がかかります。 ● 電源「切」のときに操作をしたときは、ディスクが入っているとトレイが開くまで時間がかかることがあります。	– –
ディスクを入れてから、しばらく操作ができない。	● ディスクの認識と情報の読み込みを行うため、ディスクが実際に使用可能になるまでしばらく時間がかかります。	–
SDカードの操作ができない。 SDカードの内容が読めない。	● SDカードを入れていますか。 ● SDカードを正しい向きで奥まで(止まるまで)差し込んでいますか。	105 105
USBの操作ができない。 USBの内容が読めない。	● 本機で対応しているUSB機器を接続していますか。 ● USBケーブルがしっかり差し込まれていますか。 ● SDカードに記録するデジタルカメラ/デジタルビデオカメラの場合、USB接続で認識・読み込みができないときは、SDカードを使用してJPEG再生や映像取り込み(ダビング)を行ってください。 ● 録画中、再生中、ダビング中などにUSB機器を接続したときは、認識されないことがあります。	105 105 105 –
USB機器をつないでいて、途中から本機の操作ができなくなった。	● USB機器からJPEG再生中または映像取り込み(ダビング)中に、USB機器接続に異常が発生し、本機の操作ができなくなっています。 → USBケーブルの接続をはずしてください。メッセージが消え、本機が操作できるようになります。	107、136

● こんなときは（症状）●	● ここをお調べください（原因と対応のしかた）●	参照ページ
●本機の操作全般、ディスク･カードの出し入れ●（つづき）		
本機が正常に動作しない。	● 露付きが起こっていませんか。 → 電源を入れたまま、2時間以上お待ちください。	179
本体表示部が異常な表示をする。	● 安全装置がはたらいている可能性があります。 →「おかしいな？と思ったときの調べかた」の手順 2 以降を行ってください。	192
●視聴、チャンネル切換●		
テレビに本機の映像が映らない。	● アンテナー本機ーテレビを接続していますか。	12~17
	● ケーブルやコードを違う端子（入力/出力も含む）につないでいませんか。または、ケーブルやコードがはずれたり、抜けかかったりしていませんか。	12~17
	● B-CASカードを正しい向きで奥まで（止まるまで）差し込んでいますか。	15
	● 本機とテレビをHDMIケーブルで接続したときは、“HDMI/D端子優先設定”、“HDMI解像度設定”の設定が合っていないと、正常に映りません。	152、153
	● 本機とテレビをD端子ケーブルで接続したときは、“HDMI/D端子優先設定”、“D端子解像度設定”の設定が合っていないと、正常に映りません。 → 本体の[らく楽モード]と[チャンネル ∧]ボタンを同時に4秒以上押し続けると、設定が“D1”になり、映るようになります。	152、153
	● テレビの入力切換を、本機を接続した入力にしていますか。	−
本機を接続したら、テレビの映りが悪くなったり、映らなくなった。	● 市販のブースターなどを使うと改善されることがあります。効果がないときは、お買上げの販売店にご相談ください。	−
	● 本機の電源コードを、常に電源コンセントに差し込んで、通電状態にしておいてください。	21
	● アンテナ線とHDMIケーブル、LANケーブルなどの距離を離してください。	−
地上デジタル放送が映らない、映りが悪い。 映像や音が出ない、またはときどき出なくなる。 映像が静止する、またはときどき静止する。	● アンテナ線を地上デジタル放送用の端子（入力/出力も含む）につないでいますか。また、UHFアンテナ、アンテナケーブル、分配器などは、デジタル放送対応のものを使っていますか。	12､13､16
	● 地上デジタル放送用のUHFアンテナの向き（放送電波の中継基地）が異なる場合は、1つのUHFアンテナを共用することはできません。	13
	● 地上デジタル放送のチャンネル設定の再スキャンを行ってください。	31
	● 地上デジタル放送の受信電波が弱い場合でも強すぎる場合でも受信レベルが下がり、“受信設定”の“アンテナレベル”の数値が低くなります。アンテナレベルの数値は、「22」以上を目安にしてください。	29
	● 地上デジタル放送の受信電波が強すぎて映りが悪くなる場合は、“受信設定”の“アッテネーター”を“入”にすると、映りが改善されることがあります。	29
	● 地上アナログ放送（VHF帯）からの影響により地上デジタル放送が受信できない場合があります。市販のブースターを経由して受信している場合は、ブースターのゲイン調整を再確認してください。	−
	● 受信レベルが低い状態で視聴していませんか。 受信レベルが低いと、天候や近隣の環境の影響を受けやすく、受信状態が悪化し映像が乱れたり映らなくなることがあります。	−
	● UHFアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか。または、アンテナ線が劣化していませんか。 → “受信設定”の“アンテナレベル”で受信レベルを確認することができます。	29
BS･110度CSデジタル放送が映らない、映りが悪い、音声にノイズが出る。	● アンテナ線をBS･110度CSデジタル放送用の端子（入力/出力も含む）につないでいますか。また、BS･110度CSアンテナ、アンテナケーブル、分波器などは、デジタル放送対応のものを使っていますか。	12、13
	● “受信設定”の“アンテナ電源”の設定が正しく合っていますか。	29
	● “受信設定”の“アンテナ電源”を“入”にしているときは、本機の電源コードを常に電源コンセントに差し込んで（通電状態にして）おいてください。	29
	● テレビをつないでいるときは、“受信設定”の“アンテナ出力”を“入”にしておいてください。	29
	● BS･110度CSアンテナの方向や角度が強風などで少しでもずれると、放送を受信できません。 → “受信設定”の“アンテナレベル”で受信レベルを確認することができます。	13、29
	● 次のような場合は、電波障害により一時的に映像･音声が乱れることがあります。 • 雨雲があるとき。 • 強い降雨のとき。 • 障害物があるとき。 • 雪がBS･110度CSアンテナに付着しているとき。	−

●●▶ 次ページへつづく

よくある質問
メッセージ
故障かな？
用語説明
さくいん
アフターサービス
困ったとき

● こんなときは（症状）●	● ここをお調べください（原因と対応のしかた）●	参照ページ

●視聴、チャンネル切換●（つづき）

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
放送の切り換えができない、チャンネルが切り換えられない。	● 2番組同時録画中は、録画中以外の放送やチャンネルに切り換えることはできません。 ● 再生中は、放送やチャンネルの切り換えはできません。	67 47
映像の左右の端が切れる。	● 画面の縦横比(アスペクト比)が4：3のテレビなど、表示可能領域よりも映像を拡大し、映像の一部を隠して表示(オーバースキャン)するテレビによっては、左右の映像が切れたり、色が薄くなったりします。	–
ハイビジョン映像で出力されない。	● ディスクによっては著作権保護のため、D映像端子からの出力が480pに制限されることがあります。 ● “D端子解像度設定”が“D3”以上になっていますか。 ● 次の場合は、“D端子解像度設定”の設定にかかわらず“D1”で出力されます。 • BDビデオを再生するとき。 • DVD-RW(AVCREC)/-R(AVCREC)を再生するとき。 • ディスク→本体(HDD)へダビングしたコンテンツを再生するとき。	– 153 157
字幕や文字スーパーが出ない。	● 字幕のある番組の場合、字幕を“日本語”または“英語”にしてください。(英語の字幕がない場合は、“英語”にしても字幕は表示されません。)	53
放送やチャンネルを切り換えると、自動的に字幕が表示される。	● “字幕焼きこみ”の設定を“あり”にしているときは、他の番組を視聴するために放送やチャンネルを切り換えると字幕が自動的に表示されることがあります。視聴中の番組の字幕を表示させたくない場合は、“信号切換”の“字幕”を“切”に変更してください。	53、65、156
有料放送が視聴できない。	● 有料放送の視聴には、放送局ごとに受信契約が必要です。 ● 契約したB-CASカードを挿入してください。	– 15
データ放送が見られない	● i.LINK(TS)入力中は、データ放送を見ることができません。	–
地上デジタル放送の放送局のロゴマークが表示されない。	● 地上デジタル放送の各放送局を一定時間選局していると、放送局のロゴマークが表示される仕組みになっており、放送時間と受信のタイミングによって表示されるまで日数がかかることがあります。	–

●番組表(Gガイド)●

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
番組表が表示されない。 番組表が8日分表示されない。	● お買上げ時には、番組表は表示されません。 チャンネル設定後に、番組表の番組データを受信するまでは表示されません。	48
番組検索用の番組データを受信できない。	● 番組検索用の番組データは、本機の電源が切のときだけ受信することができます。電源が入のときは受信できません。	48
予約した番組と録画された番組が合っていない。	● 番組表が正しく表示されていても、放送局側の都合により番組の内容が変更されることがあります。	48

●録画・録画予約●（p.54～55、61～71、90～91もごらんください）

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
録画できない。	● 違法複製防止のためのコピー制限やコピーガードがかかっていませんか。 ● 「録画禁止」番組を録画していませんか。 ● 残量時間が不足していませんか。または、番組数がいっぱいになっていませんか。 → 不要な番組を削除してください。または、別の録画可能なディスクを使用してください。 ● アンテナを本機に接続していますか。	– 71 10、112、183 12、13、16
ディスクに録画できない。	● 録画可能なディスクを入れていますか。 ● 本機では、ディスクに直接録画することはできません。BD-RE/-Rには録画予約で録画できます。DVD-RW/-Rにはダビングだけできます。 ● 他機で記録したディスクは、本機では追加記録できない場合があります。 ● 他機で初期化されたディスクは、本機では録画できないことがあります。 ● ディスクに傷や汚れがあると、録画できないことがあります。 ● ディスクの保護またはディスクのファイナライズをしていませんか。	54、55、71 54、55 – – 58 118、119
録画予約できない。 録画予約した番組が録画されない。	● 予約スキップした番組は、録画されません。 ● 停電があったときは、正しく録画されません。(内部メールで確認できます。) ● 時計(特に年や月)が合っていますか。 ● ファイナライズ、初期化(フォーマット)、ダウンロード更新など、中断できない動作中は、予約録画できません。 ● 本機の予約とi.LINK(TS)入力からの予約が重なったときは、録画開始時刻が早い方の予約が優先的に録画されます。	86 90、146 35 – 91

● こんなときは（症状）●	● ここをお調べください（原因と対応のしかた）●	参照ページ

●録画・録画予約●（つづき）（p.54～55､61～71、90～91 もごらんください）

● こんなときは（症状）●	● ここをお調べください（原因と対応のしかた）●	参照ページ
録画モードDR以外で録画・録画予約した番組が、録画モードDRで録画されている。	● 同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モードDRで録画され、本機の電源が切になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。（録画モード変換予定番組）	62、66、68～70
番組の最後まで録画できていない。 予約で録画した最後の部分が録画できていない。	● 予約が重なっていませんか。 ● 前の予約の終了日時と後の予約の開始日時が同じ場合は、前の予約の最後の部分が録画されません。	90 90
2番組を同時に録画できない。	● 同時操作の組み合わせによっては、同時録画できないことがあります。	66、69
勝手に録画される。	● おすすめ自動録画をしていませんか。	80
録画しても字幕が記録されない。	● デジタル放送の字幕がある番組を録画モードDR以外で録画する場合は、“字幕焼きこみ”の設定を“あり”にすると字幕が記録されます。（再生中の字幕の入/切はできません。）	65、156
ケーブルテレビのセットトップボックスなど、他の機器の映像が録画できない。	● 本機の入力切換を、L1入力に切り換えていますか。 ● つないだ機器の電源が入っていますか。 ● ケーブルやコードを違う端子（入力/出力も含む）につないでいませんか。 ● 本機にケーブルテレビの(CATV)のホームターミナル/セットトップボックスや外部チューナーなどを接続して、L1入力でコピー制限のある番組を録画する場合は、著作権保護の規定により、DVD-RW(AVCREC)/DVD-R(AVCREC)にダビングすることはできません。 ● 本機のi.LINK（TS）端子に接続できる機器は、ケーブルテレビのi.LINK（TS）対応のセットトップボックス1台だけです。 デジタルビデオカメラなどのi.LINK（DV）対応機器やD-VHSビデオなどのi.LINK対応機器は、接続しても動作しません。また、i.LINK（TS）ケーブル経由で2台以上の機器を本機と接続している場合は、正しく動作しません。	87 － 16、137 71 17
i.LINK（TS）入力から予約録画した番組が録画できない。	● “高速起動設定”が“入”になっていますか。 ● 「【解説】i.LINK（TS）入力からの録画」もごらんください。	88、91 200
「スカパー！HD録画」ができない。	● “高速起動設定”が“入”になっていますか。 ● 『【解説】「スカパー！HD録画」』もごらんください。	89、91 201

●再生●（p.109 もごらんください）

● こんなときは（症状）●	● ここをお調べください（原因と対応のしかた）●	参照ページ
再生できない。 再生画面が出ない。	● テレビの入力切換を、本機を接続した入力にしていますか。	－
ディスクの再生ができない。	● 本機で再生できないディスクや未録画のディスクを入れていませんか。 ● ディスクの表裏を正しく入れていますか。 ● 他機やパソコンで録画したディスクは、本機で再生できないことがあります。 ● 他機で録画されてファイナライズされていないDVD-RW（Video）/DVD-R（Video）は、本機では再生できません。 ● 記録状態、ディスクの特性、傷、汚れなどにより、正常に再生できないことがあります。 ● BD/DVDビデオの視聴制限設定をしていませんか。	54～56 59 58 58 58 160
番組の最初から再生が始まらない。	● つづき再生になっていませんか。	100
録画一覧画面に、録画した番組が表示できない、録画中の番組が表示されない（追っかけ再生ができない）。	● 録画一覧（全）画面を表示していますか。 ● 部分削除、分割をした番組は、録画一覧（全）/（ユーザー）画面にだけ表示されます。	93 92、116、117
録画モードDR以外で録画した番組が、録画一覧画面上では“変換予定 ➔○○”（○○は録画モード）と表示されている。	● 同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モードDRで録画され、本機の電源が切になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。（録画モード変換予定番組）	62、66、68～70、92
見どころ再生ができない。	● “見どころ再生情報”の設定を希望の設定にして録画予約しましたか。 ● 録画一覧画面の番組名の欄に“▶”、“✕”または“♪”が付いていますか。 ● 部分削除、分割をした番組の見どころ再生はできません。	84、156 94 116、117
次の場面（ジャンプ）やシーン検索でとばす位置の条件が、番組によって異なる。	● とばす位置は、録画したときのおすすめ自動チャプターマークの設定によって異なります。	93、102、155
3D映像にならない。	● 本機と3D映像対応テレビをHDMIケーブルで接続していますか。 ● “3Dディスク再生設定”を“3D再生”に設定していますか。	14、99 99、153

●●▶ 次ページへつづく

● こんなときは（症状）●	● ここをお調べください（原因と対応のしかた）●	参照ページ
●再生●（つづき）（p.109 もごらんください）		
映像や音声が一瞬止まる。	● 2層ディスクの再生中は、1層目と2層目が切り換わるときに映像や音声が一瞬止まることがあります。	109
画面サイズがおかしい。	● "テレビ画面選択"をテレビの形状に合わせて選択していますか。 ● 4:3 16:9 LB 16:9 PS のように、DVD側で画面サイズが指定されているときは、違う種類で表示されることがあります。	152 –
再生中の映像が乱れる。 再生中の色がおかしくなる。	● 早送り/早戻しなどをすると、映像が多少乱れることがあります。 ● 本機とテレビを直接つないでいますか。 本機とテレビをビデオなどを経由してつなぐと、コピーガードにより正しく再生できないことがあります。 ● 携帯電話など、電波を発する機器を近くで使用していませんか。 ● ディスクが汚れていませんか。	– 14 – 58
DVDの再生が途中で自動的に止まる。	● DVDによっては、オートポーズ信号で再生が自動停止する場合があります。	–
音声が出ない。 字幕が出ない。	● AVアンプなど、つないでいる機器について次のことを確認してください。 • つないだ機器の電源が入っていますか。 • つないだ機器の入力切換が合っていますか。 • ケーブルやコードを正しく(入力/出力も含む)つないでいますか。 ● "音声出力設定"が、接続しているアンプやデコーダーなどに合わせて正しく設定されていますか。 ● 本機で録画モードDR以外で録画した番組や、字幕情報がない番組については、字幕を切り換えできません。 ● ディスクに収録されていない言語が選ばれていませんか。	21 154 65、104 –
ディスクの音声言語や字幕言語が切り換えられない。	● ディスクに複数の言語が収録されていますか。 ● ディスクによっては、ディスクメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。操作のしかたはディスクによって異なりますので、ディスクの説明書をごらんください。	– –
外部入力で録画した番組を再生すると、2つの音声が混ざって聞こえる。	● "外部音声選択"を"ステレオ"にして録画していませんか。 → 録画前に、設定を"二重音声"にしてから録画してください。	64、155
二重音声(二カ国語音声)が切り換えられない、日本語と英語が切り換えられない。	● "二重音声選択"、"外部音声選択"で設定されている音声で記録されます。 → 録画前に、これらの設定を確認してから録画してください。	64、155
デジタル音声の二重音声が切り換えられない。	● "音声出力設定"の"デジタル出力設定"を"自動"に設定してデジタル音声出力端子から音声を出力しているときは、音声を切り換えることはできません。設定を"PCM"にするか、アンプ側で音声を切り換えてください。	154
カメラアングルが切り換わらない。	● カメラアングルが切り換え可能な場面以外では、切り換えできません。	–
●消去・編集・ダビング●（p.110、122、124～125、139 もごらんください）		
番組の編集・削除ができない。 ディスクの編集ができない。 チャプターマークの編集ができない。	● 番組やディスクが保護されている場合は、消去や編集はできません。 → 番組やディスクの保護設定を解除してください。 ● ファイナライズ済みのディスクの消去や編集はできません。 ● 録画中の番組編集・削除できません。	110、113、 118 119 110
チャプターマークが追加できない。	● チャプターマーク数がいっぱいになっていませんか。 → 不要なチャプターマークを削除してください。	111
番組を削除しても、ディスクの残量が増えない。	● BD-R、DVD-R、DVD-RW(AVCREC)は、番組を消去してもディスクの残量は増えません。	112
削除・部分削除・分割をした番組や内容を元に戻せない。	● 削除・部分削除・分割をした番組や内容は、元に戻すことはできません。 録画内容をよく確認してから、削除・分割してください。	112、116、 117
初期化した内容を元に戻せない。	● 初期化して消去された内容は、元に戻すことはできません。 録画内容をよく確認してから、初期化してください。	120
ファイナライズをしても、他のDVDプレーヤーで再生できない。	● DVDプレーヤーによっては、ファイナライズを行っても再生できないことがあります。	–
ファイナライズが解除できない。	● 本機でファイナライズを解除できるのは、本機でファイナライズを行ったDVD-RW(VR)だけです。	119
ダビングすると、元の番組が消える。	● 「1回だけ録画可能」番組のダビングや、「ダビング10(コピー 9回＋ムーブ1回)」番組の10回目のダビングは、「ムーブ(移動)」になり、ダビング元の番組は削除されます。	71
ダビング一覧から見どころ再生の番組をダビングできない。	● 見どころ再生中の番組は、手間なしダビングでのみダビングできます。	127

よくある質問 メッセージ 故障かな? 用語説明 さくいん アフターサービス 困ったとき

● こんなときは（症状）●	● ここをお調べください（原因と対応のしかた）●	参照ページ
ダビングできない。	● 市販のDVDソフト・ビデオソフト・レンタルテープなど、違法複製防止のためにコピーガードがかかっているディスク・テープは、ダビングできません。 ● 他機で録画されてファイナライズされていないDVD-RW(Video)/DVD-R(Video)は、ダビングできません。 ● ディスクに傷や汚れがあると、ダビングできないことがあります。 ● 本機にケーブルテレビの(CATV)のホームターミナル/セットトップボックスや外部チューナーなどを接続して、外部入力(L1)で録画したコピー制限のある番組の場合は、著作権保護の規定により、DVD-RW(AVCREC)/DVD-R(AVCREC)にダビングすることはできません。 ● 他機で記録したディスクや他機で初期化されたディスクは、本機ではダビングできないことがあります。	123 58 58 71 – –
ダビングしても字幕がダビングされない。	● デジタル放送を録画モードDRで録画した番組を高速ダビングしたときだけ、字幕の情報もダビングされます。(字幕がある場合のみ)	65

●REALINK(リアリンク)●

REALINK機能がはたらかない。	● REALINK機能は、本機と当社製REALINK対応テレビを組み合わせて、必要な接続(HDMI接続)と設定を行っている場合だけ使えます。 ● REALINK機能が有効な状態で、本機の電源コードやHDMIケーブルを抜いた場合は、REALINK機能が無効となります。 → 電源コードやHDMIケーブルを接続後、テレビの入力切換を本機の入力に切り換える、または“リンク機器制御”を一度“しない”に変更して決定したあともう一度“する”に変更して決定すると、再びREALINK機能が有効になります。	166 166
番組ポーズができない。 番組ポーズが自動的に終了する。	● 録画中は、番組ポーズはできません。 ● テレビ側でテレビのチャンネルや入力を切り換えたときや、テレビの電源を切ったとき、番組ポーズ中に録画予約の録画開始時刻になったときは、番組ポーズが自動的に終了します。	168 168

●ネットワーク●

ネットワークが利用できない。	● ネットワークを利用するためには、ブロードバンド環境との接続が必要です。動画配信サービスを利用する場合は、光ファイバー(FTTH)のブロードバンド環境と接続することをおすすめします。 ● ネットワークの接続と設定は正しいですか。 ● “ネットワーク設定 1/2”画面の“DNS-IP自動取得”が“する”に設定されていない場合は、ネットワークが利用できないことがあります。 ● 利用環境や接続回線の混雑状況などによって、動画コンテンツの映像が乱れたり、映らない場合があります。	170 18、32 33 –

●その他●

時計がずれる。	● デジタル放送のらくらく設定(チャンネル設定)を行わずに時計を手動で設定した場合は、時間経過とともに時計がずれます。 デジタル放送を受信できる状態の場合は、時計が自動修正されます。	35
音声ガイドの最初の部分が切れる。	● ご使用のテレビによっては、音声ガイドの最初の部分が途切れることがありますが、故障ではありません。	–
何も操作していないのに、本機の内部で音がする。 本機の動作音が大きくなる。	● 本機が次の状態で、本体表示部に“⬇D”が表示されているとき。 • 番組表の番組データを受信中。 • ダウンロード更新中。 • 瞬間電源オン状態で本機がすぐに起動できるよう待機状態になっているとき。 • 録画モード変換予定番組の自動変換中。 ● 高速記録対応ディスクを使用して高速ダビングしているときや、冷却用ファンの制御によってファンの回転数が上がったときなどは、動作音が大きくなります。	9、191 –
視聴制限設定の暗証番号(パスワード)を忘れた。	● デジタル放送の有料放送を視聴するために契約されている各委託放送事業者にお問い合わせください。 ● 有料放送の契約をされていない場合は、「個人情報リセット」を行って本機を工場出荷時の状態に戻す必要があります。本体(HDD)の録画内容も消去されますので、暗証番号を忘れないようにしてください。	164 161

【解説】i.LINK(TS)入力からの録画

1 セットトップボックスと本機の接続

ポイント1 セットトップボックスと本機をi.LINK接続します。 p.17

i.LINK接続は、録画用の映像/音声信号を入力するためだけの接続です。セットトップボックス側の「メニュー画面」や「番組表」を見たい場合は、セットトップボックスとテレビを直接接続し、テレビをその外部入力に切り換えてください。
(セットトップボックス側の端子により「メニュー画面」や「番組表」が表示されない場合があります。ご使用のセットトップボックスの取扱説明書をご確認ください。)

ポイント2 S400対応のi.LINKケーブル(市販)を使います。

S400に準拠していないi.LINKケーブルを使用すると、動作しません。

2 セットトップボックスと本機の設定

ポイント1 セットトップボックス側で本機との接続を確認します。

セットトップボックス、本機、テレビの電源を入れます。セットトップボックス側で本機が接続機器として表示されているか確認してください。
表示される内容や接続が確認できない場合、対処法はセットトップボックスの機種により異なります。くわしくはご使用のセットトップボックスの取扱説明書をご確認になるか、ケーブルテレビ(CATV)会社へお問い合わせください。

ポイント2 本機の高速起動の設定を"入"にします。 p.152

録画予約で録画する場合、"セットアップ"画面の"省電力/表示設定"－"高速起動設定"を"入"に設定しないと、録画が開始できる状態となるまでに時間がかかり、録画が実行されない場合があります。

3 録画予約の準備

ポイント1 セットトップボックス側で予約設定を行います。 p.88

セットトップボックス側の「番組表」や「予約設定画面」で予約を行ってください。くわしくは、ご使用のセットトップボックスの取扱説明書をごらんになるか、ケーブルテレビ(CATV)会社へお問い合わせください。

ポイント2 本機からディスクを取り出します。

録画が開始できる状態となるのに時間がかかり、録画が実行されない場合がありますので、BD/DVD/CDは本機から取り出しておきます。

ポイント3 予約設定後は、本機の操作をしない。

予約開始時刻に本機を操作していたり、本機の他の動作(録画、ダビング、ネットワーク、各種設定など)を実行中は、録画が実行されない場合があります。

4 i.LINK(TS)入力からの録画中の動作

ポイント1 本機の予約とi.LINK(TS)入力からの予約の同時録画はできません。 p.69、91

録画開始時刻が早い方が優先的に録画され、開始時刻が後の予約は取り消されます。
前の録画が終了した時刻からの録画にはなりません。
(前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合でも、後の予約が取り消されて録画されません。)

ポイント2 本機の操作をしない、本機の電源を切らない。

i.LINK(TS)入力からの録画中に本機の操作を行うと、録画が中断することがあります。

5 セットトップボックス内蔵のHDD から本機へのダビング

ポイント1 セットトップボックス側で操作を行います。

くわしくは、ご使用のセットトップボックスの取扱説明書をごらんになるか、ケーブルテレビ(CATV)会社へお問い合わせください。

ポイント2 ダビングが始まると、本機は自動的にi.LINK(TS)入力画面に切り換わります。

i.LINK(TS)入力画面に切り換わっても、リモコン操作で他の放送波や入力に切り換えることができます。

【解説】「スカパー！HD録画」

1 チューナーと本機の接続

ポイント1　チューナーと本機をLAN接続します。 p.20

LAN端子への接続は録画用の映像/音声信号を入力するためだけの接続です。本機のLAN端子ではチューナー側の番組表や録画一覧を見たり、予約などのチューナー操作はできません。

ポイント2　「クロスケーブル」（市販品）は、チューナーと本機を直接接続する場合に使います。
「ストレートケーブル」（市販品）は、ブロードバンドルーターやスイッチングハブを経由して接続する場合に使います。

カテゴリー 5以上に対応していないネットワークケーブルを使用すると、動作しません。

2 本機の設定

ポイント1　本機の高速起動の設定を“入”にします。 p.152

録画予約で録画する場合、“セットアップ”画面の“省電力／表示設定”－“高速起動”を“入”に設定しないと、録画が開始できる状態となるまでに時間がかかり、録画が実行されない場合があります。

ポイント2　ネットワークの接続状態を確認します。 p.33

3 チューナーの設定

ポイント1　チューナーのネットワーク設定を行います。

ポイント2　チューナーに本機を録画機器として登録します。

くわしくは、チューナーの取扱説明書をごらんください。

4 録画予約の準備

ポイント1　チューナー側で予約設定を行います。 p.89

チューナー側の「番組表」や「予約設定画面」から予約を行ってください。くわしくは、ご使用のチューナーの取扱説明書をごらんいただくか、スカパー！カスタマーセンターへお問い合わせください。

ポイント2　本機からディスクを取り出します。

録画が開始できる状態となるのに時間がかかり、録画が実行されない場合がありますので、BD/DVD/CDは本機から取り出しておきます。

ポイント3　予約設定後は、本機の操作をしない。

予約開始時刻に本機を操作していたり、本機の他の動作（録画、ダビング、ネットワーク、各種設定など）を実行中は、録画が実行されない場合があります。

ポイント4　予約を消去するときは、チューナー側で操作を行います。

くわしくは、ご使用のチューナーの取扱説明書をごらんいただくか、スカパー！カスタマーセンターへお問い合わせください。

あ

アクトビラ p.170、174

本機をブロードバンド環境に接続して、映画やドラマなどの動画を配信するサービスです。
本機は、「アクトビラ ベーシック」「アクトビラ ビデオ」「アクトビラ ビデオ・フル」「アクトビラ ビデオ・フル/ダウンロード」のコンテンツをお楽しみいただけます。

「1回だけ録画可能」番組(コピーワンス) p.71

著作権保護・違法コピー防止のため、1回だけ録画することが許可されているデジタル放送の番組のことです。
「1回だけ録画可能」番組をダビングすると、ダビング元(オリジナル)の録画内容が「ムーブ(移動)」されて、ダビング元の録画内容は消去されます(残りません)。

インターレース(飛び越し走査)(480i)

テレビに映像を映すときに従来から行われている方式で、1つの画像(有効走査線数480本)を1本飛ばしの半分ずつ2回に分けて表示します。これにより、1つの画像を1/30秒(30コマ/秒)で映します。

か

コピーガード、コピー制御信号

複製防止機能のことです。
著作権保護のため、著作権者などによって複製を制限する信号が記録されているソフトや番組を録画することはできません。

さ

視聴制限(パレンタルレベル) p.160、163

デジタル放送やソフト側で設定された、視聴を制限するための機能です。レベルの強弱によって、暴力シーンなどを子供に見せないように再生することができます。

字幕放送 p.46、53

デジタル放送の番組で画面上にセリフなどを文字で表示できる放送です。放送中に番組からのお知らせを表示する「文字スーパー」という機能もあります。

スカパー！HD p.20、89

通信衛星を利用した衛星放送(CSデジタル放送)サービスです。
本機では、スカパー！HD対応チューナーとLAN接続することで、「スカパー！HD録画」することができます。

た

チャプター p.57

本体(HDD)やBD/DVDの番組の中の小さな区切りを「チャプター」といいます。

「ダビング10」(コピー 9回＋ムーブ1回)番組 p.71

著作権保護・違法コピー防止のため、10回までダビングすることが許可されているデジタル放送の番組のことです。
「ダビング10」番組をダビングすると、9回目までは「コピー」、10回目は「ムーブ(移動)」となります。

デジタルハイビジョン

地上デジタル放送とBSデジタル放送には、デジタルハイビジョン放送(HD放送)があり、従来のアナログハイビジョンと同等の画質で放送されます。ハイビジョンの有効走査線数は1080本(地上アナログ放送の480本の倍以上)あり、細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。
また、地上アナログ放送とほぼ同等の画質のデジタル標準テレビ放送(SD放送)もあります。

データ放送 p.46、51

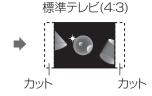
お客さまが見たい情報(お住まいの地域の天気予報など)を選んで、好きなときに画面に表示させることができます。また、テレビ放送や、ラジオ放送に連動したデータ放送もあります。

トラック p.57

音楽用CDの曲ごとの区切りを「トラック」といいます。

は

ハイビジョン画質、HD(エイチディー)放送 p.46

HDはHigh Definitionの略で、デジタル放送のハイビジョン画質のテレビ放送です。有効走査線数は720本または1080本です。
標準画質(SD放送)よりも、高画質・高音質な映像・音声が楽しめます。

パンスキャン p.152

標準テレビ(4：3)にワイド映像を映す方法の1つで、映像の上下方向が画面いっぱいに表示され、左右方向が一部カットされます。

ビットレート

映像・音声データを記録する際に、1秒間に書き込む情報量のことをいいます。

標準画質、SD(エスディー)放送 p.46

SDはStandard Definitionの略で、デジタル放送の標準画質のテレビ放送です。有効走査線数480本です。

ファイナライズ p.119

本機で録画したBD-R、DVD-RW/-Rを、他のBD/DVDレコーダーやプレーヤーなどで再生できるようにする機能です。

フォーマット(初期化) p.60、120

録画用ディスクやSDカードを本機で記録できるように処理したらり、録画方式を変更したりするときに行います。
フォーマット(初期化)を行うと、それまで記録されていた内容はすべて消去されます。

プログレッシブ(順次走査)(480p)

テレビに映像を映すときに、1つの画像(有効走査線数480本)を一度に表示し、1/60秒(60コマ/秒)で映します。
インターレース出力に対し、ちらつきの少ない高密度の映像を楽しめます。

ま

マルチビュー放送 p.53

1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送です。たとえば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組でそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

ら

リージョンコード(再生可能地域番号) p.56

BDソフトやDVDソフトは、国によって再生できる記号や番号(これをリージョンコードといいます)が分けられています。日本の場合、BDソフトは「A」、DVDソフトは「2」になっており、本機ではその記号または番号を含んだソフトだけ再生することができます。

リジューム（つづき再生） p.100

再生中に停止すると停止位置が記憶され、記憶している停止位置から再生を始めることができます。

リニアPCM(ピーシーエム)

PCMはPulse Code Modulationの略で、リニアPCMはデジタル音声をそのまま圧縮せずに記録する方式です。

レターボックス p.152

標準テレビ(4：3)にワイド映像を映す方法の1つで、映像の左右方向が画面いっぱいに表示され、上下方向に帯がつきます。

ワイド映像(16:9)

標準テレビ(4:3)

ローカルストレージ p.98

ほとんどのBD-LIVE対応のBDビデオソフトでは、BD-LIVE機能を利用して再生するために、他のメディア(ローカルストレージ)にコンテンツのデータをダウンロードする必要があります。
本機では、SDカードをローカルストレージとして使用します。

ABC

AAC（エーエーシー） p.154

Advanced Audio Codingの略で、音声符号化の規格の1つです。AACは、CD並みの音質データを約1 ／ 12にまで圧縮できます。また、5.1chのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

AVCHD（エーブイシーエイチディー） p.56

ハイビジョン画質の映像をハイビジョン対応デジタルビデオカメラでディスクやSDカードなどに撮影できるように開発された規格です。

B-CAS(ビーキャス)カード p.15

デジタル放送用のICカードで、デジタル放送の有料放送の視聴や各種サービスを利用するための必要な情報が書き込まれます。

BD-J

BDビデオにはJavaアプリケーション(これをBD-Jと呼びます)を含むものがあり、通常のビデオ操作に加えていろいろな双方向の機能を楽しむことができます。

CPRM（シーピーアールエム） p.55、71

Content Protection for Recordable Mediaの略で、「1回だけ録画可能」番組に対する著作権保護技術です。
デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組や「ダビング10（コピー 9回＋ムーブ1回）」番組をDVDに記録するときは、CPRM対応のディスクを使います。

D映像端子 p.14

コンポーネント映像信号と制御信号を1本のケーブルで接続できるように考案された端子です。
映像端子よりも高画質な映像が楽しめます。
本機のD映像出力端子は、D1/D2/D3/D4に対応しています。

Dolby D（ダイナミックオーディオ）レンジ p.154

ドルビーデジタルで記録された番組(タイトル)の音声レベルの最小値と最大値の差のことをいい、夜間などに音量を下げて小さい音にしたときでも聞きやすく再生することができます。

Dolby Digital（ドルビーデジタル） p.154 ドルビーデジタルステレオクリエーター

ドルビーデジタルは、ドルビー社が開発したデジタル音声を圧縮して記録する方式です。
ドルビーデジタルステレオクリエーターによって、ドルビーデジタルの目の覚めるような音質でステレオ音声のDVDビデオを作成できます。
この技術をPCM記録の代わりに用いることで記録容量を節約することが可能となり、より高い解像度(ビットレート)の映像や、より長い記録時間を実現することが可能になります。
ドルビーデジタルステレオクリエーターを用いてマスタリングしたDVDは互換性のあるすべてのDVDプレーヤーで再生できます。

Dolby Digital Plus（ドルビーデジタルプラス）Dolby TrueHD（ドルビートゥルーエイチディー） p.155

Dolby Digital Plusは、Dolby Digitalをさらに高音質、5.1ch以上の多チャンネル対応、広いビットレート化した音声方式です。
Dolby TrueHDは、DVDオーディオで採用されているMLPロスレスの機能拡張版で、スタジオマスターの音声データを高品位で再生する音声方式です。
両方式とも、BD規格では最大7.1chまで対応しています。

DTS（ディーティーエス） p.154

Digital Theater Systemsの略で、デジタルシアターシステム社が開発した、デジタル音声システムです。DTS対応アンプなどと接続して再生すると、映画館のような正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。

DTS-HD（ディーティーエス エイチディー） p.155

DTSをさらに高音質･高機能化した音声方式で、下位互換により従来のDTS対応アンプでもDTSとして再生できます。
BD規格では最大7.1chまで対応しています。

EPG（イーピージー） p.48

Electronic Program Guideの略で、番組表のことをいいます。本機では、Gガイドを利用して番組表を表示しています。

GB（ギガバイト）、TB（テラバイト）

HDDやDVDの容量を表す単位で、数値が大きいほど最大録画時間が長くなります。1 TB ＝ 約 1000 GB となります。

HD(エイチディー)放送

→ この「用語説明」の「ハイビジョン画質」をごらんください。

HDD（ハードディスク(ドライブ)） p.54、57

パソコンや家庭用ディスクレコーダーなどで使われている大容量データ記録装置の1つです。大量のデータの読み書きを高速で行うことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。

HDMI（エイチディーエムアイ） p.14

High Definition Multimedia Interfaceの略で、DVDレコーダーなどのデジタル機器と接続できるデジタルAVインターフェースです。
映像信号と音声信号を1本のケーブルで接続でき、非圧縮のデジタル音声･映像信号を伝送することができます。

i.LINK(TS)（アイリンク ティーエス） p.17、87

i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際規格です。
本機は、i.LINK(TS)に対応しており、i.LINK(TS)端子を持つ機器間でデジタル放送などで使用されているTS信号(Transport Stream)の映像データのやりとりができます。

JPEG（ジェイペグ） p.56、107

Joint Photographic Experts Groupの略で、静止画像データの圧縮方式の1つです。
ファイル容量を小さくできる割に画質の低下が少ないため、デジタルカメラの保存方式などで広く使われています。

MPEG（エムペグ）、MPEG-2（エムペグツー）、MPEG-4 AVC/H.264（エムペグフォー エーブイシー エイチ）

MPEGはMoving Picture Experts Groupの略で、動画音声圧縮方式の国際標準です。
MPEG-2は、DVDの記録などに使われる方式です。
MPEG-4 AVC/H.264は、ハイビジョン画質の映像の記録などに使われる方式です。

NTSC（エヌティーエスシー）

日本やアメリカなどで採用されているテレビ方式です。
ヨーロッパなどで採用されているPALまたはSECAM方式とは互換性がないため、ヨーロッパなどで買ってきたDVDソフトは視聴できないことがあります。

REALINK（リアリンク） p.166

本機と当社製REALINK対応テレビをHDMIケーブルで接続することで、本機とテレビの間で連動して操作することができる機能です。
REALINKは、HDMI CEC(制御規格：Consumer Electronics Control)をベースに、当社独自の機能を追加したものです。

TSUTAYA TV p.170、174

本機をブロードバンド環境に接続して、映画やドラマなどの動画を配信するサービスです。
視聴形式は、「レンタル(ストリーミング)」「レンタル(ダウンロード)」「セル(動画販売)」の3種類があります。

SD(エスディー)放送

→ この「用語説明」の「標準画質」をごらんください。

USB（ユーエスビー） p.56、105

Universal Serial Busの略で、周辺機器を接続するためのインターフェースです。本機では、デジタルビデオカメラ/デジタルカメラなどを接続して、写真(JPEG)の再生やハイビジョン画質(AVCHD)動画の本機への取り込み(ダビング)ができます。

VBR（ブイビーアール）、可変ビットレート方式

Variable Bit Rateの略で、映像の動きの多い/少ない部分に合わせて記録する容量を可変制御する方式です。これにより、効率の良い録画が可能になります。

数字

3D映像 p.99

人がものを見るときの視差(右目と左目で見ている映像のわずかな違い)を応用して、立体的に視聴・再生できるようにした映像です。
本機で視聴･再生するためには、3D映像対応テレビが必要です。

さくいん

次ページへつづく

な

は

ま

や

ら

よくある質問 / メッセージ / 故障かな? / 用語説明 / さくいん / アフターサービス / 困ったとき

「困ったときは」早見表

困ったときは、左のページをごらんください

取扱説明書を読んでもどうしても使いかたがわからないときや、故障かな？と思ったときは

三菱電機お客さま相談センター

フリーコール **0120-139-365**（無料）

携帯電話・PHS・IP電話の場合　03-3414-9655（有料）
FAX　03-3413-4049（有料）

ご相談対応
平日　9：00～19：00
土・日・祝・弊社休日　9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

ご購入店などをメモしておくと、あとで役に立ちます。

形　名	□ DVR-BZ450 □ DVR-BZ350 □ DVR-BZ250 □ DVR-B5W	お買上げの販売店	
お買上げ日		（電話番号）	（　　　）　　－

愛情点検　●長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか	●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●コゲくさい臭いがする。 ●製品に触れるとビリビリと電気を感じる。 ●電源スイッチを入れても、映像や音声が出ない。 ●その他の異常・故障がある。	➡	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ブルーレイディスクレコーダーの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後８年です。

E

三菱電機株式会社
京都製作所　〒617-8550　京都府長岡京市馬場図所１番地

PRINTED IN CHINA
EAA00_01_02JD/
EAD00_01_02_03JD/
1VMN32393A★★★★